平成 25 年度

子ども・子育て家庭意識・生活実態調査

報告書

【子ども調査】

平成 26 年 3 月

名　古　屋　市

目　次

序　調査目的と調査方法
調査目的…… 1
調査方法…… 1

第１章　回答者属性（フェース項目）の概要
性別…… 4
学年…… 4
自分の成績…… 4
小学校低学年の頃で平日の授業後に過ごした場所…… 5
進学の最終目標…… 6
高校生のアルバイト…… 7

第２章　質問
【日常の生活や過ごし方に関する質問】
平日放課後の過ごし方について…… 8
学校が休みの時の過ごし方について…… 10
平日の授業以外の勉強時間について…… 12
平日の食事について…… 14
家の手伝いについて…… 16
平日の起床時間と就寝時間について…… 17
自分でできることについて…… 19
１ヶ月のおこづかいについて…… 24
友達について…… 26
自分専用の持ち物について…… 28
携帯電話について…… 31
インターネットの利用時間について…… 33

【家庭に関する質問】
経済的な生活レベルについて…… 37
お母さんについて…… 40
お父さんについて…… 47

【学校や近所のことに関する質問】
通っている学校について…… 55
地域や学校での活動について…… 59
近所に住んでいる人たちとの関係について…… 64
自分の考え方に影響している大人について…… 66

【回答者自身に関する質問】
あなたの悩みなどについて…… 67

悩みの相談相手について……　70
他の人からされたことについて……　73
他の人にしたことについて……　75
いじめを見たり聞いたりしたときについて……　76
いじめを見たり聞いたりしたときの行動について……　77
叩かれたり、傷つけられたことについて……　78
自分について……　81
今の生活について……　85
ほっとできる場所について……　88
ものごとの考え方について……　94
勉強について……　95
自分自身を大切にするために心がけていることについて……　98
40 歳になった時の状態について……　99
将来の仕事について……　102
大人になることについて……　104
なごや子ども条例について……　108

【自由意見】……　111

資料：子ども調査票……　114

序　調査目的と調査方法

１　調査の目的

平成 26 年度に策定予定のなごや子ども条例第 20 条の規定による「子どもに関する総合計画」及び子ども・子育て支援法第 61 条の規定による「市町村子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため子育て家庭及び子どもの意識・生活実態・ニーズ等を調査する。

２　調査対象

名古屋市内に居住する者のうち､次の年齢に該当する子どもを住民基本台帳から無作為に抽出し、調査対象とした。

①　子育て家庭

ア）０歳～５歳の子どもの属する世帯　　１２，０００世帯

イ）６歳～１７歳の子どもの属する世帯　１２，０００世帯

②　子ども　１０歳～１７歳の子ども　　８，０００人

①のイ）のうち、子どもが１０歳以上の世帯については子どもも調査対象とした。

３　質問項目

① 保護者用

（ア）　子どもの年齢が０歳～５歳の世帯

フェイス項目１１項目、設問項目２２問と付問、自由記述項目１項目

（イ）　子どもの年齢が６歳～１７歳の世帯

フェイス項目１１項目、設問項目１９問と付問、自由記述項目１項目

② 子ども用 フェイス項目６項目、設問項目３６問と付問、自由記述項目１項目

４　調査方法

①　調査方法

郵送で配布し、郵送で回収した。

②　調査期間

平成２５年１０月１０日～１０月３１日

③　回収状況

発送数 24,000 に対して、10,075 の有効回答が寄せられ、全体の回収率は 31.5％である。

また、就学前保護者の回収率は 35.9％、就学後保護者の回収率は 30.1％、子どもの回収率は 26.7％であった。

区分	発送数	回収数	回収率（％）
就学前保護者	12,000	4,311	35.9
就学後保護者	12,000	3,616	30.1
子ども	8,000	2,148	26.9
合計	32,000	10,075	31.5

分析にあたって

1. 時系列比較の留意点

平成２０年に実施した「子ども・子育て家庭意識・生活実態調査」と比較可能な回答については時系列分析を行っているが、回収率の年齢分布が大きく異なるため、全年齢での比較については留意する必要がある。

（学年別の回収率）

２０年調査　小学生２３．２％　中学生３２．８％　高校生４１．１％

本　調　査　小学生２９．２％　中学生３９．３％　高校生３０．６％

2. 分析の種類を区分している記号

◇・・・「基本分析」（単純集計、属性区分別集計）

★・・・「5 年前との比較」（平成 20 年度調査との比較）

◎・・・「クロス」（項目間のクロス）

○・・・「指標化によるクロス」（回答を指標化してクロス）

●・・・「保護者設問とのクロス」（就学後保護者調査票とのクロス）

3. 指標化による分析

分析するにあたり、以下の指標を設定している。

＜自己肯定指標＞

「自分のことが好きか」「自分に自信があるか」「いろいろなことに挑戦できるか」の３つの質問の回答を肯定的な回答の順（例：好き→どちらかといえば好き→どちらかといえば嫌い→嫌い）に４点から１点を配点し、合計したもの。最高が１２点、最低が３点となり、点数が高いほど自己肯定感が強い。

＜生活満足度指標＞

「今の生活に満足しているか」「今の生活が楽しいと思うか」の２つの質問の回答を肯定的な回答の順（例：満足→どちらかといえば満足→どちらかといえば不満足→不満足）に４点から１点を配点し、合計したもの。最高が８点、最低が２点となり、点数が高いほど生活満足度が高い。

＜勉強意識指標＞

「勉強が好きか」「勉強は大切だと思うか」「勉強は理解できるか」「勉強は将来役に立つと思うか」の４つの質問の回答を肯定的な回答の順（例：好き→どちらかといえば好き→どちらかといえば嫌い→嫌い）に４点から１点を配点し、合計したもの。最高が１６点、最低が４点となり、点数が高いほど勉強に対する意識が高い。

（次頁へ続く）

（前頁より続く）

＜行動指標＞

「次のことができるか」という１２の質問（例「朝、自分でできる」）をできる順（だいたいできる→たまにできる→ほとんどできない）に３点から１点を配点し、合計したもの。最高が３６点、最低が１２点となり、点数が高い方が自分でできることが多い。

＜規範意識指標＞

社会規範や社会的スキルに関する質問（例：まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する）に肯定的な回答をした数を合計したもの。最高が８点、最低が１点となり、点数が高いほど規範意識が高い。

＜親子関係指標＞

母親、父親との関係を「よく言われる」＝３、「たまに言われる」＝２、「ほとんど言われない」＝１として、管理的な関係（～しなさいと言われるなど）のポイントから支援的な関係（ほめてくれるなど）のポイントを引いたもの。点数が小さいほど支援的な関係が強い。

※両親が支援的とは、親子関係指標が４点以下（最も支援的な区分）に該当した子。

※両親と信頼関係があるとは、親との信頼関係に関する質問（例：お母さんはわたしの好きなことをよくわかっている）に肯定的な回答の順（そう思う→だいたいそう思う→あまりそう思わない→思わない）に４点から１点を配点し、合計した数値が父親は１６点以上、母親は１８点以上（最も信頼関係のある区分）に該当した子。

第１章　回答者属性（フェース項目）の概要

性別　F1

■あなたの性別をお答えください。

◇　男性が 47.2%、女性が 51.6%である。

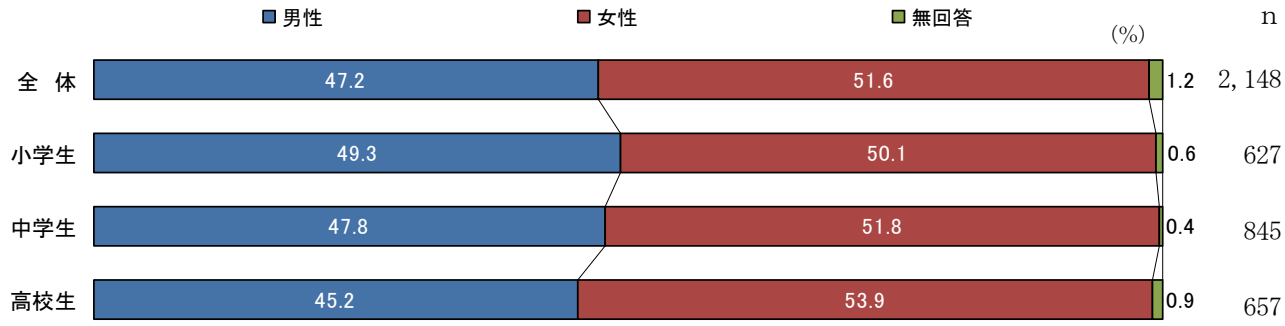


図　　回答者の性別

学年　F2

■あなたの学年をお答えください。

◇　小学生が 29.2%、中学生が 39.3%、高校生が 30.6%である。

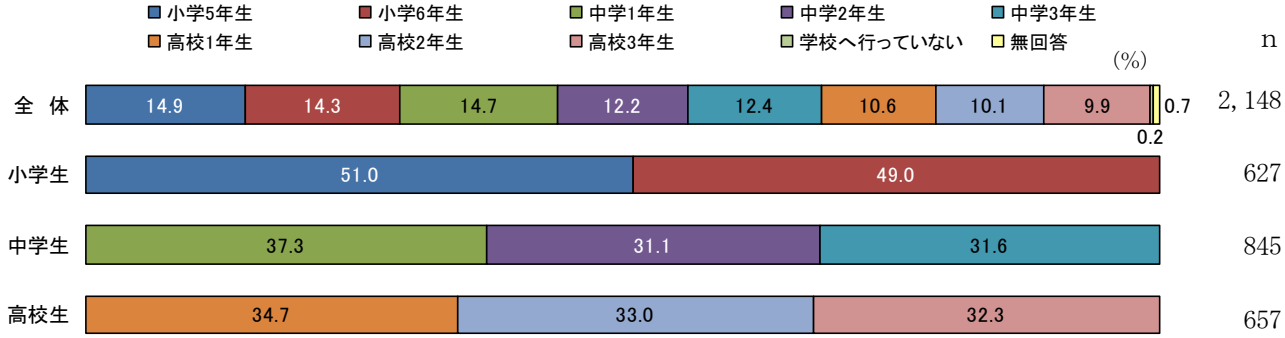


図　　回答者の学年

自分の成績　F3

■あなたは自分の成績についてどう思いますか。

◇　全体では、「普通」が 37.8%と最も多く、次いで「あまりよくない方だ」が 16.9%、「まあいい方だ」が 16.8%、「いい方だ」が 14.0%、「よくない方だ」が 13.2%となっている。

◇　中学生の自分の成績がいいと感じている割合（いい方だ＋まあいい方だ）が一番低い。

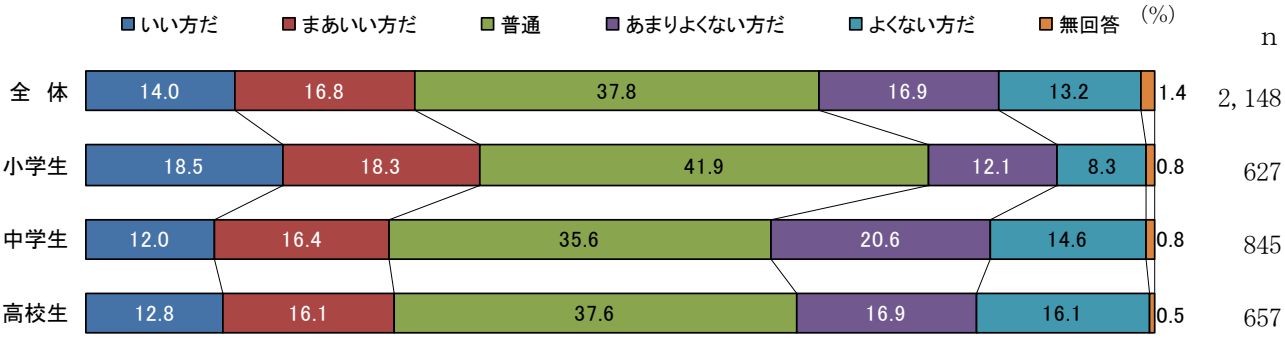


図　　回答者の成績評価

小学校低学年の頃で平日の授業後に過ごした場所　F4

■あなたは小学校の１年生から３年生の頃、平日の授業後をどこで過ごしていましたか。

◇　全体では、「自分の家」が 69.5%と最も多く、次いで「習い事」が 30.0%、「友達の家」が 28.7%、「公園、道路」が 25.6%、「トワイライトスクール」が 25.3%となっている。

◇　小学生の場合、「自分の家」「トワイライトスクール」「習い事」「公園、道路」「友達の家」の割合が高く、中学生、高校生は「学校で行われるクラブ活動」の割合が小学生より高い。

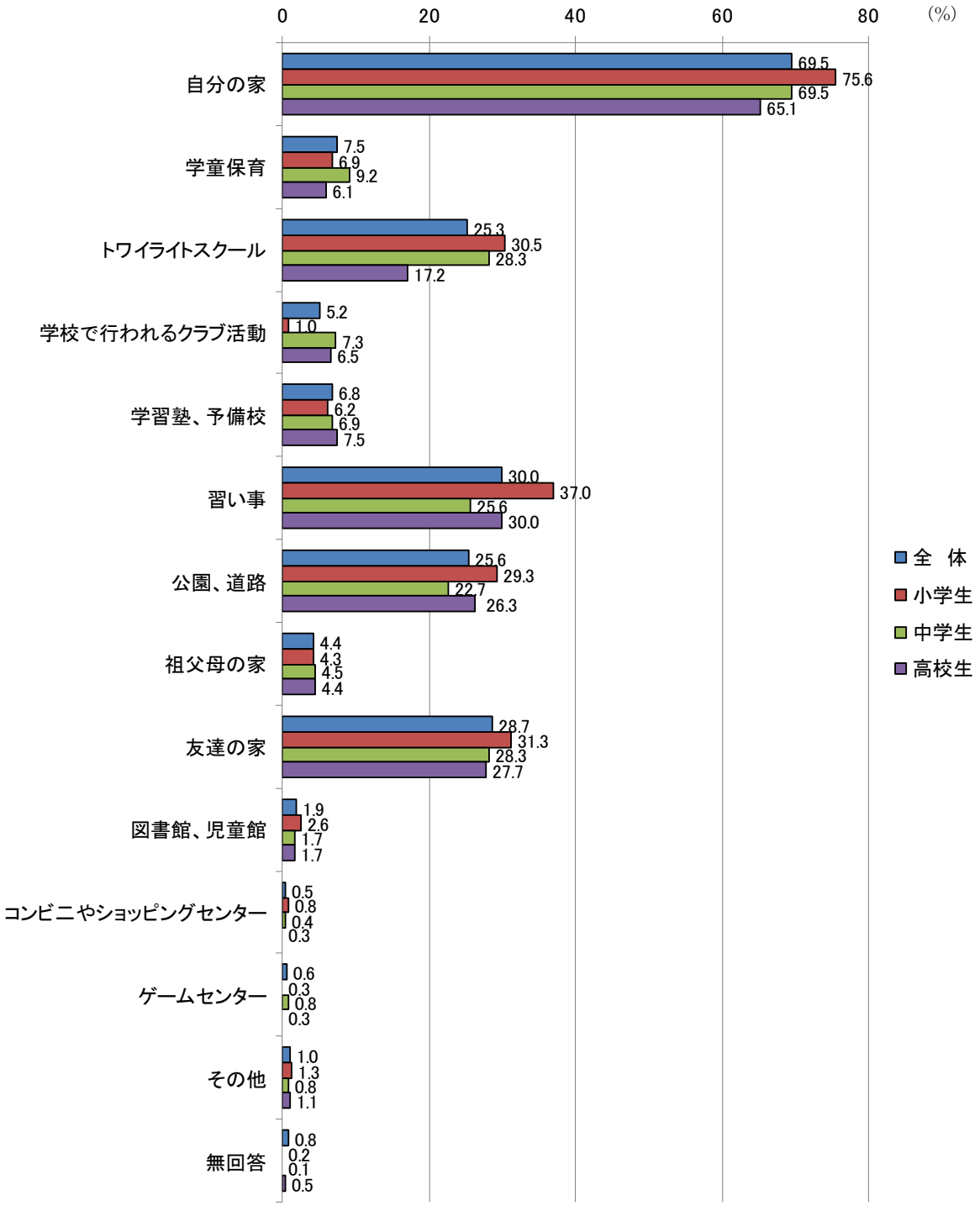


図　　小学校低学年の頃に過ごした場所（平日）

回答数　全体＝4,463　小学生＝1,424　中学生＝1,741　高校生＝1,279

進学の最終目標　F5

■あなたの進学の最終目標はどこですか。

◇ 全体では、「大学まで」が 48.6%と最も多く、次いで「専門学校まで」が 7.3%、「高校（職業科）まで」が 6.2%、「大学院まで」が 6.1%となっている。また、「まだ決めていない」が 17.1%である。

◇ 「大学まで」と回答した人は高校生で最も高い。

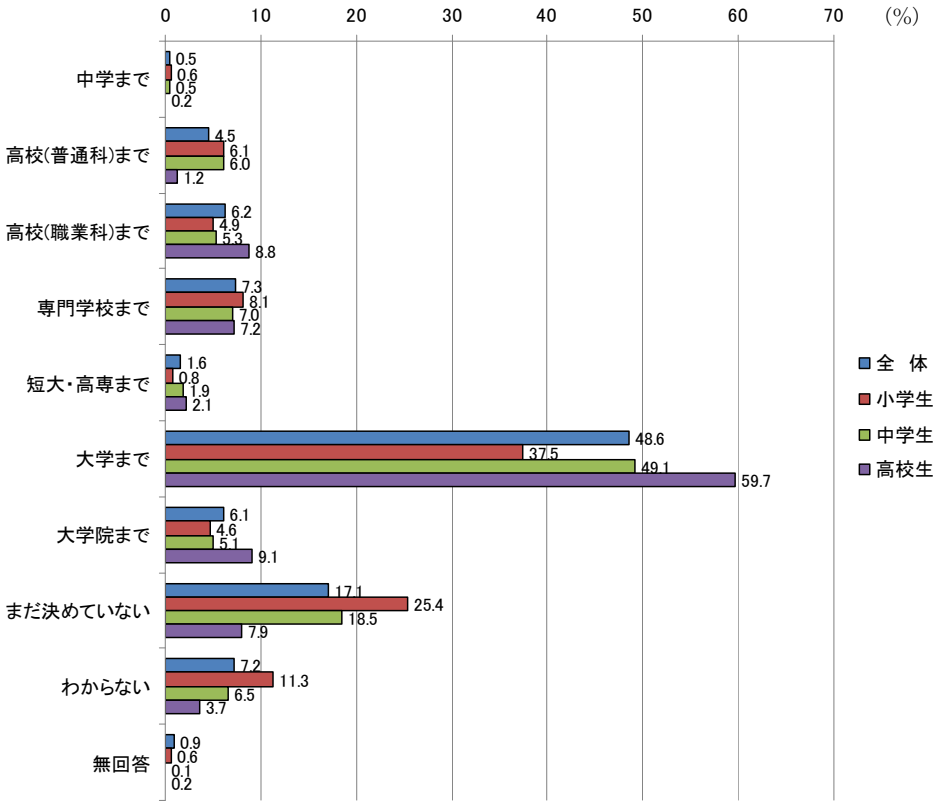


図　　進学の最終目標

回答数　全体＝2,148　小学生＝627　中学生＝845　高校生＝657

『最終進学目標（子ども F5）と親が希望する子どもの進路（就学後 問１９）』

● 親が高校卒業までの進学を考えている子どものうち約 18.2%は高校卒業以上の進学（専門学校～大学院）を希望している。

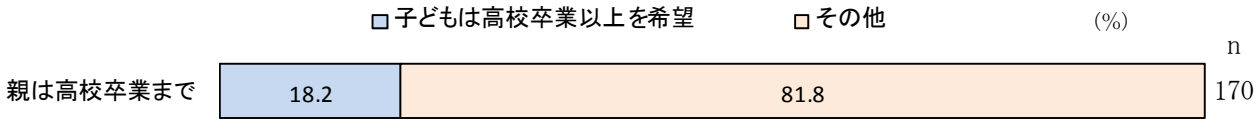


図　　親が希望する子どもの進路と子どもの意向

高校生のアルバイト　F6

■あなたはアルバイトをしていますか。（高校生のみ）

◇　「アルバイトをしたことがない」が 81.1%と最も多く、次いで「現在、学校の休みの日にアルバイトをしている」が 7.8%、「過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない」が 6.5%となっている。

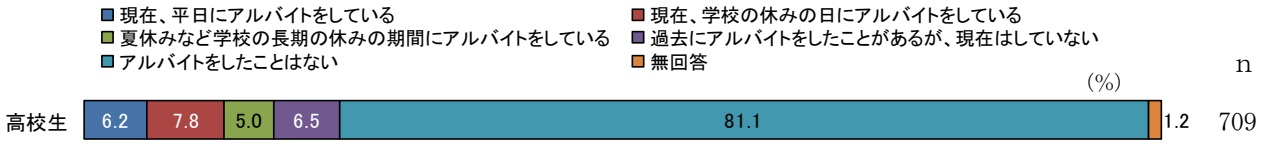


図　　高校生のアルバイト経験

第２章　質問（子ども）

～日常の生活や過ごし方に関する質問～

平日放課後の過ごし方について　【問１】

■あなたは平日の授業後、主にどこで過ごしますか。（３つまで）

◇ 全体の 83.3%は「自分の家」で過ごしている。また、「学校で行われる部活動」が 50.8%、「学習塾・予備校」が 28.2%、「習い事」が 21.0%、「友達の家」が 11.2%となっている。

◇ 小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「習い事」「公園、道路」「友達の家」で過ごす割合が高く、中学生は「学習塾、予備校」、高校生は「コンビニやショッピングセンター」「ファストフード店やファミリーレストラン」が高くなっている。

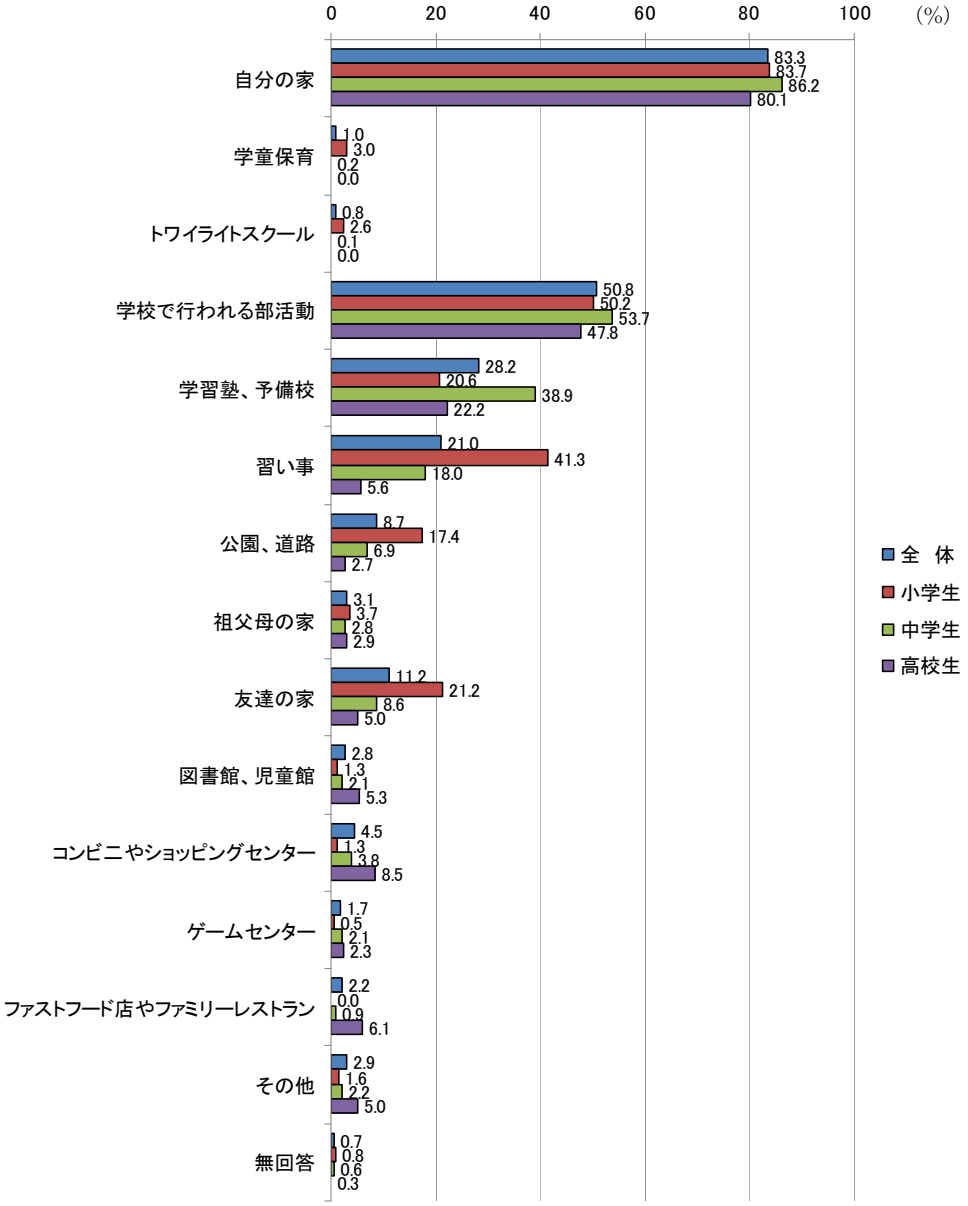


図　　平日の放課後の過ごし方

回答数　全体＝4,789　小学生＝1,562　中学生＝1,921　高校生＝1,274

【5 年前からの変化】

・全体では、自分の家で過ごす子が約 6%増え、友達の家で過ごす子が約 6%減った。
・自分の家で過ごす割合の増加量は小学生が 8.2%と最も多く、友達の家で過ごす割合の減少量は中学生が 9.8%と最も多い。

	自分の家で過ごす			友達の家で過ごす		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	75.5 →	83.7	8.2↑	30.3 →	21.2	9.1↓
中学生	81.4 →	86.2	4.8↑	18.4 →	8.6	9.8↓
高校生	75.6 →	80.1	4.5↑	8.4 →	5.0	3.4↓

<u>『平日の放課後を過ごす場所（子ども 問１）と学年（子ども F2)』</u>

★ 「学年」が小さい子の方が友だちの家で過ごす子の割合が高く小学生、中学生、高校生のいずれの区分でも 5 年前より低下している。

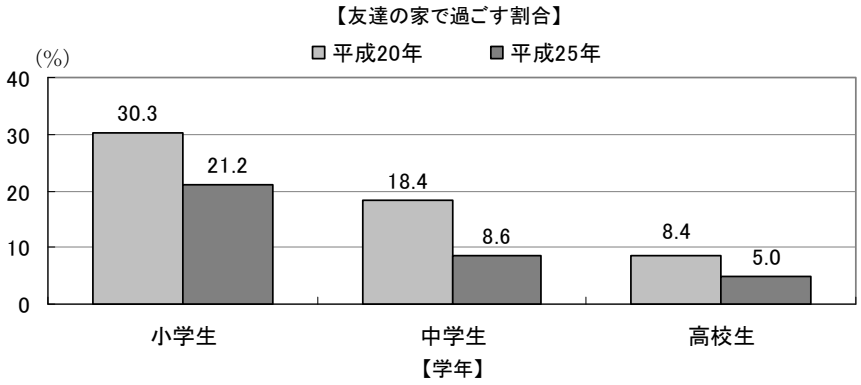


図　　学年別の友達の家で過ごす割合

<u>『平日の放課後を過ごす場所（子ども 問１）と自己肯定感（子ども 問２７)』</u>

○ 「自己肯定感」の高い子は、「部活」「習い事」「友達の家」で過ごす割合が相対的に高く、低い子は、「自分の家」「商業施設」で過ごす割合が相対的に高い。

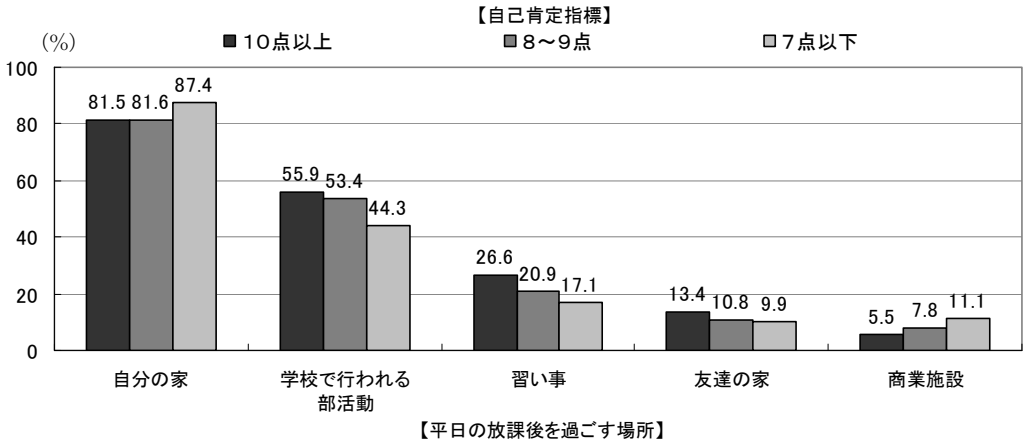


図　　自己肯定感と放課後を過ごす場所

学校が休みの時の過ごし方について　　【問２】

■学校が休みの時は主にどのように過ごしていますか。（２つまで）

◇　「家族と一緒に過ごす」が 61.5%と最も多く、次いで「友達と遊ぶ」が 45.7%、「学校で行われる部活動」が 23.7%となっている。また、「一人で過ごす」が 15.8%となっている。

◇　「学習塾・予備校」は 11.5%であり、平日の 28.2%より低く、「習い事」は 11.0%であり、平日の 21.0%の約半分である。

◇　小学生は他の年齢に比べて、「家族と一緒に過ごす」「習い事」の割合が高く、中学生は「学校で行われる部活動」、高校生は「一人で過ごす」割合が高い。

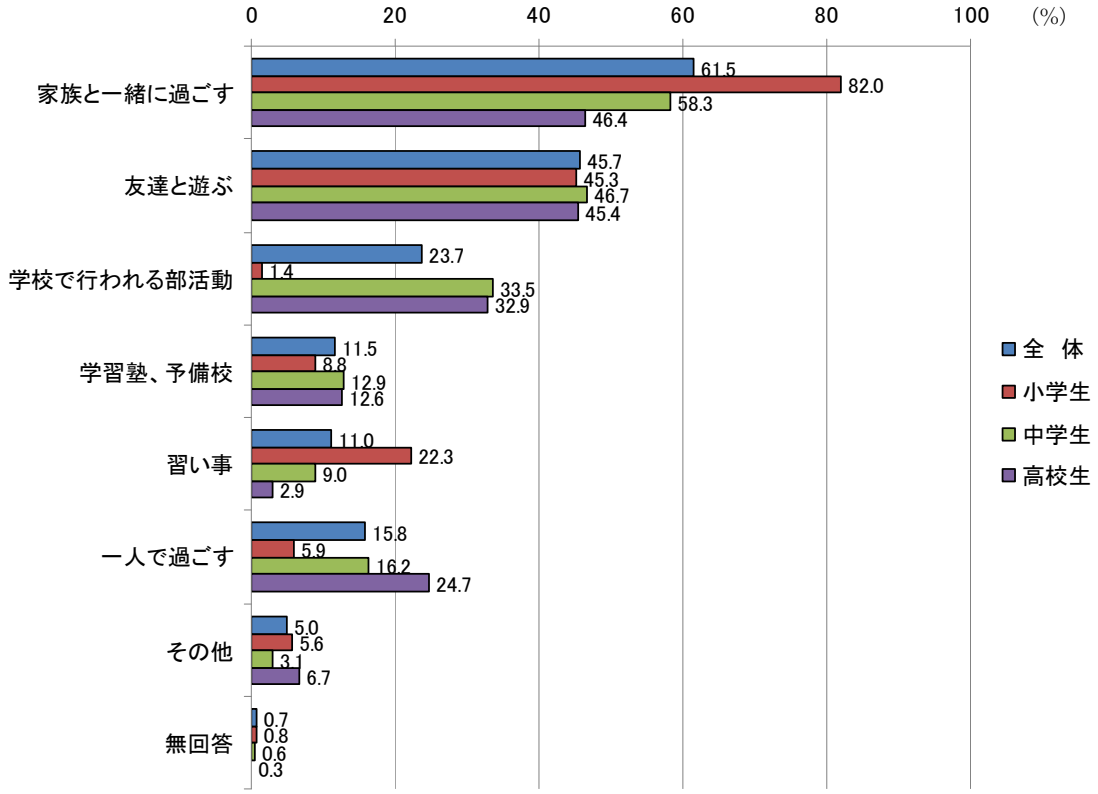


図　　学校が休みの時の過ごし方

回答数　全体＝3,760　小学生＝1,079　中学生＝1,524　高校生＝1,129

【5 年前からの変化】

・全体では、家族と過ごす子が約 10%増え、一人で過ごす子が約 4%減った。
・家族と過ごす割合の増加量は高校生が 10.6%と最も多い。

	家族と一緒に過ごす			一人で過ごす		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	82.6 →	82.0	0.6↓	7.0 →	5.9	1.1↓
中学生	51.8 →	58.3	6.5↑	18.6 →	16.2	2.4↓
高校生	35.8 →	46.4	10.6↑	28.2 →	24.7	3.5↓

『休みの過ごし方（子ども 問２）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が「家族と過ごす」割合や「塾や予備校で過ごす」割合が高い。

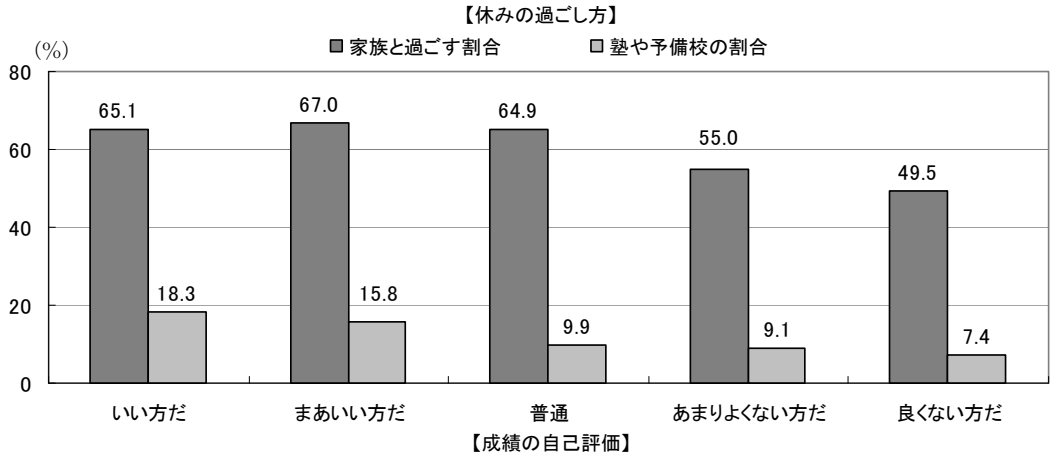


図　　成績の自己評価別の休みの過ごし方

『休みの過ごし方（子ども 問２）と自己肯定感（子ども 問２７)』

○　「自己肯定感」の高い子は「家族」「習い事」の割合が相対的に高く、低い子は「一人で過ごす」割合が相対的に高い。

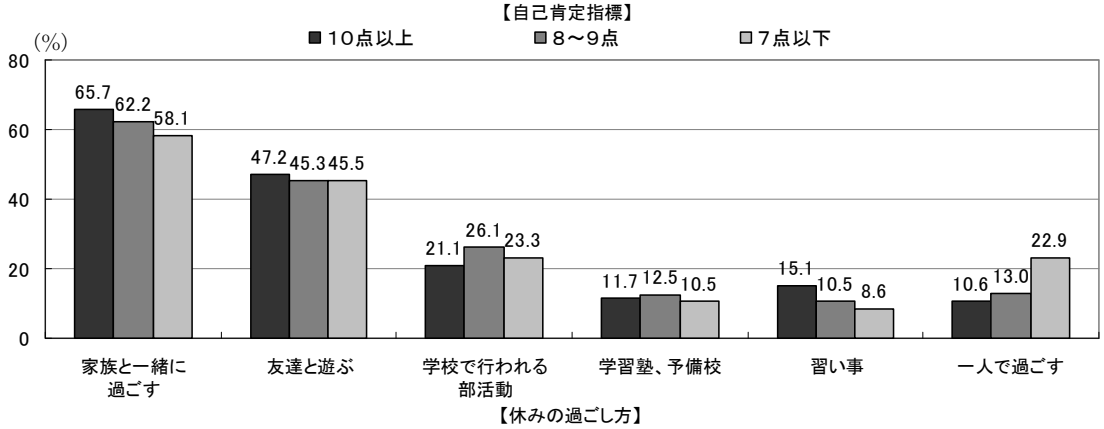


図　　自己肯定感と休みの過ごし方

平日の授業以外の勉強時間について　　【問３】

■あなたは平日、学校の授業のほかにどのくらい勉強をしますか。（１つ）

◇　「1 時間～2 時間」が 25.7%と最も多く、次いで「30 分～1 時間」が 24.7%、「30 分以内」が 19.8%となっている。また、「2 時間以上」（わからないは除く）は合わせて 26.5%である。

◇　「2 時間以上」（わからないは除く）は小学生が 19.9%、中学生が 30.1%、高校生が 28.4%となっている。

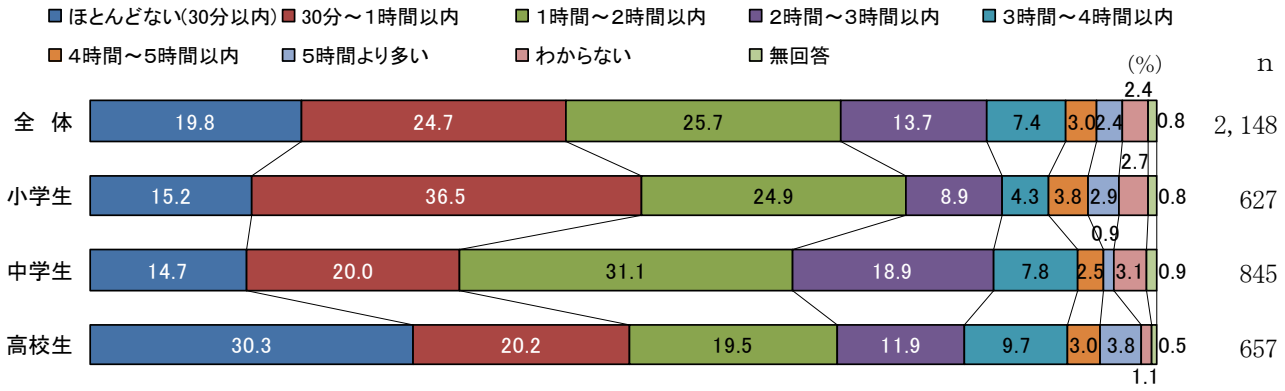


図　　普段の勉強時間

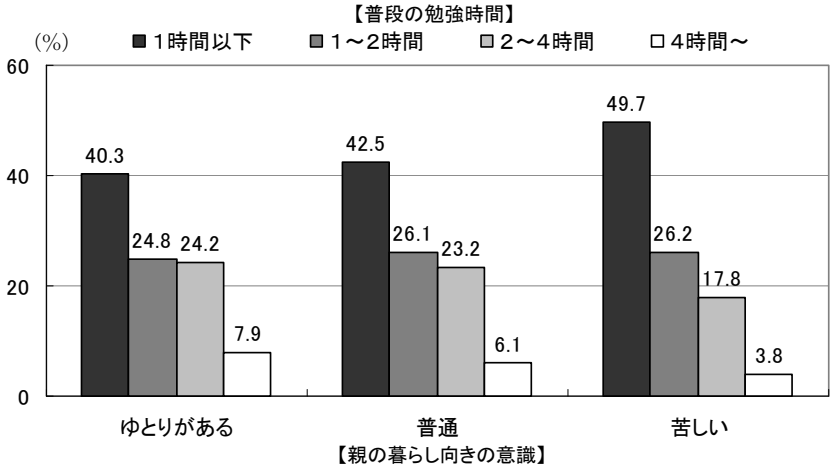
【5 年前からの変化】

・全体では、勉強時間が 2 時間以内の子が約 4%増えた。
・2 時間以内の割合の増加量は中学生が 7.7%と最も多い。

	2 時間以内		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	74.3	→ 76.6	2.3↑
中学生	58.1	→ 65.8	7.7↑
高校生	70.4	→ 70.0	0.4↓

『普段の勉強時間（子ども 問３）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「生活にゆとりがある」と回答した子の方が２時間以上勉強する割合が高い。



※親の暮らし向きの意識：ゆとりがある＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、苦しい＝やや苦しい＋苦しい

図　　親の暮らし向きの意識と普段の勉強時間

『普段の勉強時間（子ども 問３）とインターネットの使用時間（子ども 問１２）』

◎　「インターネットの使用時間」が長い子の方が勉強時間が短い。

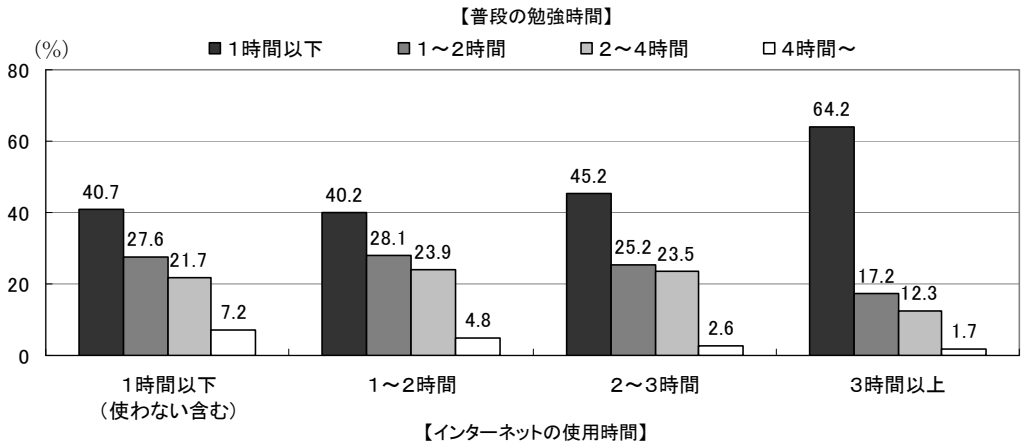


図　　インターネットの使用時間と普段の勉強時間

『普段の勉強時間（子ども 問３）と自己肯定感（子ども 問２７）』

○　「自己肯定感」が高い子の方が勉強時間は長い。

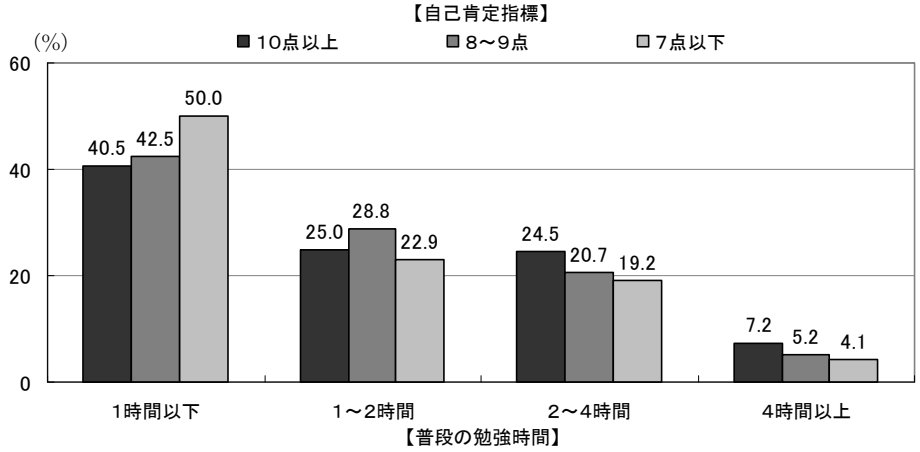


図　　自己肯定感と普段の勉強時間

平日の食事について　　【問４】

■平日は主にだれと食事をしていますか。（１つ）

◇ 朝食、夕食ともに「家族の誰かと」が最も多く 47%前後を占め、夕食は朝食より「家族皆で」の割合が約 21%高い。また、朝食を食べない子が 3.0%である。

◇ 高校生は朝食、夕食ともに「一人で食べる」割合が他の年齢より高い。

ア．朝食

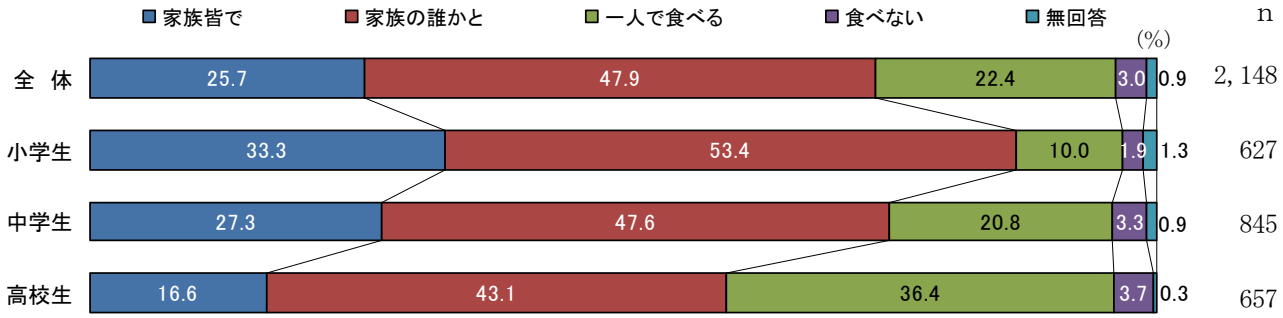


図　　朝食を食べる相手

イ．夕食

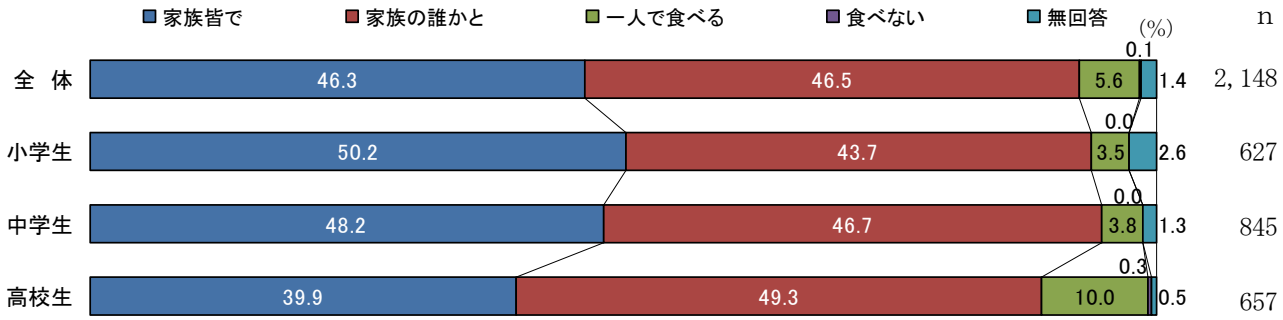


図　　夕食を食べる相手

【5 年前からの変化】

・全体では、朝食を家族みんなで食べる子が約 5%増えた。

『平日の食事（子ども 問４）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が家族みんなで朝食を食べる割合が高い。
　　「成績の自己評価」が低い子の方がひとりで朝食を食べる割合が高い。

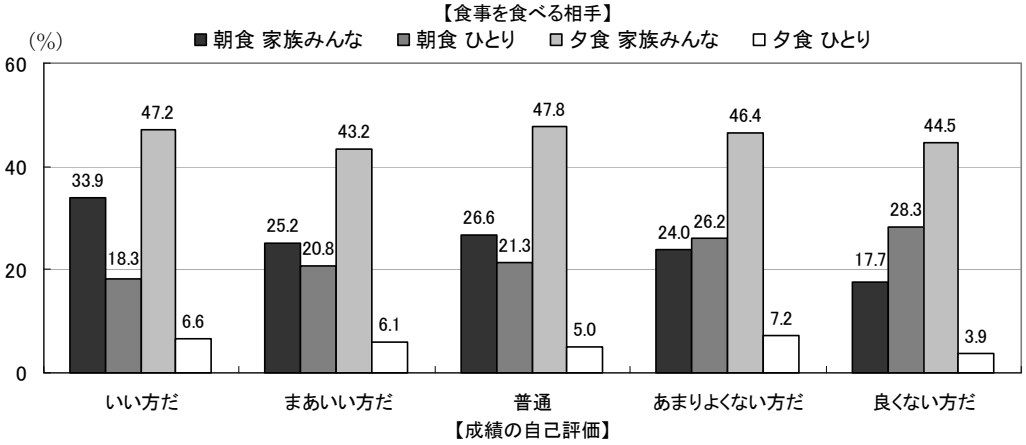
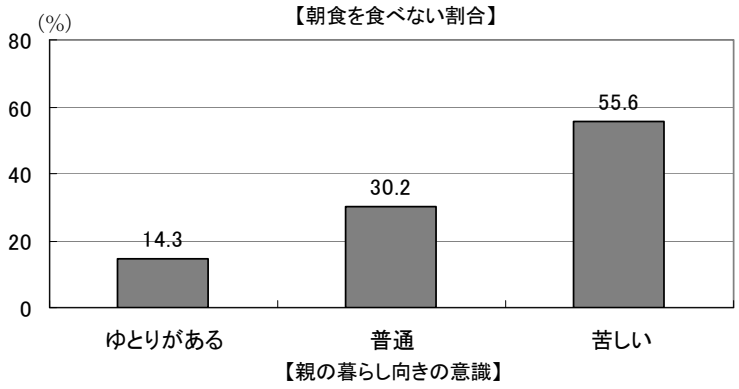


図　　成績の自己評価別の食事を食べる相手

『平日の食事（子ども 問４）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２)』

● 親が「生活が苦しい」と回答した子ほど朝食を食べない割合が高い。



※親の暮らし向きの意識：ゆとりがある＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、苦しい＝やや苦しい＋苦しい

図　　親の暮らし向きの意識と朝食を食べない割合

『平日の食事（子ども 問４）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 家族皆で食事をする子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

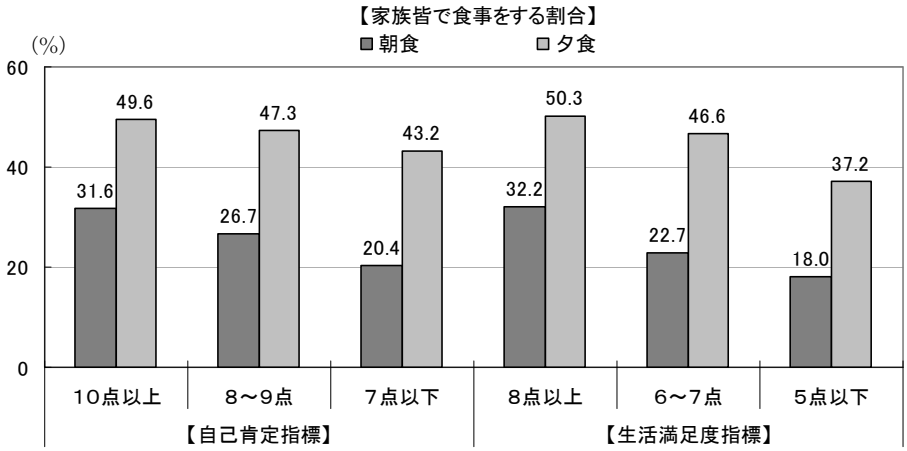


図　　自己肯定感・生活満足度と家族皆で食事をする割合

家の手伝いについて　　【問５】

■あなたは家の手伝いをしますか。（１つ）

◇ 全体では、「ときどきする」が 47.9%で最も多く、次いで「あまりしない」が 26.8%、「よくする」が 16.3%となっている。また、「しない」が 8.0%である。

◇ 小学生のほうが手伝いをする割合は高く、中学生、高校生になるにつれてその割合が低下する。

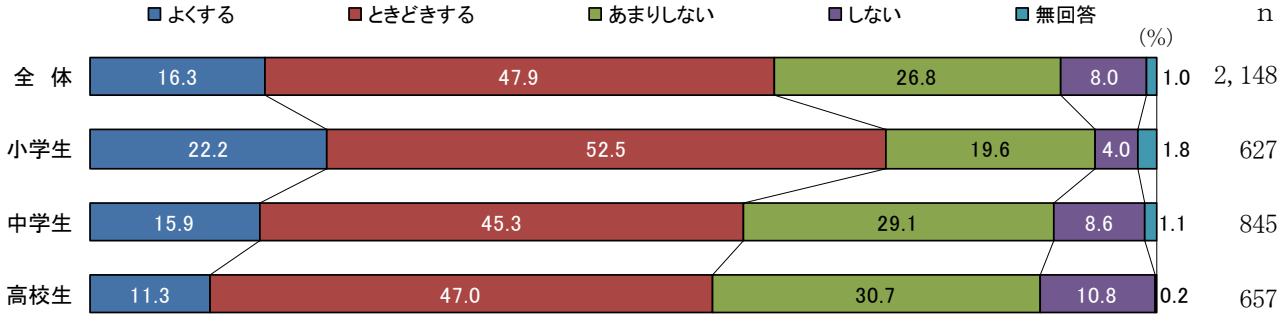


図　　家の手伝いをする割合

【5 年前からの変化】

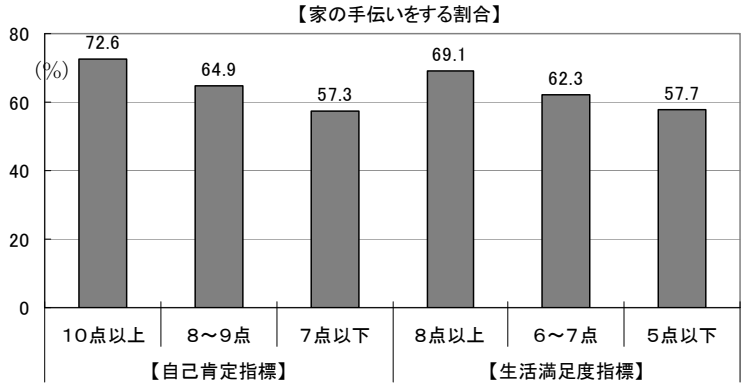
・全体では、手伝いをする子が、約 7%増えた。
・手伝いをする割合の増加量は高校生が 8.9%と最も多い。

	よくする＋ときどきする		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	73.7 →	74.7	1.0↑
中学生	57.1 →	61.2	4.1↑
高校生	49.4 →	58.3	8.9↑

『家の手伝い（子ども 問４）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○　手伝いをする子は「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

○



※家の手伝いをする：よくする＋ときどきする

図　　自己肯定感・生活満足度と手伝いをする割合

平日の起床時間と就寝時間について　　【問６】

■平日の起きる時間と寝る時間はだいたい何時ですか。（１つ）

（１）起きる時間

◇　全体では「午前６時台」に起きる割合が 47.1%と最も高く、「午前７時台」が 43.8%である。

◇　高校生は小学生に比べて早く起きる割合が高く、61.7%が「午前６時台」までに起きている。

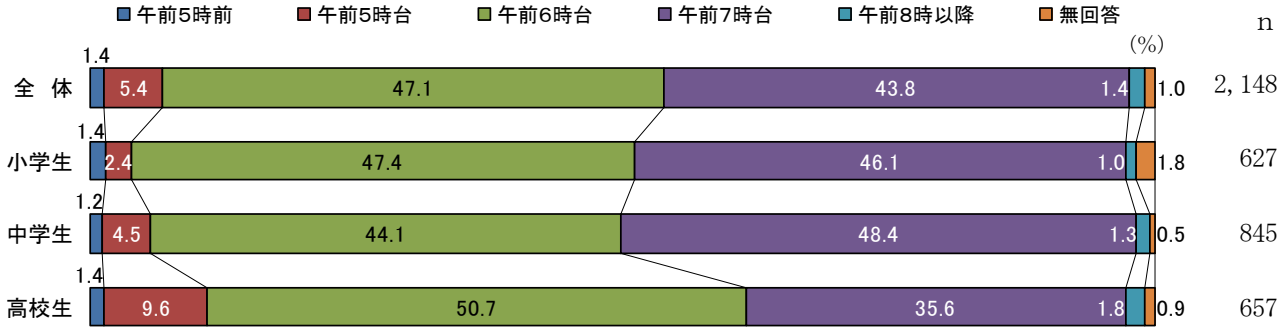


図　　平日の起床時間

（２）寝る時間

◇　全体では「午後 11 時台」に寝る割合が 32.2%と最も高く、「午後 10 時台」が 27.7%となっている。

◇　小学生は「午後 10 時台」の割合が高いが、中学生、高校生になると「午後 11 時台」「深夜 12 時台」の割合が高くなり、高校生では 56.9%の人が深夜 12 時以降に寝ている。

◇

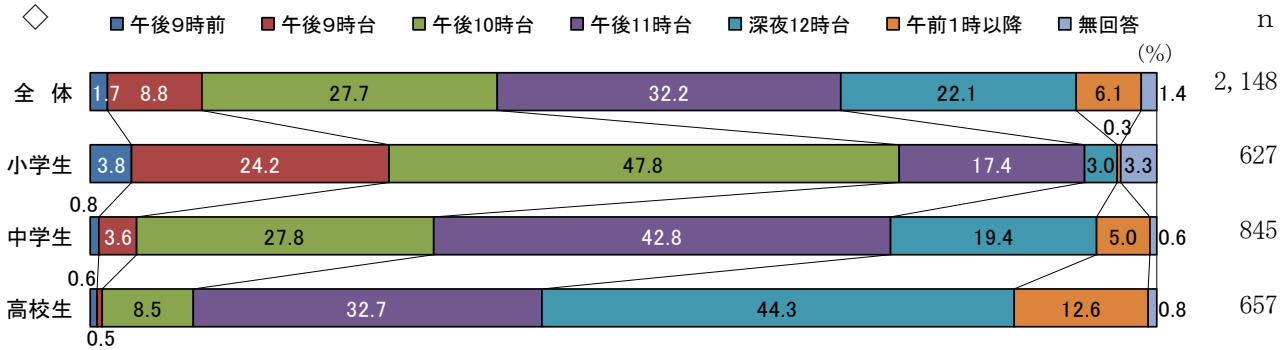


図　　平日の就寝時間

【5 年前からの変化】

・全体では、午前 7 時前に起きる割合が約 6%増え、午後 11 時以降に寝る割合が約 12%減った。（早寝早起きの子どもが増えた）

・午前 7 時前に起床する割合の増加量も午後 11 時以降に就寝する割合の減少量も、小学生が最も多い。

	午前 7 時前に起床			午後 11 時以降に就寝		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	40.0 →	51.2	11.2↑	32.4 →	20.7	11.7↓
中学生	44.2 →	49.8	5.6↑	74.9 →	67.2	7.7↓
高校生	56.4 →	61.7	5.3↑	93.1 →	89.6	3.5↓

『就寝時間（子ども 問６）とインターネットの使用時間（子ども 問１２）』

◎ 「インターネットの使用時間」が長い子の方が就寝時間は遅い。

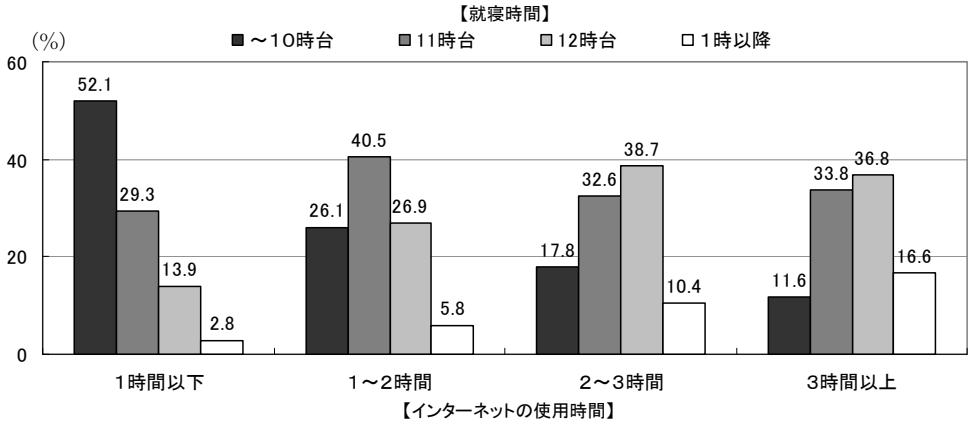


図　　インターネットの使用時間と就寝時間

『就寝時間（子ども 問６）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が低い子の方が就寝時間は遅い。

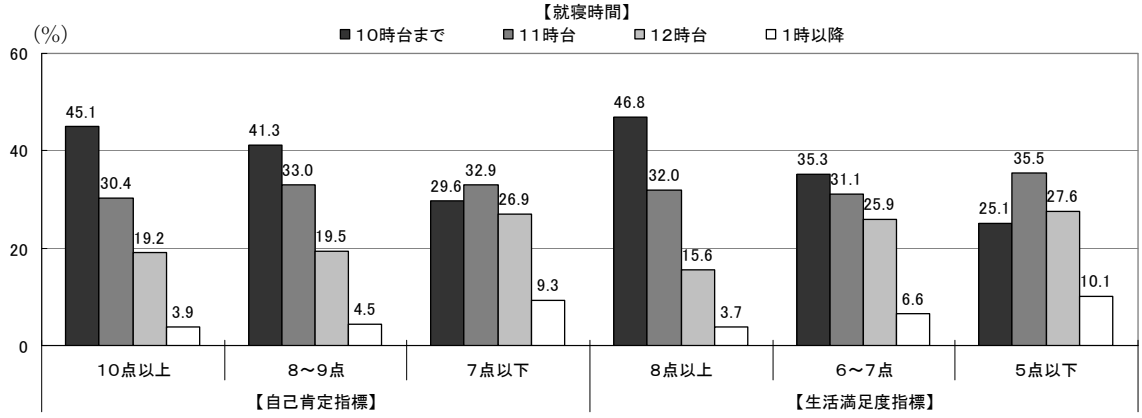


図　　自己肯定感・生活満足度と就寝時間

自分でできることについて　　【問７】

■あなたは次のことができますか。（１つ）

◇　「だいたいできる」の割合が高いのは、「友達と仲良くする」（87.2%）、「弱いものいじめをしない」（82.1%）、「学校への提出物を、期限までに出す」（82.0%）である。

◇　「だいたいできる」は、ほとんどの項目で高校生が高い割合を占めるが、「学校への提出物を、期限までに出す」「自分できちんと計画を立てて、おこづかいを使う」「先生の言うことをよく聞く」「友達と仲良くする」の項目は小学生が最も高い。

◇　「ほとんどできない」の割合が相対的に高いのは、「言われなくても、自分で計画を立てて勉強する」（26.5%）、「テレビの番組は見たいものを決め、だらだらと見ない」（20.5%）である。

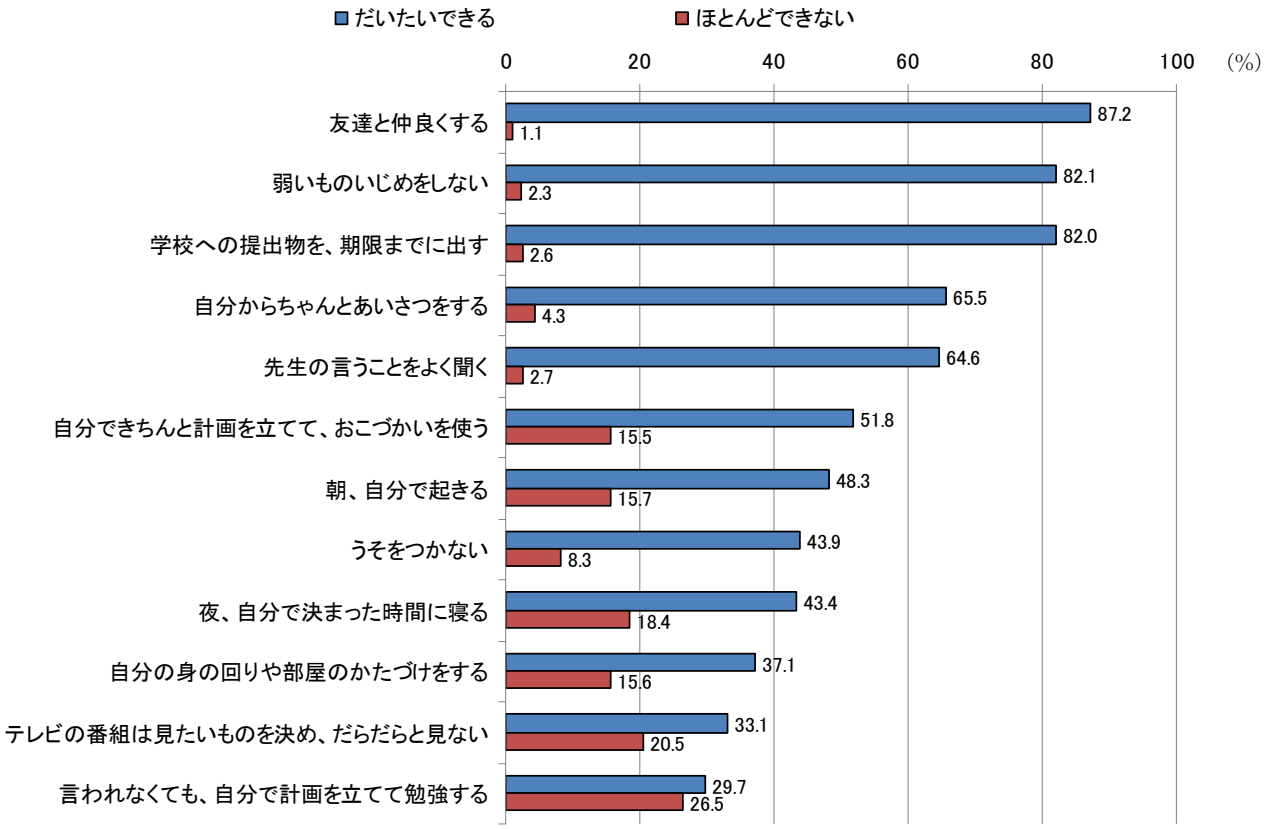


図　　自分でできること

回答数　全体＝2,148

ア．朝、自分で起きる

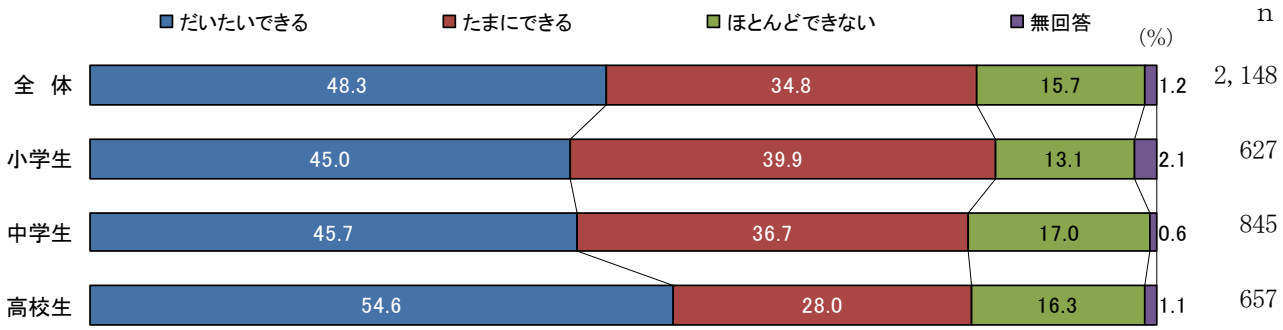


図　　朝、自分で起きる割合

イ．自分の身の回りや部屋のかたづけをする

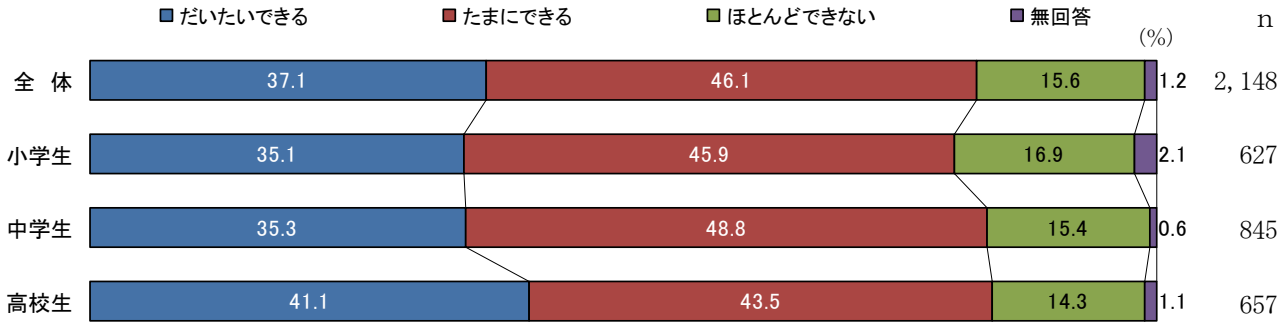


図　　自分の身の回りや部屋のかたづけをする割合

ウ．夜、自分で決まった時間に寝る

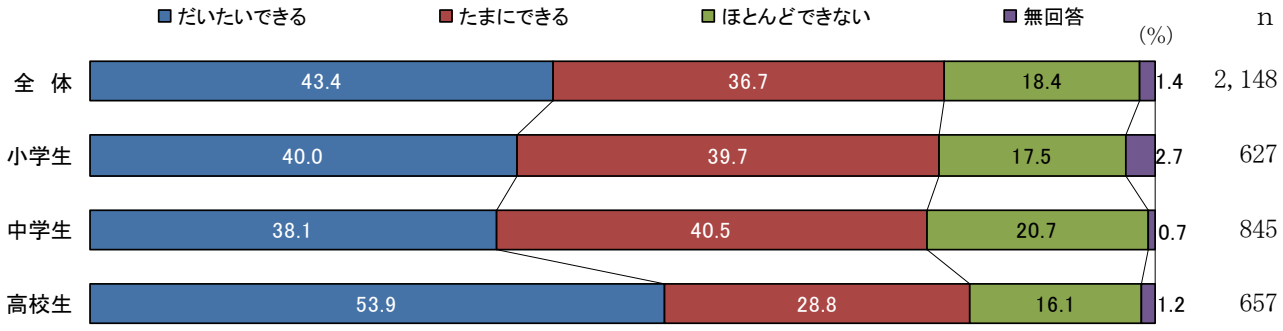


図　　夜、自分で決まった時間に寝る割合

エ．学校への提出物を、期限までに出す

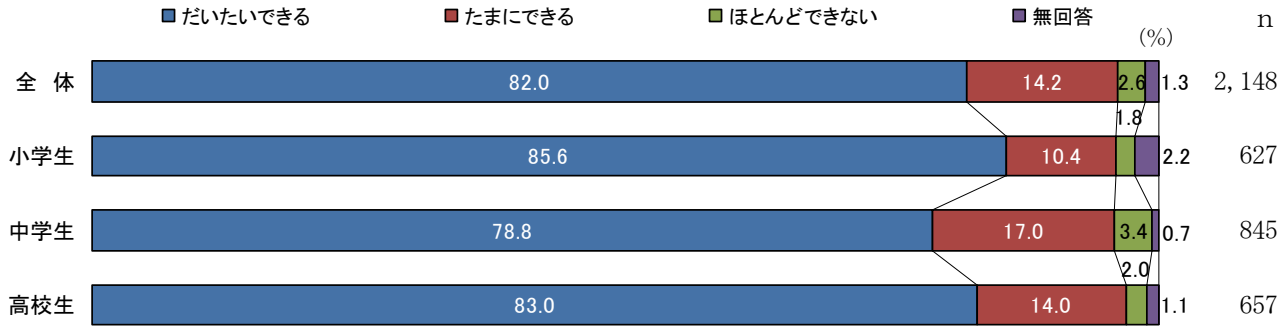


図　　学校への提出物を、期限までに出す割合

オ．テレビの番組は見たいものを決め、だらだらと見ない

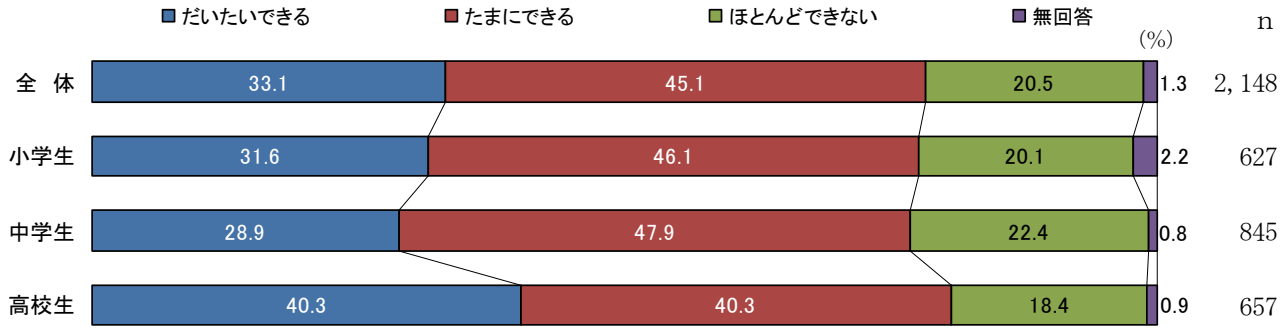


図　　テレビ番組は見たいものを決め、だらだらと見ない割合

カ．言われなくても、自分で計画を立てて勉強する

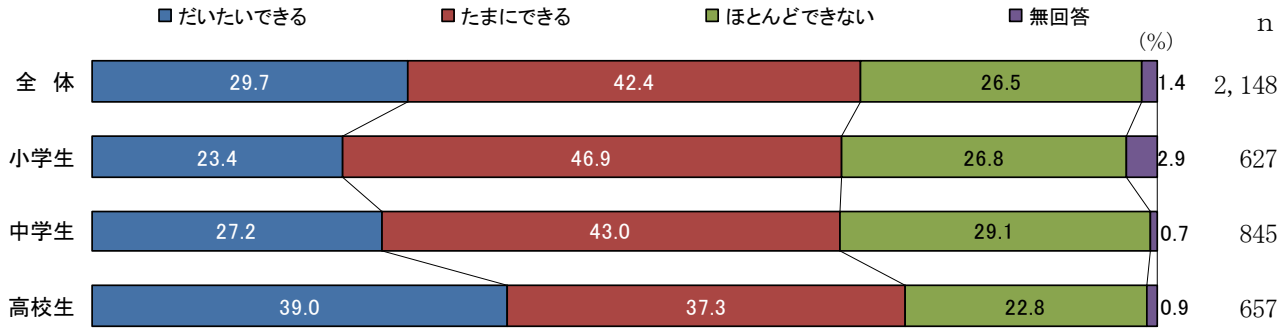


図　　言われなくても、自分で計画を立てて勉強する割合

キ．自分できちんと計画を立てて、おこづかいを使う

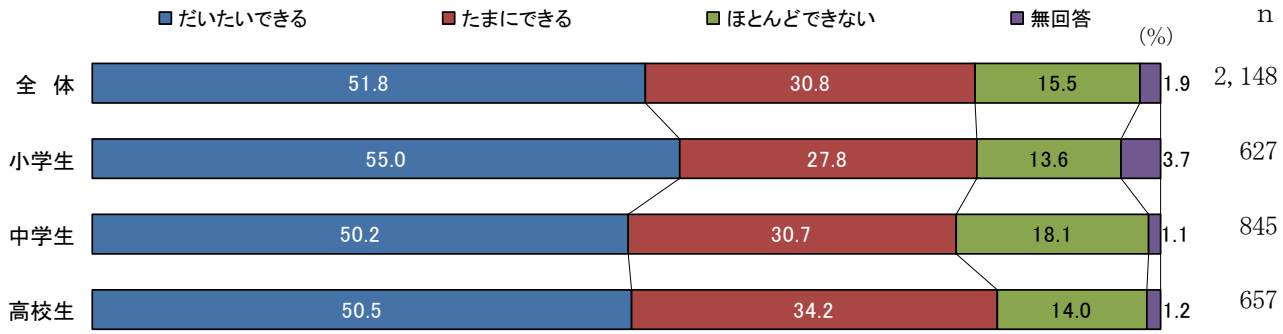


図　　自分できちんと計画を立てて、おこづかいを使う割合

ク．自分からちゃんとあいさつをする

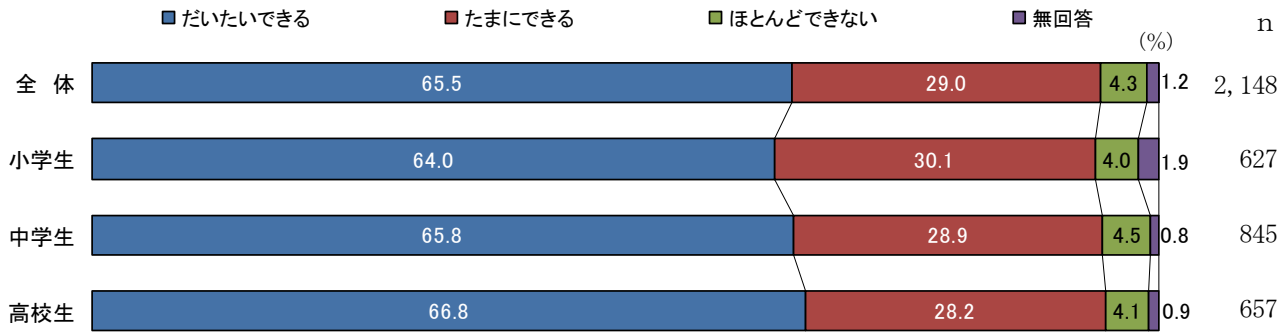


図　　自分からちゃんとあいさつをする割合

ケ．うそをつかない

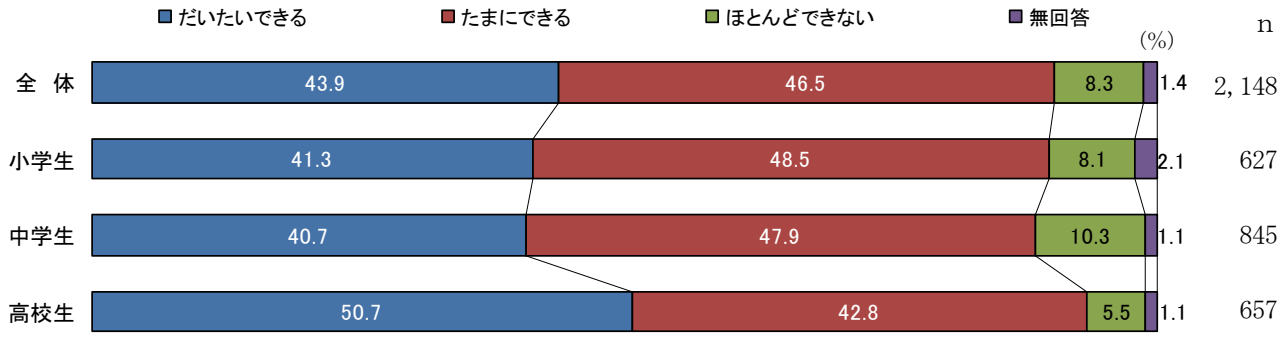


図　　うそをつかない割合

コ．先生の言うことをよく聞く

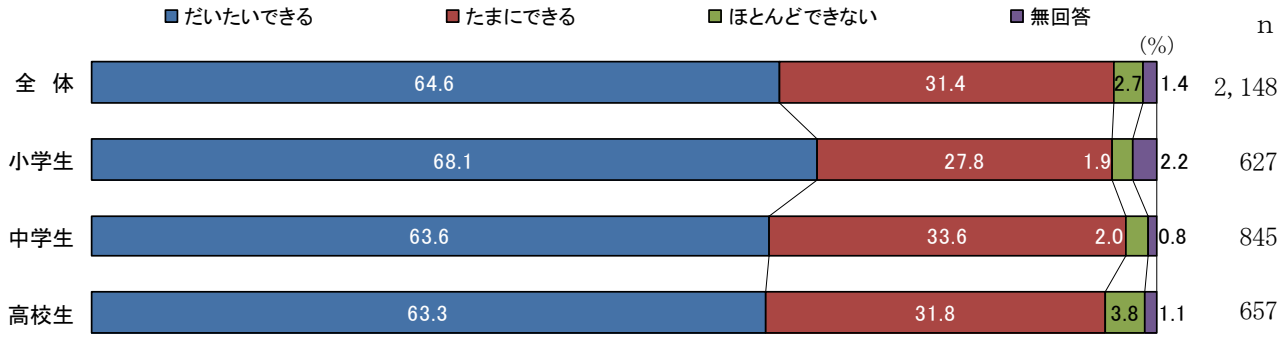


図　　先生の言うことをよく聞く割合

サ．友達と仲良くする

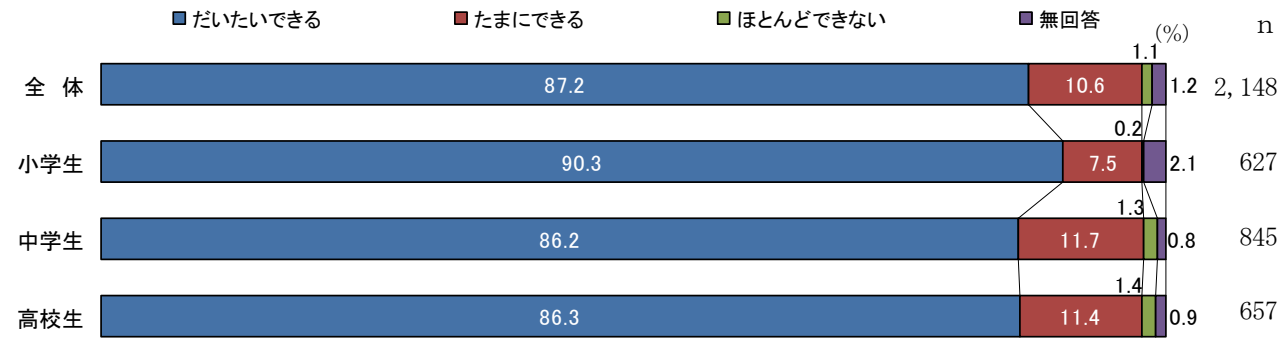


図　　友達と仲良くする割合

シ．弱いものいじめをしない

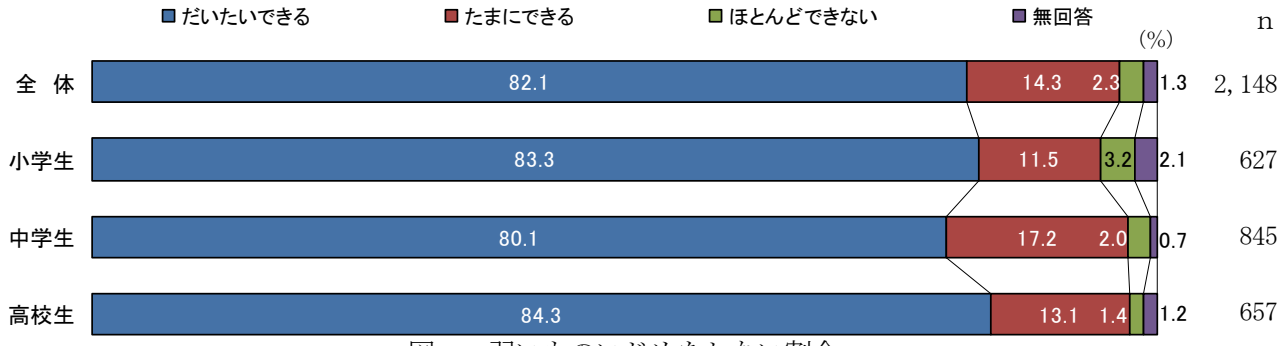


図　　弱いものいじめをしない割合

【5 年前からの変化】

・全体では、提出物を期限までに出せる子が約 8%、
計画的におこづかいを使える子が約 10%増えた。

『自分でできること（子ども 問７）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 「自分でできること」が多い子は「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

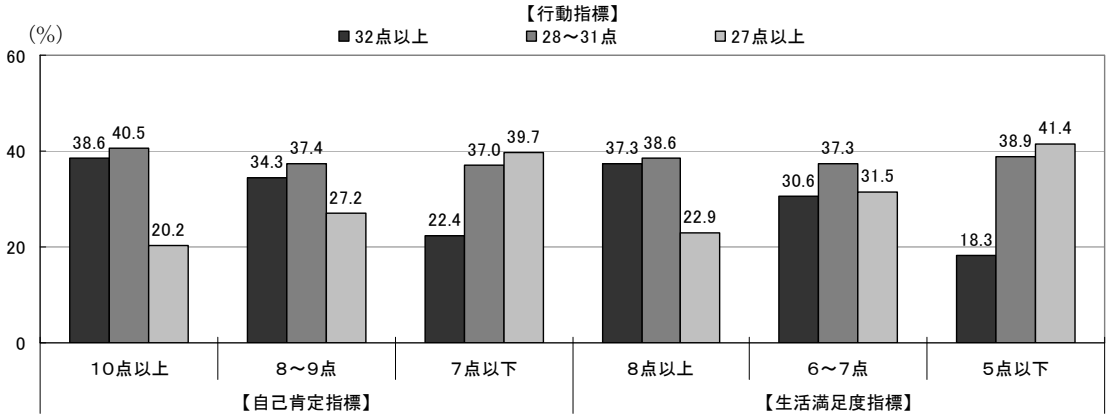
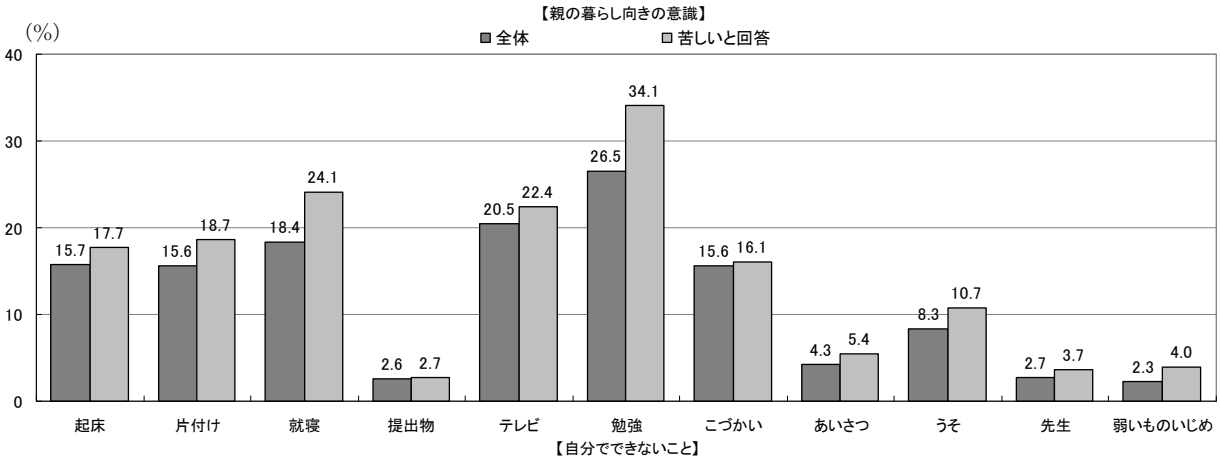


図　　自己肯定感・生活満足度と行動指標

『自分でできること（子ども 問７）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「生活が苦しい」と回答した子は「ほとんどできない」の割合が高い。



※「全体」とは、保護者の回答全体の割合のこと。
「苦しいと回答」とは、保護者が「苦しい」と回答し、子どもが「ほとんどできない」と回答した割合のこと。

図　　親の暮らし向きの意識とほとんどできないの割合

１ヶ月のおこづかいについて　　【問８】

■１ヶ月におこづかいをいくらもらっていますか。（１つ）

◇ 小学生の割合が高いのは、「1 円～999 円」（31.7%）、「決まっていない（必要に応じてもらう）」（23.3%）、「もらっていない」（21.5%）である。

◇ 中学生は「1,000 円～1,999 円」の割合が 29.5%で最も高く、次いで「2,000 円～2,999 円」が 15.7%である。

◇ 高校生になると「5,000 円～5,999 円」の割合が 26.5%と最も高く、「3,000 円～3,999 円」も 17.0%と高い割合を占める。

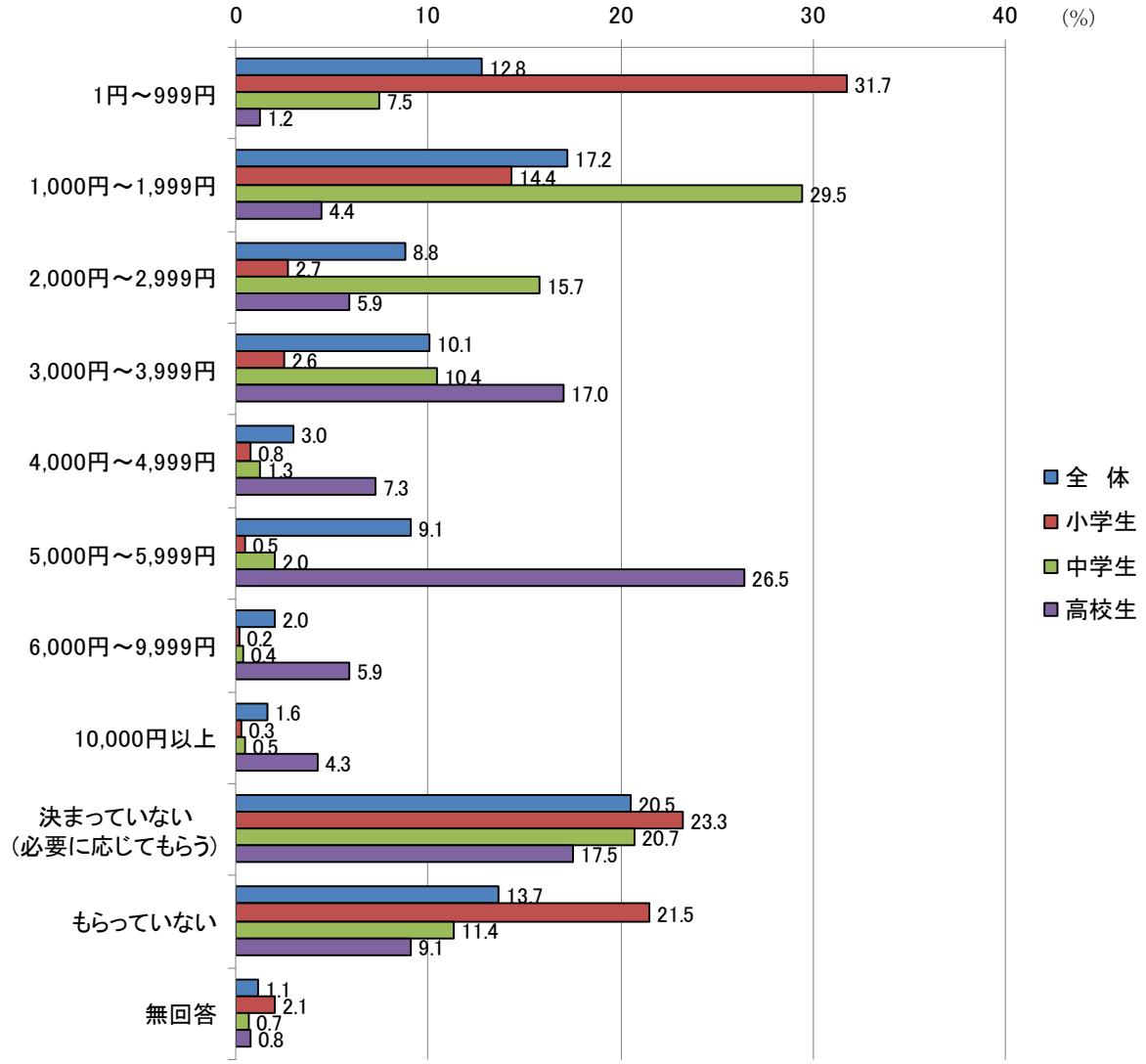


図　　１ヶ月のおこづかい

回答数　全体＝2,148　小学生＝627　中学生＝845　高校生＝657

◆　１ヶ月のおこづかいは、「～5,999 円」までで全体の約 70%を超える。

◆　小学生の場合、「もらっていない～1,999 円」の間に急激に増加し、その後はほとんど変化しない。中学生の場合、「1 円～3,999 円」の間で急激に増加し、小学生と同様にその後はほとんど変化しない。高校生の場合は、「もらっていない～2,999 円」までは緩やかに増加していき、「3,000～5,999 円」の間で急激に増加している。

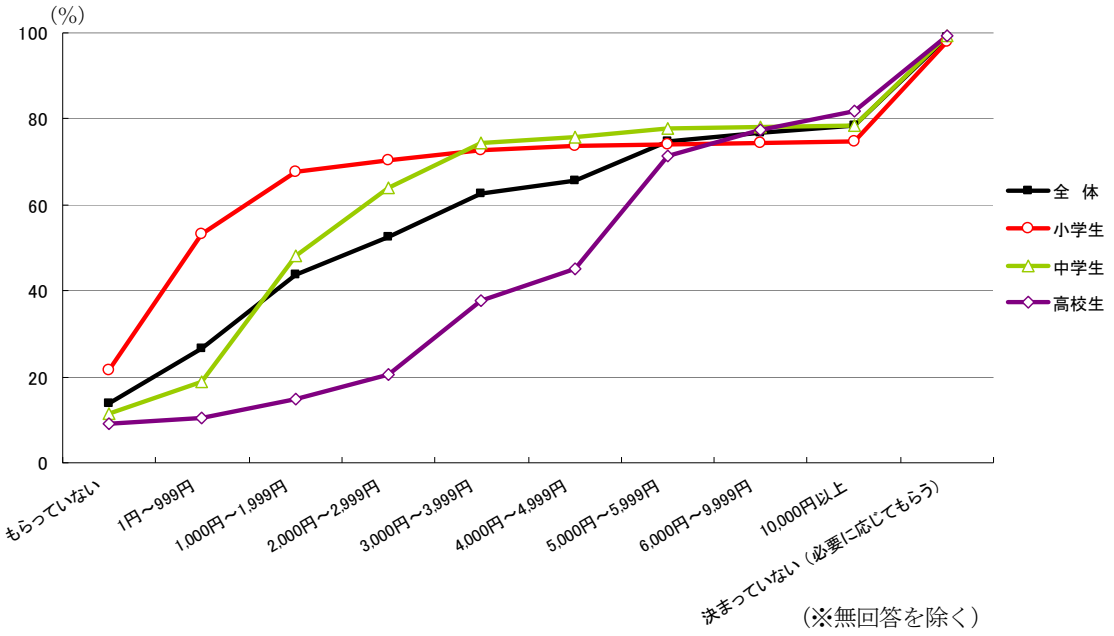


図　　１ヶ月のおこづかい（累計）

【5 年前からの変化】

・全体では、5,000 円以上おこづかいをもらう子が約 7%減った。
・5,000 円以上もらう割合の減少量は高校生が 5.8%と最も高い。

	5,000 円以上もらう		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	0.6 →	1.0	0.4↑
中学生	4.3 →	2.9	1.4↓
高校生	42.5 →	36.7	5.8↓

友達について　【問９】

■友達について答えてください。

（１）仲のよい友達は何人いますか。（１つ）

◇ 全体では「11 人以上」が 46.1%と最も多く、「3～5 人」が 24.3%、「6～10 人」が 23.3%となっている。また、「仲のよい友達はいない」は 1.4%である。

◇ 小学生では「11 人以上」の割合が相対的に高く、高校生では「3～5 人」の割合が相対的に高い。

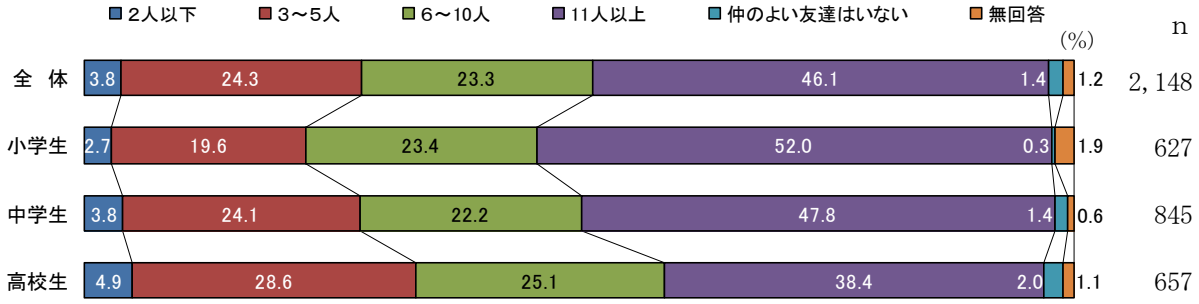


図　　仲のよい友達の人数

【5 年前からの変化】

・全体では、友達の人数が 5 人以下の子が約 7%増えて、6 人以上の子が約 6%減った。
・5 人以下の割合の増加量も 6 人以下の割合の減少量も高校生が最も多い。

	5 人以下			6 人以上		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	19.2	→ 22.3	3.1↑	78.6	→ 75.4	3.2↓
中学生	19.4	→ 27.9	8.5↑	77.1	→ 70.0	7.1↓
高校生	22.7	→ 33.5	10.8↑	74.9	→ 63.5	11.4↓

『友達の人数（子ども 問９）と性別（子ども F1)』

◎　「男性」の方が「女性」よりも友達の数が多い。

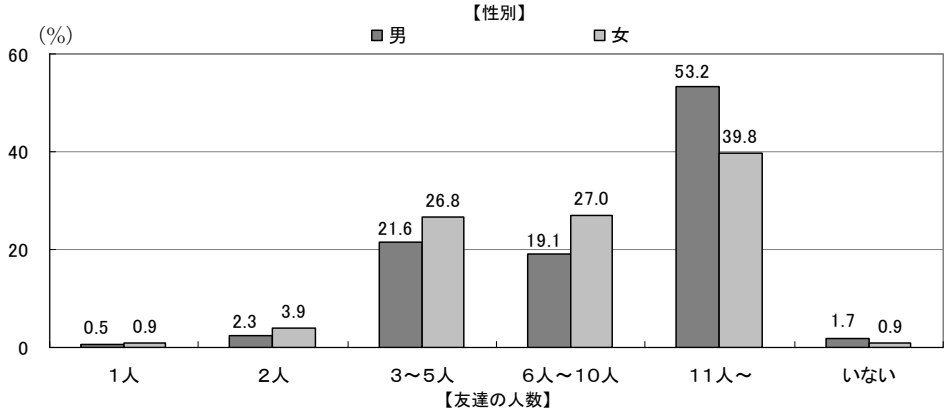


図　　男女の友達の人数の割合

『友達の人数（子ども 問９）とインターネットの使用時間（子ども 問１２)』

◎ 「友達の数」が６人以上いる子はインターネットの使用時間が２～３時間で最も多く、３時間以上で低い。

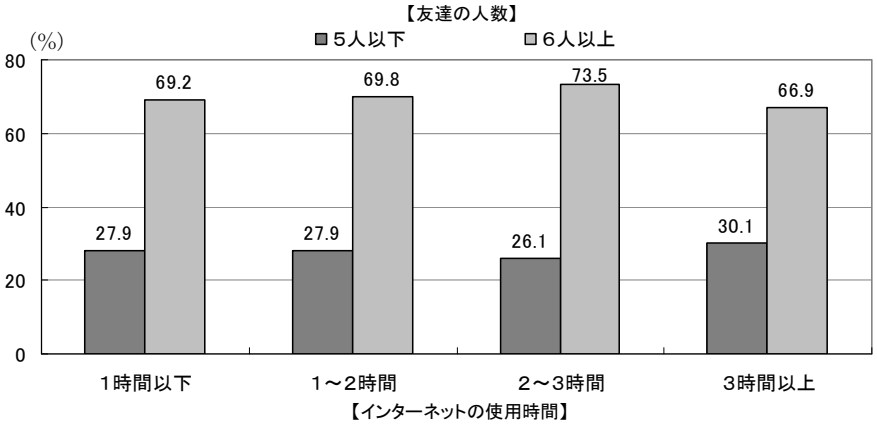


図　　インターネットの使用時間と友達の人数

『友達の人数（子ども 問９）と自己肯定感（子ども 問２７)・生活満足度（子ども 問２８)』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子は友達の数が６人以上の割合が高い。

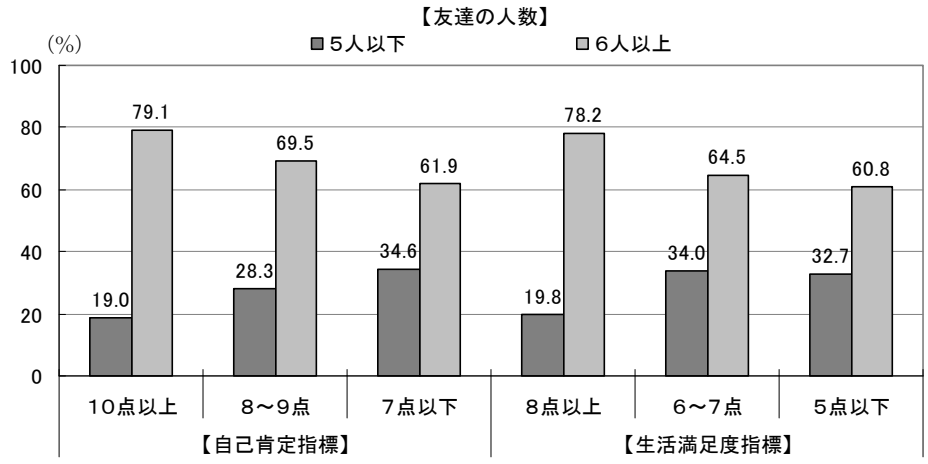


図　　自己肯定感・生活満足度と友達の人数

（２）仲のよい友達の中に、次のような人はいますか。（複数回答）

◇ 全体では、「通っている学校がちがう友達」が 52.2%で最も多く、「学年のちがう友達」が 42.6%、「異性の友達」が 34.6%となっている。

◇ 高校生になるにつれて「学年のちがう友達」の割合が低くなり、「通っている学校がちがう友達」の割合が高くなる。

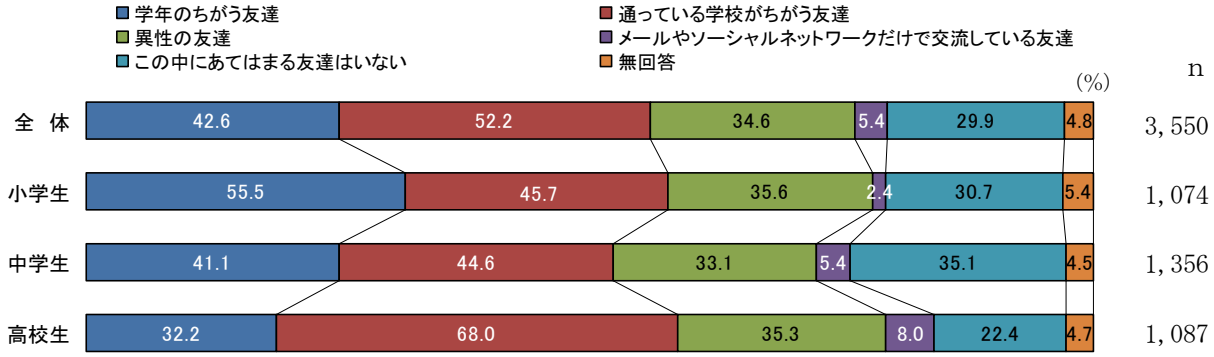


図　　仲のよい友達との関係

【5 年前からの変化】

・全体では、該当する友達はいないが約 10%増えて、学校の違う友達が約 11%減った。
・該当する友達がいない増加量も学校の違う友達の減少量も高校生が最も多い。

	該当する友達はいない			学校の違う友達		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	21.9	→ 30.7	8.8↑	49.4	→ 45.7	3.7↓
中学生	30.9	→ 35.1	4.2↑	51.7	→ 44.6	7.1↓
高校生	10.2	→ 22.4	12.2↑	80.2	→ 68.0	12.2↓

自分専用の持ち物について　　【問１０】

■あなた「専用」のものを持っていますか。（複数回答）

◇ 全体では、「勉強に必要な道具」が 90.2%で最も多く、「自転車」が 89.3%、「勉強に必要な参考書」が 65.7%となっている。

◇ 「勉強に必要な道具」は、小学生、中学生、高校生のどの年齢でも同様に、90%以上と高い割合がみられる。

◇ 「勉強に必要な道具」以外では、小学生、中学生の場合は「自転車」の所有割合が高いが、高校生になると圧倒的に「携帯電話」の所有割合が高くなり、96.3%である。

◇ 「自転車」や「勉強に必要な道具」「テレビゲーム機」などは、小学生、高校生で割合の変化はあまりみられないが、「個室」「携帯型音楽機器」「音楽プレーヤー」「携帯電話」「化粧品」「勉強に必要な参考書」などは年齢が高いほど割合が高い傾向がみられる。

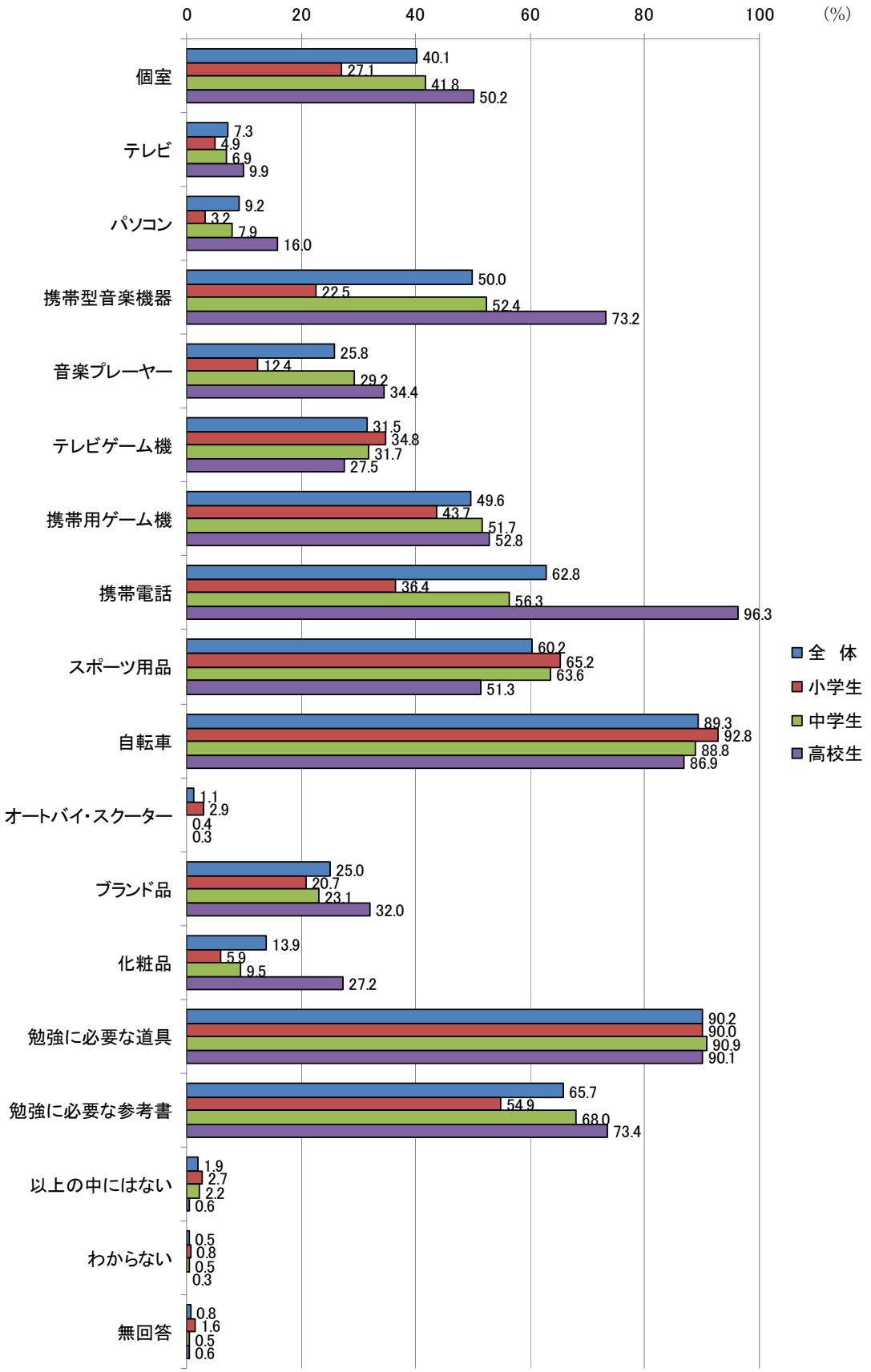


図　　自分専用の持ち物

回答数　全体＝13, 422　小学生＝3, 276　中学生＝5, 284　高校生＝4, 751

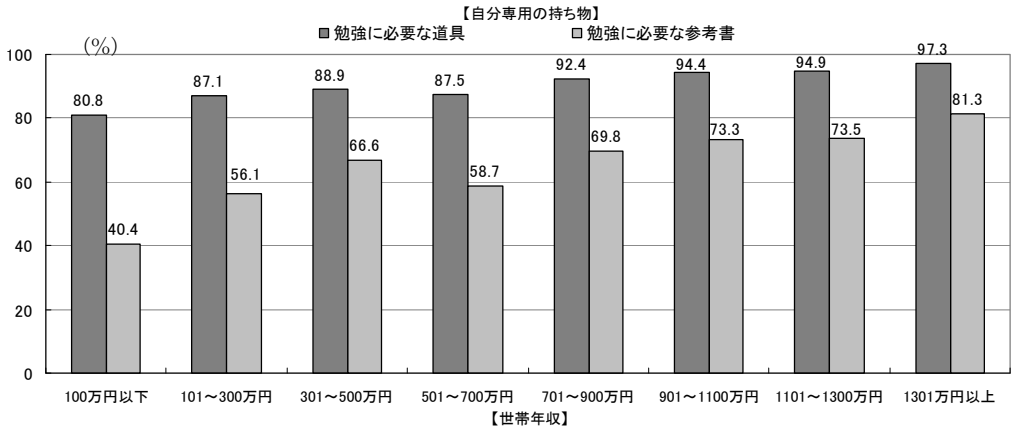
【5 年前からの変化】

・全体では、自分専用の持ち物として、音楽プレーヤーが約 23%、個室・テレビが約 10%、化粧品が約 7%、携帯電話が約 6%減った。
・どれも持っていない子の割合は 5 年前とあまり変化がみられない。（横ばい）
・ほとんどの項目で高校生の減少量が最も多い。
・携帯電話、パソコンの所持率は小学生が約 3%増えた。

	小学生			中学生			高校生		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
音楽プレーヤー	22.0	12.4	9.6↓	45.1	29.2	15.9↓	66.8	34.4	32.4↓
個室	33.6	27.1	6.5↓	48.2	41.8	6.4↓	62.3	50.2	12.1↓
テレビ	9.2	4.9	4.3↓	11.7	6.9	4.8↓	26.7	9.9	16.8↓
化粧品	7.0	5.9	1.1↓	12.7	9.5	3.2↓	35.5	27.2	8.3↓
携帯電話	32.7	36.4	3.7↑	59.0	56.3	2.7↓	98.1	96.3	1.8↓
パソコン	1.2	3.2	2.0↑	7.1	7.9	0.8↑	16.9	16.0	0.9↓

『専用の持ち物（子ども 問１０）と世帯年収（就学後 F10)』

● 「世帯年収」が低い家庭の子ほど、勉強に必要な道具や参考書を持っていない割合が高い。



※世帯年収は世帯員の年収を年収についての回答（100 万単位）の中央値と置き、合算したもの

図　　世帯年収と勉強に必要なものを持っている割合

『専用の持ち物（子ども 問１０）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２)』

● 親が「暮らし向きが苦しい」と回答した家庭の子ほど、勉強に必要な道具や参考書を持っていない割合が高い。

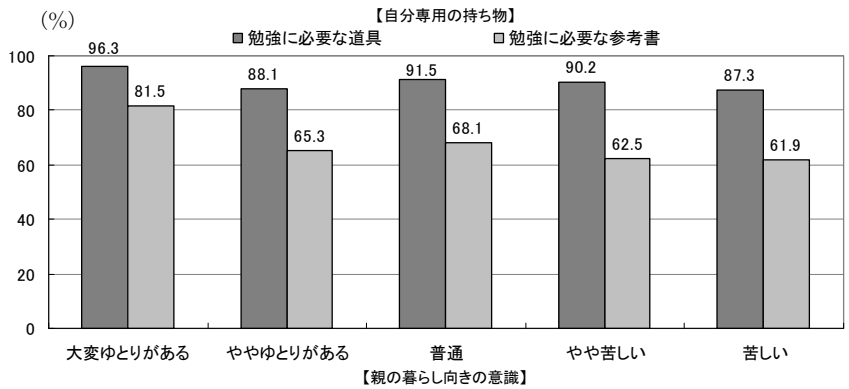


図　　親の暮らし向きの意識と勉強に必要なものを持っている割合

携帯電話について　　【問１１】

■あなたは携帯電話で何をしますか。（複数回答）

◇ 全体では、「電話をする」が 87.3%で最も高く、「電子メールのやりとりをする」が 70.2%、「いろいろなことを調べる」が 57.9%となっている。

◇ 高校生になると、「いろいろなことを調べる」「ウェブサイトを見る」「インスタントメッセンジャー（LINE など）をする」「ブログを見る」「ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書き込む」の割合が高くなる。

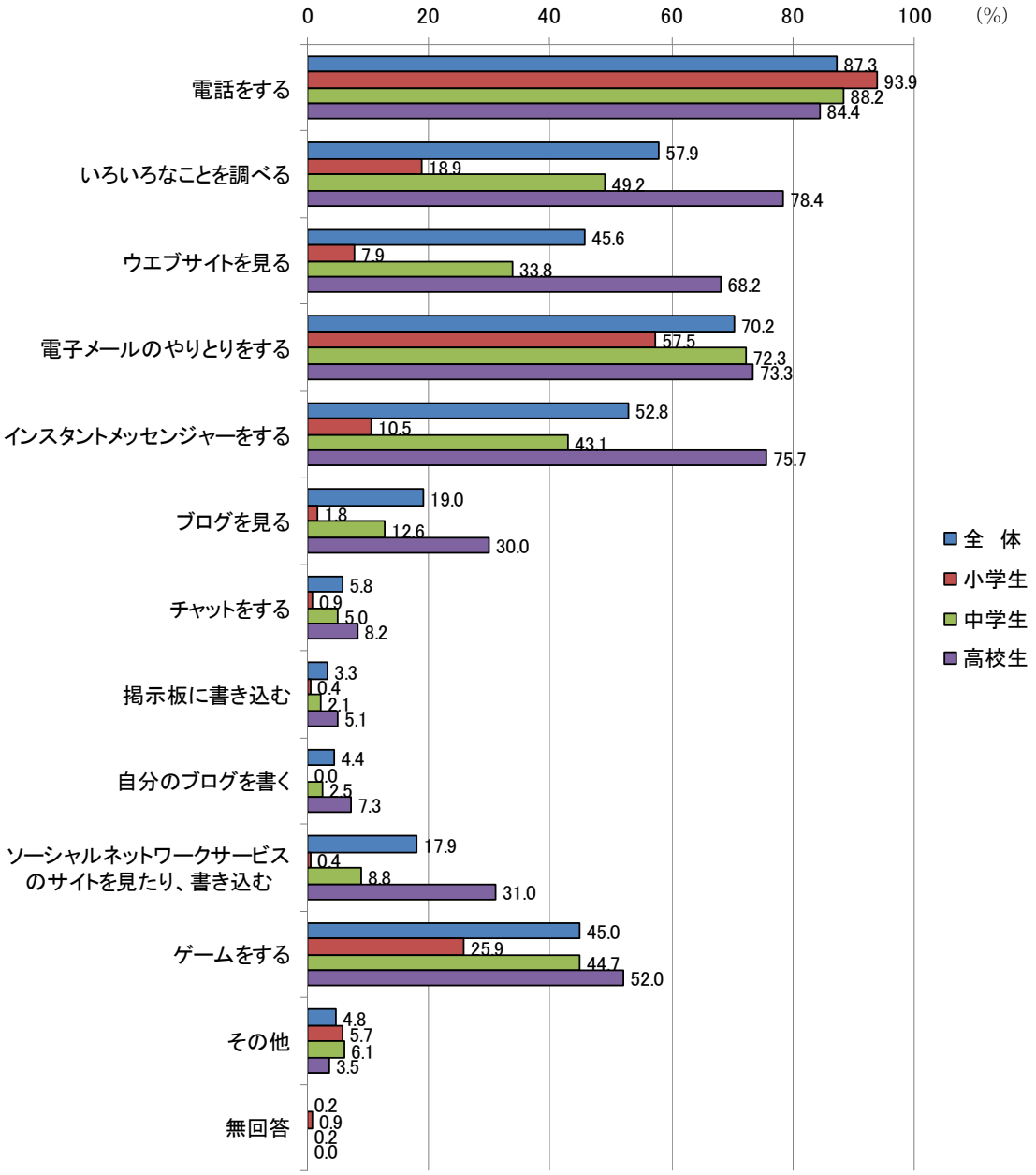


図　　携帯電話の使い方

回答数　全体＝5,591　小学生＝512　中学生＝1,755　高校生＝3,272

【5 年前からの変化】

・全体では、いろいろなことを調べるが約 23%、ゲームが約 10%、ＳＮＳが約 6%、チャット、ウェブサイトを見るが約 3%増えた。
・全体では、電子メールが約 19%、ブログを書くが約 16%、ブログを見るが約 13%、掲示板に書き込むが約 8%、電話が約 3%減った。
・ほとんどの項目で、高校生の増加量、減少量が最も多い。
・小学生の場合、減った項目の中で電話をする以外は増加している。

＜増えたもの＞

	小学生			中学生			高校生		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
いろいろなことを調べる	12.1	18.9	6.8↑	23.8	49.2	25.4↑	45.4	78.4	33.0↑
ゲームをする	28.0	25.9	2.1↓	32.6	44.7	12.1↑	37.0	52.0	15.0↑
ソーシャルネットサービスのサイトを見たり、書き込む	0.0	0.4	0.4↑	4.0	8.8	4.8↑	18.8	31.0	12.2↑
チャットをする	0.9	0.9	±0.0	1.8	5.0	3.2↑	3.7	8.2	4.5↑
ウェブサイトを見る	1.9	7.9	6.0↑	30.8	33.8	3.0↑	57.0	68.2	11.2↑

＜減ったもの＞

	小学生			中学生			高校生		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
電子メールのやりとりをする	54.2	57.5	3.3↑	91.9	72.3	19.6↓	94.2	73.3	20.9↓
自分のブログを書く	0.0	0.0	±0.0	12.5	2.5	10.0↓	28.8	7.3	21.5↓
ブログを見る	0.9	1.8	0.9↑	20.9	12.6	8.3↓	43.0	30.0	13.0↓
掲示板に書き込む	0.0	0.4	0.4↑	8.8	2.1	6.7↓	13.7	5.1	8.6↓
電話をする	99.1	93.9	5.2↓	91.2	88.2	3.0↓	87.4	84.4	3.0↓

インターネットの利用について　【問１２】

■あなたは学校の授業以外でパソコンや携帯電話でインターネットを１日どれくらい使いますか。（１つ）

◇ 全体では、「～29 分」が 19.7%で最も多く、次いで「1 時間～1 時間 59 分」が 18.5%、「30 分～59 分」が 18.4%となっている。

◇ 高校生になると、「使わない」の割合が小学生の 1/4 以下まで低下し、2 時間以上の構成比が 42.8%になる。

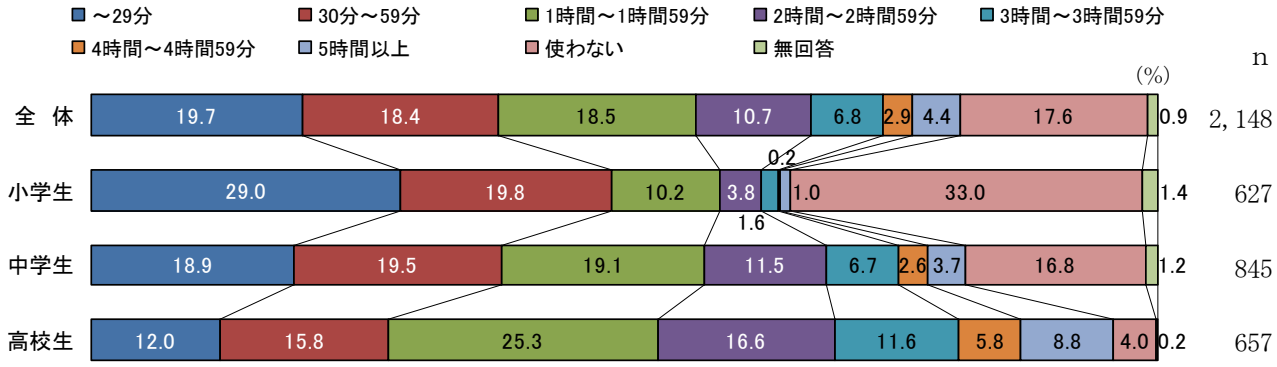


図　　１日のインターネットの利用時間

【5 年前からの変化】

・全体では、1 日 2 時間以上使用する子が約 13%増え、使わない子が約 15%減った。
・2 時間以上使用する割合の増加量もインターネットを使わない割合の減少量も、高校生が最も多い。

	2 時間以上			使わない		
	平成 20 年	平成 25 年	変化量	平成 20 年	平成 25 年	変化量
小学生	3.7 →	6.6	2.9↑	46.5 →	33.0	13.5↓
中学生	14.0 →	24.5	10.5↑	32.6 →	16.8	15.8↓
高校生	15.1 →	42.8	27.7↑	24.1 →	4.0	20.1↓

『インターネットの使用時間（子ども 問１２）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が低い子の方が２時間以上インターネットを利用する割合が多い。

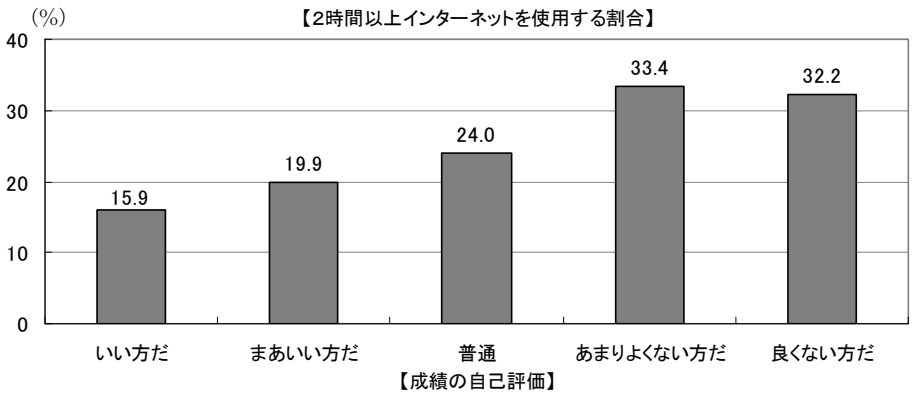


図　　成績の自己評価別の２時間以上インターネットを利用する割合

『インターネットの使用時間（子ども 問１２）と
自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○　「自己肯定感」や「生活満足度」が低いほどインターネットの使用時間が長い。

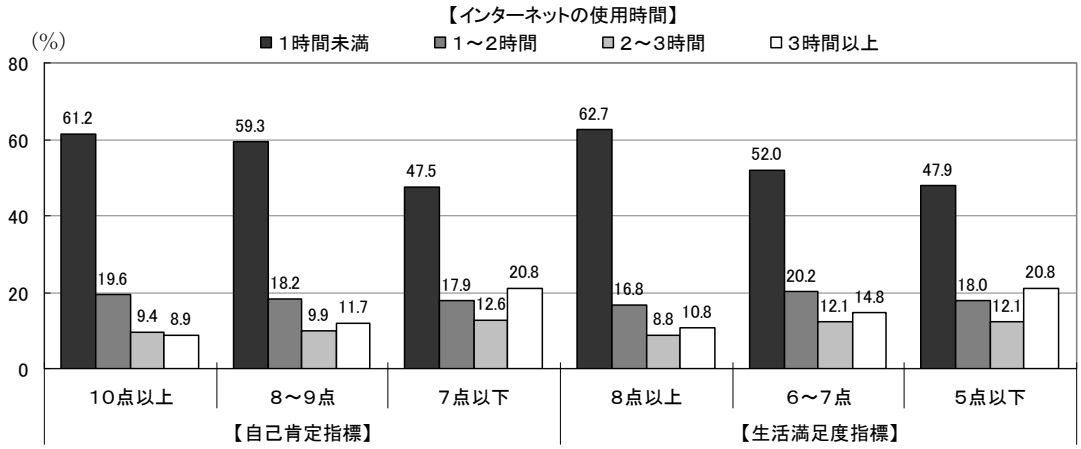


図　　自己肯定感・生活満足度とインターネットの使用時間

（２）インターネットで何をしますか。（複数回答）

◇ 全体では、「いろいろなことを調べる」が 75.7%で最も高く、「ウェブサイトを見る」が 50.1%、「ゲームをする」が 47.6%となっている。

◇ 小学生の場合は「ゲームをする」「勉強に使う」などの割合が高いが、高校生になると「ウェブサイトを見る」「電子メールのやりとりをする」「ブログを見る」「インスタントメッセンジャー（LINE など）をする」「ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書き込む」の割合が高くなる。

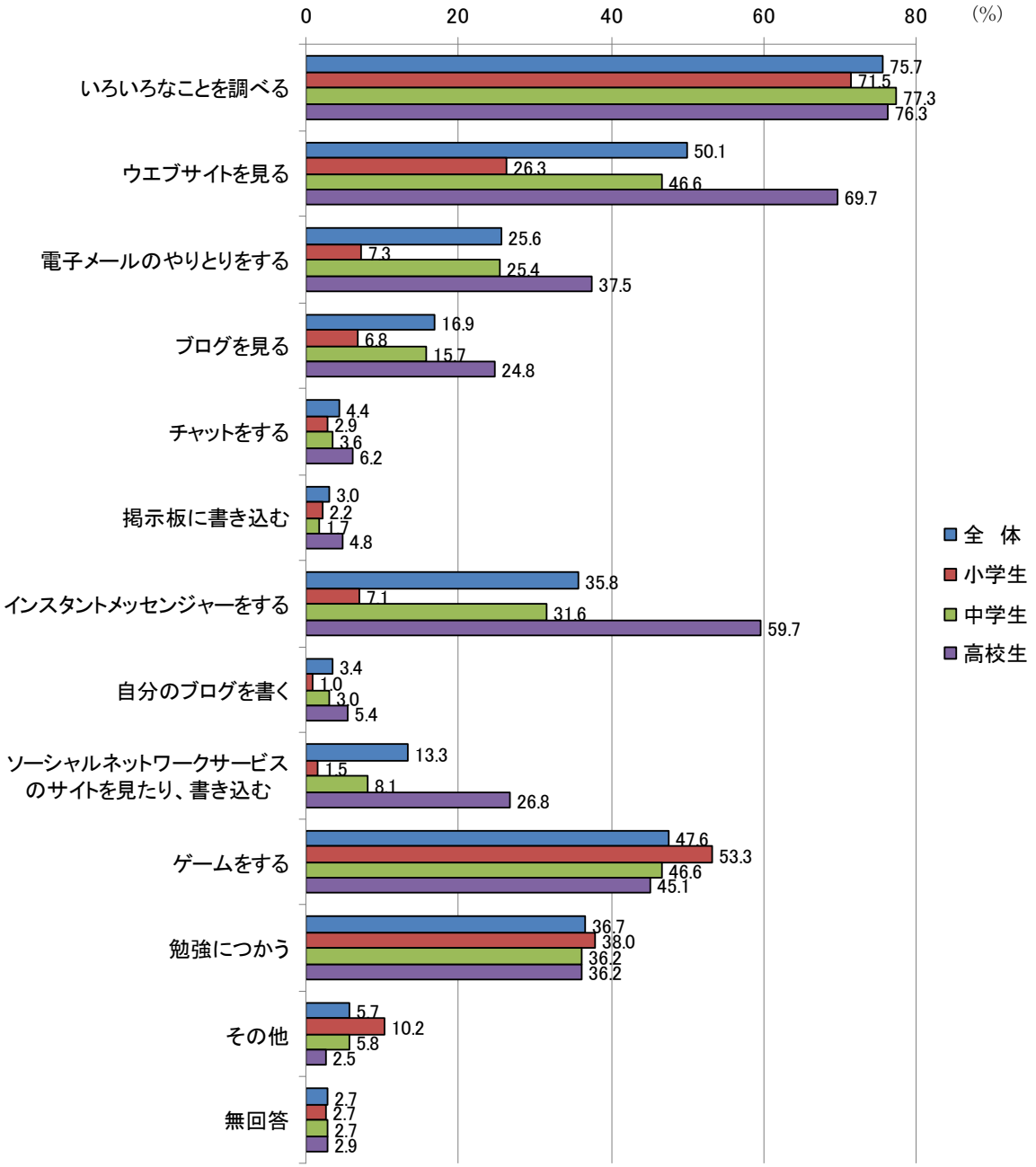


図　　インターネットの使い方

回答数　全体＝5,617　小学生＝948　中学生＝2,110　高校生＝2,506

【5 年前からの変化】

・全体では、ゲームが約 12%、勉強、電子メールが約 8%、ＳＮＳが約 4%、いろいろなことを調べるが約 3%増えた。
・全体では、電子メールが約 19%、ブログを書くが約 16%、ブログを見るが約 13%、掲示板に書き込むが約 8%、電話が約 3%減った。
・増えたもののすべての項目で、高校生の増加量が最も多い。
・小学生の場合、増えた項目の中でＳＮＳ以外は減少している。
・減ったもののほとんどの項目で、中学生の減少量が最も多い。

＜増えたもの＞

	小学生			中学生			高校生		
	平成20年	平成25年	変化量	平成20年	平成25年	変化量	平成20年	平成25年	変化量
ゲームをする	55.8	53.3	2.5↓	37.9	46.6	8.7↑	25.6	45.1	19.5↑
勉強につかう	44.8	38.0	6.8↓	25.2	36.2	11.0↑	24.4	36.2	11.8↑
電子メールのやりとりをする	8.1	7.3	0.8↓	20.4	25.4	5.0↑	19.6	37.5	17.9↑
ソーシャルネットサービスのサイトを見たり、書き込む	0.6	1.5	0.9↑	3.9	8.1	4.2↑	16.7	26.8	10.1↑
いろいろなことを調べる	72.7	71.5	1.2↓	74.4	77.3	2.9↑	69.9	76.3	6.4↑

＜減ったもの＞

	小学生			中学生			高校生		
	平成20年	平成25年	変化量	平成20年	平成25年	変化量	平成20年	平成25年	変化量
ブログを見る	12.2	6.8	5.4↓	35.0	15.7	19.3↓	38.8	24.8	14.0↓
自分のブログを書く	1.7	1.0	0.7↓	10.7	3.0	7.7↓	17.1	5.4	11.7↓
ウェブサイトを見る	26.2	26.3	0.1↓	53.7	46.6	7.1↓	70.5	69.7	0.8↓
掲示板に書き込む	4.7	2.2	2.5↓	7.8	1.7	6.1↓	8.0	4.8	3.2↓

～家庭に関する質問～

経済的な生活レベルについて　　【問１３】

■あなたの家庭の「経済的な生活レベル」についてあなたはどう思いますか。（１つ）

◇ 全体では、「まあまあ豊かだ」が 57.5%で最も多く、次いで「かなり豊かだ」20.1%であり、77.6%は豊かだと回答している。

◇ 小学生の場合、豊かだと感じている割合は 84.0%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し 68.5%となる。

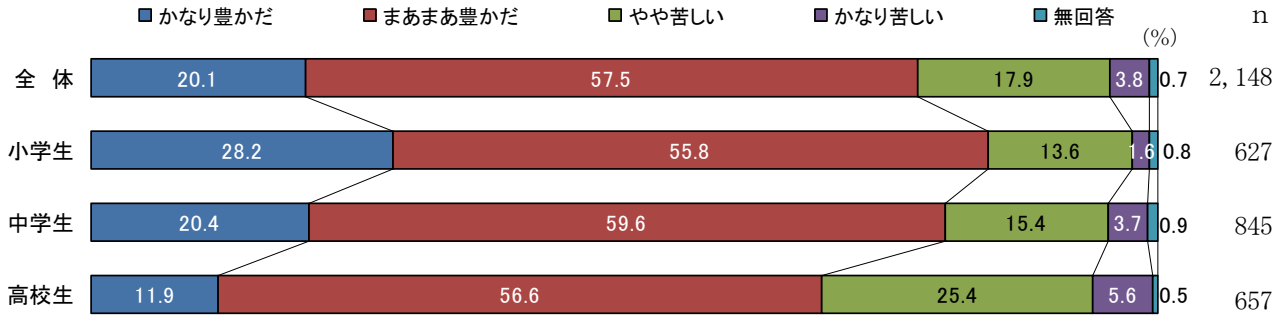
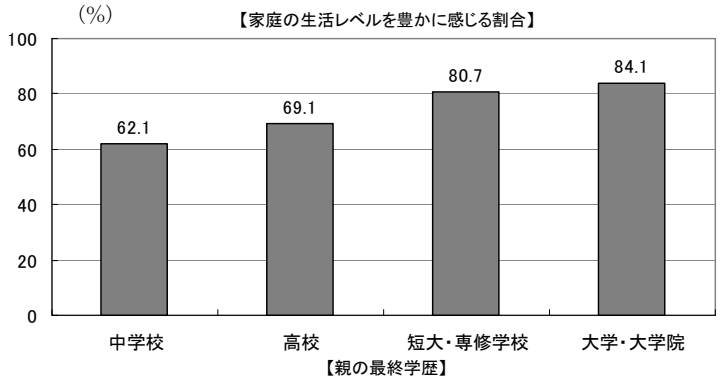


図　　経済的な生活レベルについて

『生活レベル（子ども 問１３）と親の最終学歴（就学後 F6)』

● 「親の最終学歴」が高い子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じる。

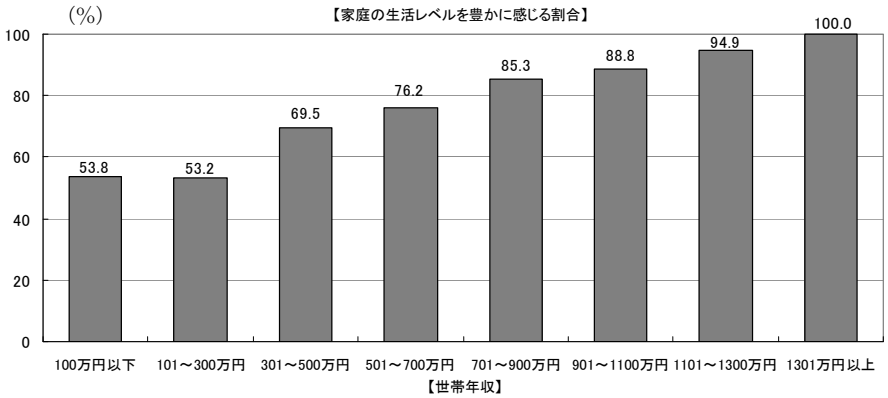


※家庭の生活レベルを豊かに感じる割合：かなり豊か＋まあ豊か

図　　親の最終学歴と子どもが家庭を豊かに感じる割合

『生活レベル（子ども 問１３）と世帯年収（就学後 F10)』

● 「世帯年収」が高い子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じる。

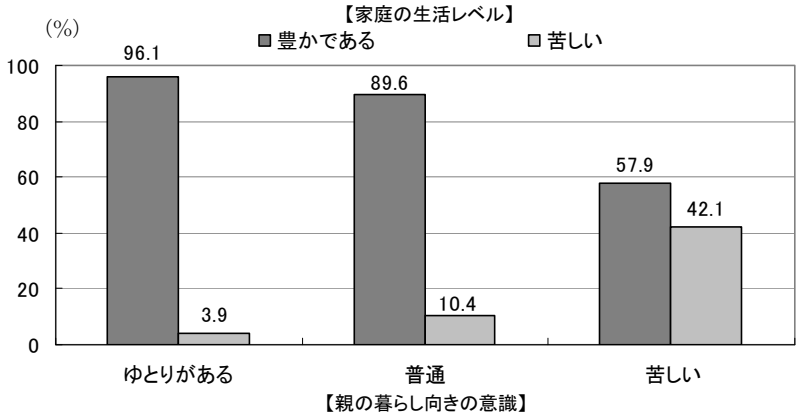


※世帯年収は世帯員の年収を年収についての回答（100 万単位）の中央値と置き、合算したもの。
※家庭の生活レベルを豊かに感じる割合：かなり豊か＋まあ

図　　世帯年収と子どもが家庭を豊かに感じる割合

『生活レベル（子ども 問１３）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じている。
親が「暮らし向きが苦しい」と回答した子でも 58.0%は家庭の生活レベルを豊かだと感じている。



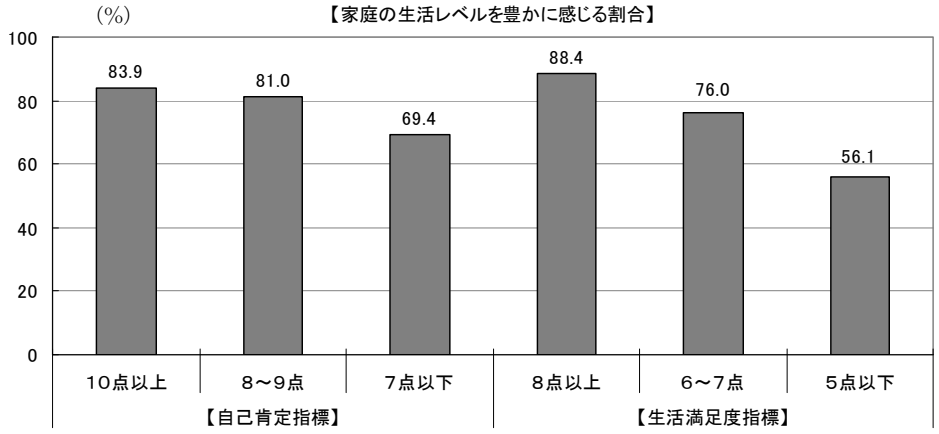
※家庭の生活レベル：豊かである＝かなり豊か＋まあ豊か、苦しい＝やや苦しい、かなり苦しい

※親の暮らし向きの意識：ゆとりがある＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、苦しい＝やや苦しい＋苦しい

図　　親の暮らし向きの意識と子どもの感じる家庭の生活レベル

『生活レベル（子ども 問１３）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じる割合が高い。



※家庭を豊かに感じる割合：かなり豊か＋まあ豊か

図　　自己肯定感・生活満足度と子どもが家庭を豊かに感じる割合

『生活レベル（子ども 問１３）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かに感じる子の方が成績の自己評価が高い。

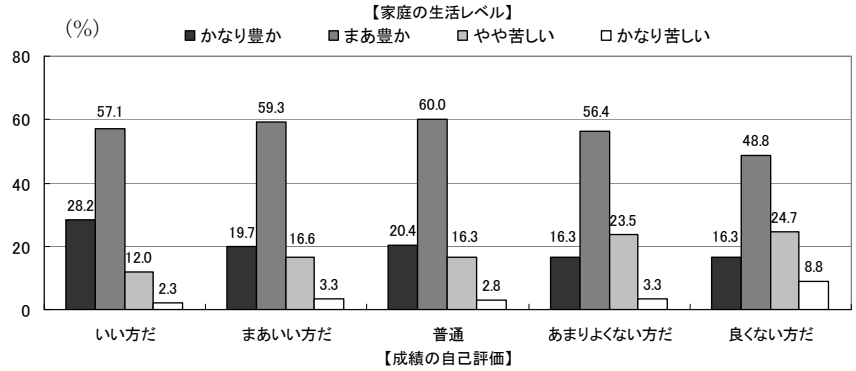
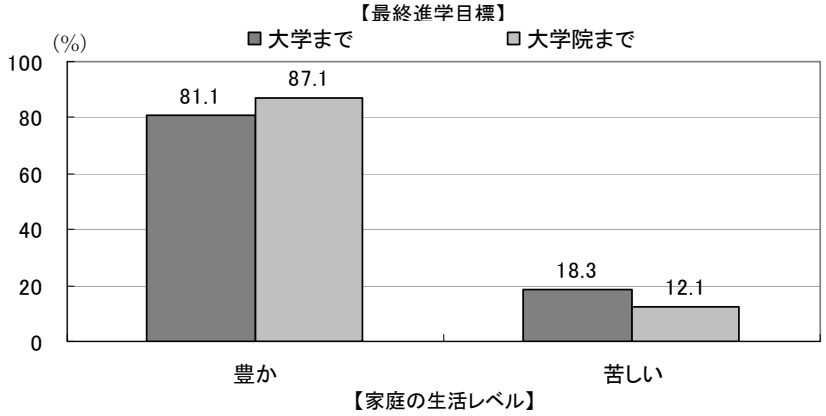


図　　成績の自己評価と子どもの感じる家庭の生活レベル

『生活レベル（子ども 問１３）と最終進学目標（子ども F5)』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かに感じる子の方が大学や大学院への進学の希望が高い。



※家庭の生活レベル＝かなり豊か＋まあまあ豊か、苦しい＝やや苦しい＋かなり苦しい

図　　進学の希望と子どもの感じる家庭の生活レベル

お母さんについて　　【問１４】

■お母さんについて答えてください。

（１）現在、お母さんといっしょに暮らしていますか。

◇　全体では、98.1%は母親と一緒に暮らしている。

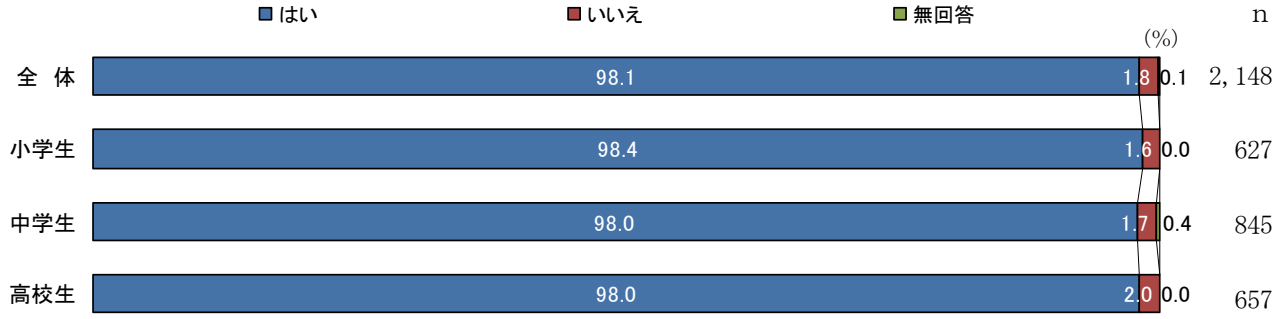


図　　母親と一緒に暮らしている割合

①ふだんお母さんから、次のようなことを言われますか。（各１つ）

◇　「よく言われる」の割合が高いのは、「頑張った時、ほめてくれる」（53.8%）、「もっと部屋をきれいにしなさい」（43.3%）、「励ます言葉をかけてくれる」（39.1%）である。

◇　「ほとんど言われない」の割合が高いのは、「弱いものいじめをしないようにしなさい」（71.7%）、「友達と仲良くしなさい」（66.5%）、「うそをつかないようにしなさい」（65.5%）である。

◇　ほとんどの項目で小学生が高い割合を占めるが、「もっと勉強しなさい」では中学生が最も高い割合となっている。また、高校生の「テレビを見過ぎだからやめなさい」の割合は非常に低い。

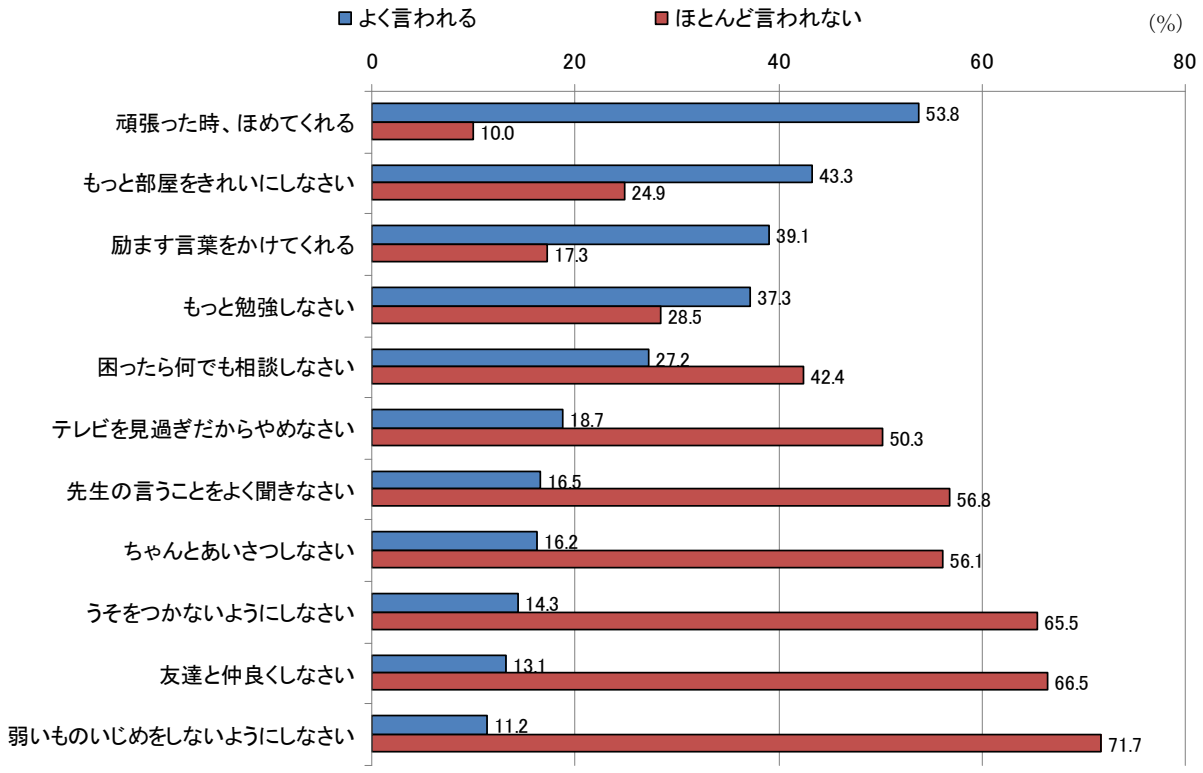


図　　ふだん母親から言われること

回答数　全体＝2,107

ア．ちゃんとあいさつしなさい

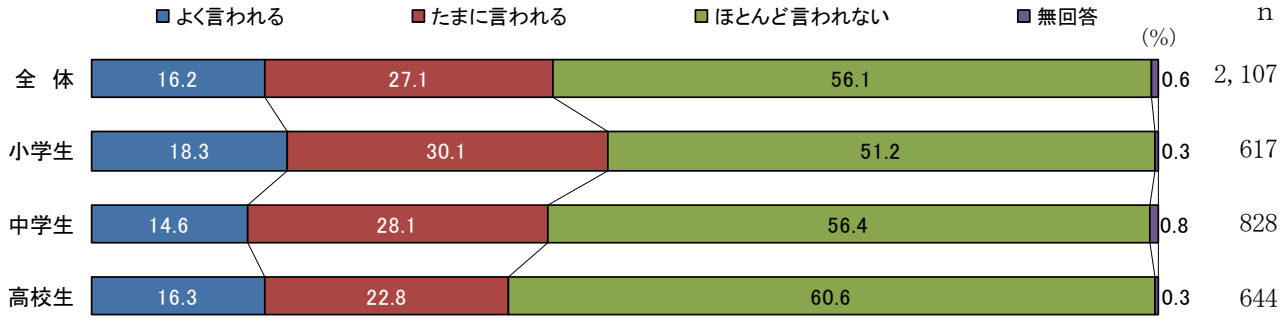


図　　ちゃんとあいさつしなさいと言われる割合：母親

イ．もっと勉強しなさい

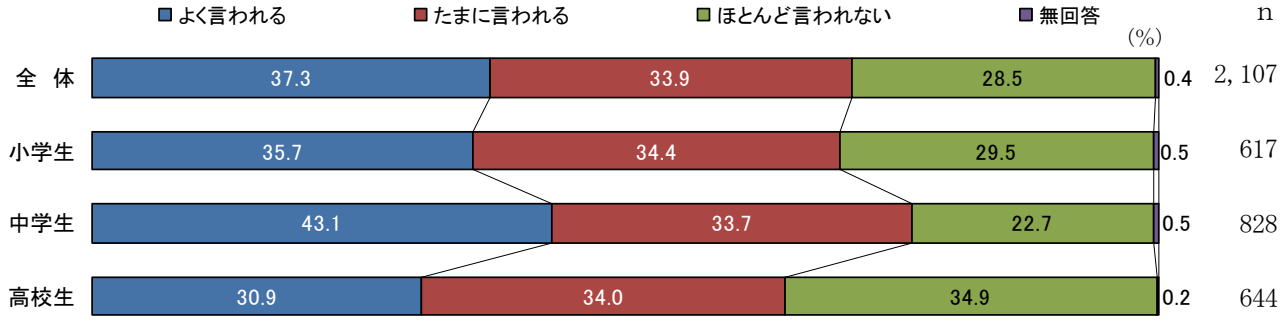


図　　もっと勉強しなさいと言われる割合：母親

ウ．もっと部屋をきれいにしなさい

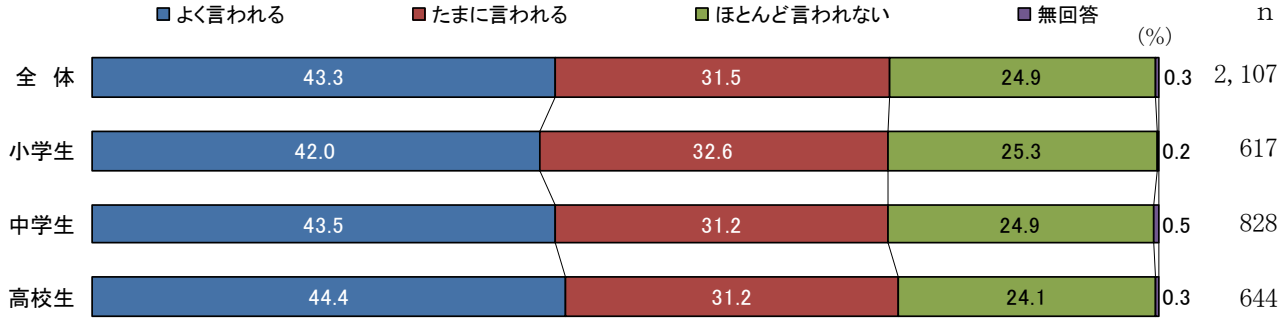


図　　もっと部屋をきれいにしなさいと言われる割合：母親

エ．テレビを見過ぎだからやめなさい

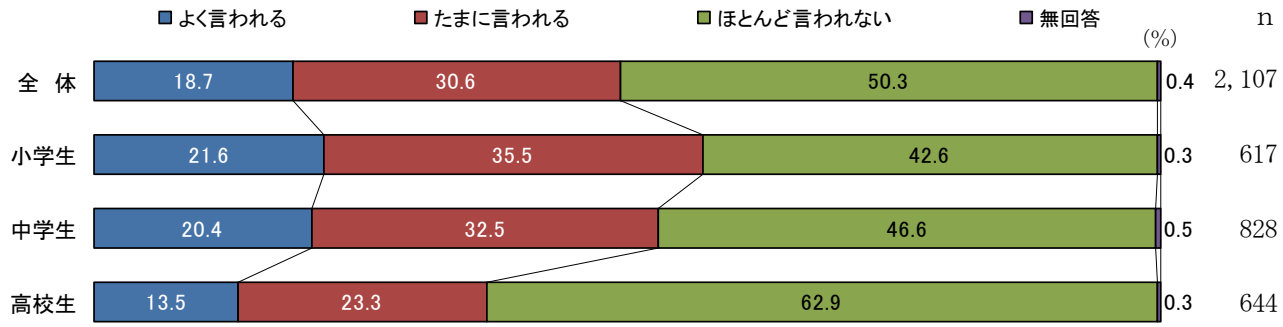


図　　テレビを見過ぎだからやめなさいと言われる割合：母親

オ．うそをつかないようにしなさい

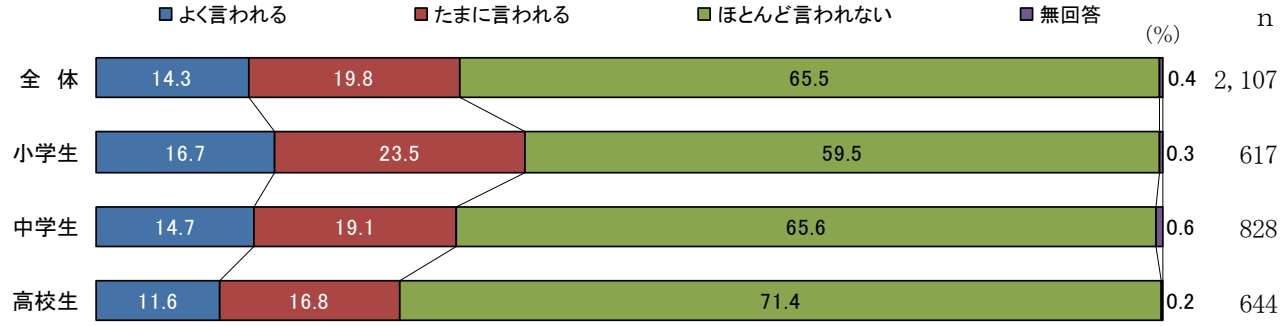


図　　うそをつかないようにしなさいと言われる割合：母親

カ．友達と仲良くしなさい

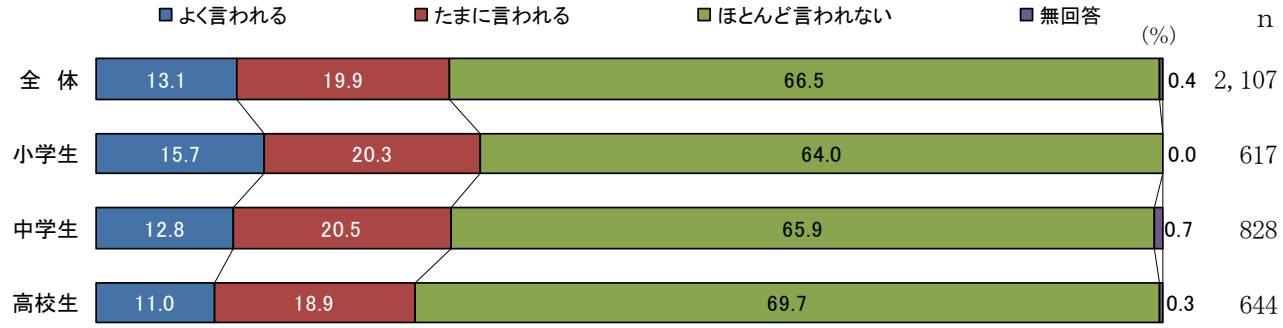


図　　友達と仲良くしなさいと言われる割合：母親

キ．先生の言うことをよく聞きなさい

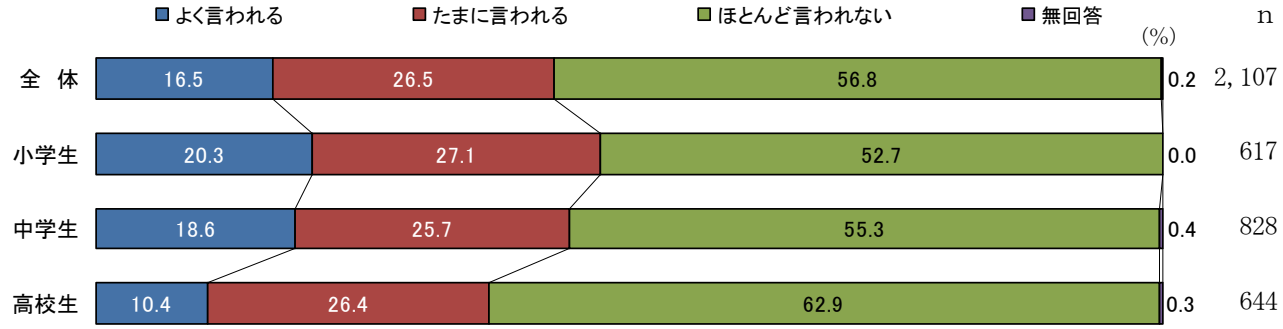


図　　先生の言うことをよく聞きなさいと言われる割合：母親

ク．弱いものいじめをしないようにしなさい

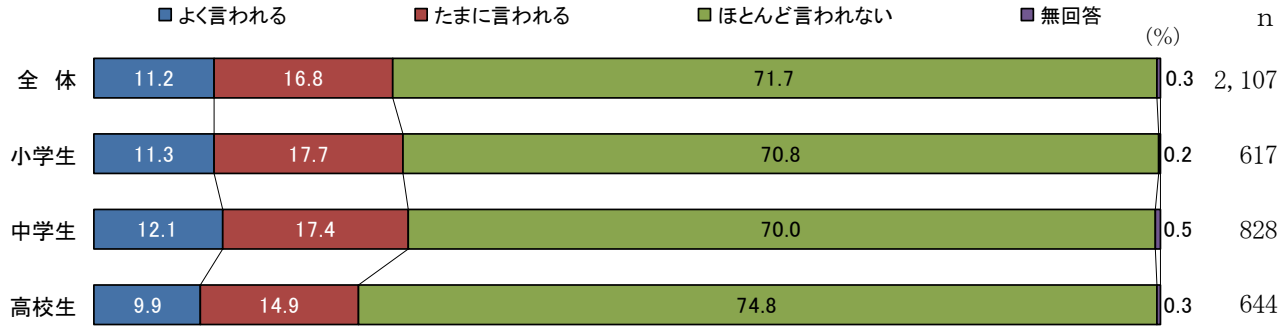


図　　弱いものいじめをしないようにしなさいと言われる割合：母親

ケ．困ったら何でも相談しなさい

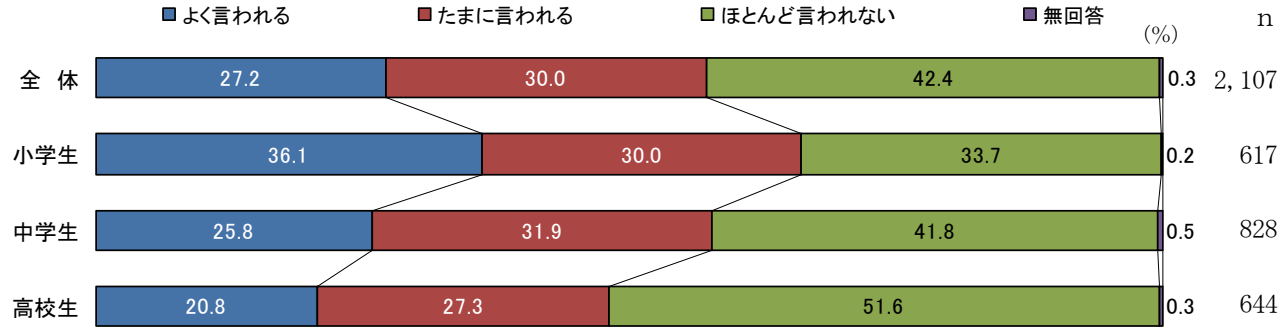


図　　困ったら何でも相談しなさいと言われる割合：母親

コ．励ます言葉をかけてくれる

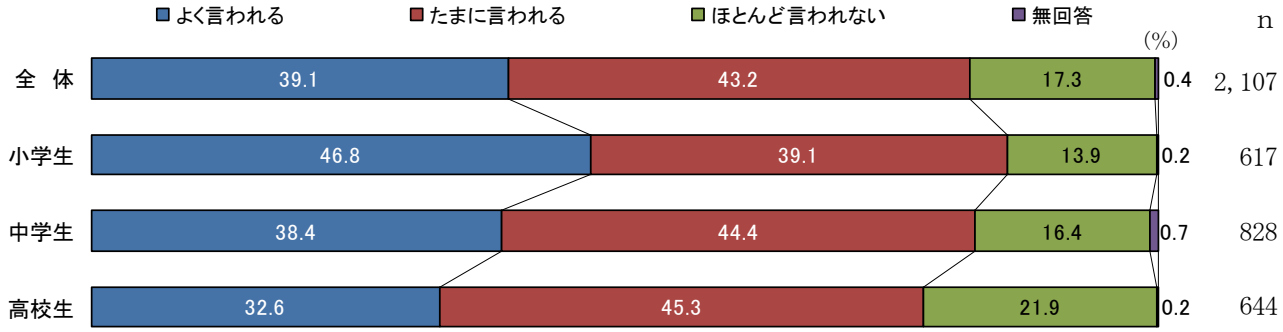


図　　励ます言葉をかけてくれる割合：母親

サ．頑張った時、ほめてくれる

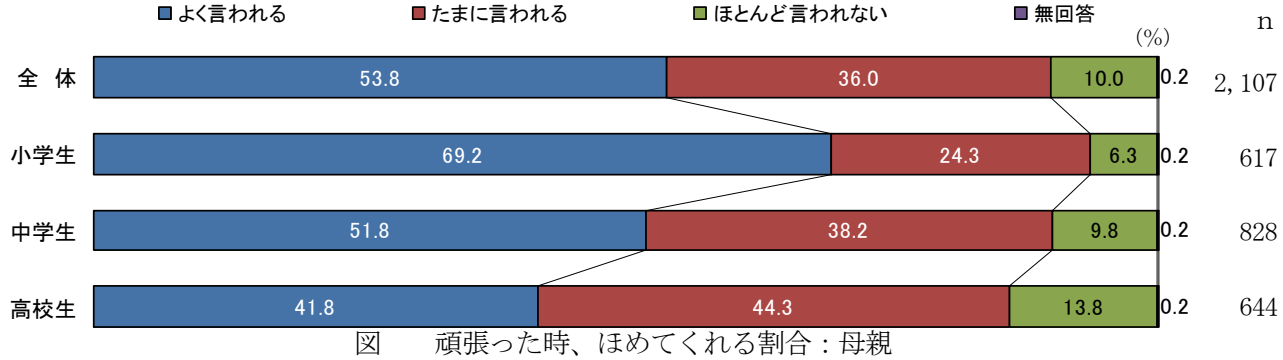


図　　頑張った時、ほめてくれる割合：母親

<u>『母親から言われること（子ども 問１４）と成績の自己評価（子ども F3)』</u>

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が母親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。

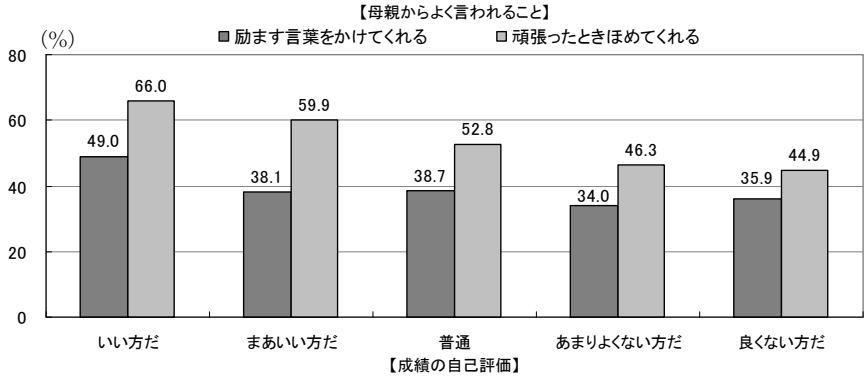


図　　成績の自己評価別の母親から励ましやほめられることがある割合

『親子関係：母親（子ども 問１４）と成績の自己評価（子ども F3)』

○「母親と支援的な関係」が強い子の方が成績の自己評価は高い。

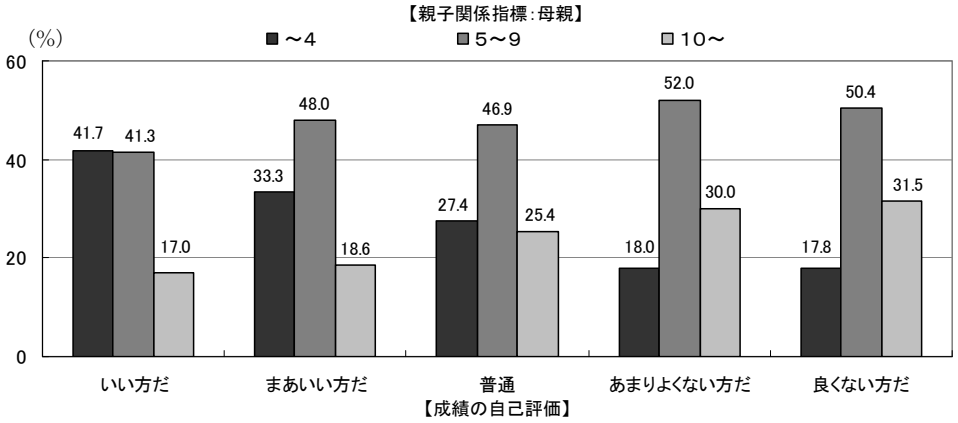


図　　成績の自己評価と親子関係：母親

『親子関係：母親（子ども 問１４）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８)』

○　「母親との支援的な関係」が強い子の方が自己肯定感や生活満足度が高い。

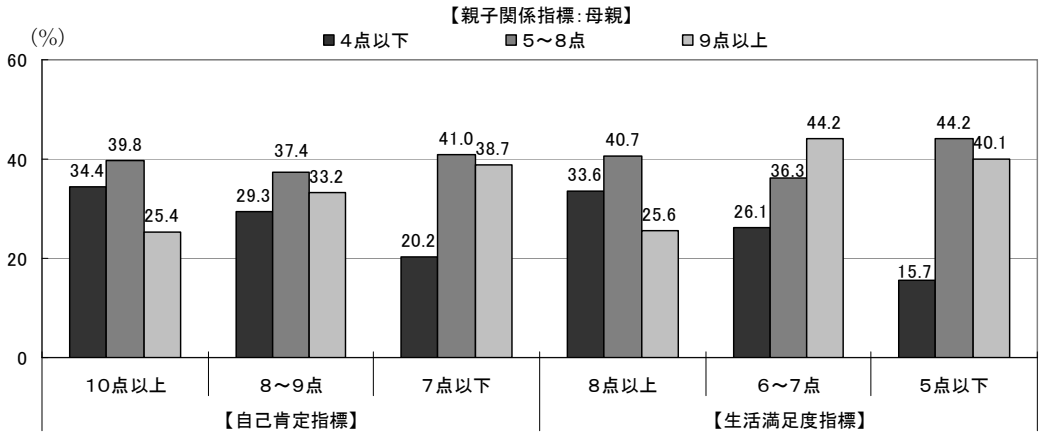


図　　自己肯定感・生活満足度と親子関係：母親

②あなたとお母さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。（各１つ）

◇　「そう思う」の割合が高いのは、「わたしはお母さんを信頼している」（57.2%）、「お母さんは、わたしの好きなことをよくわかっている」（45.4%）、「お母さんは、わたしを信頼してくれている」（42.7%）である。

◇　「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計も、「わたしはお母さんを信頼している」が 91.2%、「お母さんは、わたしの好きなことをよくかわっている」が 87.9%と高い割合になっている。

◇　「そう思わない」の割合が相対的に高いのは、「お母さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている」（8.1%）、「わたしはお母さんには何でも話せる」（7.5%）である。

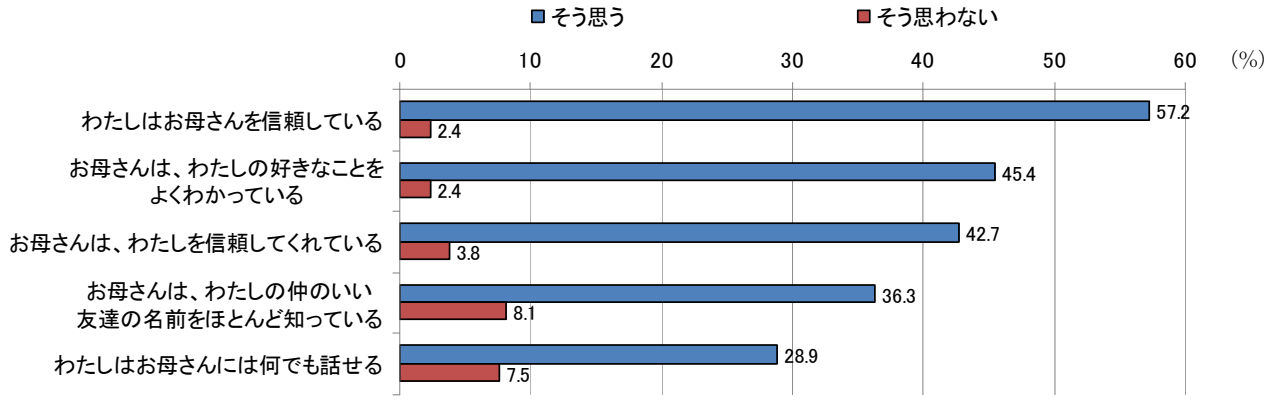


図　　母親との関係について

回答数　全体＝2,107

ア．お母さんは、わたしの好きなことをよくわかっている

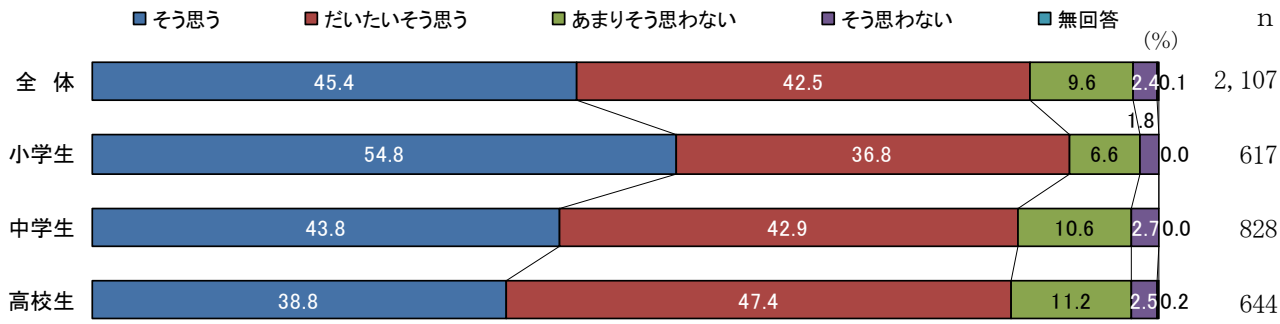


図　　私の好きなことをよくわかっている割合：母親

イ．お母さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている

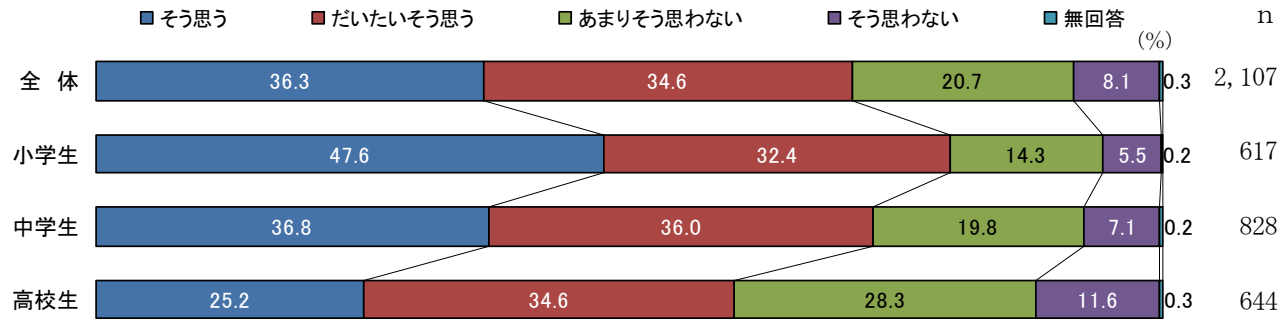


図　　わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている割合：母親

ウ．お母さんは、わたしを信頼してくれている

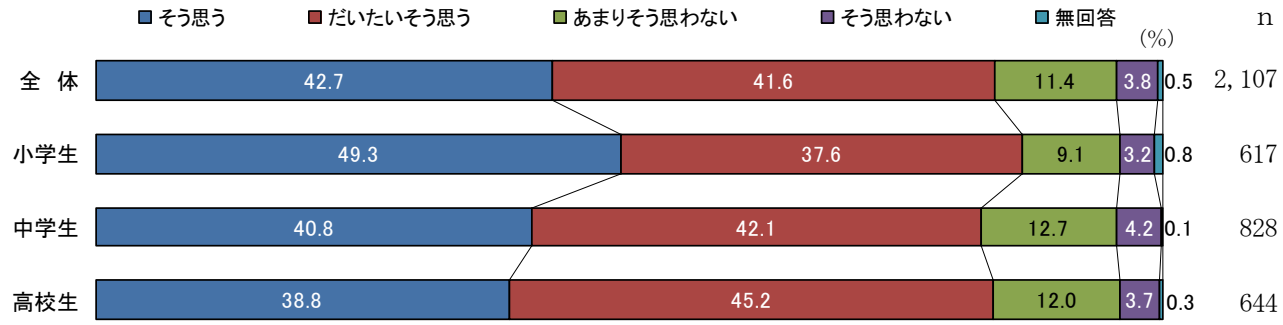


図　　わたしを信頼してくれている割合：母親

エ．わたしはお母さんを信頼している

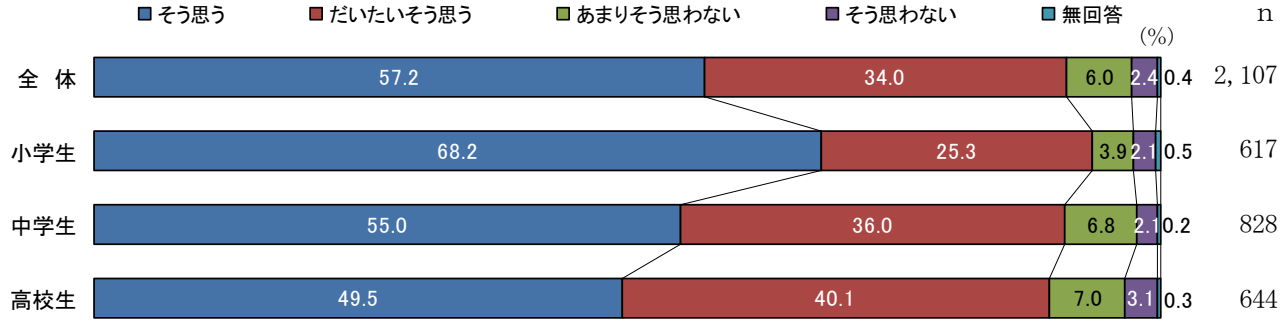


図　　わたしはお母さんを信頼している割合

オ．わたしはお母さんには何でも話せる

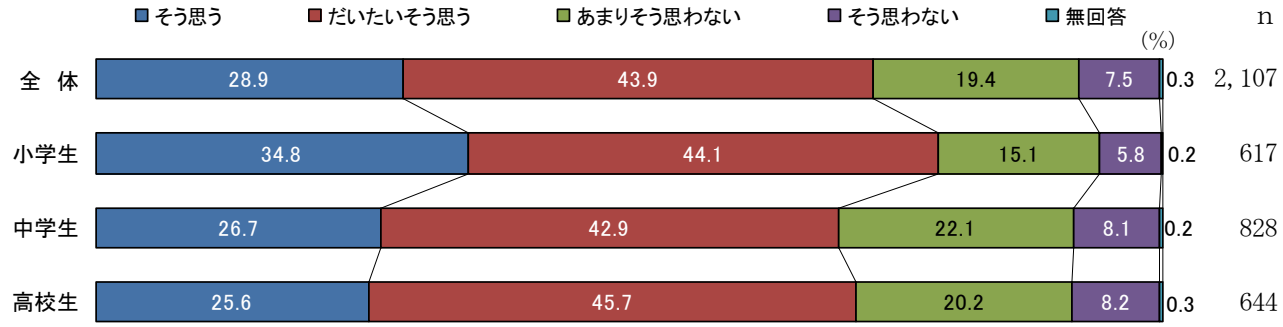


図　　わたしはお母さんには何でも話せる割合

お父さんについて　　【問１５】

■お父さんについて答えてください。

（１）現在、お父さんといっしょに暮らしていますか。

◇　全体では、84.5%は父親と一緒に暮らしている。

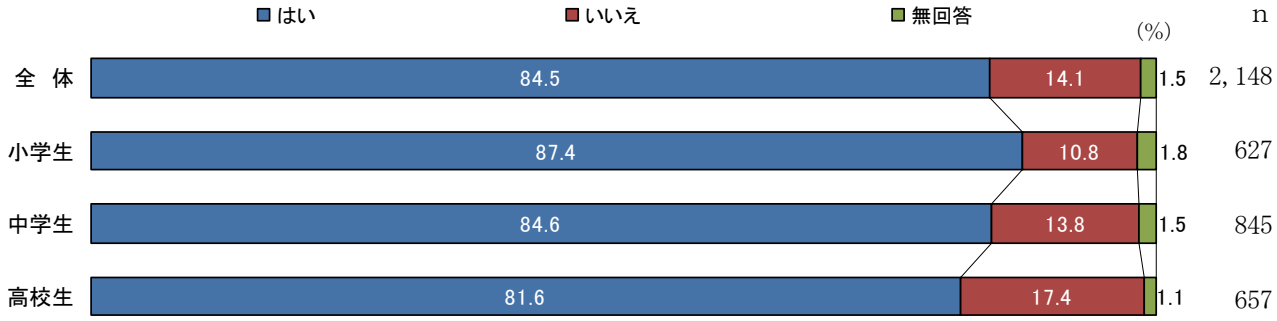


図　　父親と一緒に暮らしている割合

①ふだんお父さんから、次のようなことを言われますか。（各１つ）

◇　「よく言われる」の割合が高いのは、「頑張った時、ほめてくれる」（40.8%）、「励ます言葉をかけてくれる」（27.2%）、「もっと勉強しなさい」（20.1%）である。

◇　「ほとんど言われない」の割合が高いのは、「弱いものいじめをしないようにしなさい」（80.2%）、「友達と仲良くしなさい」（76.2%）、「うそをつかないようにしなさい」（76.0%）である。

◇　全体的に母親よりも言われる割合は低いが、言われることの傾向は母親と似ている。

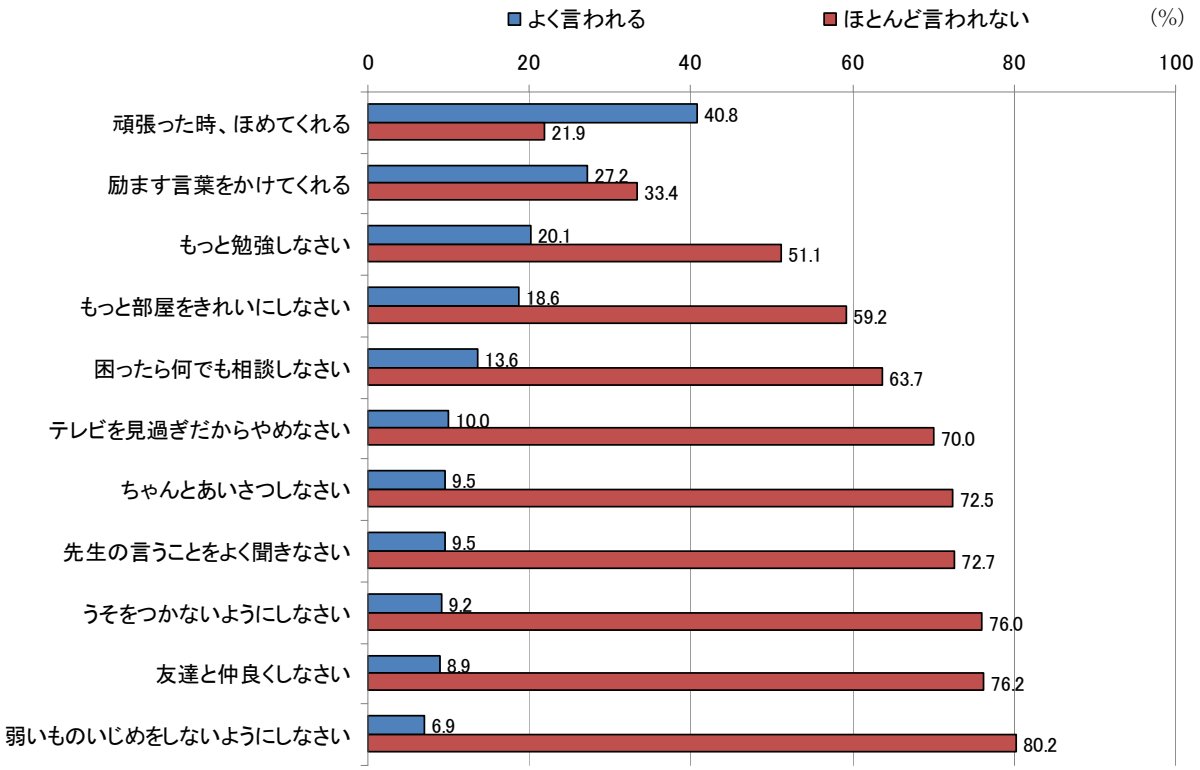


図　　ふだん父親から言われること

回答数　全体＝1,814

ア．ちゃんとあいさつしなさい

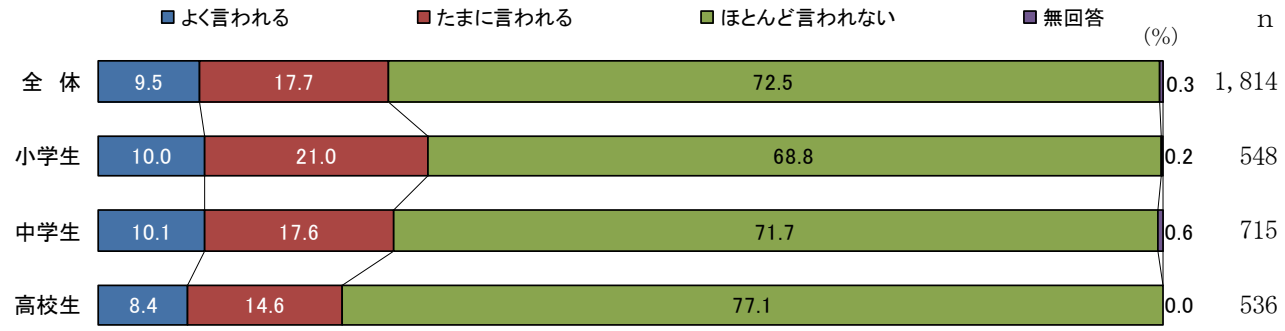


図　　ちゃんとあいさつしなさいと言われる割合：父親

イ．もっと勉強しなさい

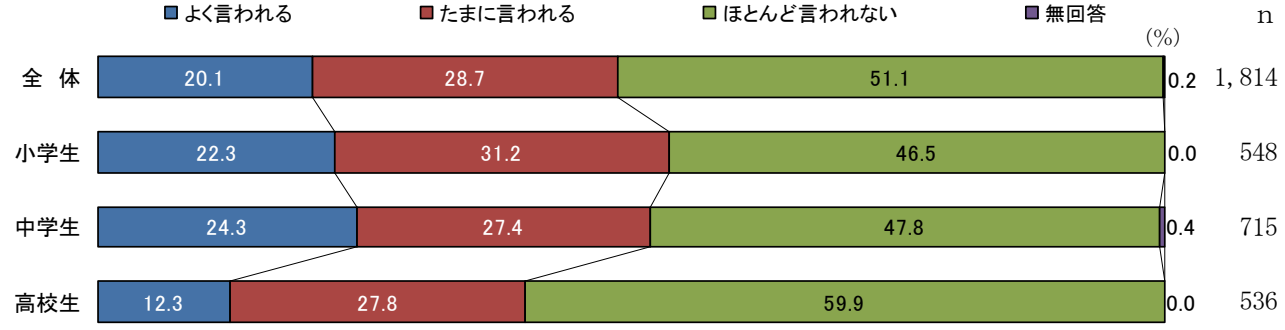


図　　もっと勉強しなさいと言われる割合：父親

ウ．もっと部屋をきれいにしなさい

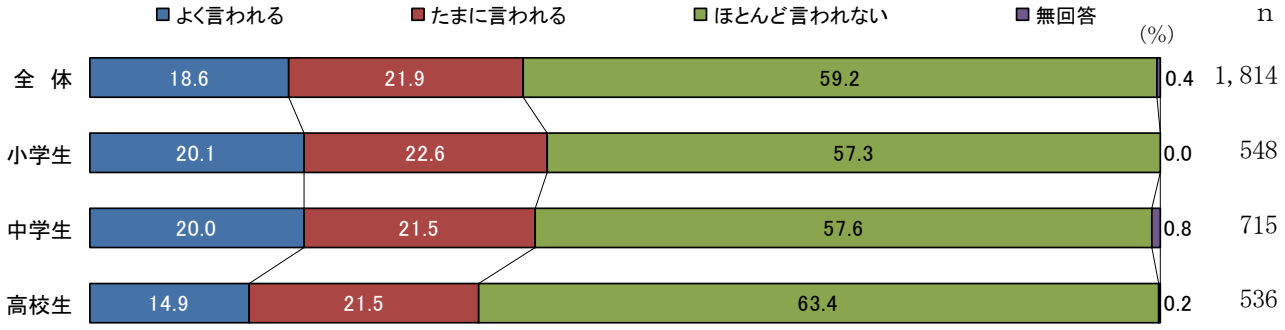


図　　もっと部屋をきれいにしなさいと言われる割合：父親

エ．テレビを見過ぎだからやめなさい

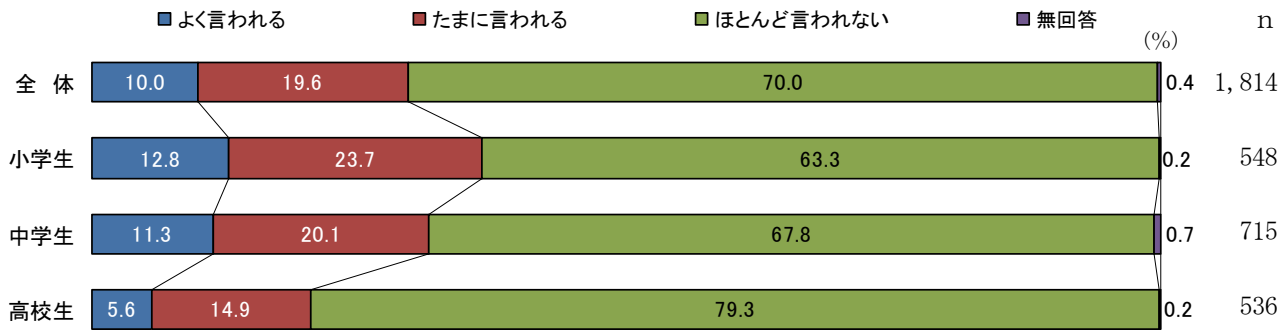


図　　テレビを見過ぎだからやめなさいと言われる割合：父親

オ．うそをつかないようにしなさい

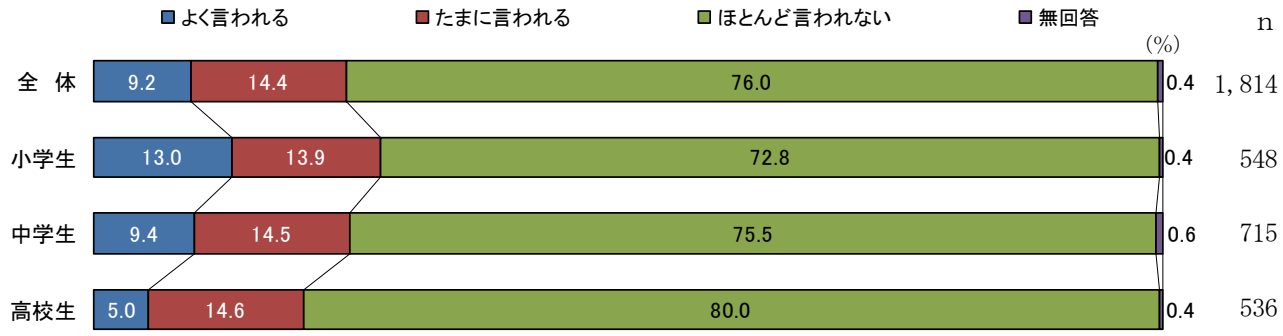


図　　うそをつかないようにしなさいと言われる割合：父親

カ．友達と仲良くしなさい

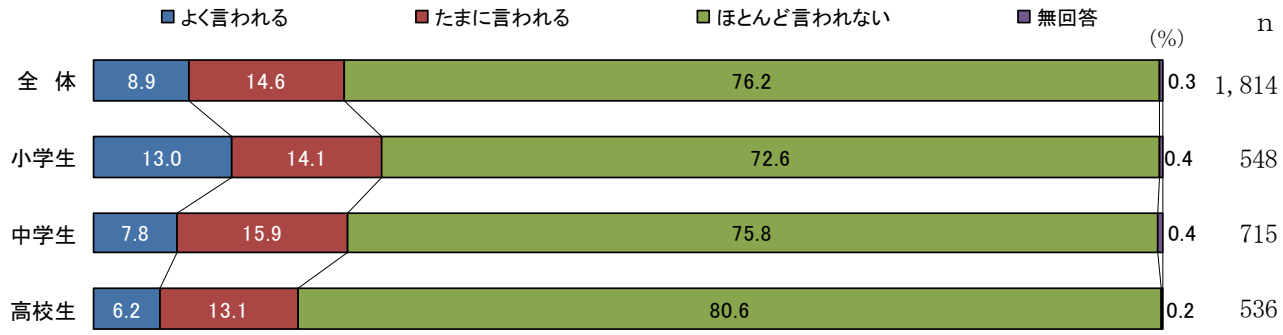


図　　友達と仲良くしなさいと言われる割合：父親

キ．先生の言うことをよく聞きなさい

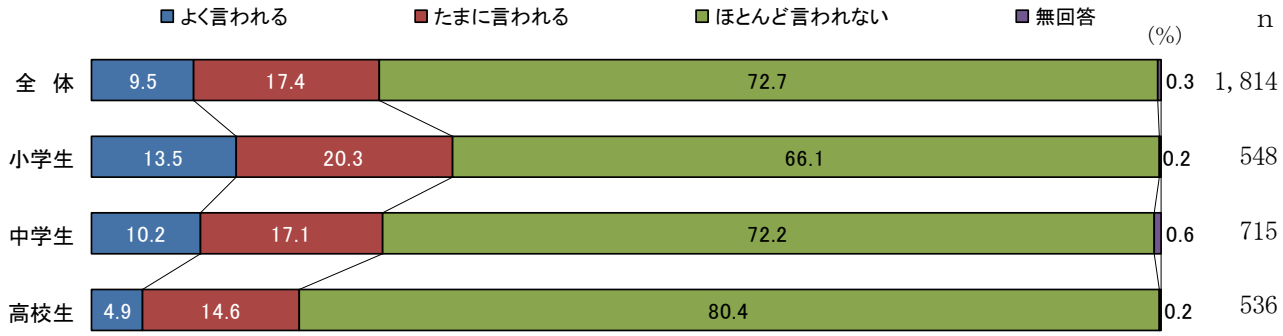


図　　先生の言うことをよく聞きなさいと言われる割合：父親

ク．弱いものいじめをしないようにしなさい

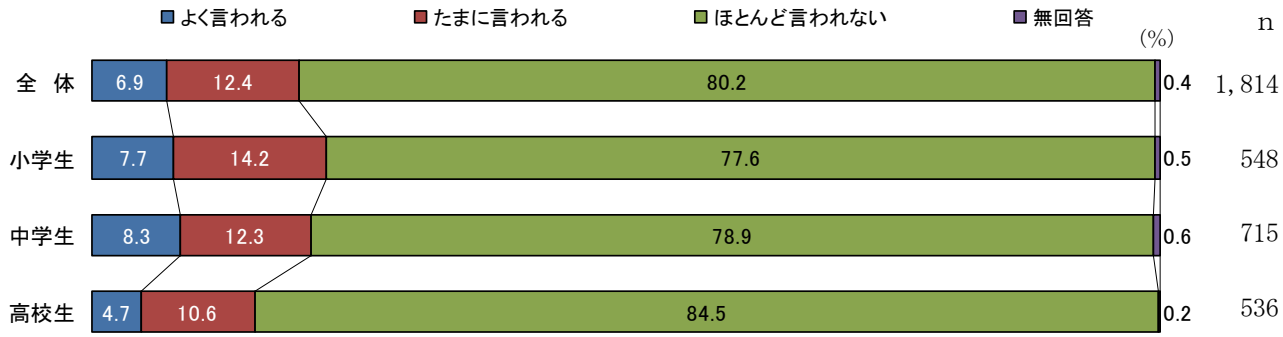


図　　弱いものいじめをしないようにしなさいと言われる割合：父親

ケ．困ったら何でも相談しなさい

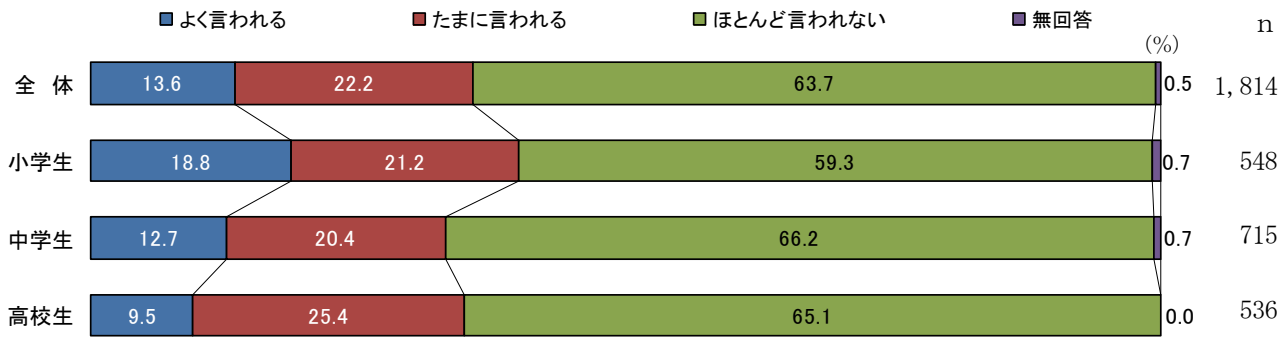


図　　困ったら何でも相談しなさいと言われる割合：父親

コ．励ます言葉をかけてくれる

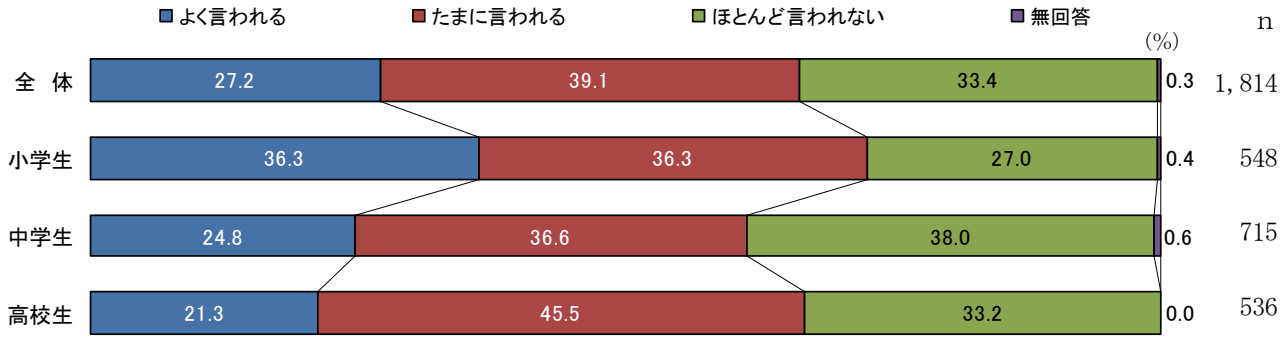


図　　励ます言葉をかけてくれる割合：父親

サ．頑張った時、ほめてくれる

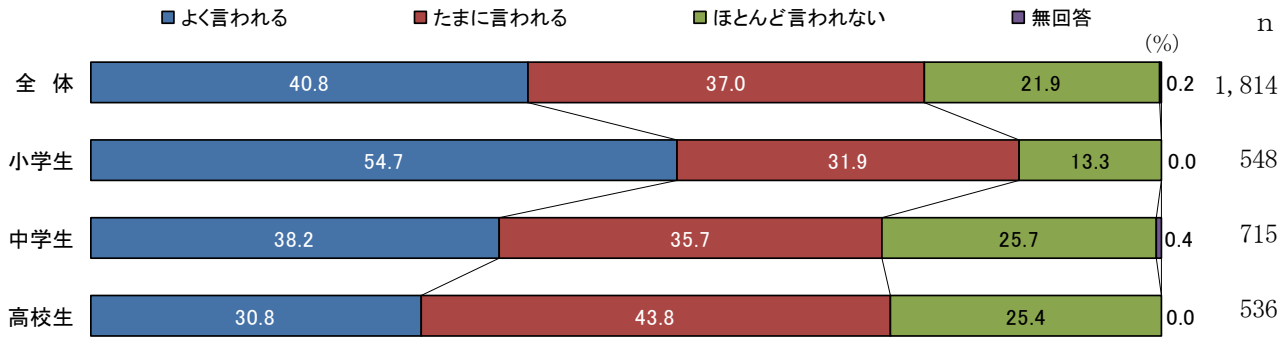


図　　頑張った時、ほめてくれる割合：父親

『父親から言われること（子ども 問１５）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が父親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。

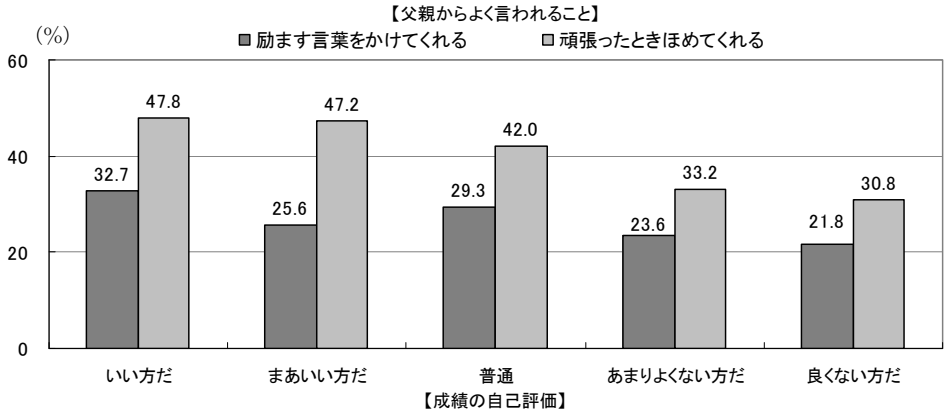


図　　成績の自己評価別の父親から励ましやほめられることがある割合

『親子関係：父親（子ども 問１５）と成績の自己評価（子ども F3)』

○　「父親と支援的な関係」が強い子の方が成績の自己評価は高い。

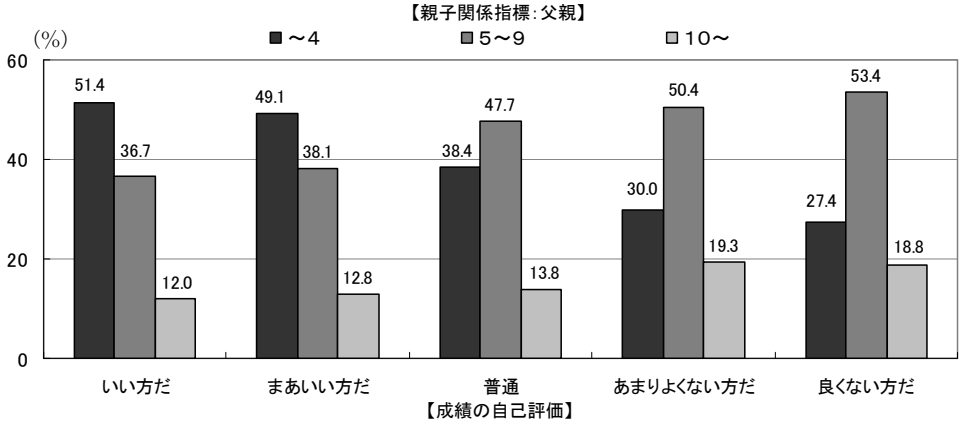


図　　成績の自己評価と親子関係：父親

『親子関係：父親（子ども 問１５）と
自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８)』

○　「父親との支援的な関係」が強い子の方が自己肯定感や生活満足度が高い。

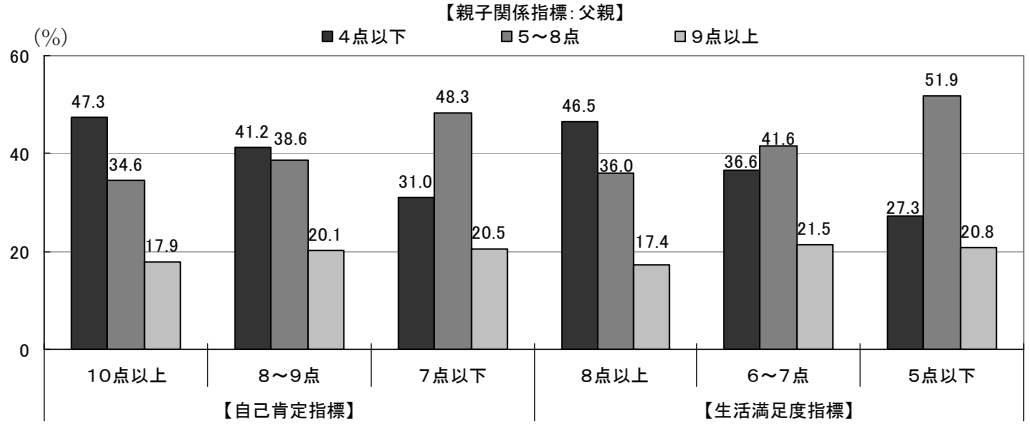


図　　自己肯定感・生活満足度と親子関係：父親

②あなたとお父さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。（各１つ）

◇　「そう思う」の割合が高いのは、「わたしはお父さんを信頼している」（45.6%）、「お父さんは、わたしを信頼してくれている」（34.8%）、「お父さんは、わたしの好きなことをよくわかっている」（26.9%）である。

◇　「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計も、「わたしはお父さんを信頼している」が 81.4%、「お父さんは、わたしを信頼してくれている」が 78.6%と高い割合になっている。

◇　「そう思わない」の割合が相対的に高いのは、「お父さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている」（40.6%）、「わたしはお父さんには何でも話せる」（17.7%）である。

◇　母親に比べて父親の場合は、「そう思わない」と回答する割合が高い。

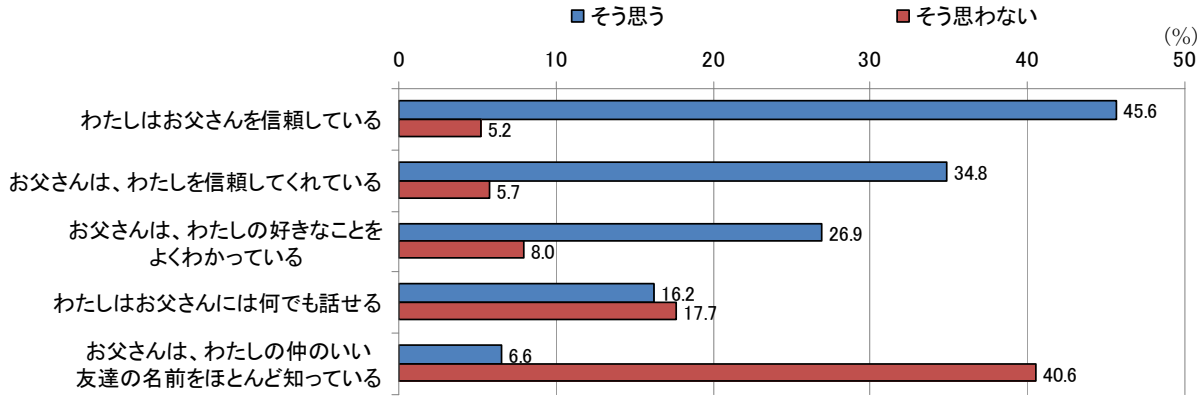


図　　父親との関係について　　回答数　全体＝1,814

ア．お父さんは、わたしの好きなことをよくわかっている

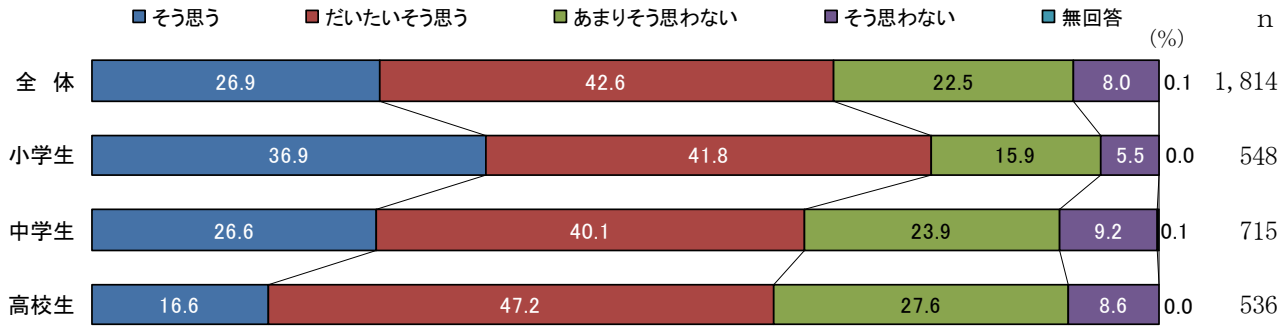


図　　わたしの好きなことをよくわかっている割合：父親

イ．お父さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている

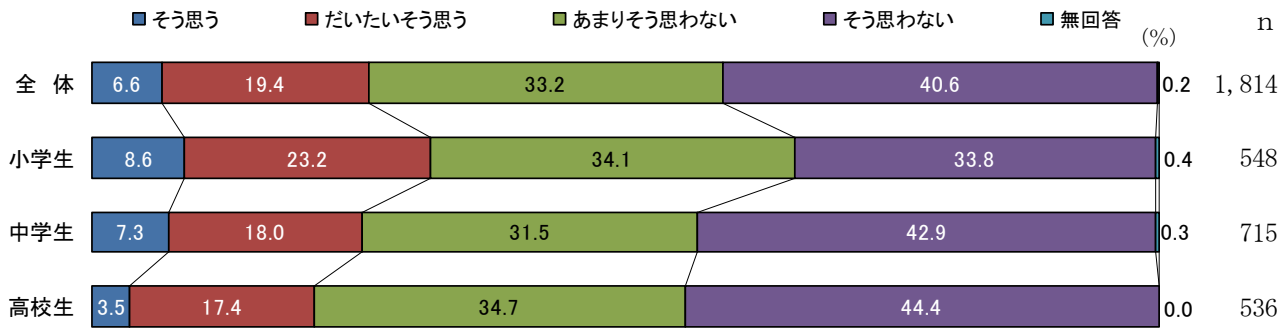


図　　わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている割合：父親

ウ．お父さんは、わたしを信頼してくれている

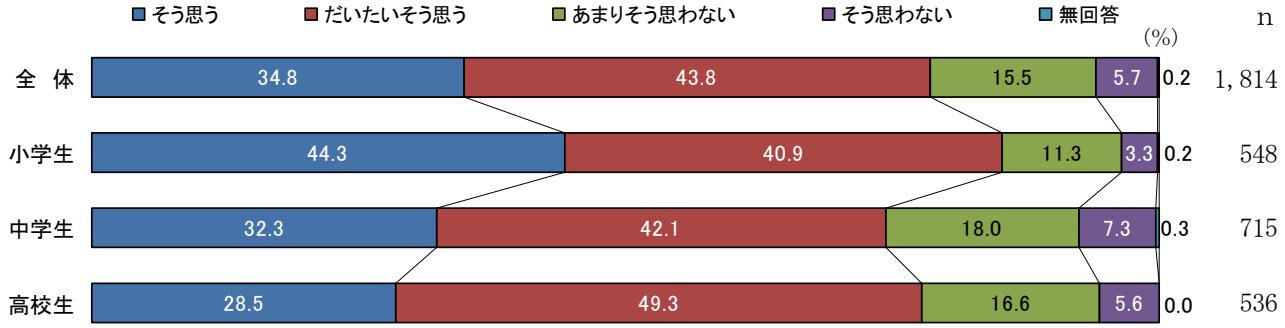


図　　わたしを信頼してくれている割合：父親

エ．わたしはお父さんを信頼している

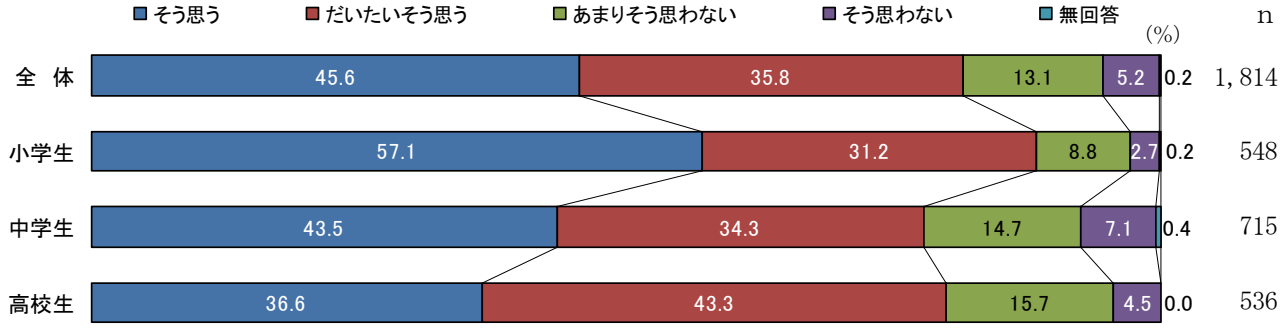


図　　わたしはお父さんを信頼している割合

オ．わたしはお父さんには何でも話せる

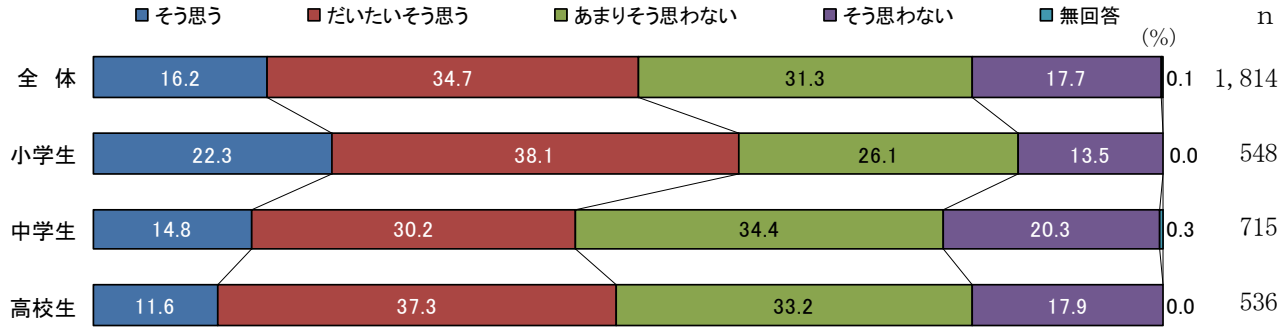


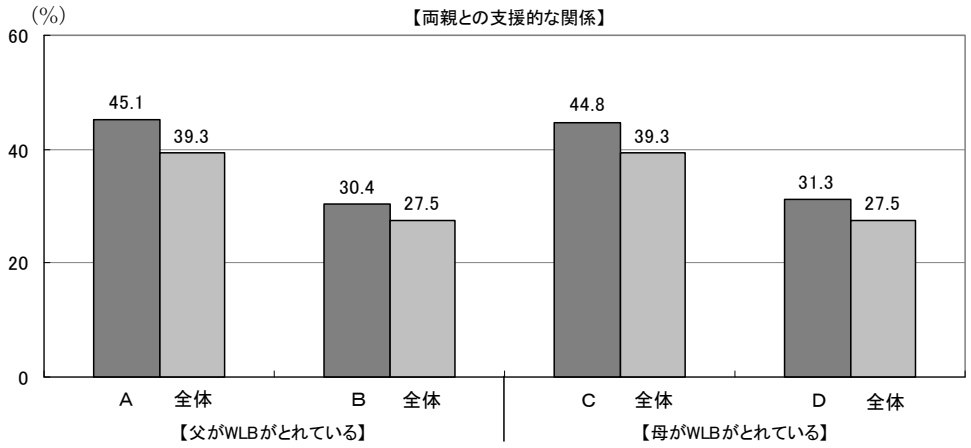
図　　わたしはお父さんには何でも話せる割合

【5 年前からの変化】

・両親との関係については５年前と大きく変わっていない。

『親子関係（子ども 問１４・１５）と仕事と生活のバランス（就学後 問８）』

● 「ワーク・ライフ・バランスのとれている親」の方が支援的な関係の割合が高い。



※A：父がＷＬＢとれている／父が支援的な関係、Ｂ：父がＷＬＢとれている／母が支援的な関係、
Ｃ：母がＷＬＢとれている／父が支援的な関係、Ｄ：母がＷＬＢとれている／母が支援的な関係

図　　ワーク・ライフ・バランスと両親との支援的関係

～学校や近所のことに関する質問～

通っている学校について 【問１６】

■いま通っている学校での生活は楽しいですか。（各１つ）

◇ 半数以上が「楽しい」と回答している項目をみると、「友達との関係」(82.6%)、「クラブ活動」(66.4%)、「学校生活全体」(63.0%) があげられる。

◇ 「楽しくない」の割合が相対的に高いのは、「学校の授業」(10.0%)、「先生との関係」(8.1%) である。

◇ どの項目も高校生になるにつれて、「楽しくない」割合が高くなる。

◇ 長期間学校を休んでいる子どもの割合は全体で、0.7%である。

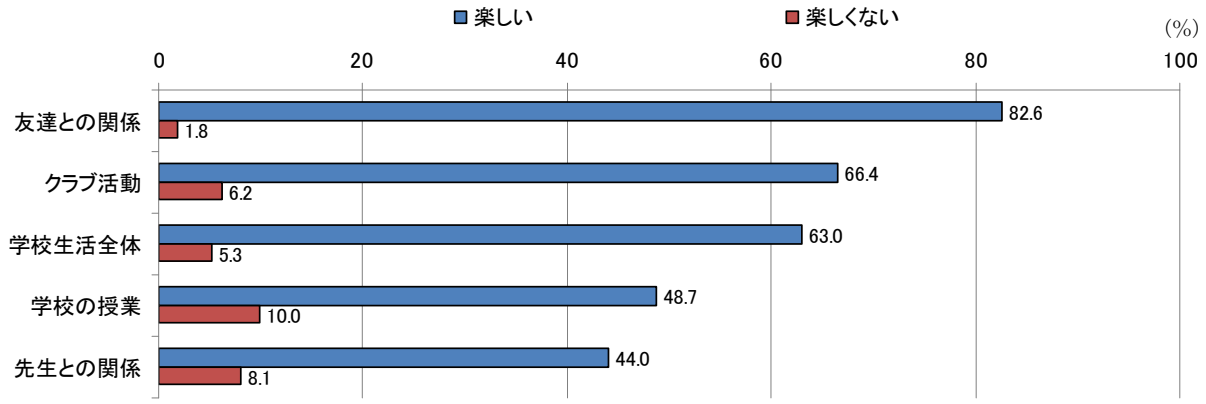


図　　学校生活について　回答数　全体＝2,148

ア．学校の授業

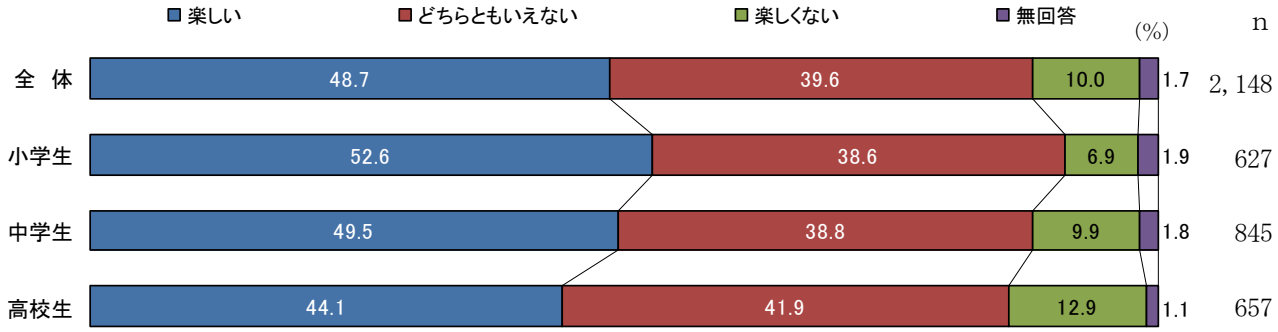


図　　学校の授業を楽しいと感じる割合

イ．クラブ活動

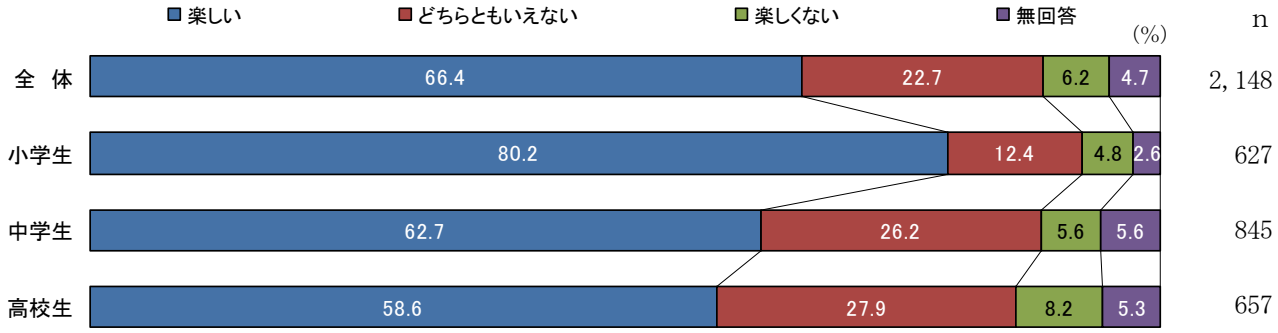


図　　クラブ活動を楽しいと感じる割合

ウ．友達との関係

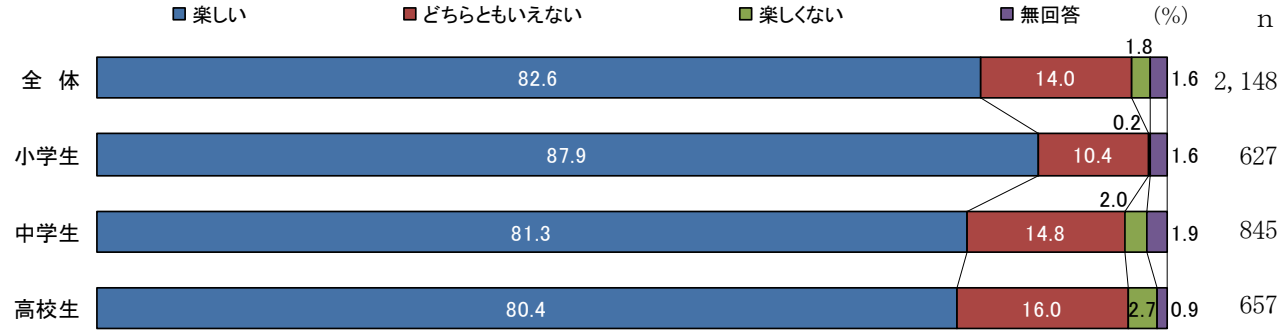


図　　友達との関係を楽しいと感じる割合

エ．先生との関係

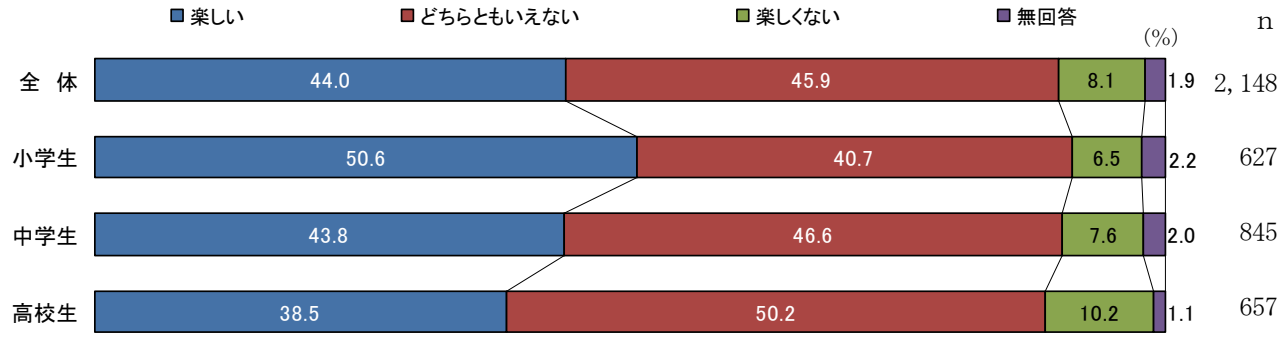


図　　先生との関係を楽しいと感じる割合

オ．学校生活全体

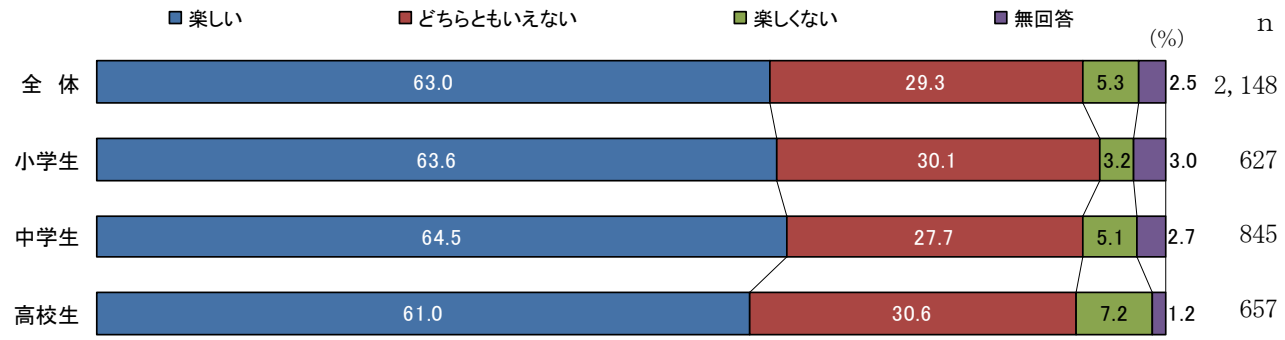


図　　学校生活全体を楽しいと感じる割合

カ．学校を長期間休んでいる（該当の場合は選択）

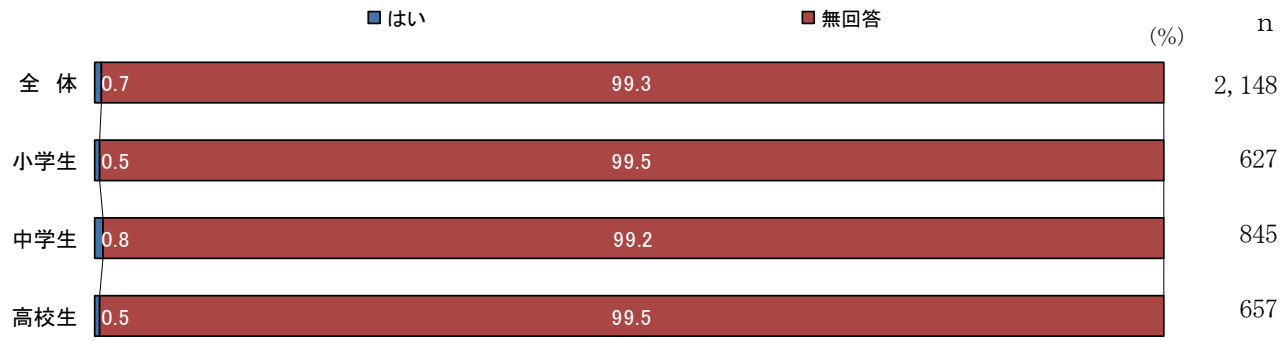


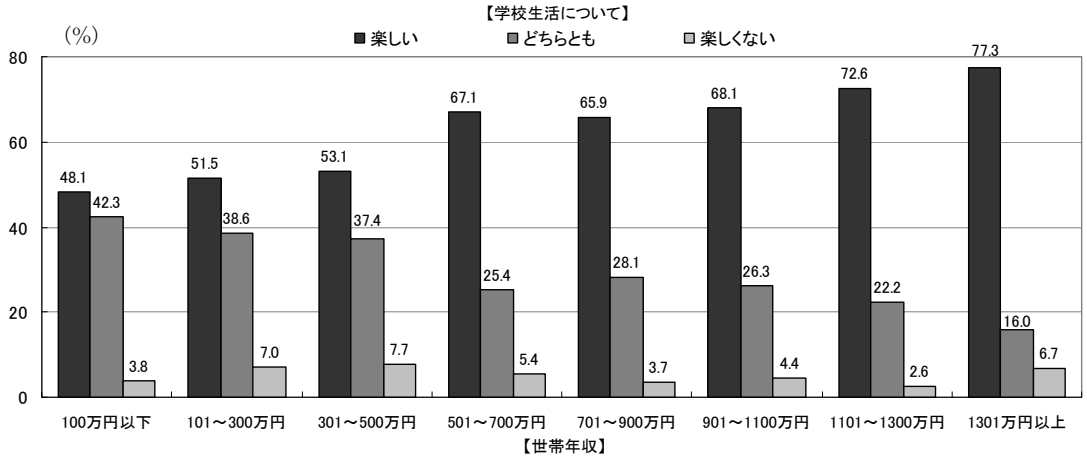
図　　学校を長期間休んでいる割合

【5 年前からの変化】

・学校生活を楽しいと思う意識は 5 年前と大きく変わっていない。

『学校生活（子ども 問１６）と世帯年収（就学後 F10)』

● 「世帯年収」が高い子の方が学校を楽しいと感じる割合が高い。



※世帯年収は世帯員の年収を年収についての回答（100 万単位）の中央値と置き、合算したもの

図　　世帯年収と学校を楽しく感じる割合

『学校生活（子ども 問１６）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２)』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が学校を楽しいと感じる割合が高い。

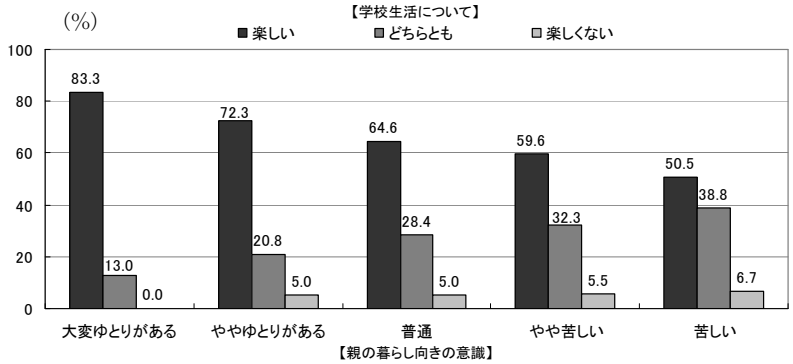


図　　親の暮らし向きの意識と学校を楽しく感じる割合

『学校生活（子ども 問１６）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８)』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が学校を楽しいと感じる割合が高い。

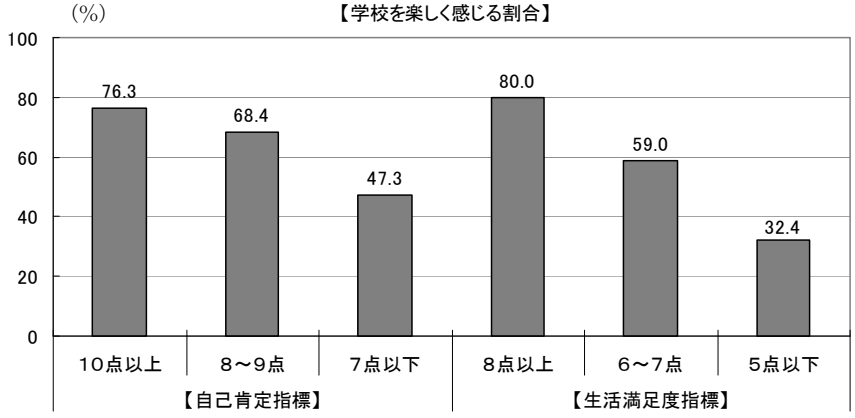


図　　自己肯定感・生活満足度と学校を楽しく感じる割合

『学校生活（子ども 問１６）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が学校を楽しいと感じる割合が高い。

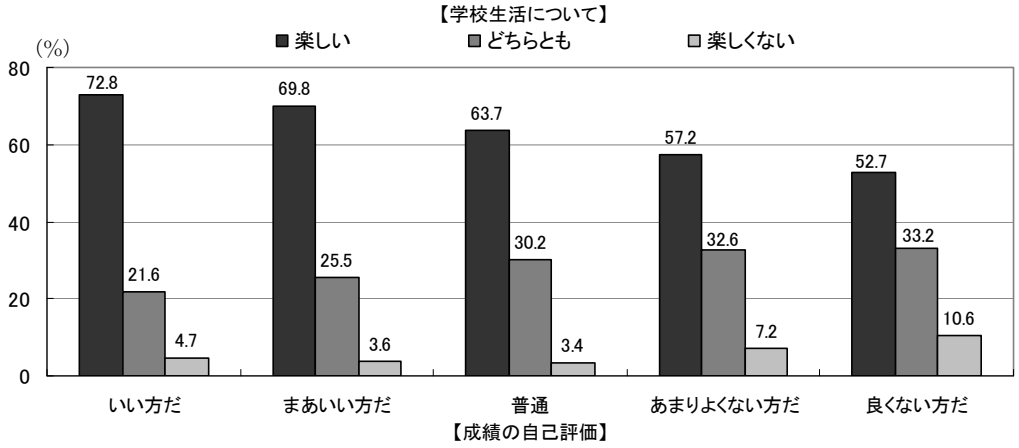


図　　成績の自己評価別の学校生活を楽しく感じる割合

『学校生活（子ども 問１６）と最終進学目標（子ども F6)』

◎　「学校生活」を楽しく感じる子の方が進学の最終目標が高い。

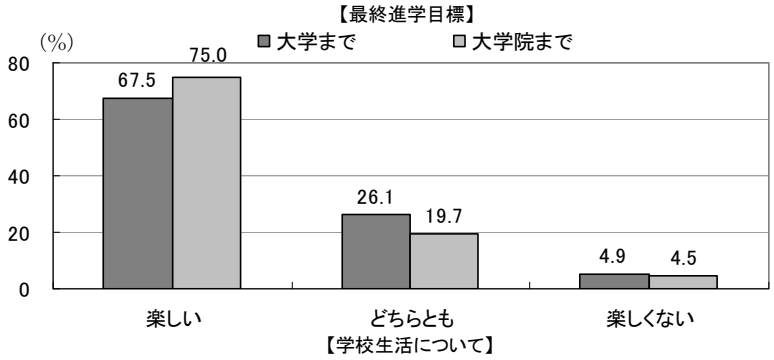


図　　学校を楽しく感じる子どもの進学の最終目標

地域や学校での活動について　　【問１７】

■地域や学校での活動について答えてください。

（１）次の活動の中で、あなたがしたことがあるは何ですか。（複数回答）

◇　「お祭りなど、地域の行事への参加」が 61.0％で最も多く、次いで「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」が 45.9％、「募金をする、または募金の呼びかけ」が 45.1％、「学級委員など、学級のための活動」が 42.7％となっている。

◇　「自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加」（社会に主体的に参画する活動）の経験がある子は全体で、5.3％である。

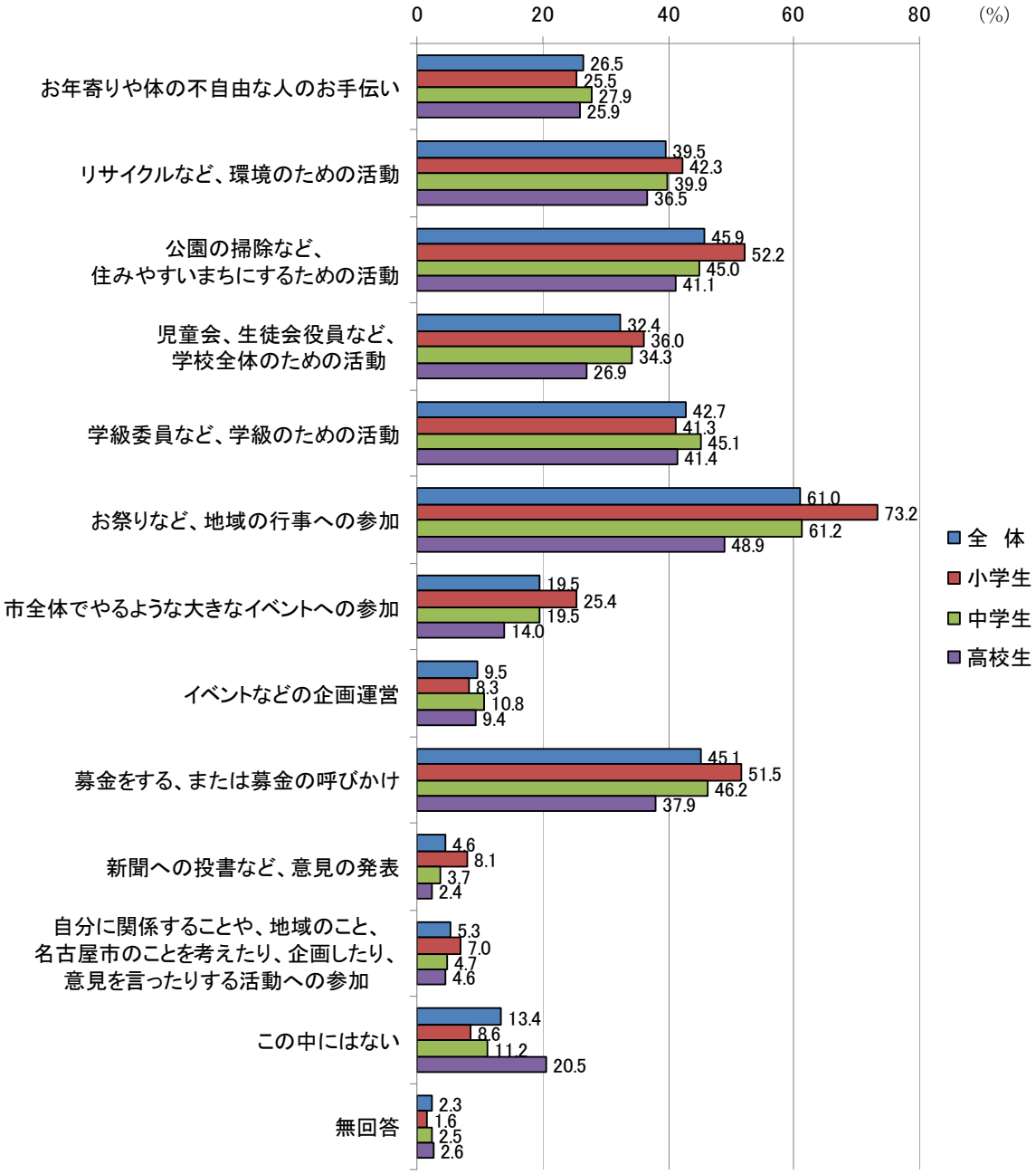


図　　したことがある地域活動

回答数　全体＝7,470　小学生＝2,389　中学生＝2,974　高校生＝2,051

『地域や学校での活動（子ども 問１７）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きが苦しい」と回答した家庭の子の方が「社会活動に参加したことがない」と回答した割合が高い。

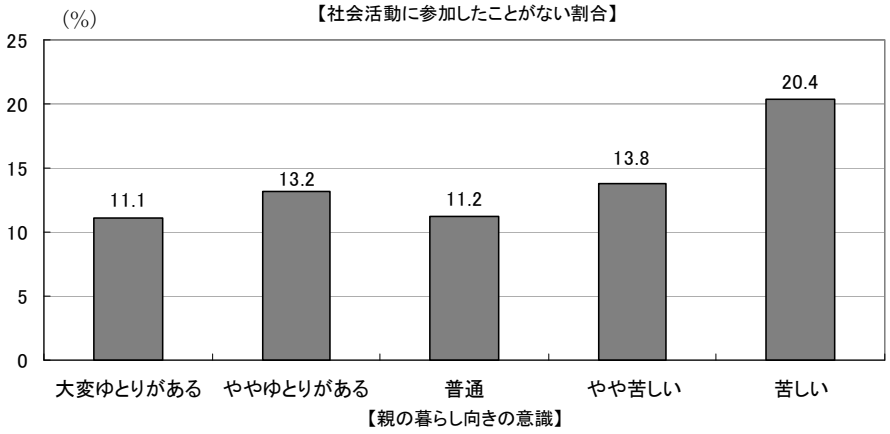


図　　親の暮らし向きの意識と社会活動に参加したことがない割合

（２）あなたがふだん一番よくするものの番号を答えてください。（１つ）

◇　「お祭りなど、地域の行事への参加」が 24.6%で最も多く、次いで「学級委員など、学級のための活動」が 19.3%、「児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」が 10.3%、「リサイクルなど、環境のための活動」が 9.3%となっている。

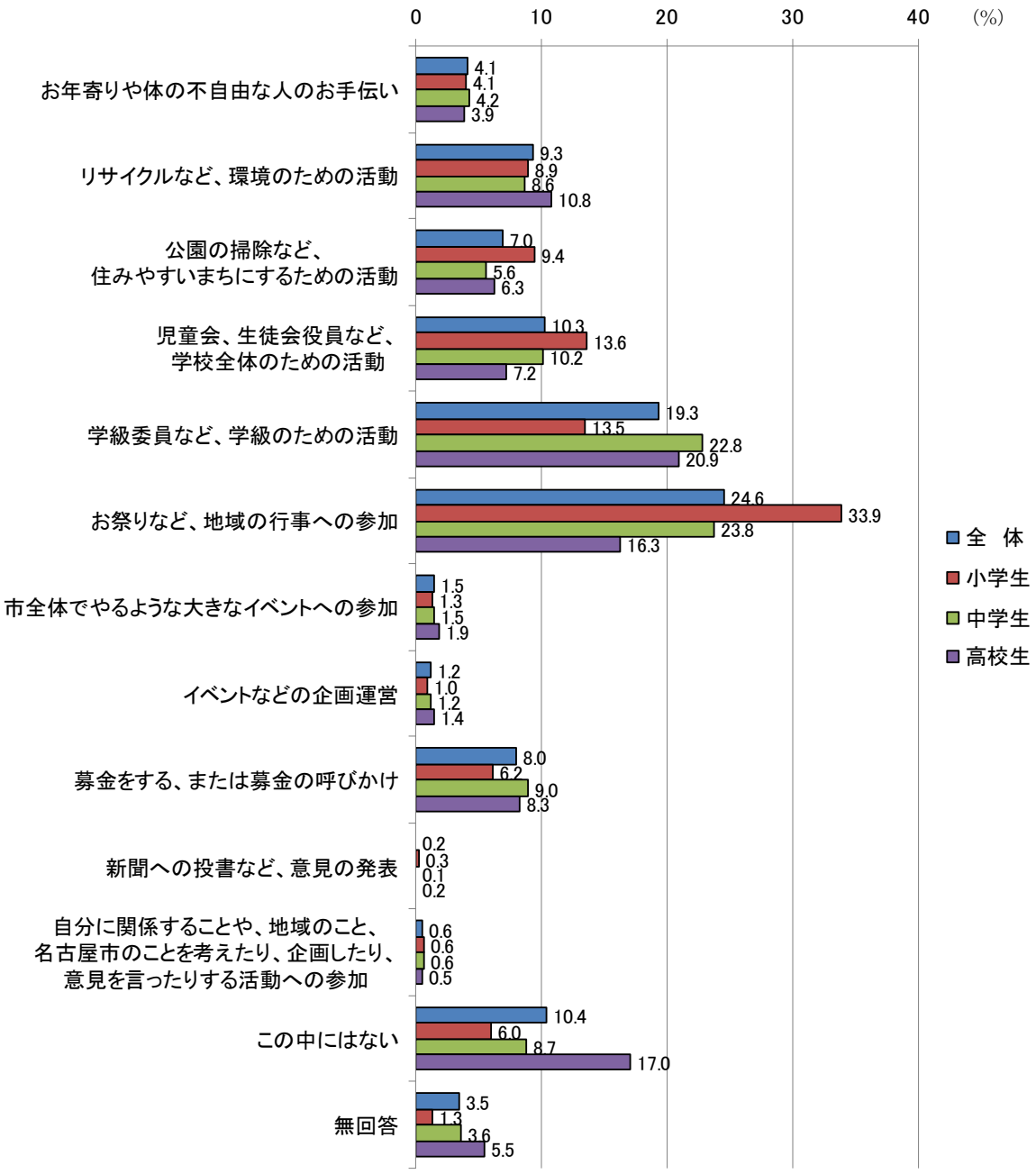


図　　ふだん一番よくする地域活動

回答数　全体＝2,098　小学生＝617　中学生＝824　高校生＝640

（３）きっかけになったのは、誰かがやっているのを見たり、誰からかすすめられたりしたからですか。（複数回答）

◇ 全体では、「自分でやりたいと思った」が 34.1％で最も多く、次いで「先輩・友だち」が 28.3％、「お母さん」が 22.3％となっている。

◇ 「とくにきっかけはない」は、高校生の割合が 19.9％と高い。

◇ 家族の中では「お母さん」の割合が高く、「お父さん」「兄弟姉妹」になると半数以下になる。

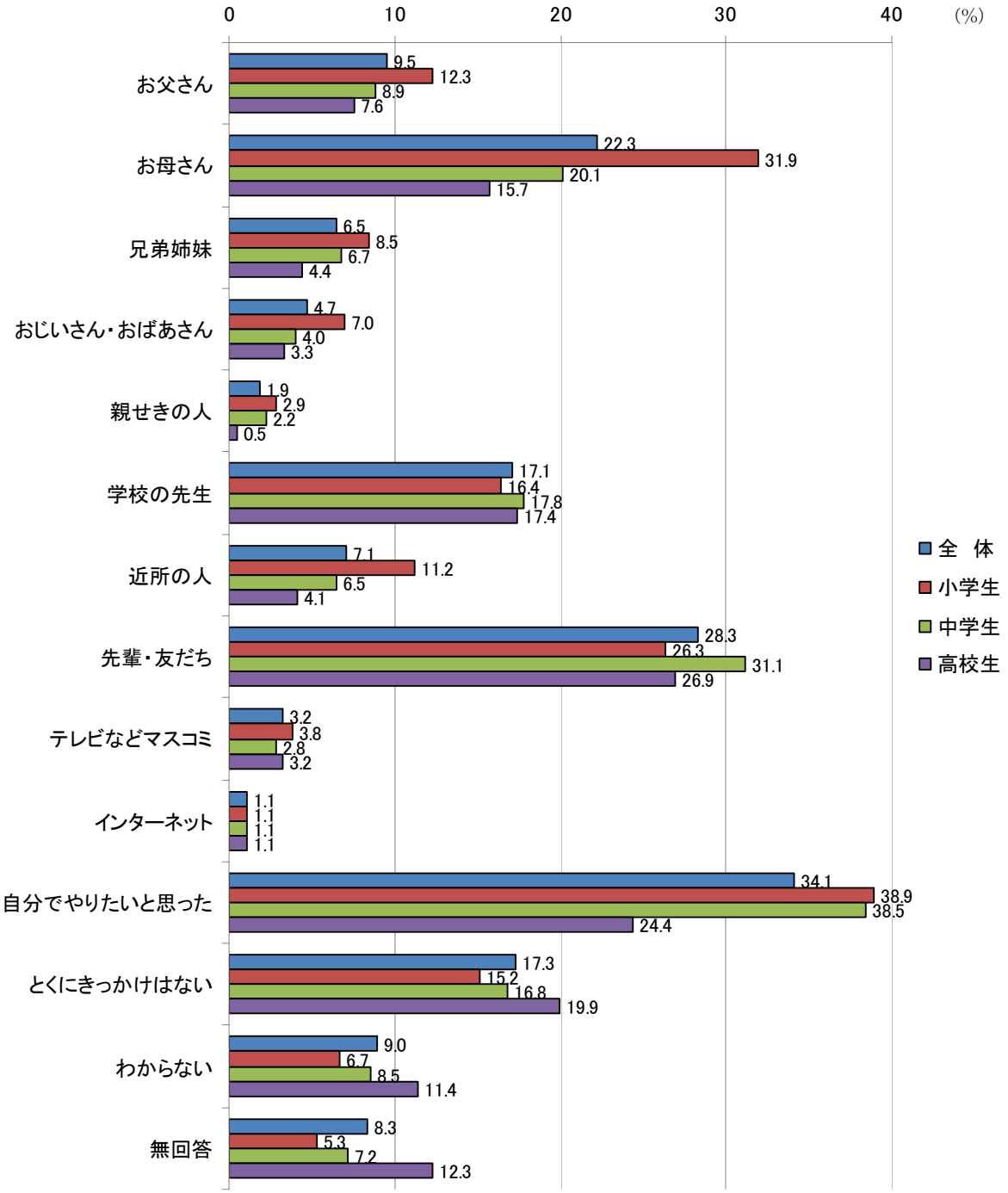


図　　地域活動をするきっかけ

回答数　全体＝3,658　小学生＝1,175　中学生＝1,456　高校生＝1,000

【5 年前からの変化】

・地域活動参加の傾向は 5 年前と大きく変わっていない。

『地域や学校での活動（子ども 問１７）と自己肯定感（子ども 問２７)』

○　「自己肯定感」が高い子の方が社会活動に参加する割合が高く、かつ自主的に参加する割合が高い。

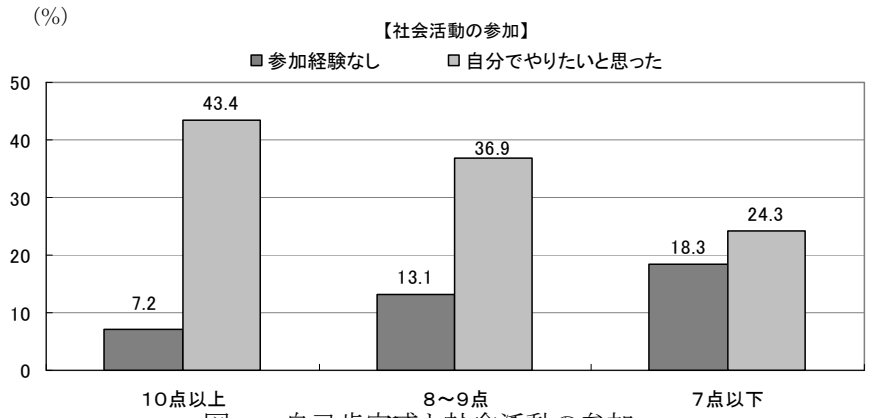


図　　自己肯定感と社会活動の参加

『地域や学校での活動（子ども 問１７）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が社会活動を自主的に行った割合が高い。

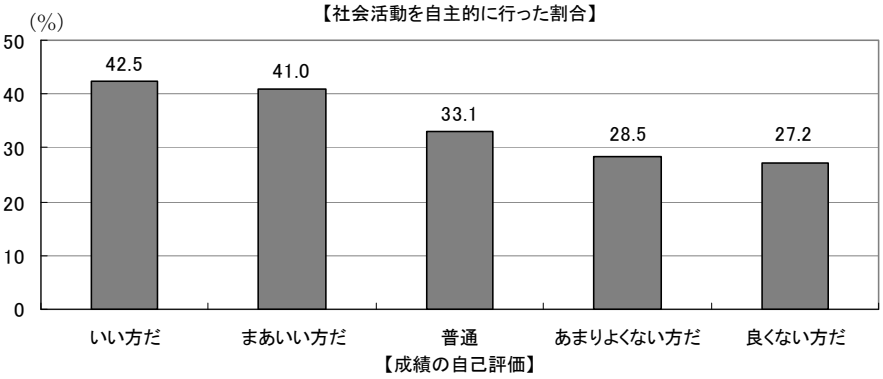


図　　成績の自己評価別の社会活動を自主的に行った割合

近所に住んでいる人たちとの関係について　【問１８】

■近所に住んでいる人たちとの関係について答えてください。

（１）これまで、近所の大人からほめられたり、しかられたりしたことはありますか。（１つ）

◇　「ほとんどなかった」43.6%、「ときどきあった」43.2%、「よくあった」12.7%の順になっている。

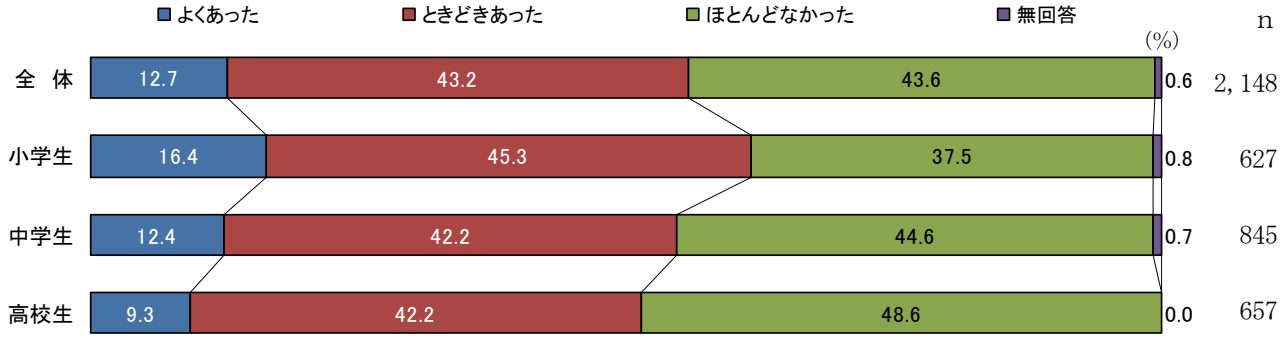


図　　近所の大人からほめられたり、しかられたりしたことがある割合

（２）ふだん、近所の大人とあいさつをしますか。（１つ）

◇　「よくする」50.1%、「ときどきする」39.9%、「ほとんどしない」9.5%の順になっている。

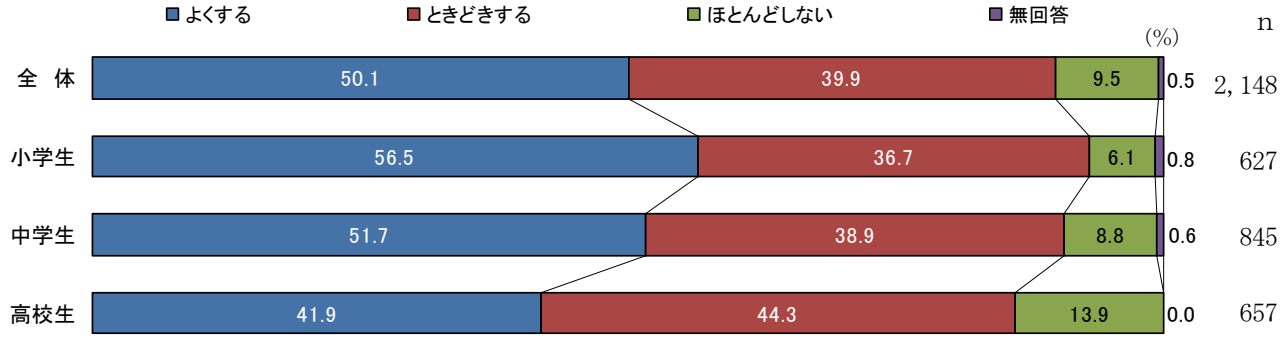


図　　ふだん、近所の大人とあいさつをする割合

（３）ふだん、近所の大人と話をすることがありますか。（１つ）

◇　「ほとんどない」47.4%、「ときどきする」40.4%、「よくする」11.6%の順になっている。

◇　小学生は「よくする」の割合が 16.6%と相対的に高く、高校生では「ほとんどしない」の割合が 55.9%と相対的に高い。

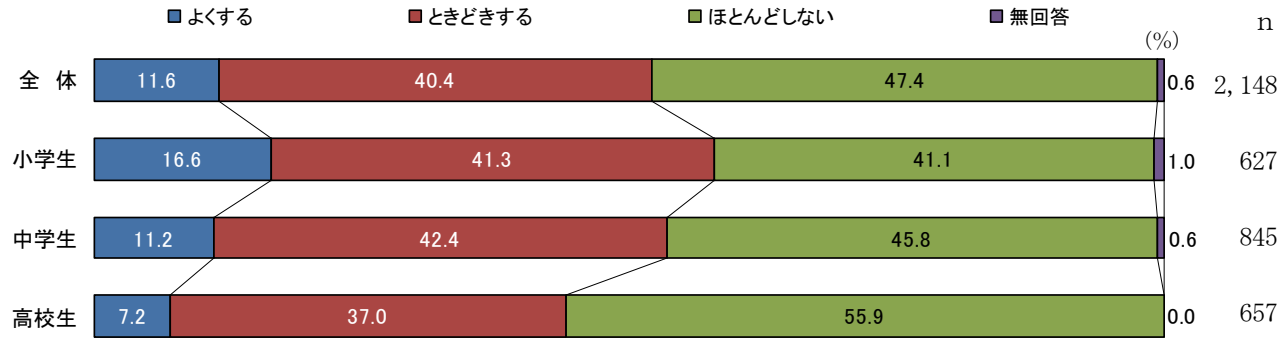


図　　ふだん、近所の大人と話をする割合

【5 年前からの変化】

・近所の人との関係は 5 年前と大きく変わっていない。

『地域の大人との関係（子ども 問１８）と
自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○　「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子は地域の大人との関係が強い。

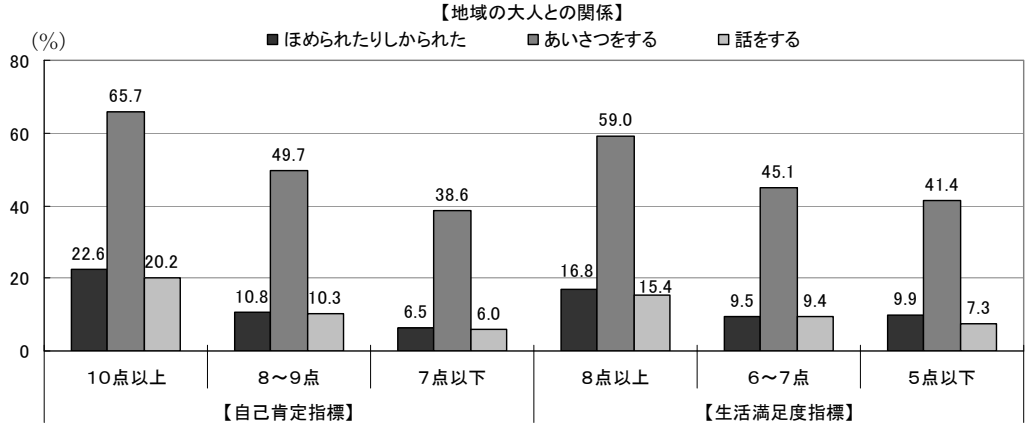


図　　自己肯定感・生活満足度と地域の大人との関係

自分の考え方に影響している大人について　【問１９】

■あなたの考え方に影響を与えている大人はだれですか。（複数回答）

◇　全体では、「お母さん」が 67.6%で最も多く、次いで「お父さん」が 51.3%、「学校の先生」が 35.0%となっている。

◇　「学校の先輩」の割合は、小学生が 3.8%、高校生が 21.3%と差が大きくなっている。

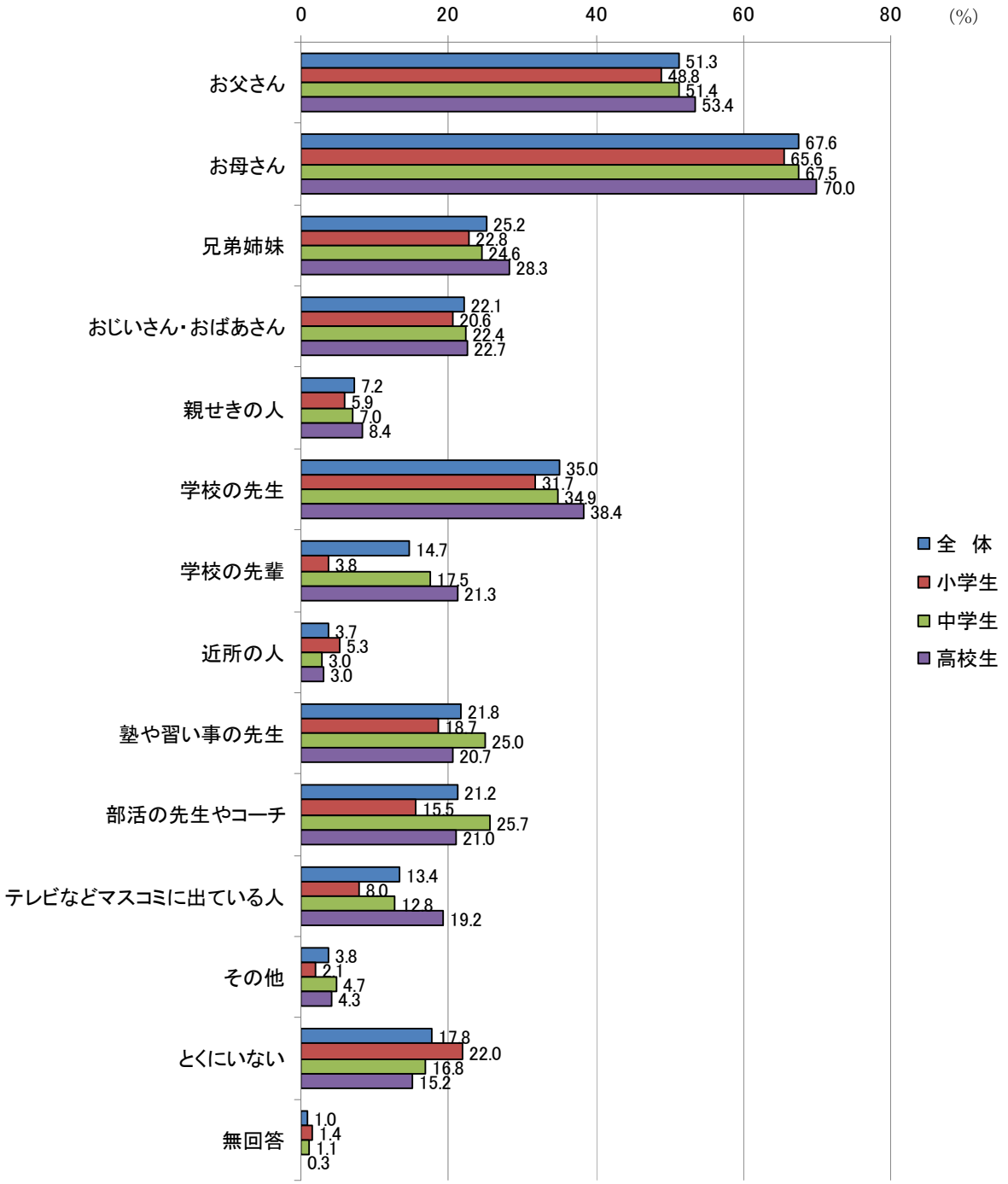


図　　自分の考え方に影響を与えている大人

回答数　全体＝6,568　小学生＝1,706　中学生＝2,655　高校生＝2,143

『影響を与える大人（子ども 問１９）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が親を「影響を与えている大人」に選んでいる。

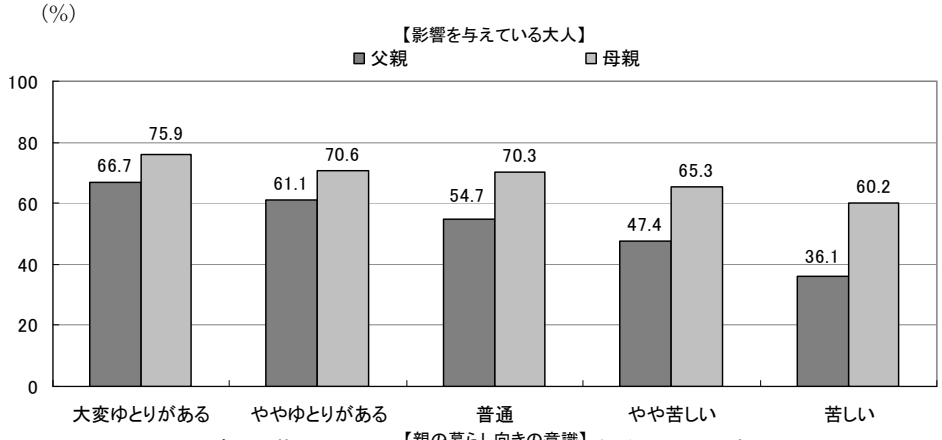


図　　親の暮らし向きの意識と影響を与えている大人

～あなた自身に関する質問～

あなたの悩みなどについて　　【問２０】

■あなたはいまどんなことに悩んだり困ったりしていますか。（複数回答）

◇ 全体では、「勉強のこと」が 43.9%と最も多く、次いで「将来のこと」が 39.3%、「悩んだり困っていることはない」が 29.9%となっている。

◇ 小学生は「悩んだり困っていることはない」の割合が相対的に高く、中学生、高校生になると「勉強のこと」「将来のこと」「自分の容姿のこと」の割合が相対的に高い。

◇ 「自分がからだの性と心の性が違っていると感じること」で悩んでいる人が 0.9%である。

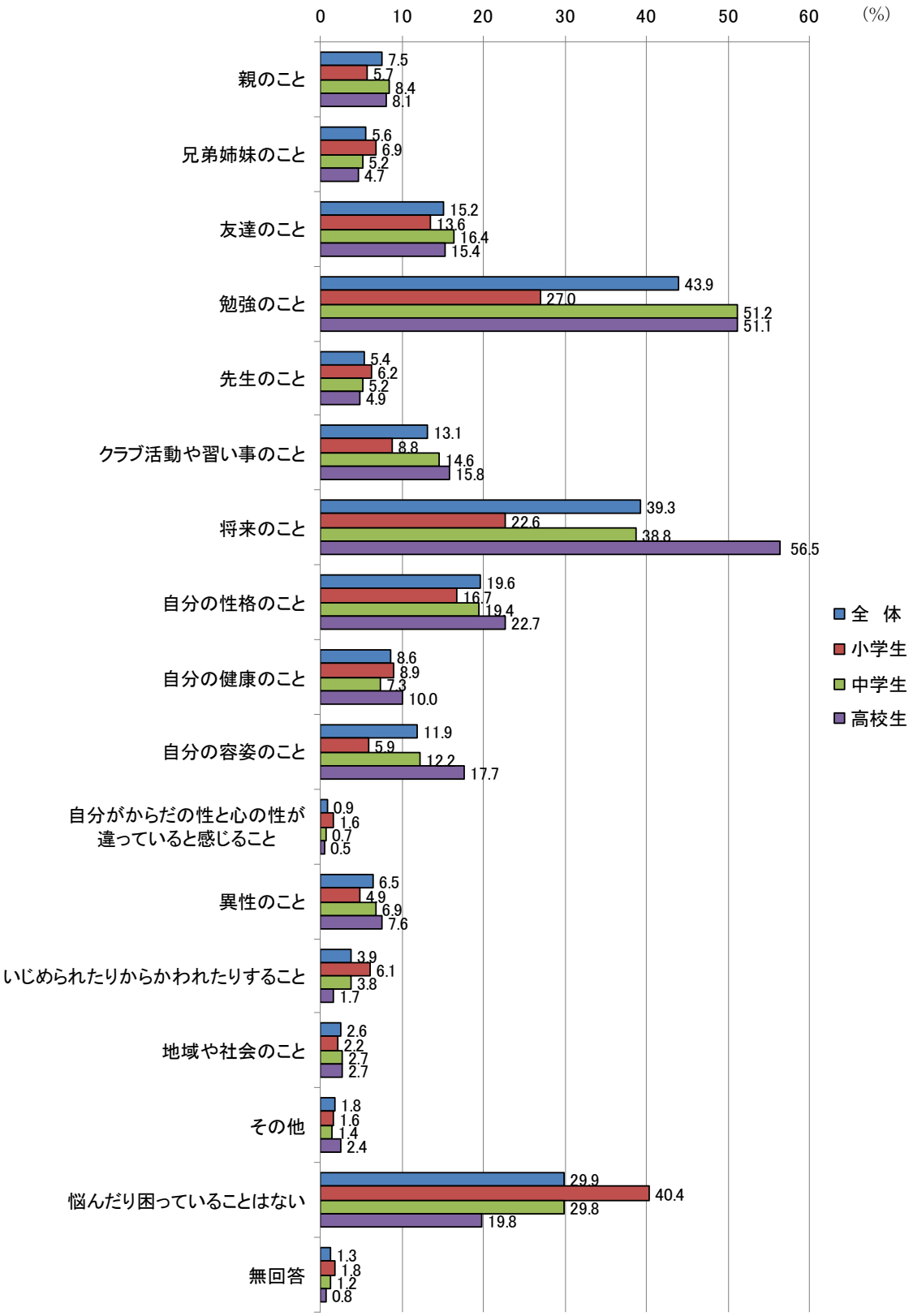


図　　いまの悩みや困りごと

回答数　全体＝4,665　小学生＝1,134　中学生＝1,904　高校生＝1,592

【5 年前からの変化】

・全体では、悩んだり困っていることはない子が約 27%増えた。
・全体では、異性のことに悩む子が約 5%、友達のことに悩む子が約 4%減った。

『悩みや困ったこと（子ども 問２０）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が「悩んだり、困っていることがない」と回答した割合が高い。

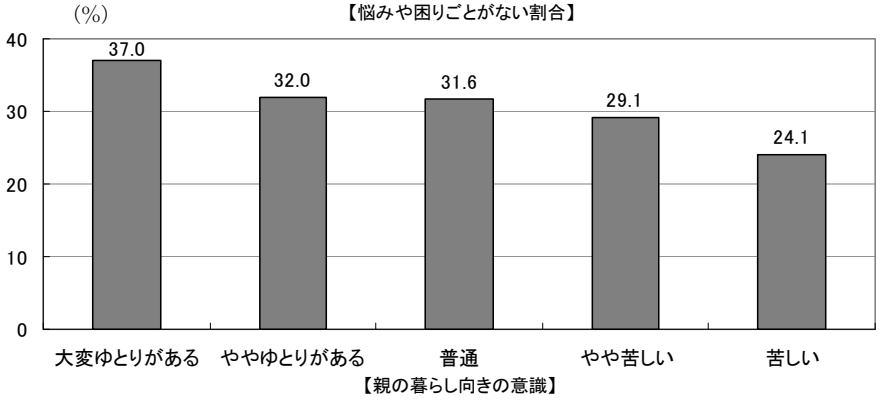


図　　親の暮らし向きの意識と悩んだり困ったことがない割合

『悩みや困ったこと（子ども 問２０）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が悩んでいることや困っていることはないと回答した割合が高い。

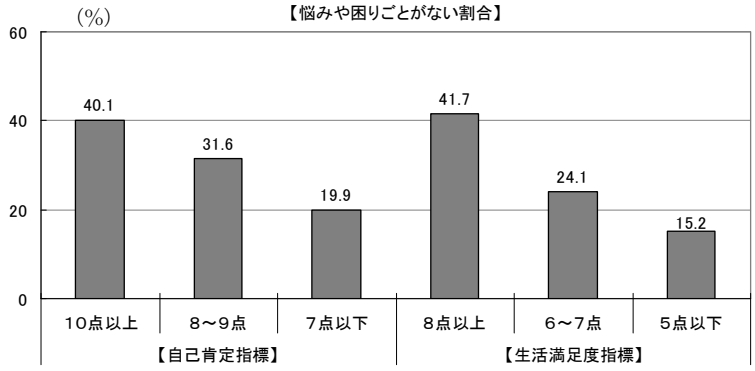


図　　自己肯定感・生活満足度と悩んだり困ったことがない割合

『悩みや困ったこと（子ども 問２０）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が、悩んでいることや困っていることはないと回答した割合が高い。

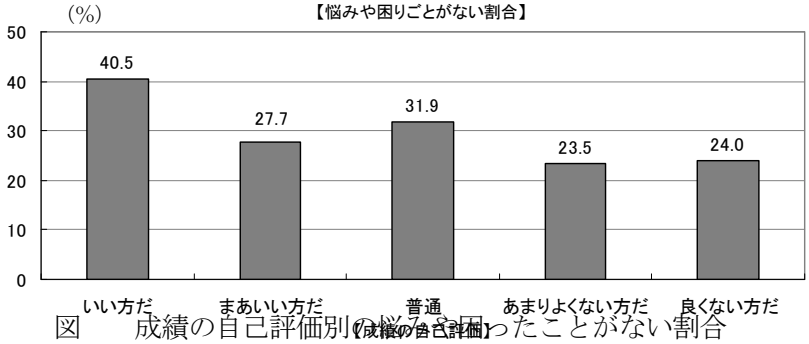


図　　成績の自己評価別の悩みや困ったことがない割合

悩みの相談相手について 【問２１】

■悩みやこまったことがあるときに相談する人はだれですか。（複数回答）

◇ 全体では、「お母さん」が 61.4%で最も多く、次いで「友達」が 53.1%、「お父さん」が 26.9%、「担任の先生」が 19.2%、「兄弟姉妹」が 15.0%となっている。

◇ 小学生の場合、「お母さん」「お父さん」「担任の先生」の割合が高く、高校生になると、「友達」「学校の先輩」の割合が高くなる。

◇ 「お父さん」「お母さん」に相談する割合は、ともに小学生で最も高く、高校生で最も低い。

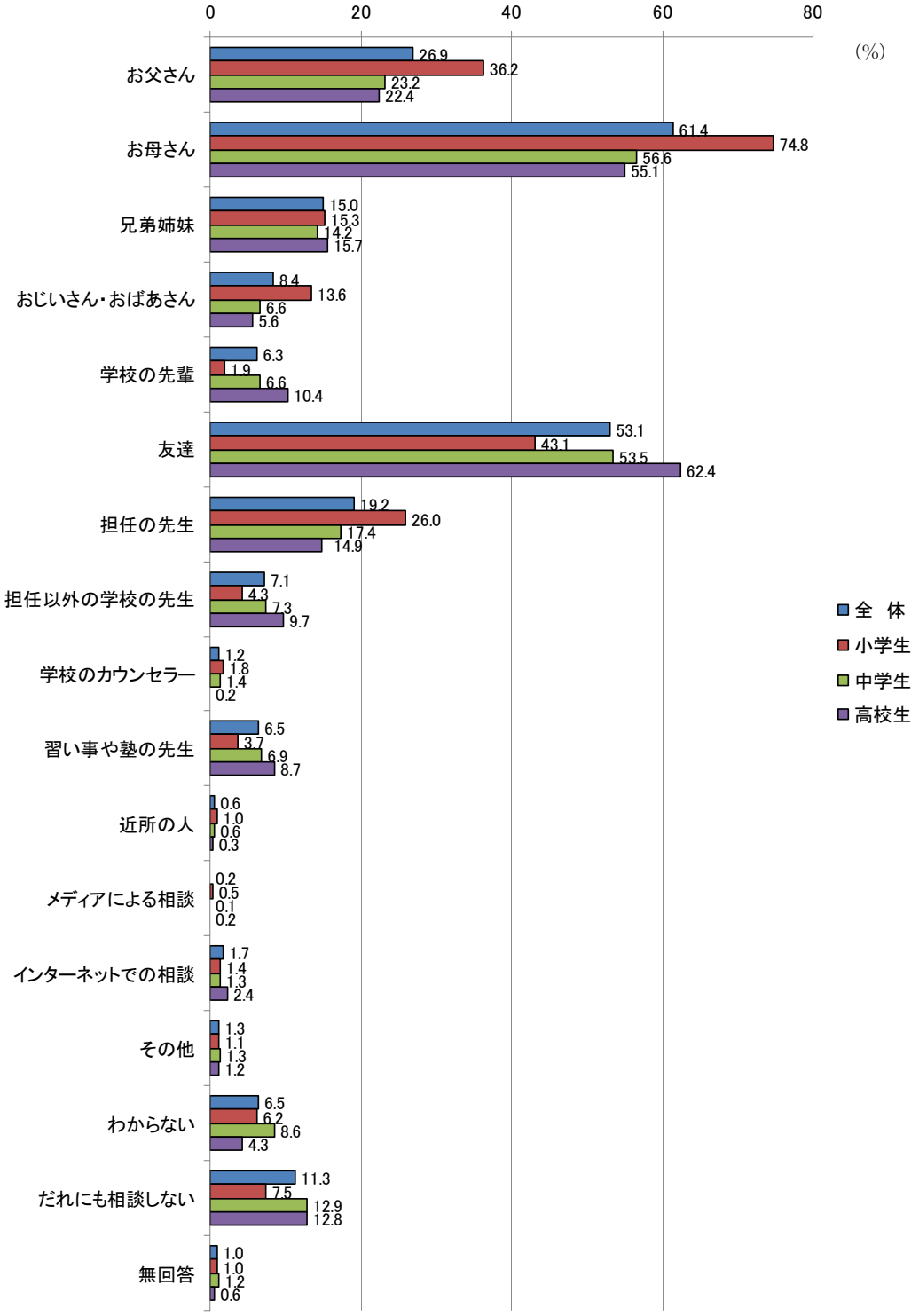


図　　悩みや困りごとの相談相手

回答数　全体＝4,888　小学生＝1,500　中学生＝1,857　高校生＝1,490

【5 年前からの変化】

・全体では、お母さんに相談する子が約 7%、担任の先生が約 5%、お父さんが約 4%が増えた。
また、誰にも相談しない子が約 7%増えた。
・友達に相談する子が約 9%減った。

『悩みの相談相手（子ども 問２１）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎ 「成績の自己評価」の低い子の方が悩みを誰にも相談しない割合が高い。

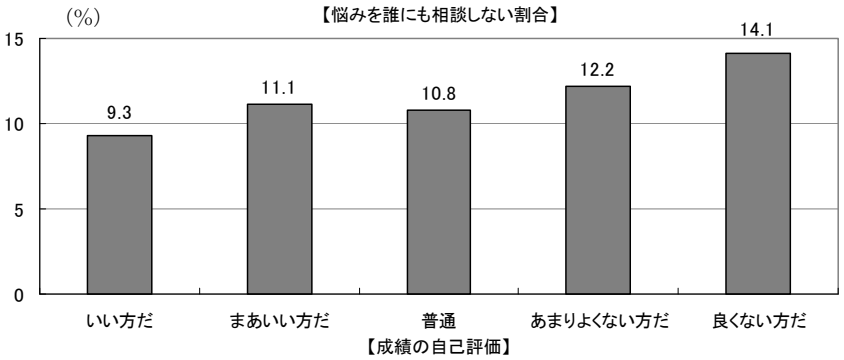


図　　成績の自己評価別の悩みを誰にも相談しない割合

『悩みの相談相手（子ども 問２１）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２)』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が父親を相談相手に選んでいる。

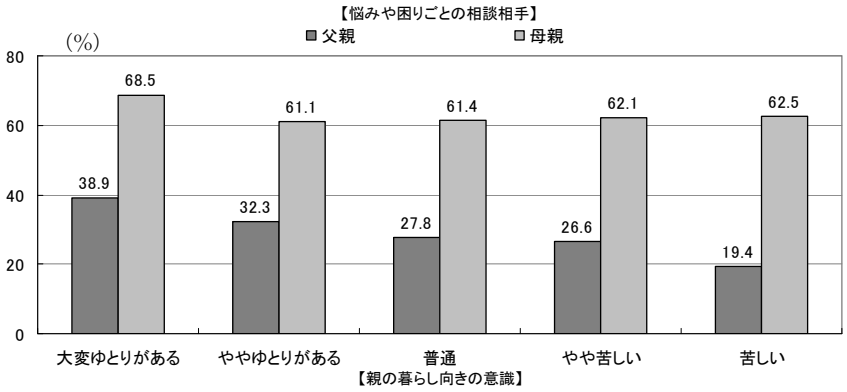


図　　親の暮らし向きの意識と悩みや困りごとの相談相手

『悩みの相談相手（子ども 問２１）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８)』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子ほど親を相談相手に選んでいる。

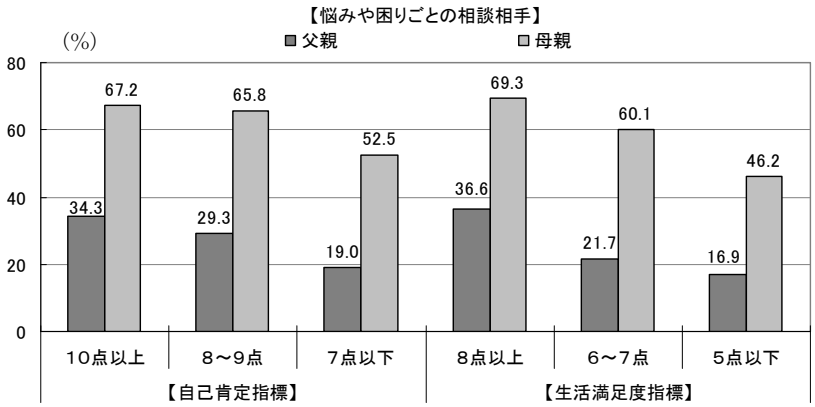


図　　自己肯定感・生活満足度と悩みや困りごとの相談相手

『悩みの相談相手（子ども 問２１）と仕事と生活のバランス（就学後 問８）』

● 「ワーク・ライフ・バランスがとれている親」の方が子どもが相談する割合が高い。

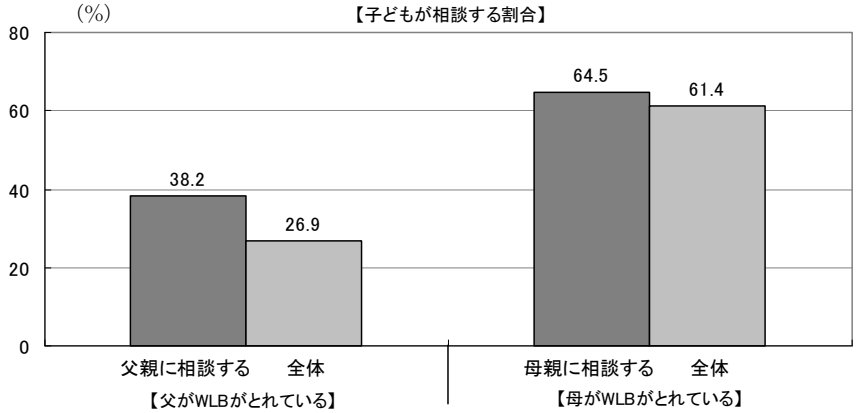


図　　ワーク・ライフ・バランスと子どもが親に相談する割合

他の人からされたことについて　【問２２】

■あなたがだれか他の人から何回かされたことがあるものは何ですか。（複数回答）

◇　「この中にはない」が最も多く、54.4%を占める。

◇　されたことがある中では、「面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかわれる」が 19.8%、「持ち物をかくしたり、こわしたりする」が 10.8%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れてもらえない」が 9.9%、「自分のノートに落書きをされる」が 8.8%となっている。

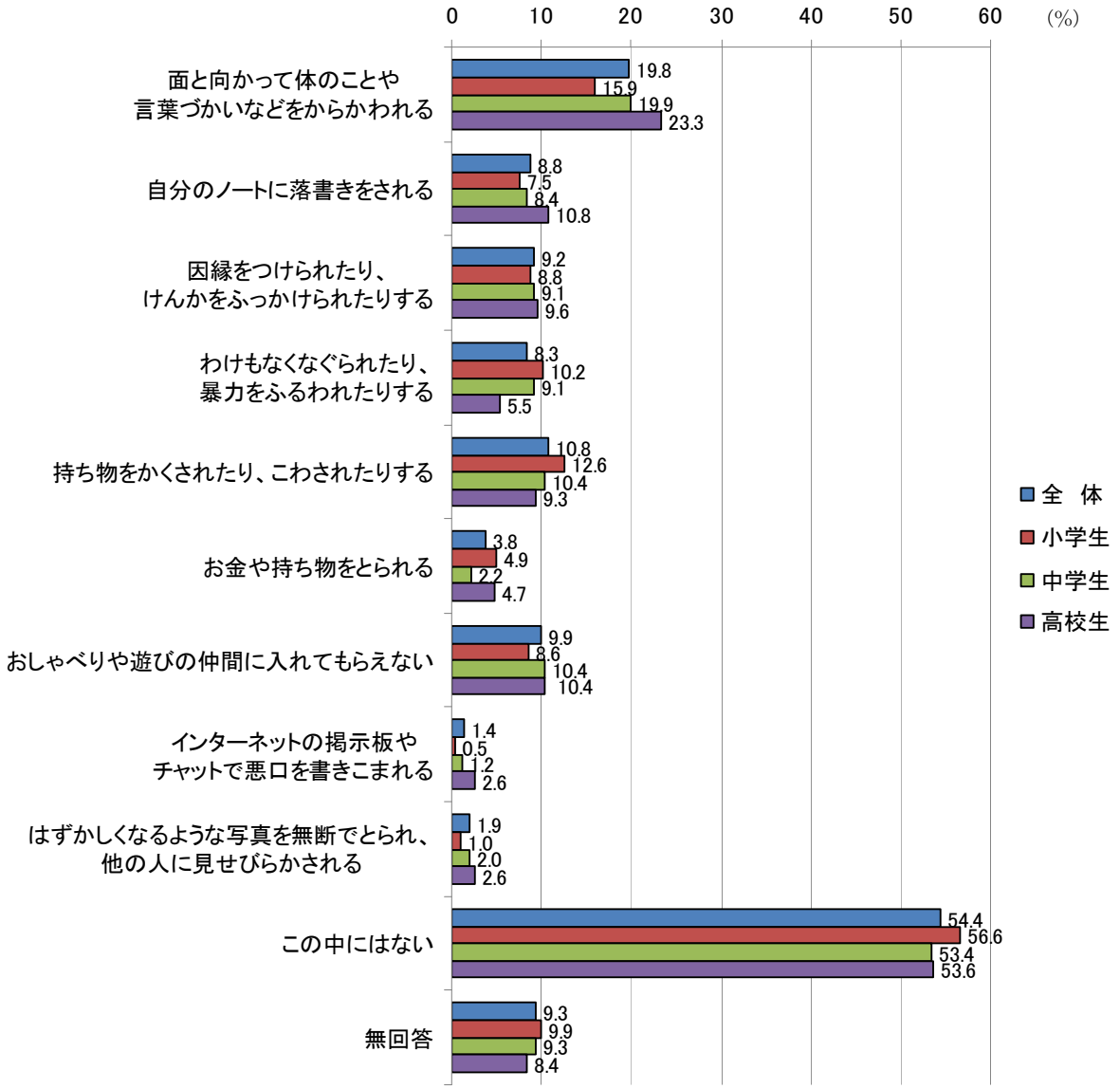


図　　他の人から何回かされたこと

回答数　全体＝2,956　小学生＝856　中学生＝1,145　高校生＝924

【回答数】

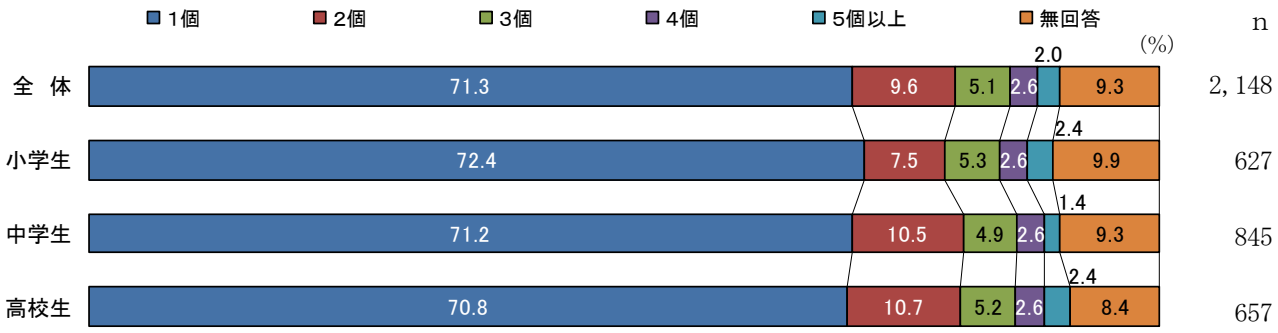


図　　他の人から何回かされたこと（回答数）

【5 年前からの変化】

・5 年前と比較すると、各項目で減少傾向がみられる。
・全体では、該当する経験のない子が約 9%増えた。

他の人にしたことについて　　【問２３】

■あなたがだれか他の人にしたことがあるもの何ですか。（複数回答）

◇　「この中にはない」が最も多く、63.9%を占める。

◇　したことがある中では、「面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかう」が 10.6%、「相手のノートに落書きをする」が 7.1%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れない」が 6.0%、「持ち物をかくしたり、こわしたりする」が 3.6%となっている。

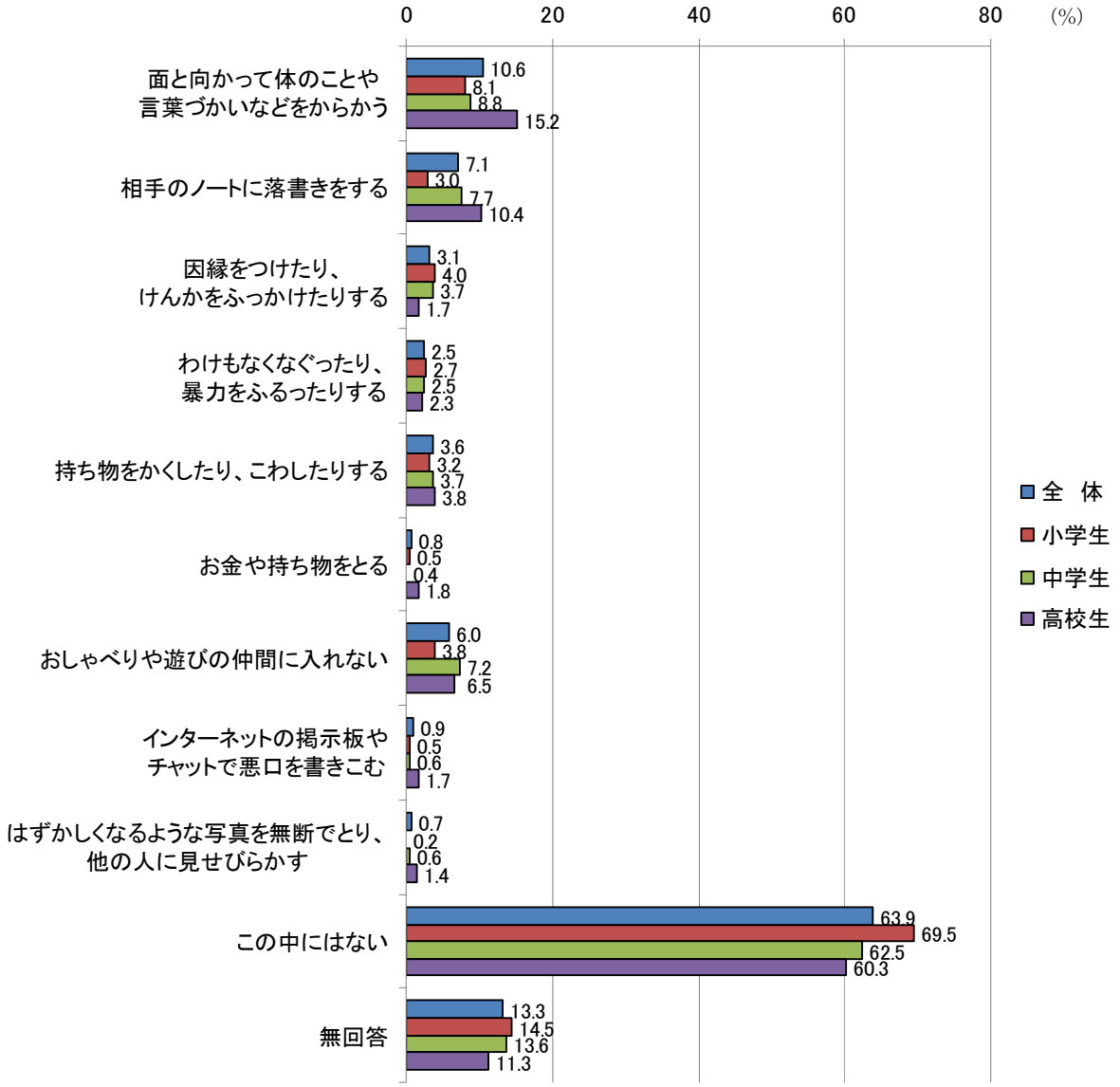


図　　自分が他の人にしたこと

回答数　全体＝2,416　小学生＝690　中学生＝939　高校生＝764

【回答数】

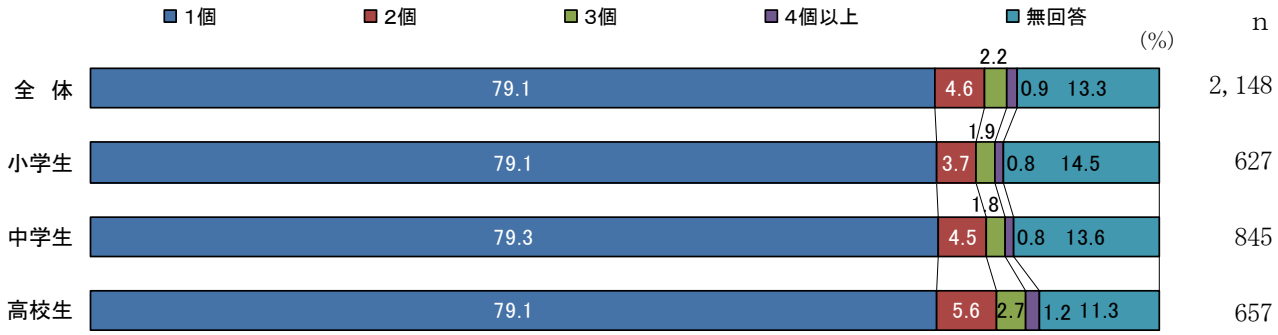


図　　自分が他の人にしたこと（回答数）

【5 年前からの変化】

・5 年前と比較すると、各項目で減少傾向がみられる。
・全体では、該当する経験のない子が約 12%増えた。

『他の人にしたこと（子ども 問２３）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○　「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が嫌なことをされた経験もした経験も少ない。
　嫌なことをされた経験は、特に「生活満足度」に影響している。

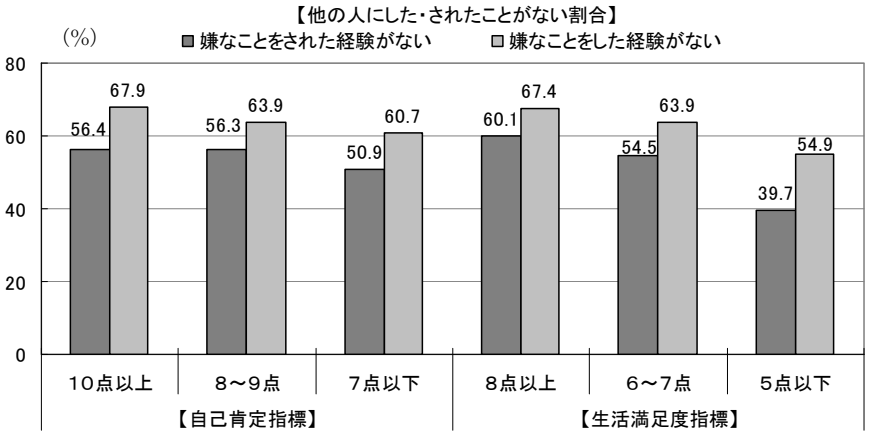


図　　自己肯定感・生活満足度と嫌な経験

いじめを見たり聞いたりしたときのことについて　【問２４】

■あなたは、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときに先生や親、友達に相談することができますか。（１つ）

◇　「できる」と回答した割合が 74.8%と半分以上を占める。

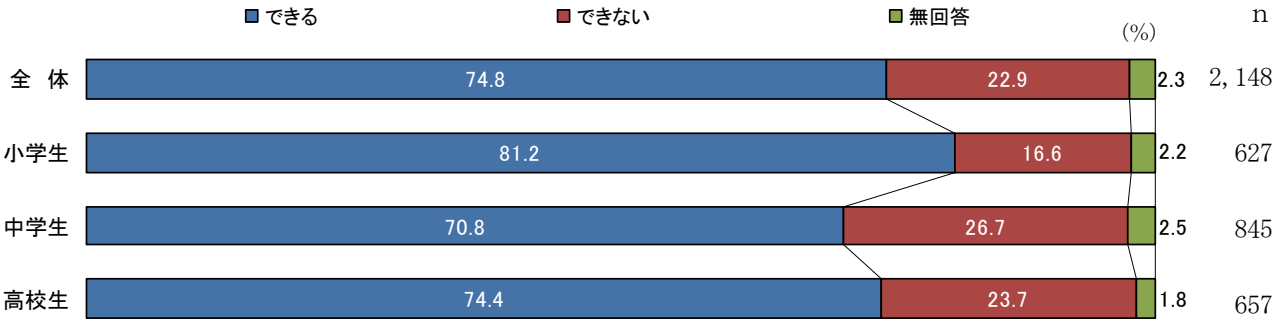


図　　いじめを見たり聞いたりしたとき相談することができる割合

いじめを見たり聞いたりしたときの行動について　【問２５】

■あなたは、これまでにいじめだと思うことを見たり聞いたりしたときにどうしましたか。

（複数回答）

◇ 全体では、「いじめだと思うことを見たり聞いたりしたことはない」が 36.0%で最も多く、次いで「できるだけ関わらないようにした」が 33.7%、「後で先生や親や友達にいじめのことを話した」が 25.6%となっている。

◇ 小学生の場合、「いじめだと思うことを見たり聞いたりしたことはない」「やめるように言った」の割合が高く、高校生になると、「できるだけ関わらないようにした」の割合が高くなる。

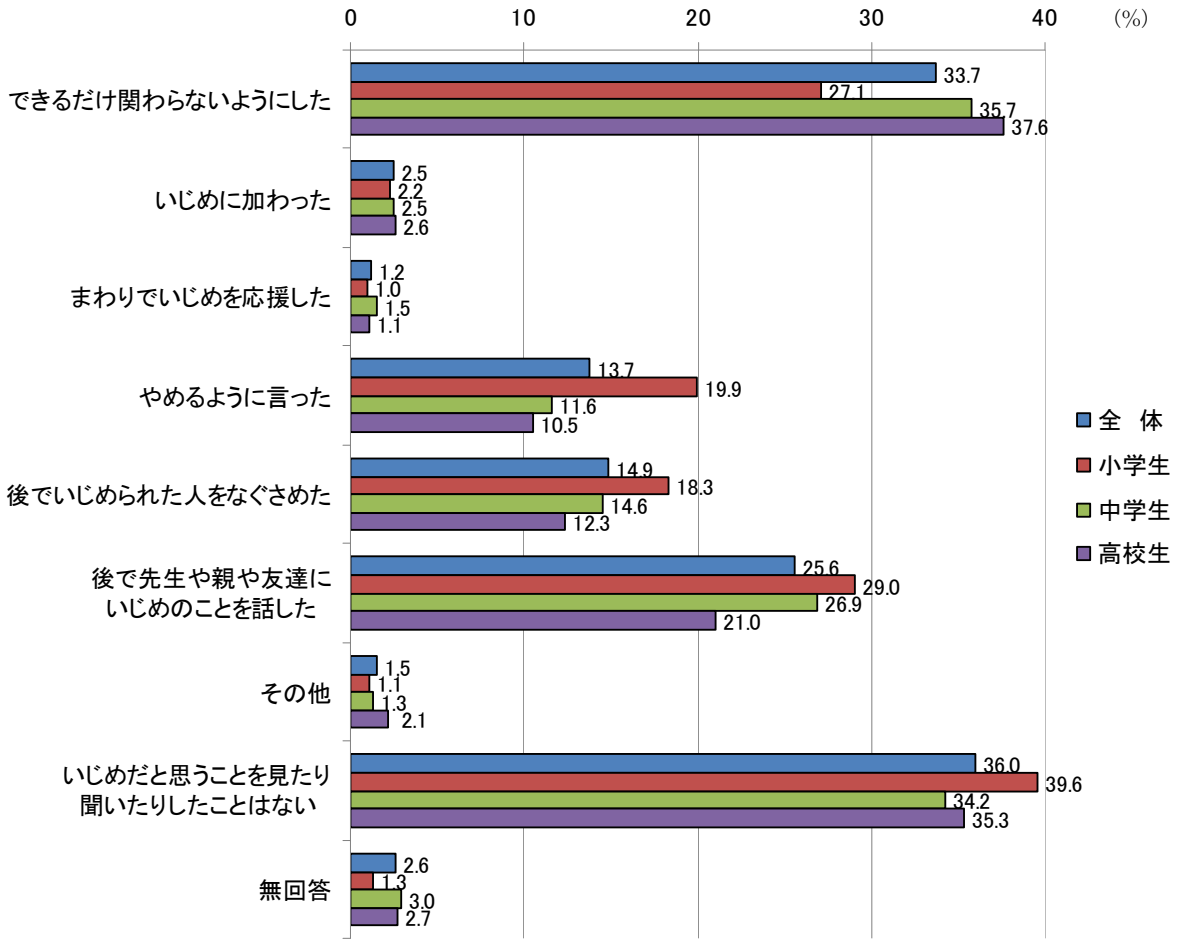


図　　いじめを見たり聞いたりしたときの行動

回答数　全体＝2,828　小学生＝875　中学生＝1,109　高校生＝823

【5 年前からの変化】

・全体では、いじめをみたことがない子が約 9%増えた。

・全体では、関わらないようにした子が約 8%、後でなぐさめた子が約 6%減った。

叩かれたり、傷つけられたことについて　【問２６】

■あなたは、これまでに、だれかからひどく叩かれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりした事はありますか。（各１つ）

◇　全ての項目で「ない」が 60%以上の割合を占めている。

◇　「ある（１回＋２回以上）」の割合は、「先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」（30.8%）、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」（27.8%）、「先生からひどく叩かれた」（21.1%）が相対的に高い。

◇　「２回以上ある」が 20%以上の項目は、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」（21.9%）となっている。

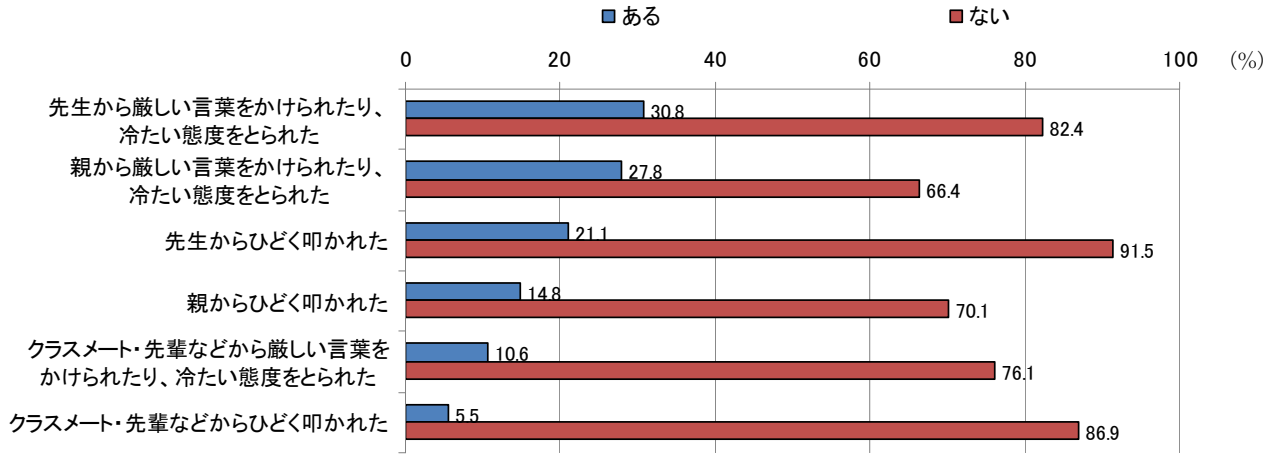


図　　叩かれたり、傷つけられたことについて　　回答数　全体＝2,148

ア．親からひどく叩かれた

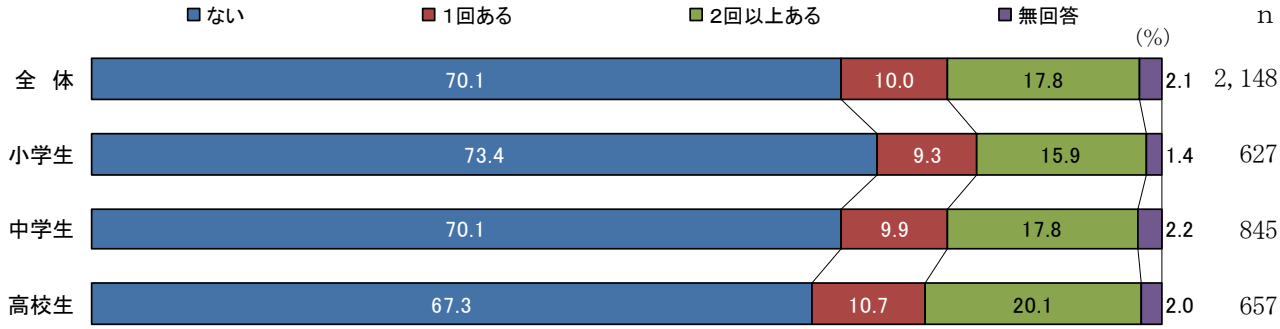


図　　親からひどく叩かれた割合

イ．クラスメート・先輩などからひどく叩かれた

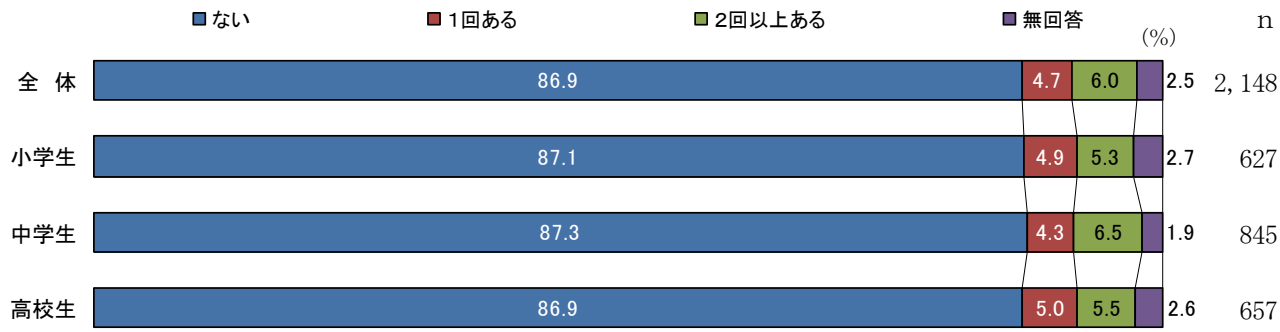


図　　クラスメート・先輩などからひどく叩かれた割合

ウ．先生からひどく叩かれた

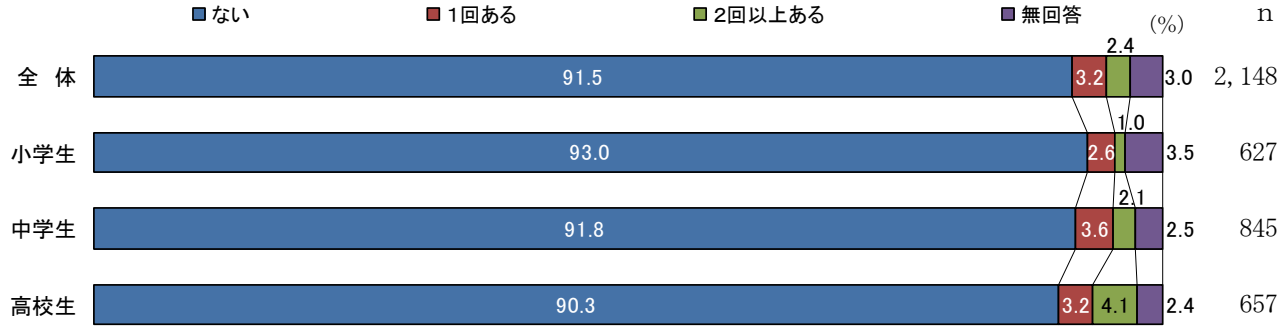


図　　先生からひどく叩かれた割合

エ．親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた

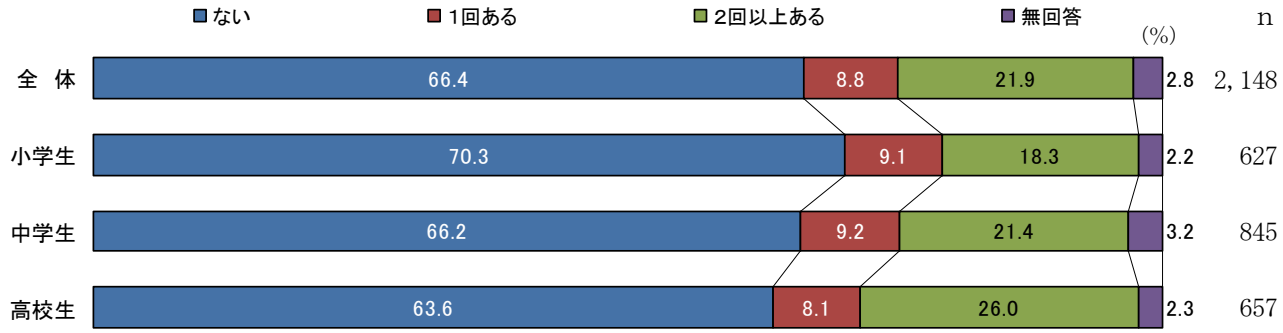


図　　親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた割合

オ．クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた

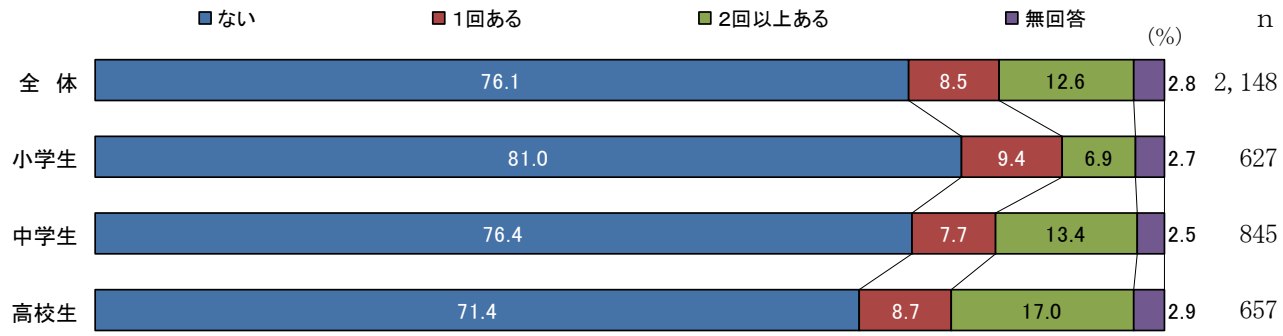


図　　クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた割合

カ．先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた

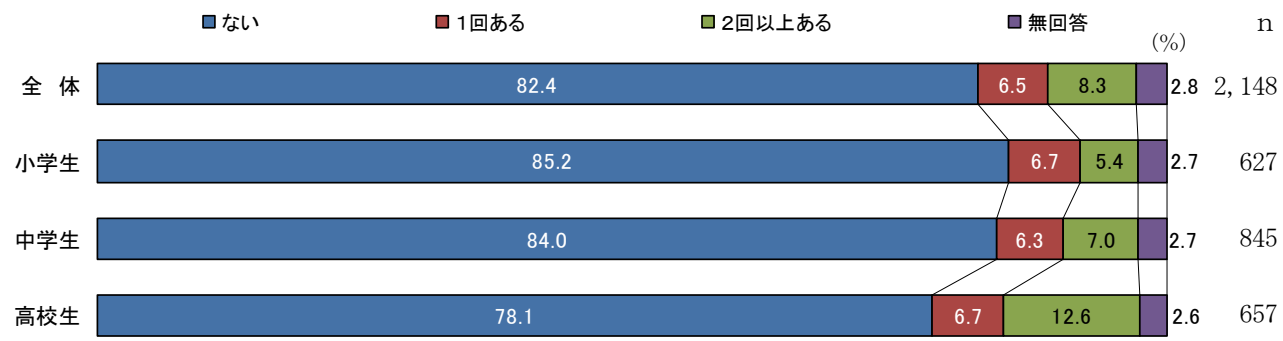


図　　先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた割合

【得点】

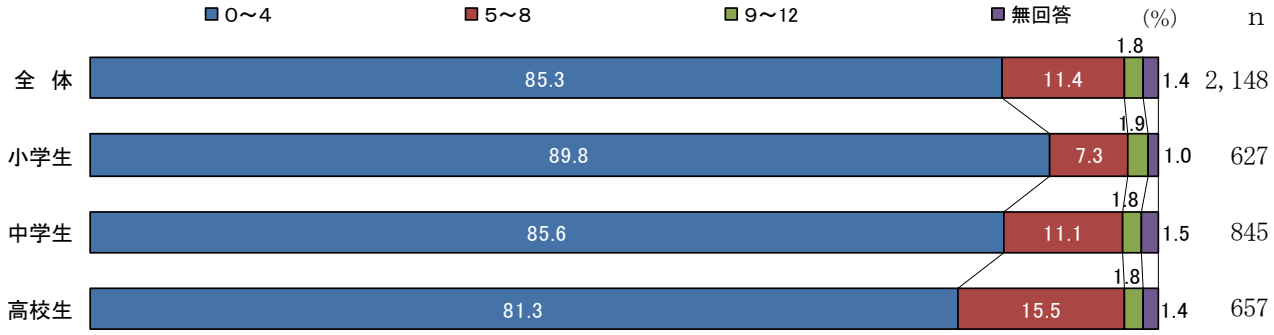


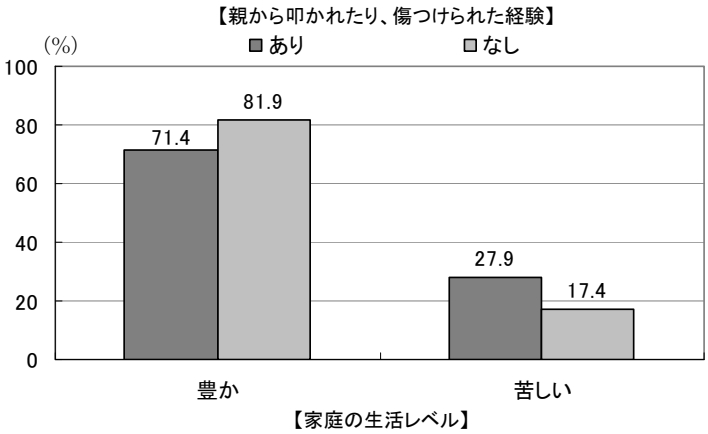
図　　叩かれたり、傷つけられた経験（得点）

【5 年前からの変化】

・5 年前と比較すると、叩かれたり、傷つけられた経験は全体的に減少傾向がみられる。
・親から叩かれたことがある子が約 8%、親、クラスメート、先輩から冷たい態度をとられた子が約 5%、クラスメート、先輩から叩かれたことがある子が約 4%減った。

『叩かれたり、傷つけられたこと（子ども 問２６）と生活レベル（子ども 問１３）』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かと感じている子の方が親から傷つけられた経験が少ない。



※家庭の生活レベル：豊か＝かなり豊か＋まあ豊か、苦しい＝やや苦しい＋かなり苦しい

図　　家庭の生活レベルと親から叩かれたり、傷つけられた経験

自分について　【問２７】

■あなたは自分についてどう思いますか。

（１）自分のことが好きですか。（１つ）

◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が 52.0%、「好き」が 19.6%であり、自分のことが好きな割合は 70%以上を占める。

◇ 高校生になるにつれて「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の割合が高くなる。

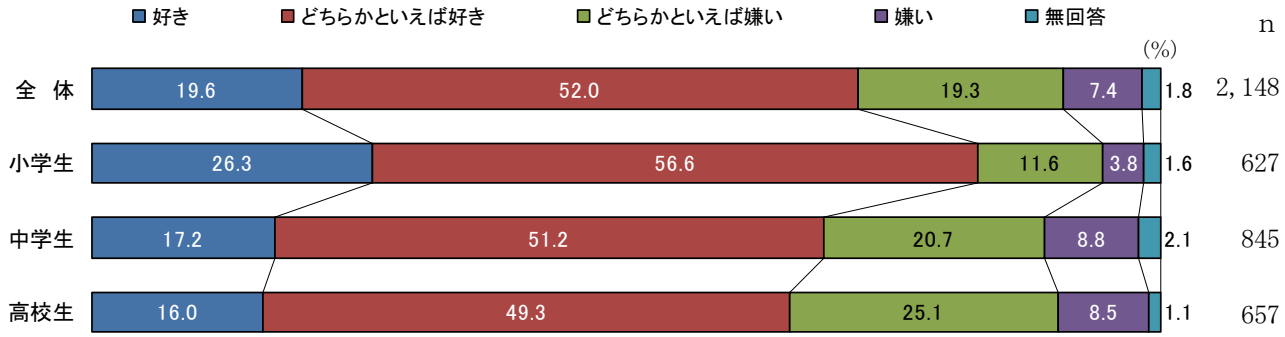


図　　自分のことが好きな割合

『自分のことが好きか（子ども 問２７）と性別（子ども F1)』

○　「男性」（75.7%）の方が「女性」（68.1%）より自分のことを好きな子が多い。

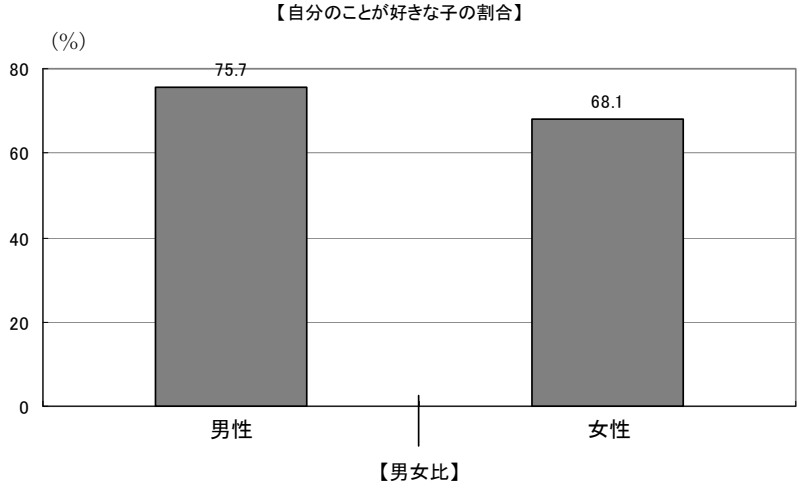
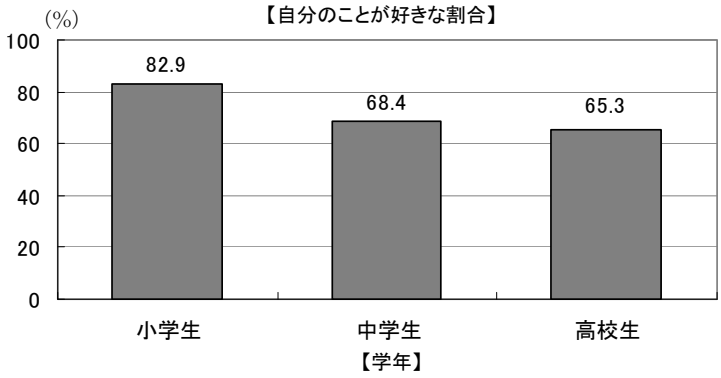


図　　自分のことが好きな子の割合（男女比）

『自分のことが好きか（子ども 問２７）と学年（子ども F2)』

◎　「学年」が小さい子の方が自分のことを好きな子が多い。



※自分のことが好きな割合：好き＋どちらかと言えば好き

図　　学年別の自分のことが好きな割合

『自分のことが好きか（子ども 問２７）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が自分のことを好きな子が多い。

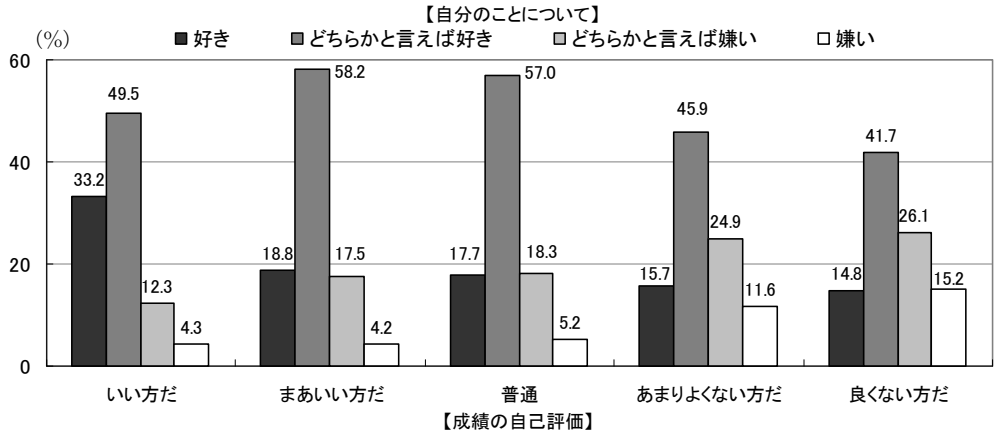


図　　成績の自己評価別の自分のことが好きな割合

（２）自分に自信がありますか。（１つ）

◇ 全体では、「どちらかといえば自信がある」が 35.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば自信がない」が 34.3%となっている。

◇ 小学生は「自信がある」「どちらかといえば自信がある」の合計が高く、60%以上の割合を占める。また、年齢が上がるにつれて低下する。

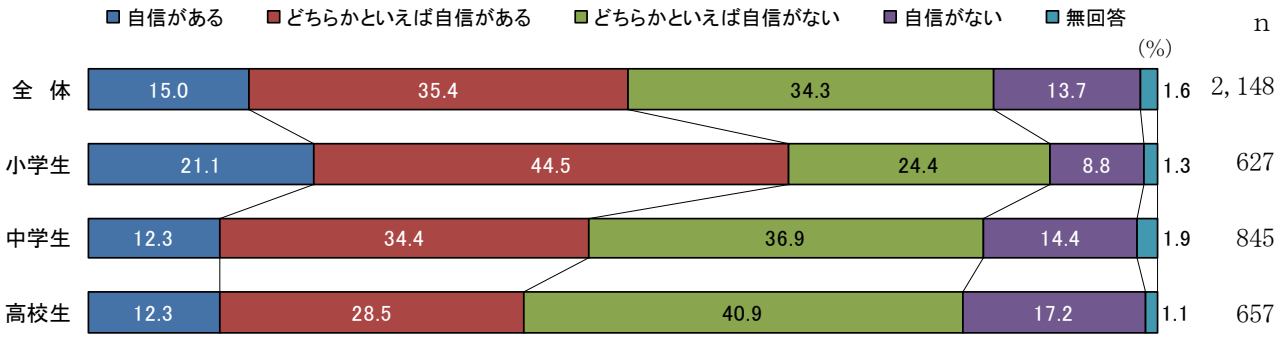


図　　自分に自信がある割合

『自分に自信があるか（子ども 問２７）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が自分に自信がある。

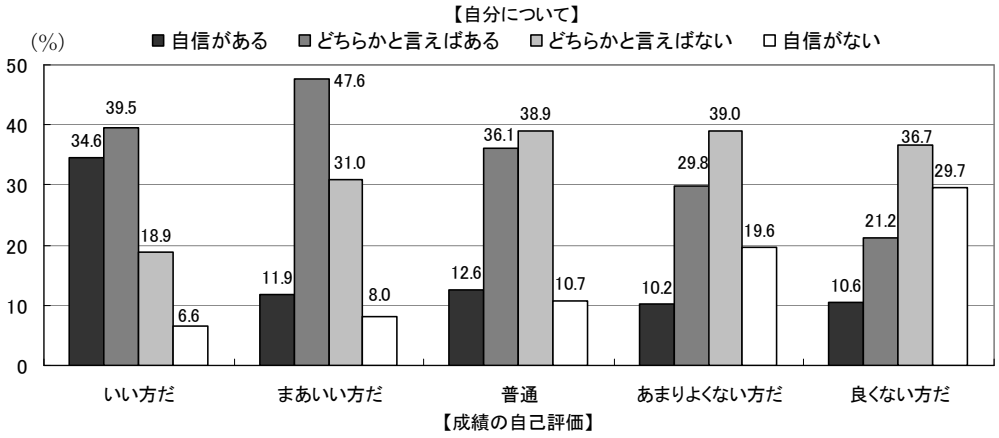


図　　成績の自己評価別の自分に自信がある割合

（３）色々なことに積極的に挑戦できますか。（１つ）

◇ 全体では、「どちらかといえば挑戦できる」が 41.7%で最も多く、次いで「挑戦できる」が 26.1%となっている。

◇ 全体的に「挑戦できる」「どちらかといえば挑戦できる」の合計が 60%以上の割合を占めている。

◇ 色々なことに「挑戦できる」割合は、年齢が上がるにつれて低下する。

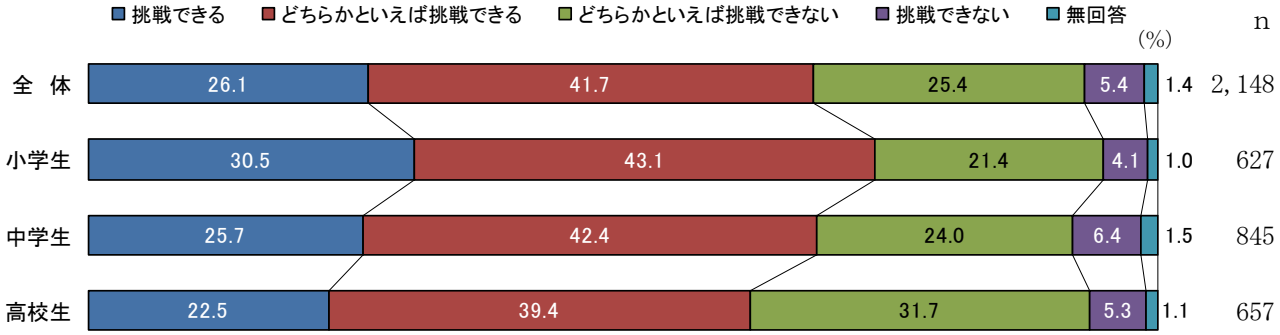


図　　色々なことに積極的に挑戦できる割合

『色々なことに挑戦できるか（子ども 問２７）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方がいろいろなことに挑戦できる。

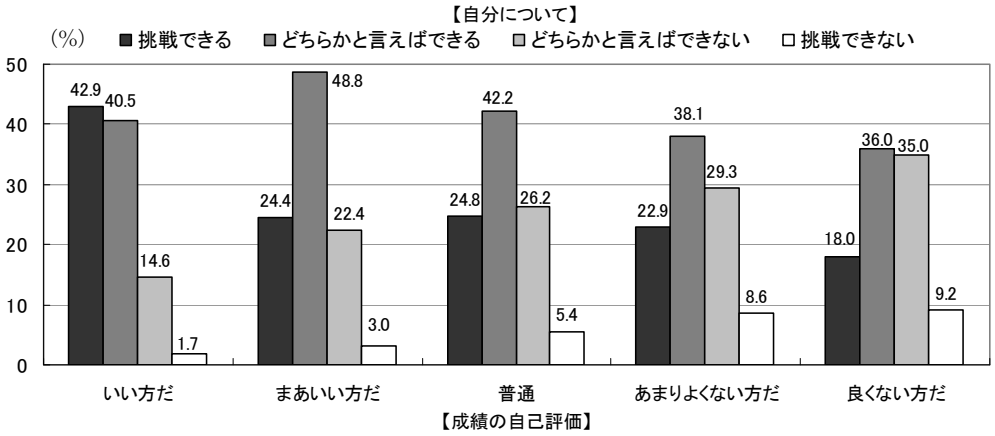


図　　成績の自己評価別のいろいろなことに挑戦できる割合

『自己肯定感（子ども 問２７）と親の最終学歴（就学後 F6)』

◎「自己肯定感」は親の最終学歴に緩やかに相関しており、保護者が中学卒の子どもは全般に低い。

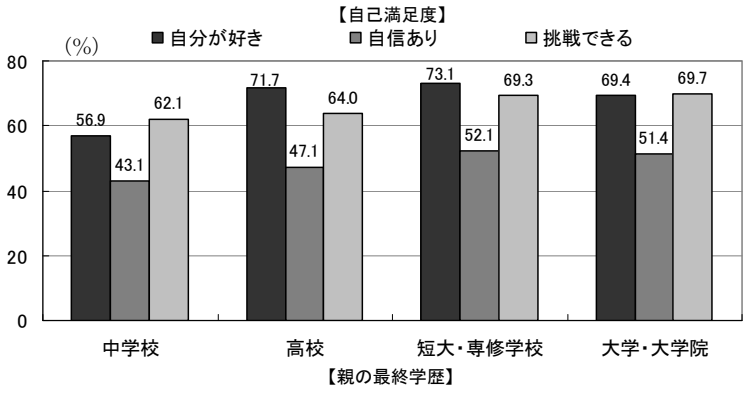


図　　自己肯定感と親の最終学歴

『自己肯定感（子ども 問２７）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が「自己肯定感」が高い。

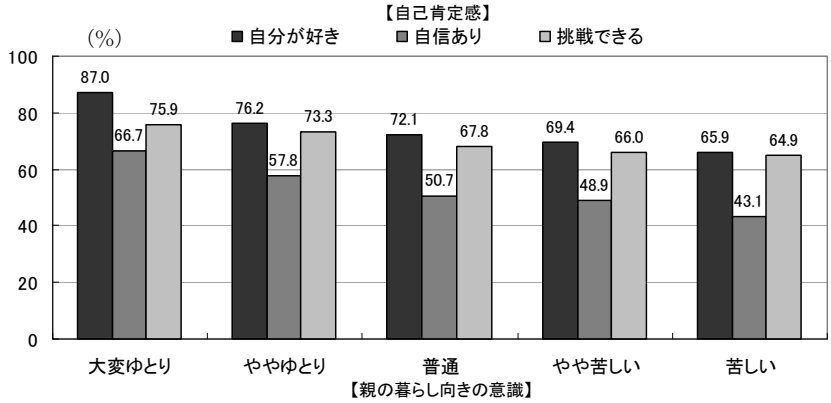


図　　自己肯定感と親の暮らし向きの意識

今の生活について　　【問２８】

■あなたは今の生活についてどう感じていますか。

（１）今の生活に満足していますか。（１つ）

◇ 全体では、「満足している」が 44.1%、「どちらかといえば満足している」が 38.8%で、合計が全体の 80%以上の割合を占めている。

◇ 高校生になるにつれて、「満足している」の割合が低くなる。

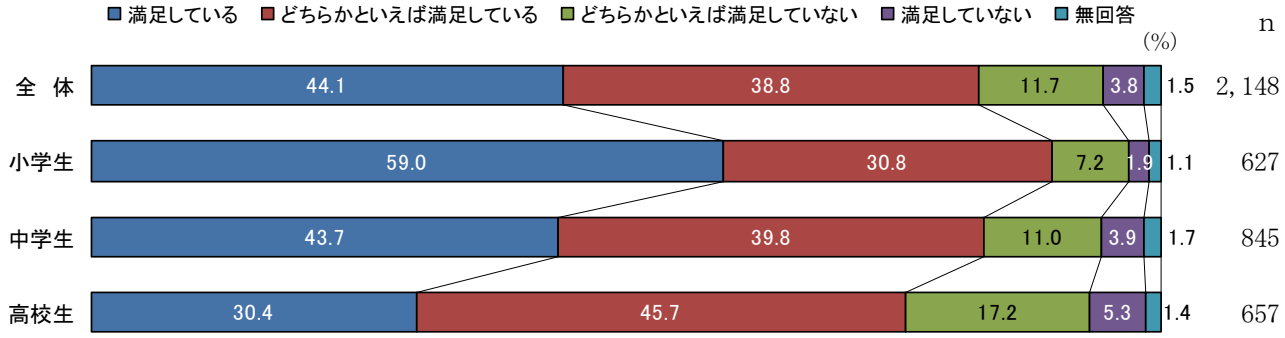


図　　今の生活に満足している割合

『生活に満足しているか（子ども 問２８）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が今の生活に満足している。

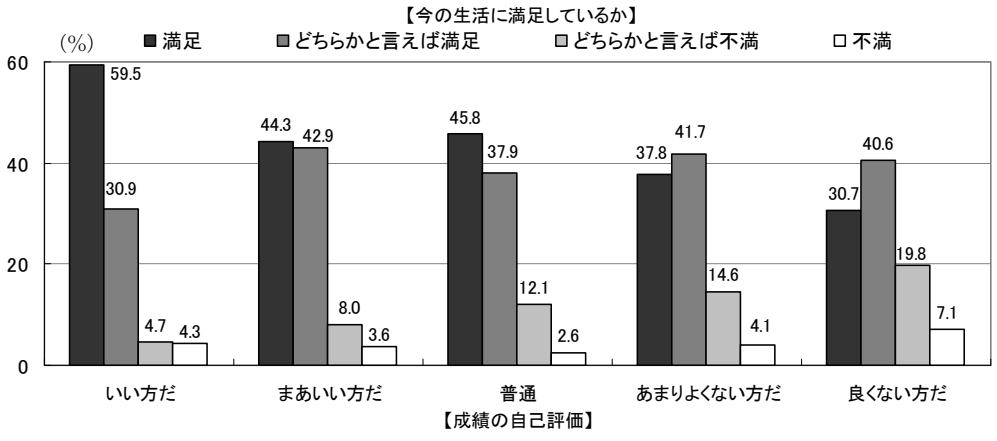


図　　成績の自己評価別の今の生活に満足している割合

（２）今の生活が楽しいと思いますか。（１つ）

◇ 全体では、「楽しいと思う」が 54.9%、「どちらかといえば楽しいと思う」が 35.1%で、合計が全体の 90%を占めている。

◇ 高校生になるにつれて、「楽しいと思う」割合が低くなる。

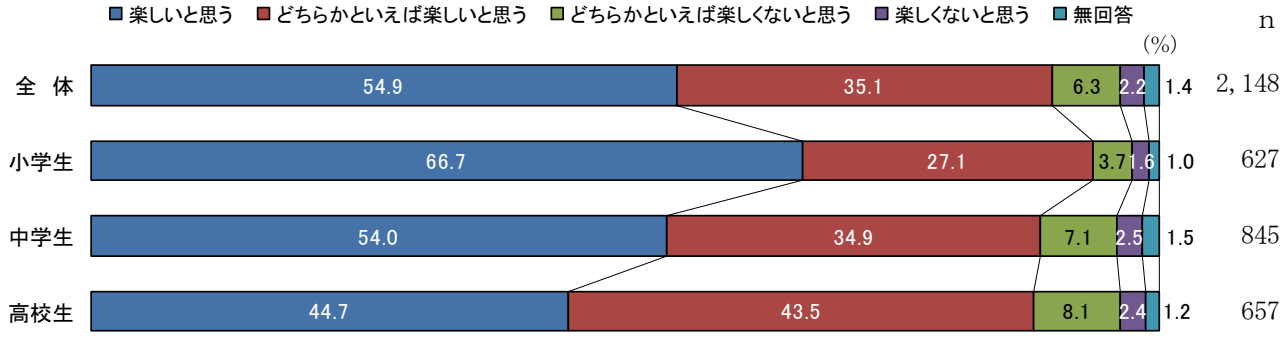


図　　今の生活が楽しい割合

『生活が楽しいか（子ども 問２８）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が今の生活が楽しいと感じる。

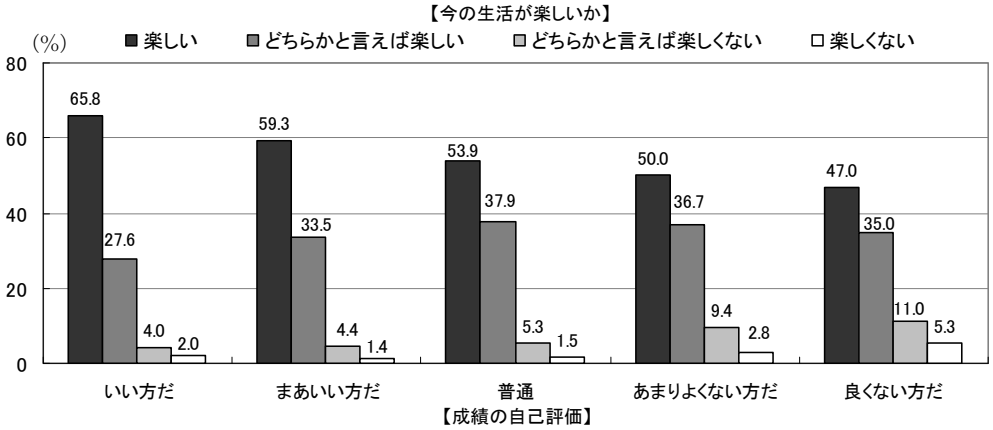


図　　成績の自己評価別の今の生活が楽しい割合

『生活満足度（子ども 問２８）と親の最終学歴（就学後 F6)』

◎「生活満足度」は親の最終学歴に緩やかに相関しており、保護者が中学卒の子どもは全般に低い。

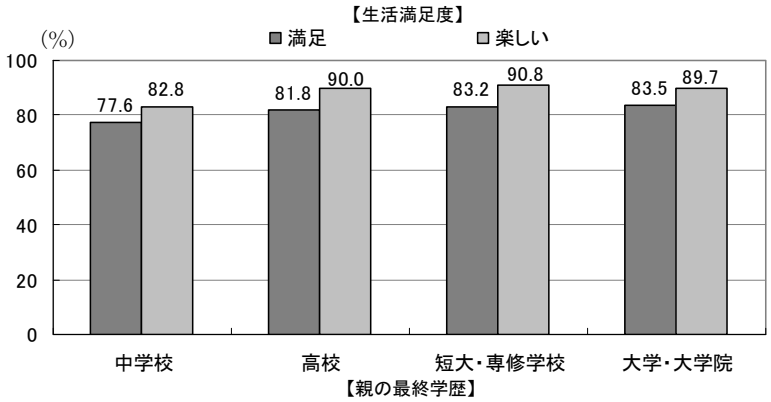


図　　生活満足度と親の最終学歴

『生活満足度（子ども 問２８）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が「生活満足度」が高い。

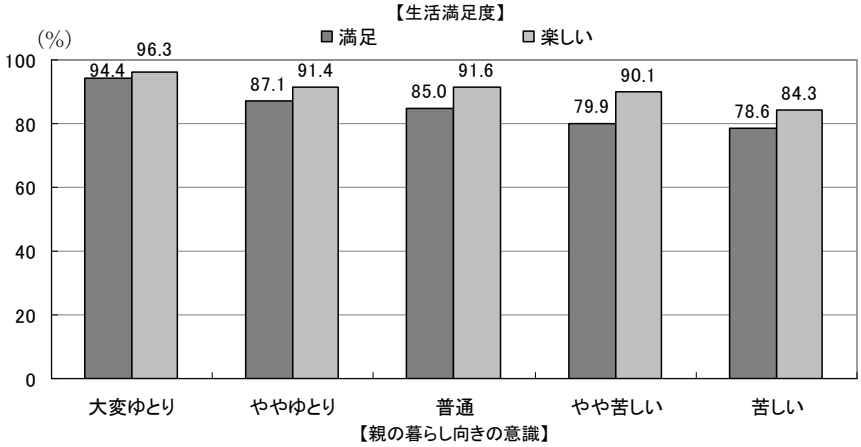


図　　生活満足度と親の暮らし向きの意識

『生活満足度（子ども 問２８）と自己肯定感（子ども 問２７）』

○ 「生活満足度」が高い子の方が「自分を好き」「自分に自信がある」「挑戦できる」に肯定的な回答をした割合が高い。

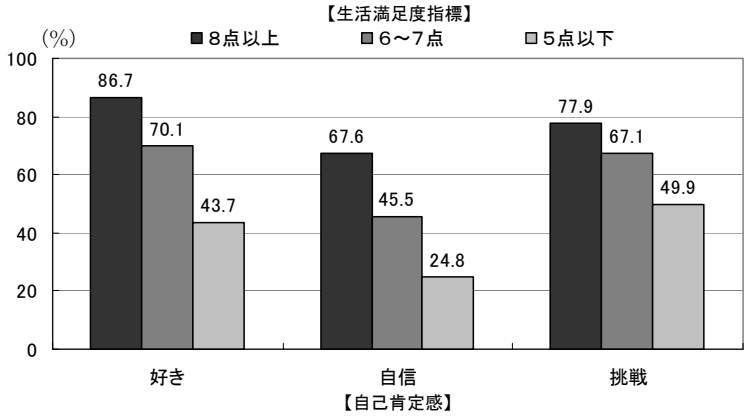


図　　生活満足度と自己肯定感

ほっとできる場所について　　【問２９】

■ふだんの生活の中でほっとできるのはどんなときですか。（順位をつけて３つ）

【１番目】

◇ 全体では、「家族といるとき」が 43.1%で最も多く、次いで「友達といるとき」が 23.7%、「一人で趣味などをしているとき」が 18.9%となっている。

◇ 小学生の場合、「家族といるとき」が 61.2%と割合が高く、高校生になると、「一人で趣味などをしているとき」が 22.5%と割合が相対的に高くなる。

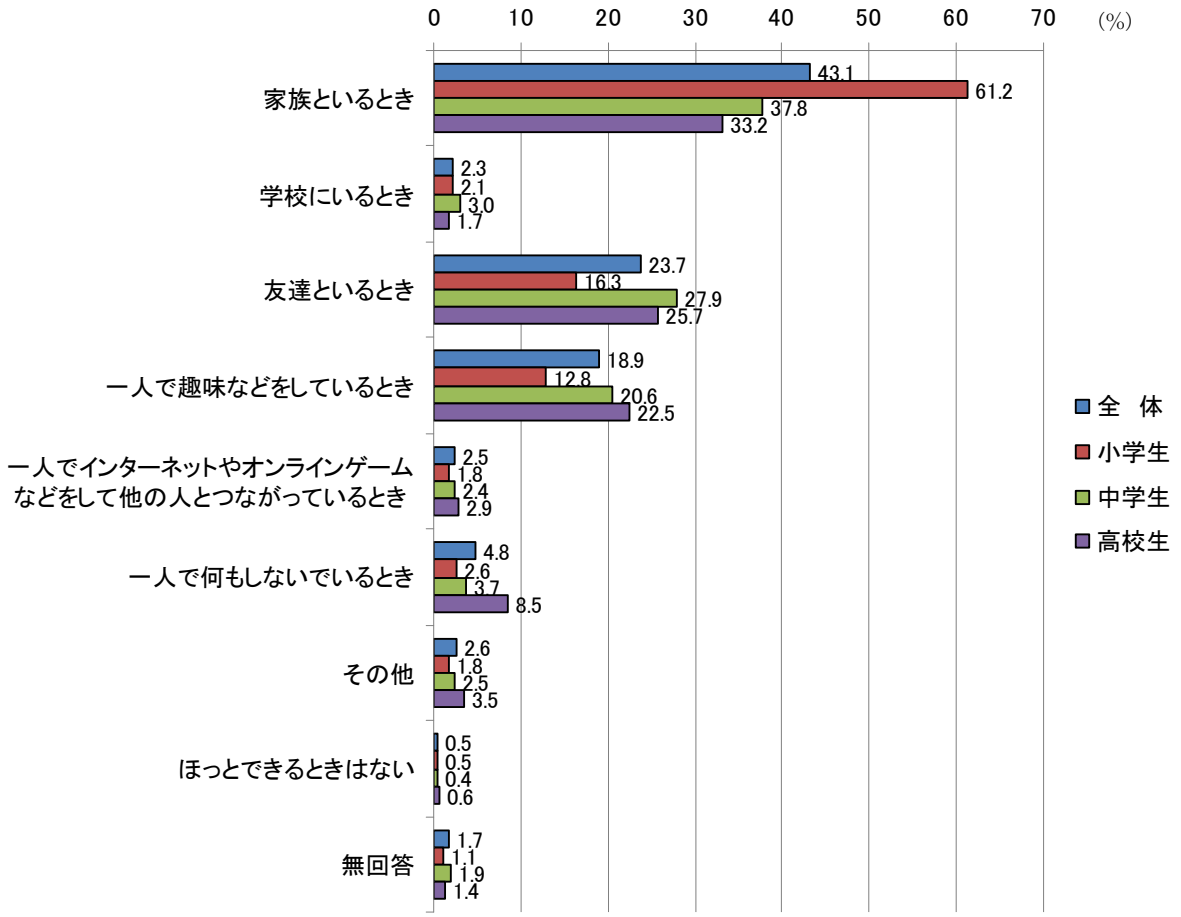


図　　ふだんの生活の中でほっとできるとき（１番目）

回答数　全体＝2,148　小学生＝627　中学生＝845　高校生＝657

【２番目】

◇ 全体では、「友達といるとき」が 34.7%で最も多く、次いで「一人で趣味などをしているとき」が 19.7%、「家族といるとき」が 18.0%となっている。

◇ 小学生は「友達といるとき」が 43.7%と割合が高く、高校生は「一人で趣味などをしているとき」が 22.8%と割合が相対的に高くなる。

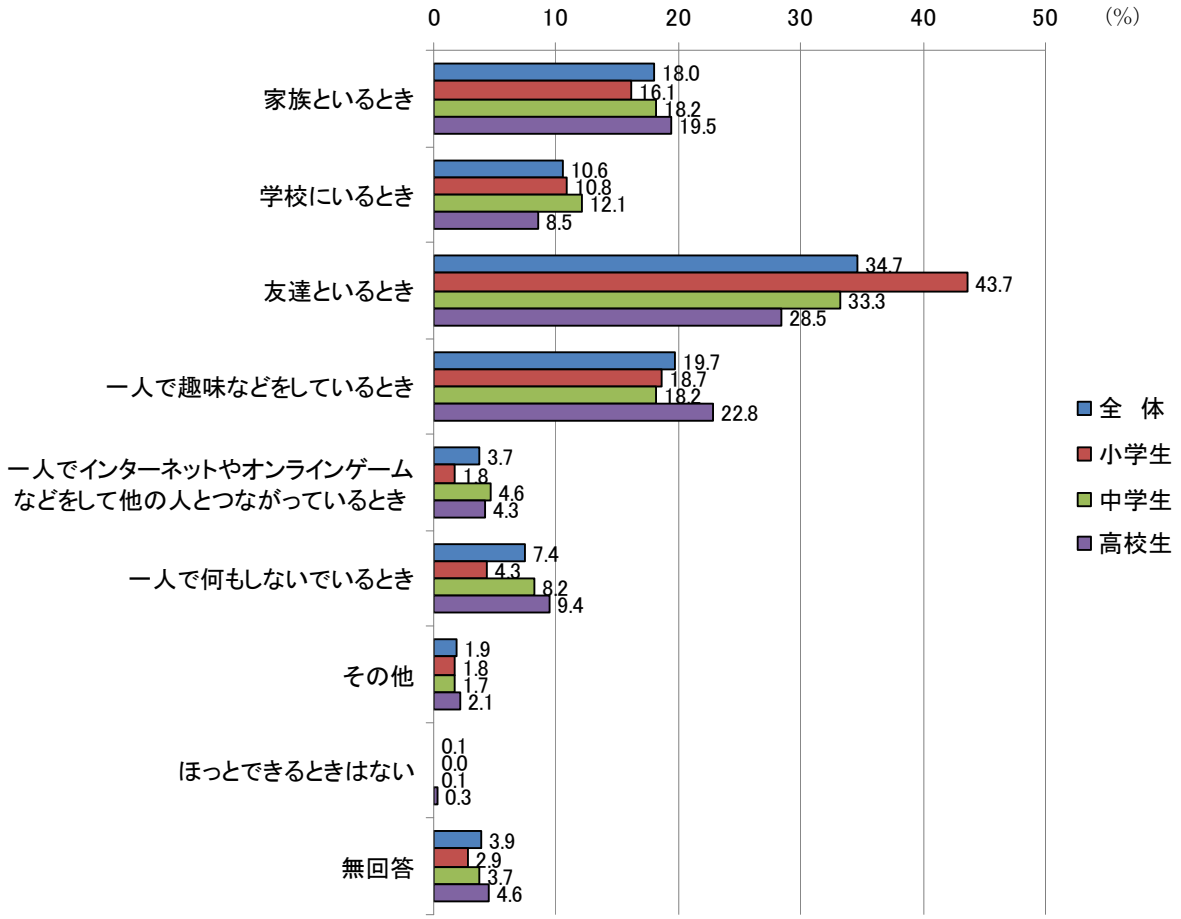


図　　ふだんの生活の中でほっとできるとき（２番目）

回答数　全体＝2,148　小学生＝627　中学生＝845　高校生＝657

【３番目】

◇ 全体では、「一人で趣味などをしているとき」が 20.4％で最も多く、次いで「友達といるとき」が 17.7％、「学校にいるとき」が 17.1％となっている。

◇ 小学生は、「学校にいるとき」が 22.0％と割合が高く、高校生は、「家族といるとき」が 15.7％、「一人で何もしないでいるとき」が 15.1％と割合が高くなる。

◇ １番目、２番目の項目は偏りがみられたが、３番目の項目は比較的分散している。

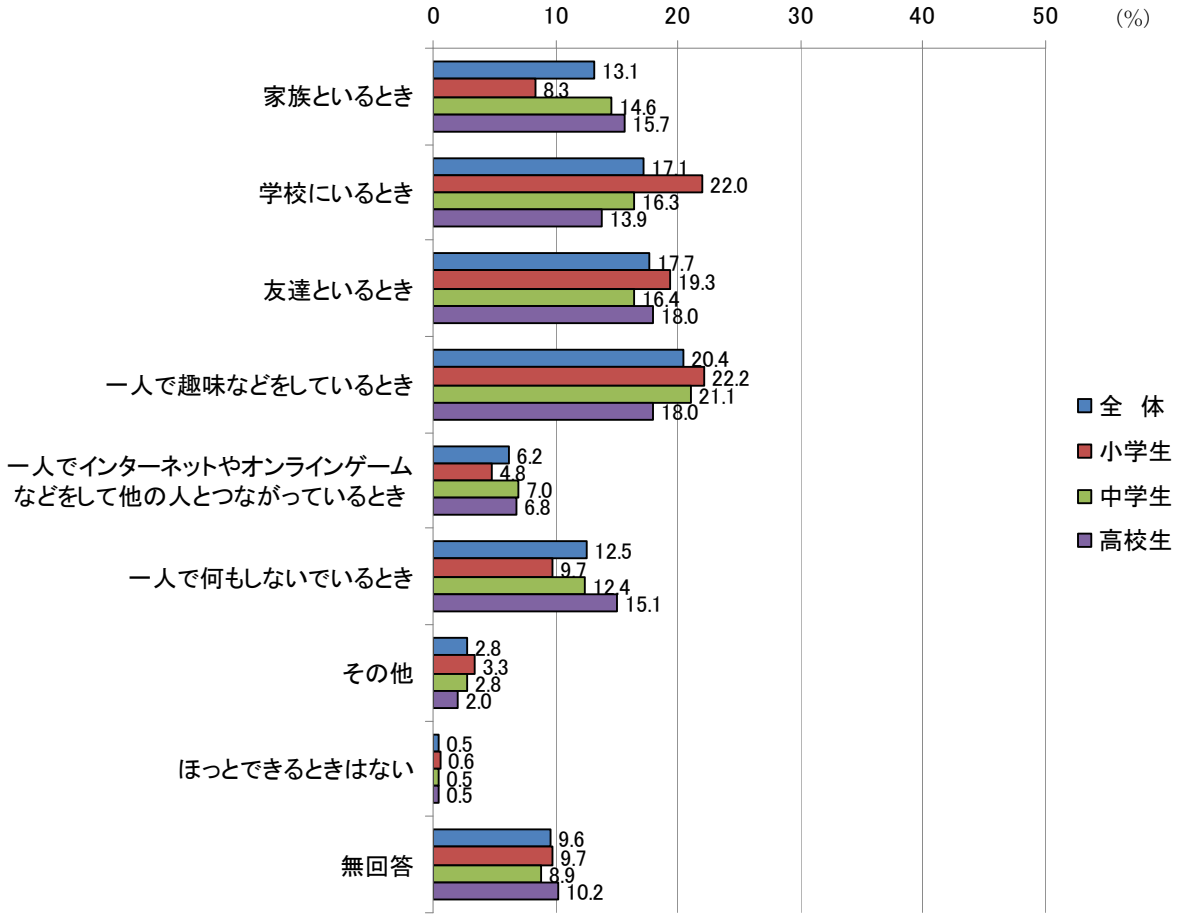


図　　ふだんの生活の中でほっとできるとき（３番目）

回答数　全体＝2,148　小学生＝627　中学生＝845　高校生＝657

【１番目＋２番目＋３番目】

◇　全体では、「友達といるとき」が 76.1%で最も多く、次いで「家族といるとき」が 74.2%、「一人で趣味などをしているとき」が 59.1%となっている。

◇　小学生の場合、家族や友達、学校など周りに人がいる環境を好むのに対し、高校生になると、一人でいるときを好む割合が高くなる。

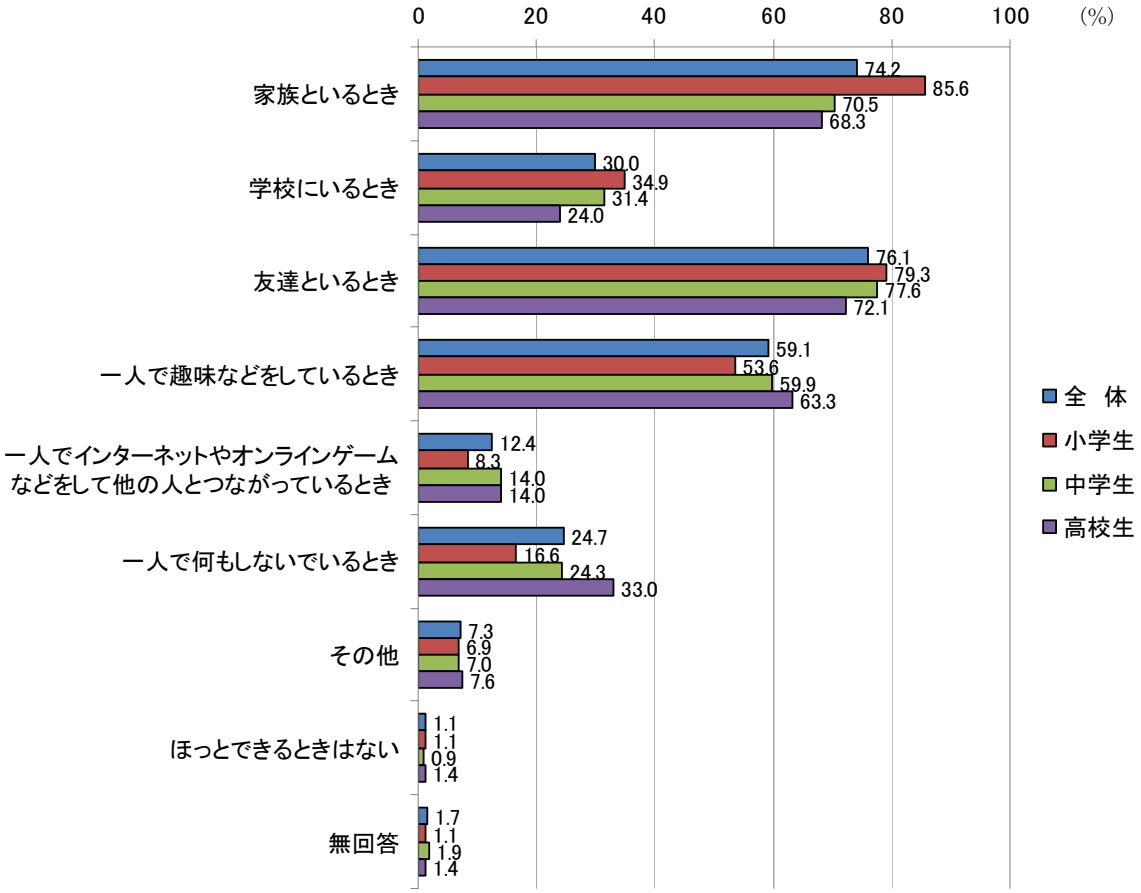


図　　ふだんの生活の中でほっとできるとき（全体）

回答数　全体＝6,154　小学生＝1,802　中学生＝2,429　高校生＝1,874

【5 年前からの変化】

・全体では、一人でいるとき（趣味などをする、インターネットやオンラインゲーム、何もしない）の割合が約 36%増えた。
・全体では、家族といるときが約 9%、学校にいるときが約 7%、友達といるときが約 3%減った。

『ほっとできるとき（子ども 問２８）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と感じている子の方がほっとできるときに「友達といるとき」より「家族といるとき」を選んでいる。

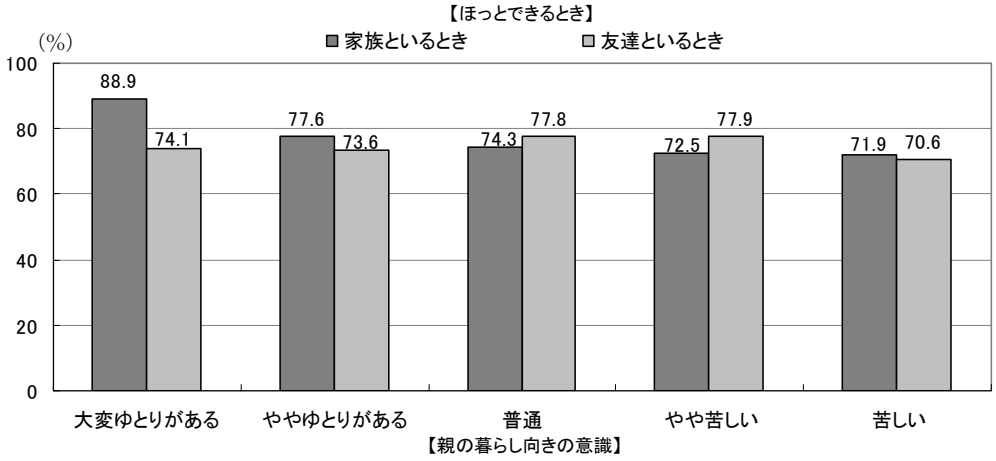


図　　親の暮らし向きの意識とほっとできるとき

『ほっとできるとき（子ども 問２８）とインターネットの使用時間（子ども 問１２）』

◎　「インターネットの使用時間」が短い子の方がほっとできるときに「家族といるとき」を選んでいる。

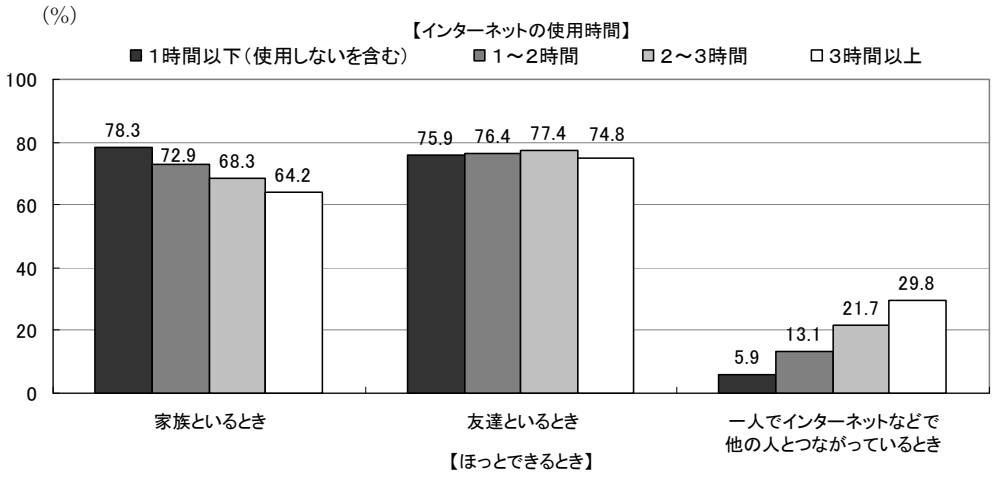


図　　インターネットの使用時間とほっとできるとき

『ほっとできるとき（子ども 問２８）と自己肯定感（子ども 問２７）』

○　「自己肯定感」の高い子の方が「ほっとできるとき」に「家族」「学校」「友達」を選び、低い子ほど「一人のとき」を選んでいる。

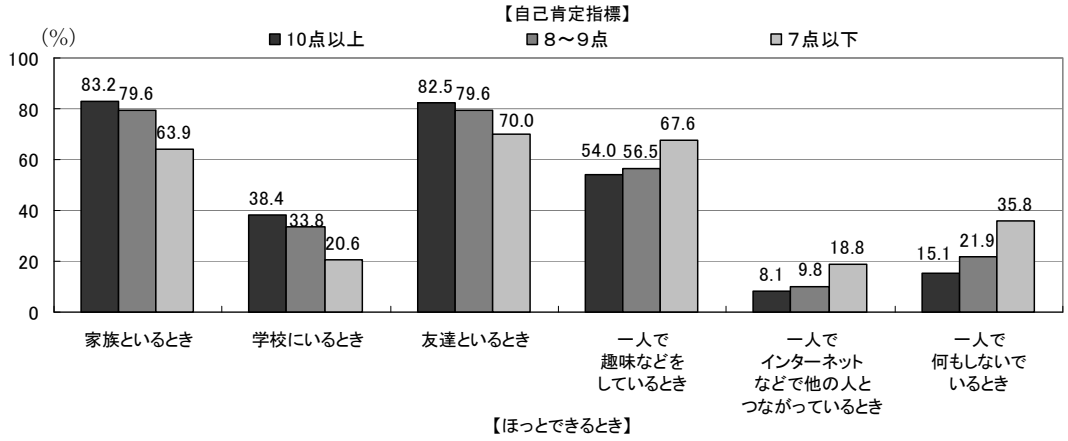


図　　自己肯定感とほっとできるとき

『ほっとできるとき（子ども 問２８）と生活満足度（子ども 問２８）』

○　「生活満足度」の高い子ほど「ほっとできるとき」に「家族」「学校」「友達」を選び、低い子ほど「一人のとき」を選んでいる。

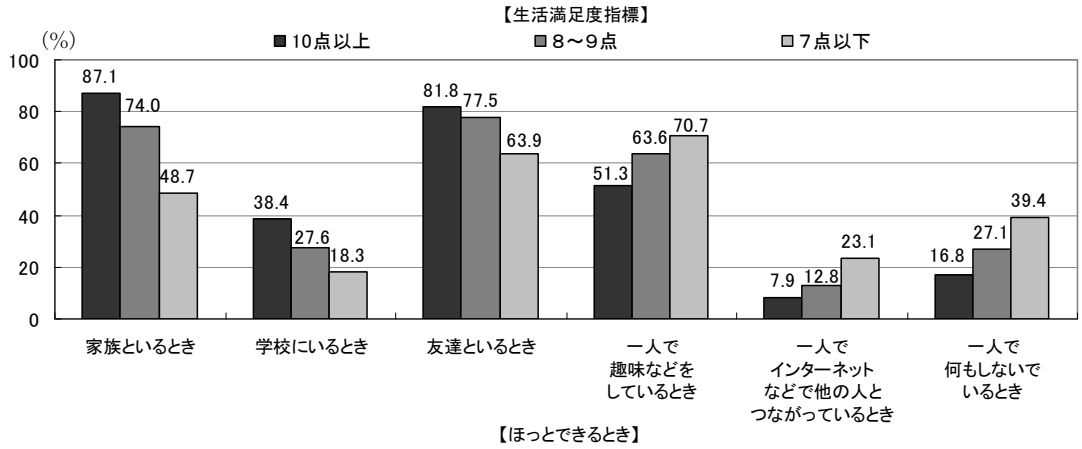


図　　生活満足度とほっとできるとき

ものごとの考え方について　　【問３０】

■あなたのものごとについての考え方にあてはまるものを選んでください。（複数回答）

◇ 全体では、「大切なことは自分で判断できる」が 58.6%で最も多く、次いで「大人になったら選挙には行くつもり」が 47.8%、「まわりの子の意見に流されず、自分の意見を言うことができる」が 41.3%となっている。

◇ 小学生は、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が 53.6%、「まわりの子の意見に流されず、自分の意見を言うことができる」が 45.5%と割合が高く、高校生になると、「大人になったら選挙には行くつもり」が 51.8%、「みんなが仲良くするためには、少しは嫌な思いをしてもルールに従わなければならない」が 42.5%と割合が高くなる。

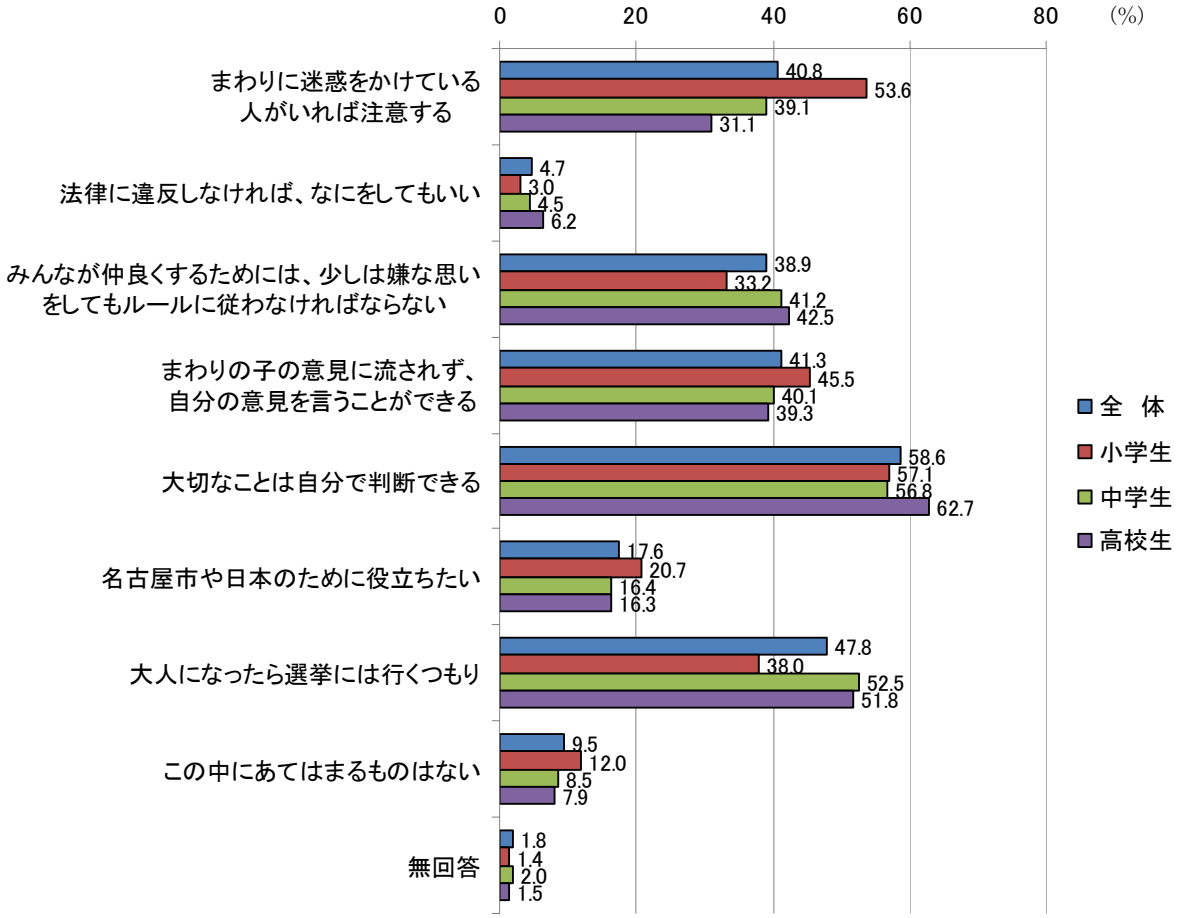


図　　ものごとについての考え方

回答数　全体＝5,608　小学生＝1,658　中学生＝2,207　高校生＝1,703

『ものごとの考え方（子ども 問３０）と両親との関係（子ども 問１４・１５）』

○　両親との「支援的関係」または「信頼関係」が強い子の方が「規範意識」は高い。

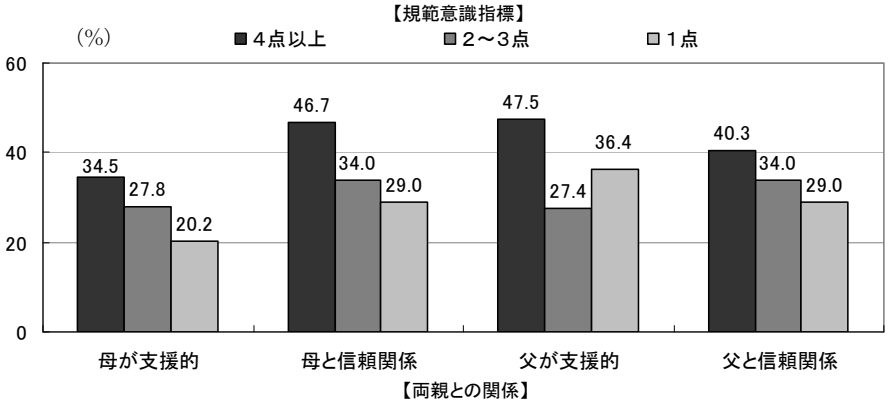


図　　両親との支援的・信頼関係と子どもの規範意識

『ものごとの考え方（子ども 問３０）と影響を与える大人（子ども 問１９）』

○　「規範意識」が高い子の方が「考え方に影響を与える大人」が多い。

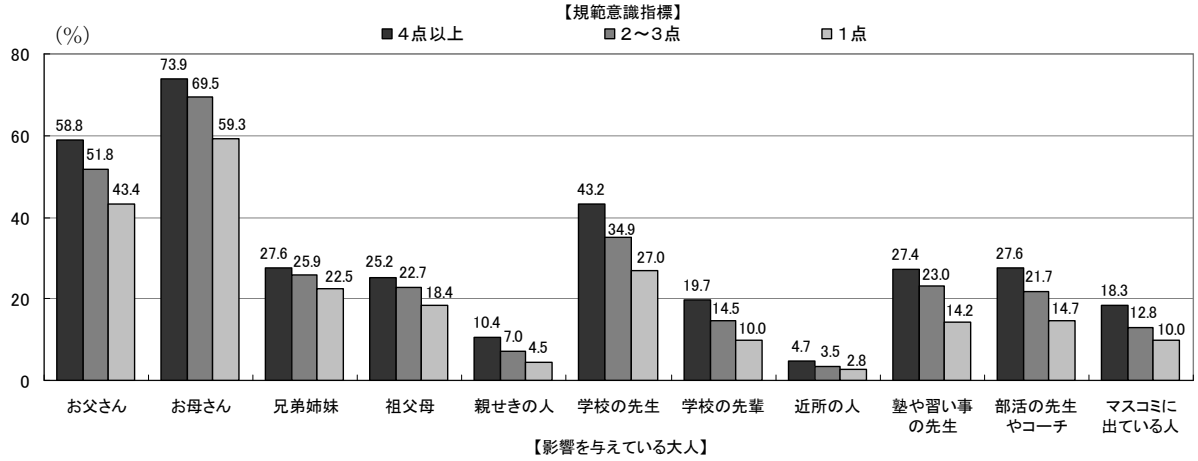


図　　子どもの規範意識と考え方に影響を与えている大人

勉強について　【問３１】

（１）勉強が好きですか。（１つ）

◇　全体では、「どちらかといえば嫌いだ」が 38.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば好きだ」が 25.5%、「嫌いだ」が 25.0%となっている。

◇　小学生の場合、「好き」の割合が 50%以上を占めるが、中学生、高校生になると 30%未満である。

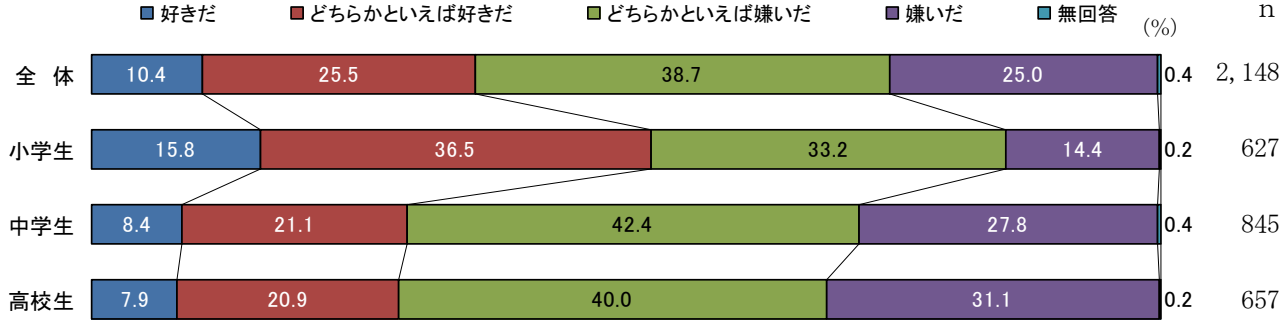


図　　勉強が好きな割合

（２）勉強が大切だと思いますか。（１つ）

◇ 全体では、「思う」が 61.5%、「どちらかといえば思う」が 29.7%で、大切だと思う割合が 90%以上を占める。

◇ 勉強を大切だと「思う」割合は、学年が大きくなるにつれて低くなる。

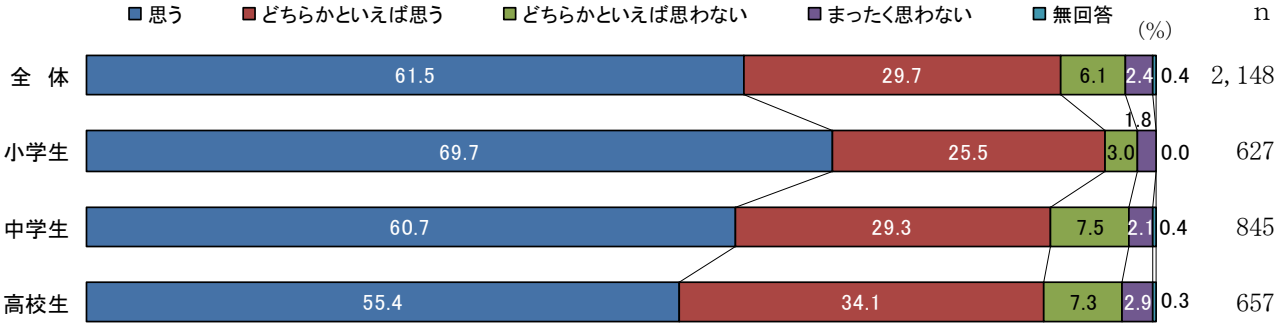


図　　勉強が大切だと思う割合

（３）勉強が理解できますか。（１つ）

◇ 全体では、「だいたい理解できる」が 60.1%、「よく理解できる」が 20.1%で、理解できる割合が 80%以上を占める。

◇ 勉強を「よく理解できる」割合は、学年が大きくなるにつれて低くなる。

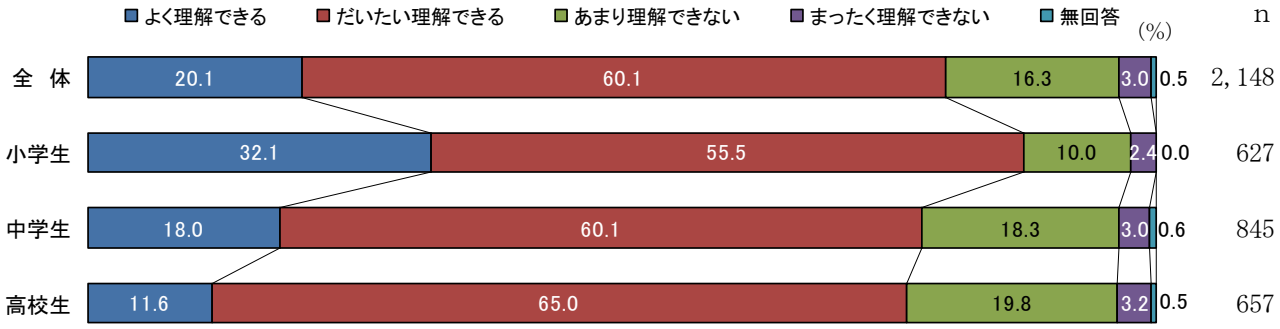


図　　勉強が理解できる割合

（４）勉強は将来役に立つと思いますか。（１つ）

◇ 全体では、「思う」が 52.8%、「どちらかといえば思う」が 31.6%で、役に立つと思う割合が 80%以上を占める。

◇ 勉強は将来役に立つと「思う」割合は、学年が大きくなるにつれて低くなる。

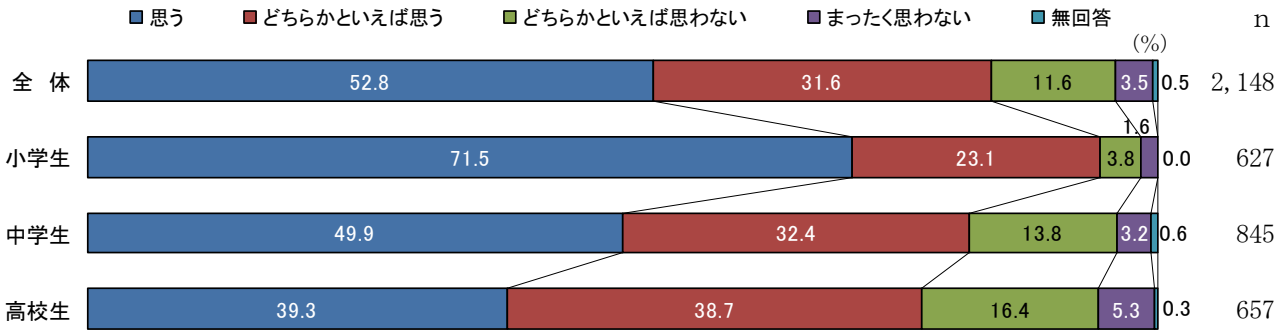
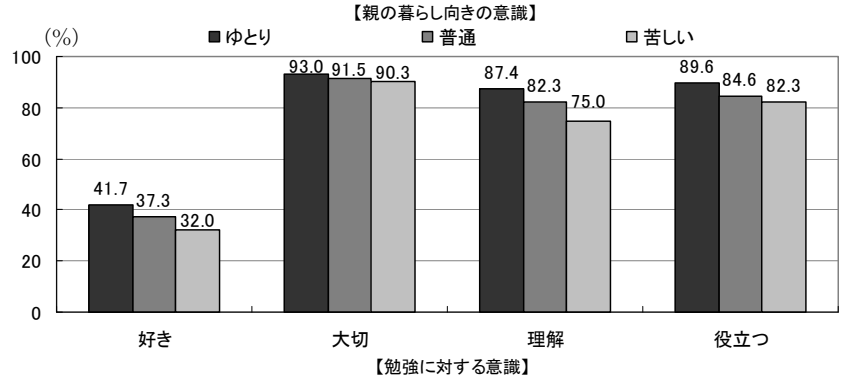


図　　勉強は将来役に立つと思う割合

『勉強に対する意識（子ども 問３１）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が勉強に対する意識が高い。



※親の暮らし向きの意識：ゆとり＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、苦しい＝苦しい＋やや苦しい

図　　親の暮らし向きの意識と勉強に対する意識

『勉強に対する意識（子ども 問３１）とインターネットの使用時間（子ども 問１２）』

◎ 「インターネットの使用時間」が短い子の方が勉強に対する意識が高い。

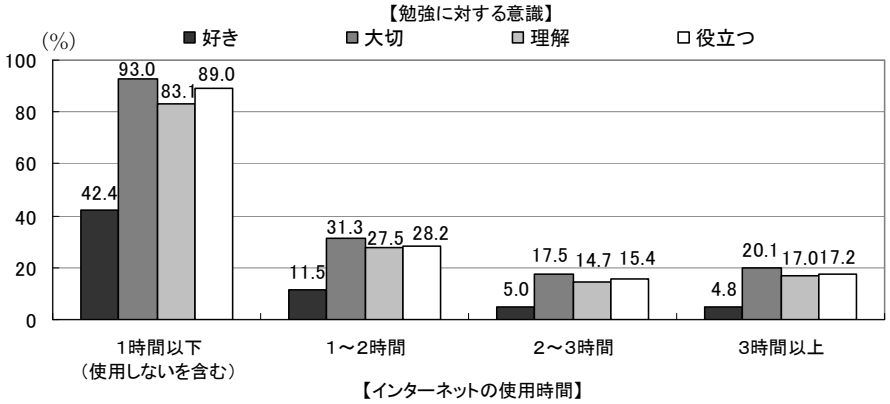


図　　インターネットの使用時間と勉強に対する意識

『勉強に対する意識（子ども 問３１）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が勉強に対する意識が高い。

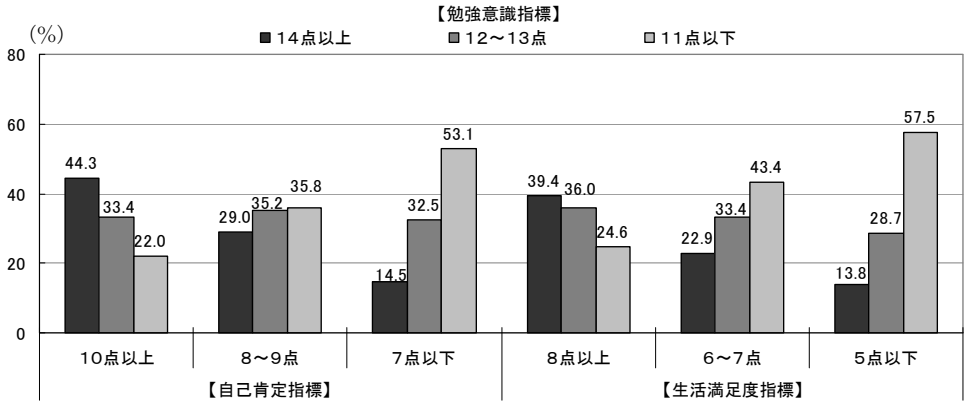


図　　自己肯定感・生活満足度と勉強に対する意識

自分自身を大切にするために心がけていることについて　　【問３２】

■あなたは自分の身体を大切にするために心がけていることはありますか。（複数回答）

◇　全体では、「季節に合わせた服装をする」が 63.8%で最も多く、「お酒、たばこ、薬物などに手をださない」が 60.0%、「睡眠を十分とる」が 54.8%、「栄養のバランスがとれた食事をする」が 47.8%、「規則正しい生活をする」が 46.8%となっている。

◇　小学生の場合、「季節に合わせた服装をする」が 71.9%、「規則正しい生活をする」が 51.5%と割合が高く、高校生になると、「お酒、たばこ、薬物などに手をださない」が 61.2%、「性感染症になるようなことをしない」が 40.9%と割合が高くなる。

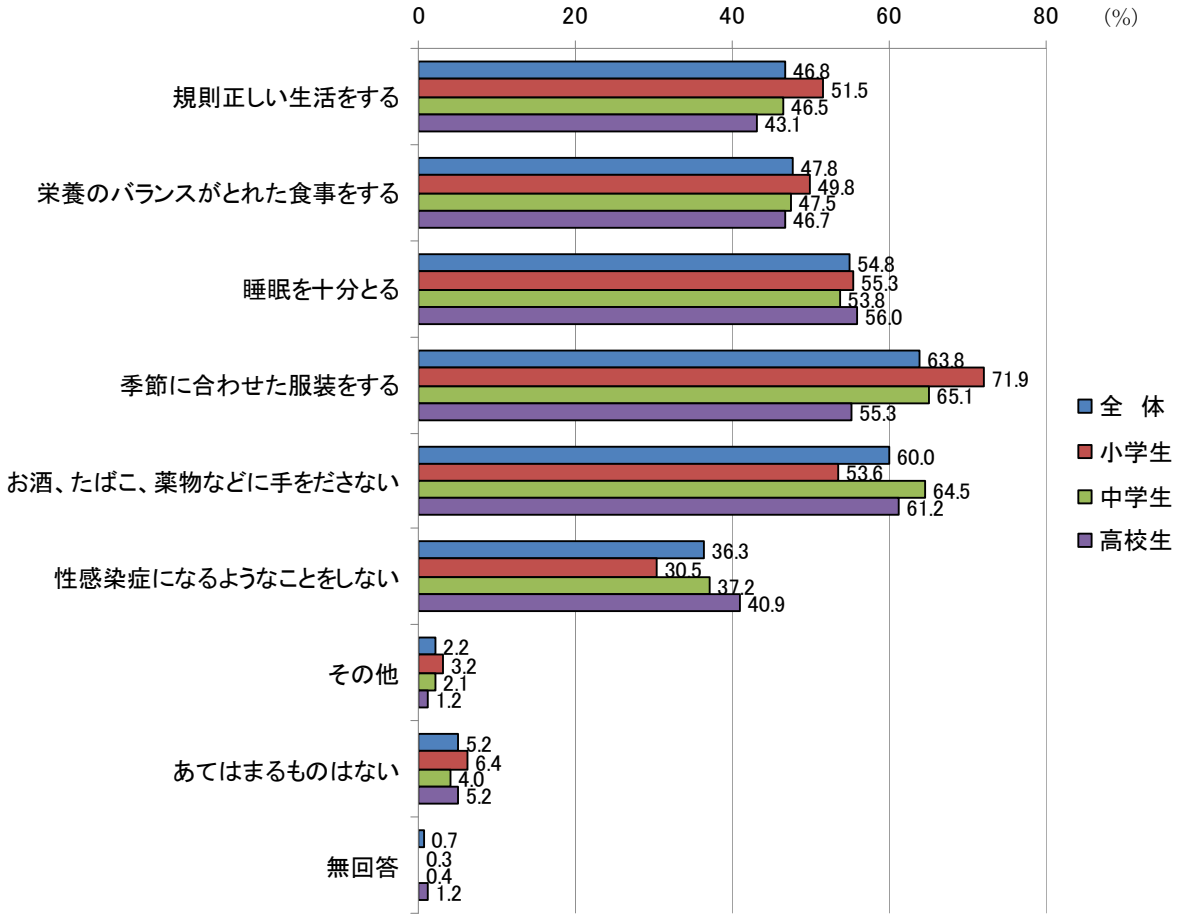


図　　自分の身体を大切にするために心がけていること

回答数　全体＝6,822　小学生＝2,022　中学生＝2,713　高校生＝2,042

『心がけていること（子ども 問３２）と自己肯定感（子ども 問２７）・生活満足度（子ども 問２８）』

○　「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子ほど身体を大切にする意識が高い。

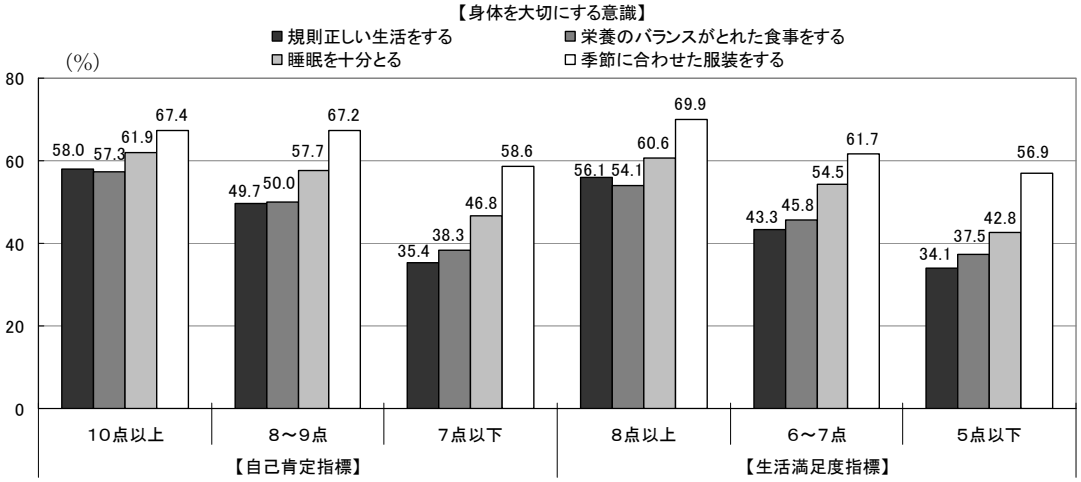


図　　自己肯定感・生活満足度と身体を大切にする意識

４０歳になったときの状態について　　【問３３】

■あなたが 40 歳くらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。（複数回答）

◇　全体では、「幸せになっている」が 62.8%で最も多く、次いで「一生懸命、仕事をしている」が 60.3%、「子どもを育てている」が 59.3%、「親を大切にしている」が 53.8%、「自由にのんびり暮らしている」が 33.2%となっている。

◇　「自由にのんびり暮らしている」「あてはまるものはない」以外の項目では、小学生の割合が最も高い。

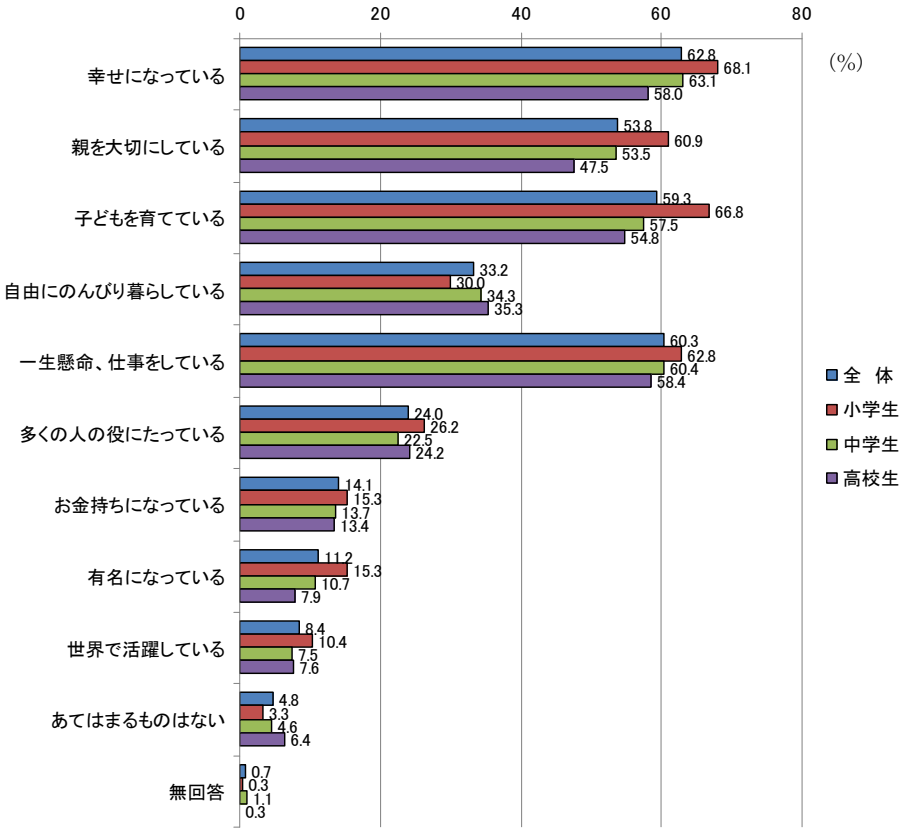


図　　40 歳くらいになったときの状態

回答数　全体＝7,147　小学生＝2,254　中学生＝2,778　高校生＝2,062

『40 歳になったときのイメージ（子ども 問３３）と成績の自己評価（子ども F3)』

◎　「成績の自己評価」が高い子の方が 40 歳のとき幸せになっているとイメージする割合が高い。

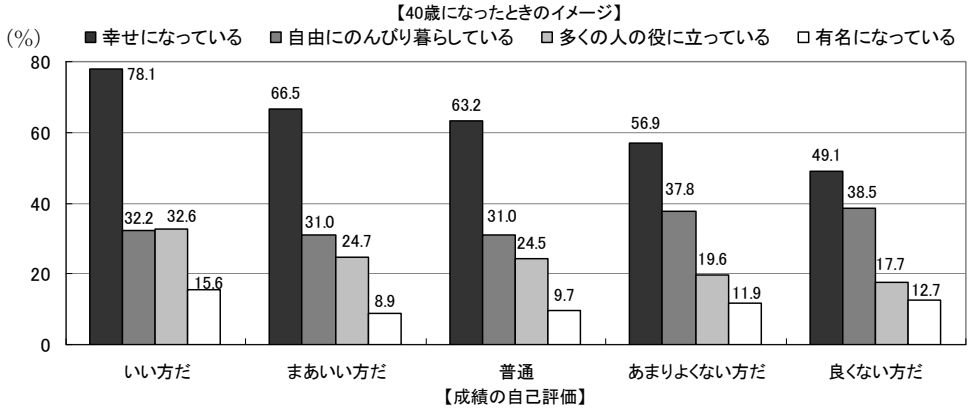


図　　成績の自己評価別の 40 歳になったときのイメージ

『40 歳になったときのイメージ（子ども 問３３）と自己肯定感（子ども 問２７)』

○　「自己肯定感」が高い子の方が 40 歳になったときに肯定的なイメージを持っている。

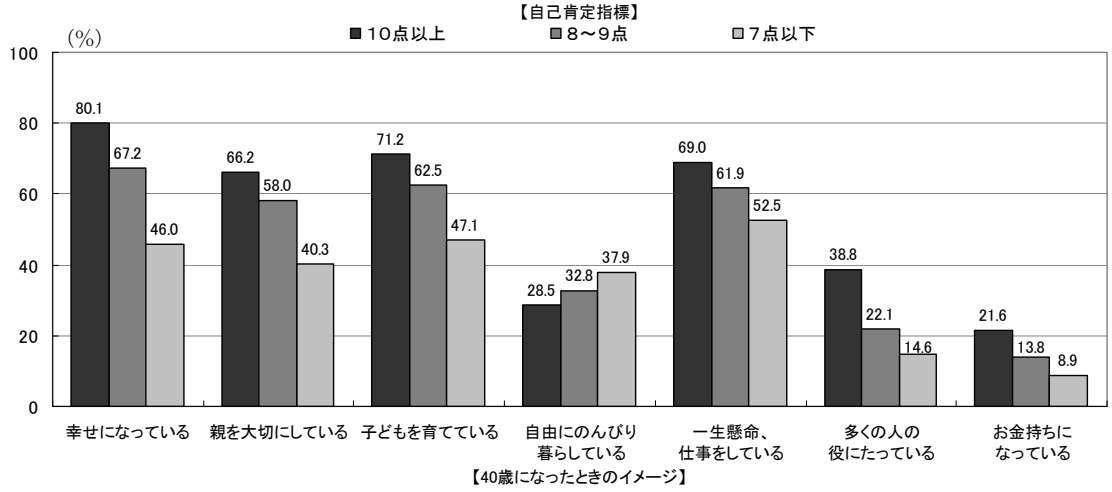


図　　自己肯定感と 40 歳になったときのイメージ

『40 歳になったときのイメージ（子ども 問３３）と生活満足度（子ども 問２８)』

○　「生活満足度」が高い子の方が 40 歳になったときに肯定的なイメージを持っている。

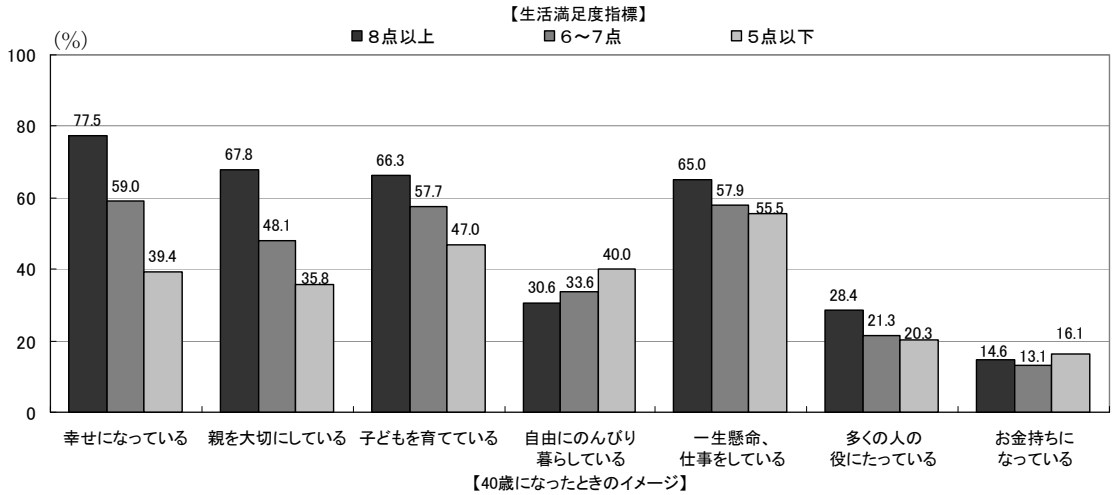


図　　生活満足度と 40 歳になったときのイメージ

『40 歳になったときのイメージ（子ども 問３３）と勉強に対する意識（子ども 問３１）』

○　「勉強に対する意識」が高い子の方が 40 歳になったときに肯定的なイメージを持っている。

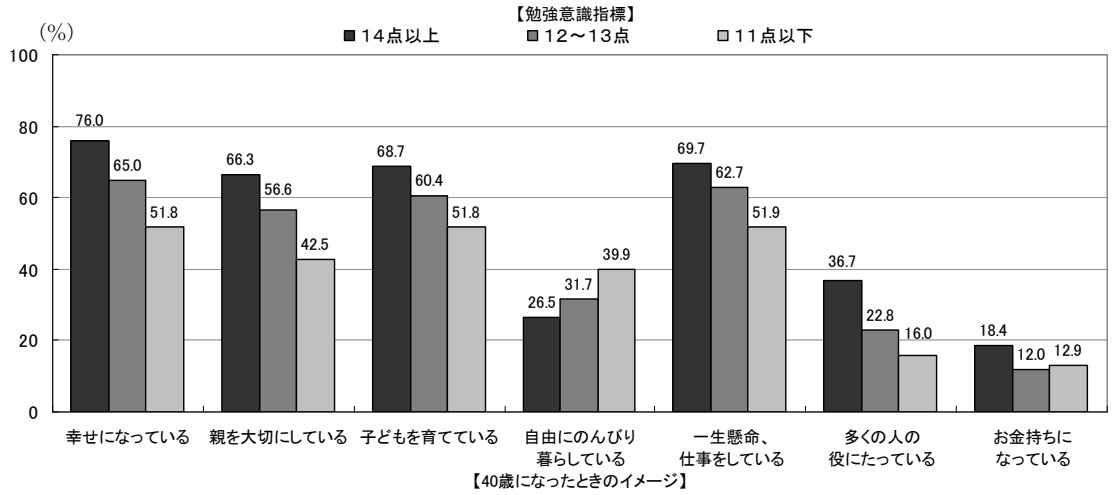


図　　勉強に対する意識と 40 歳になったときのイメージ

将来の仕事について　　【問３４】

■あなたは将来どんな仕事をしたいですか。（複数回答）

◇　全体では、「自分に向いている仕事」が 69.8%で最も多く、次いで「好きなことができる仕事」が 60.6%、「楽しい仕事」が 52.0%、「自分の能力をいかせる仕事」が 50.4%、「安定した仕事」が 45.6%、「人に感謝される仕事」が 39.1%、「給料の高い仕事」が 39.0%、となっている。

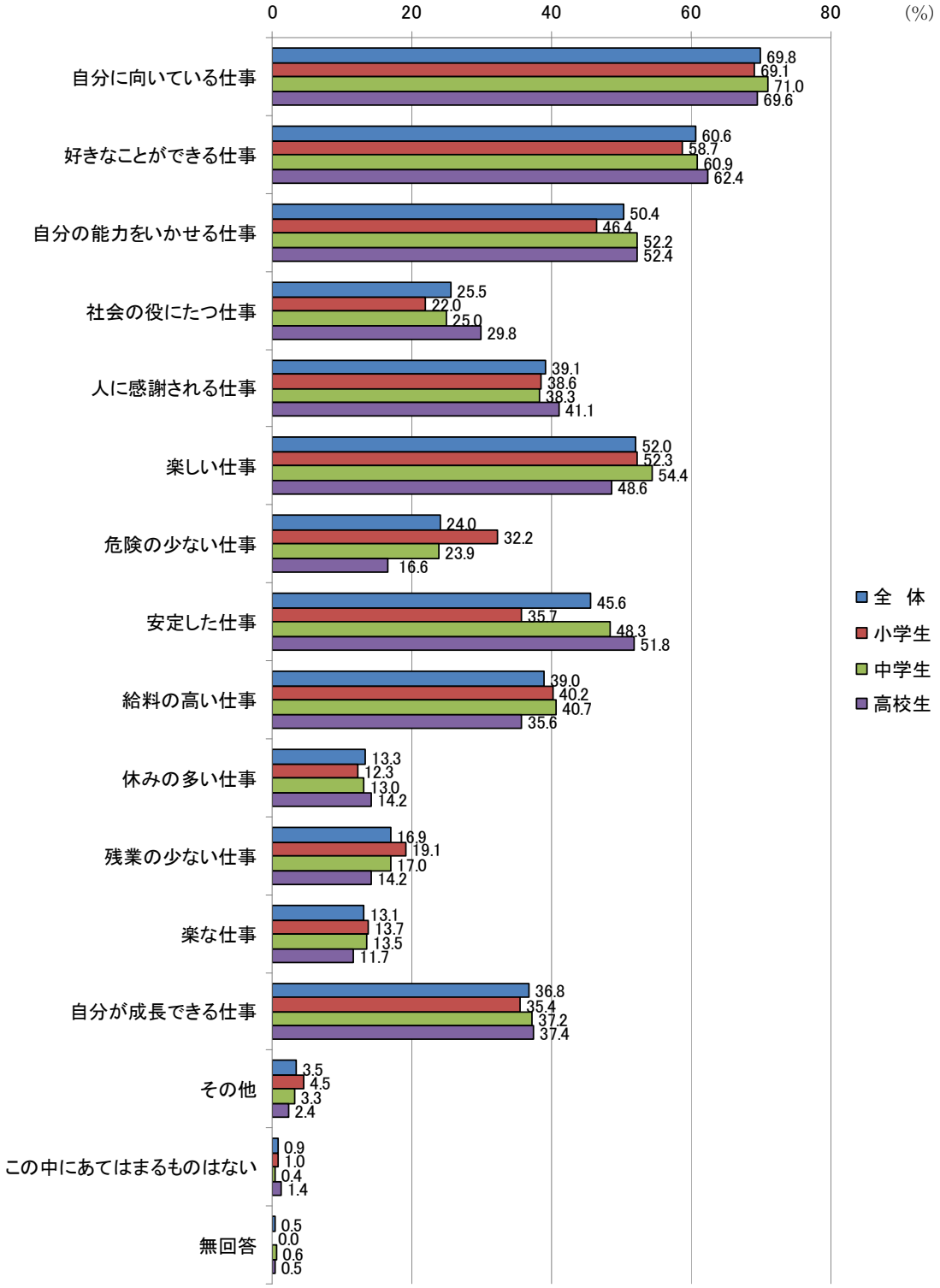


図　　将来自分がやりたい仕事

回答数　全体＝10,546　小学生＝3,017　中学生＝4,223　高校生＝3,216

『将来やりたい仕事（子ども 問３４）と性別（子ども F1)』

◎　「女性」の方が「好きなことができる仕事」「人に感謝される仕事」「自分が成長できる仕事」などの自己実現的な志望動機を選ぶ割合が高い。

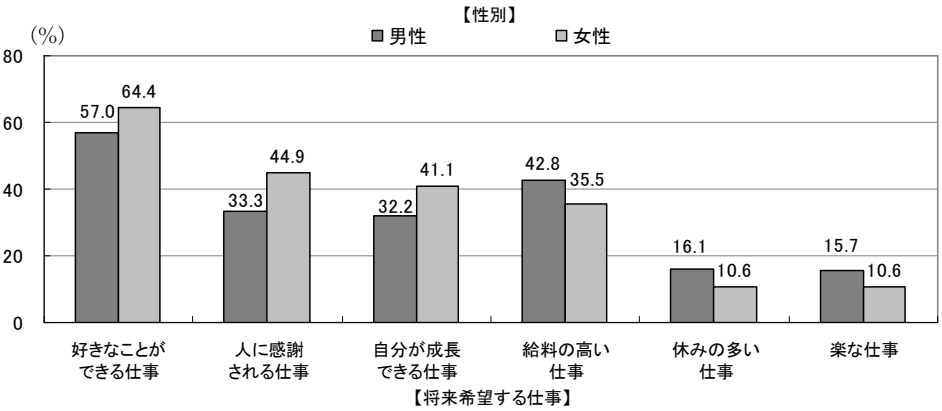


図　　男女別の希望する仕事

『将来やりたい仕事（子ども 問３４）と自己肯定感（子ども 問２７)』

○　「自己肯定感」が高い子ほど、「自分に向いている仕事」「好きなことができる仕事」「自分の能力をいかせる仕事」「楽しい仕事」などの志望動機を選ぶ割合が高い。

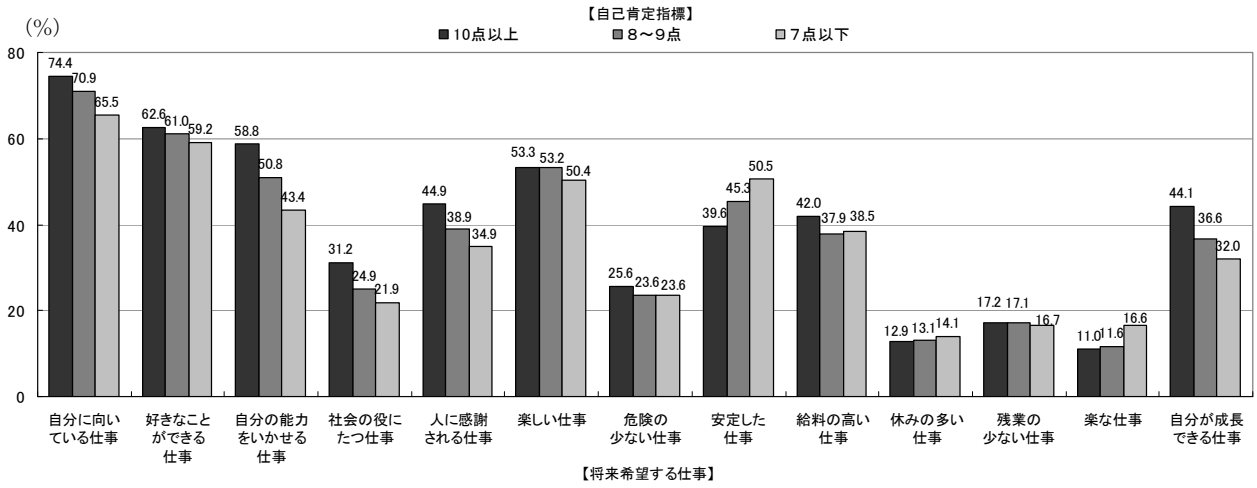


図　　自己肯定感と希望する仕事

『将来やりたい仕事（子ども 問３４）と生活満足度（子ども 問２８）』

○　「生活満足度」が高い子ほど、「自分に向いている仕事」「人に感謝される仕事」「自分が成長できる仕事」「社会の役にたつ仕事」を選ぶ割合が高い。

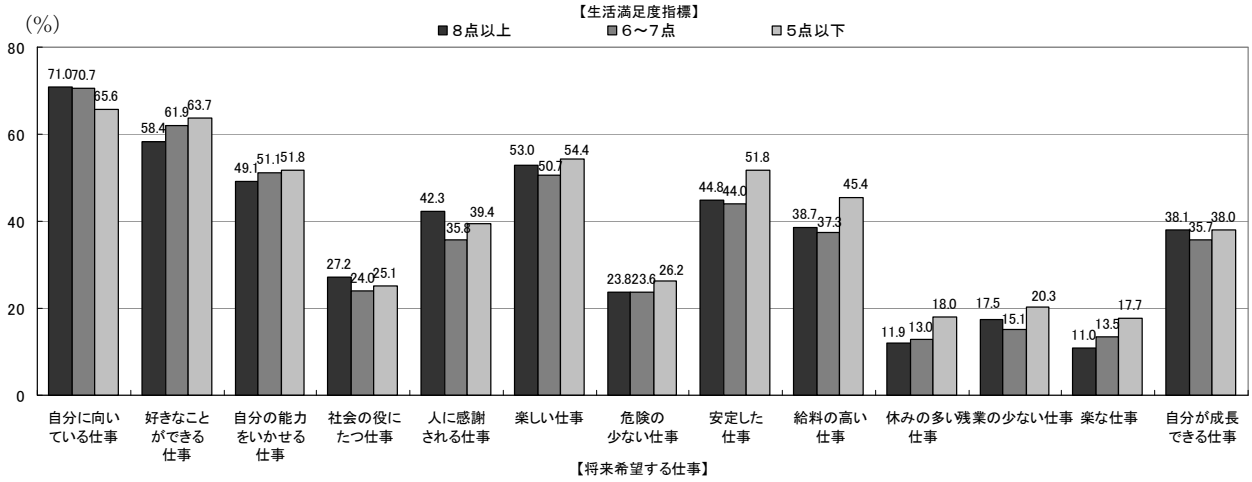


図　　生活満足度と希望する仕事

大人になることについて　【問３５】

■早く大人になることについて答えてください。

（１）あなたは早く大人になりたいと思いますか。（１つ）

◇　全体では、「思う」が 43.8%、「思わない」が 38.6%、「わからない」が 17.1%の順となっている。

◇　高校生になるにつれて、早く大人になりたいと「思う」割合が低くなる。

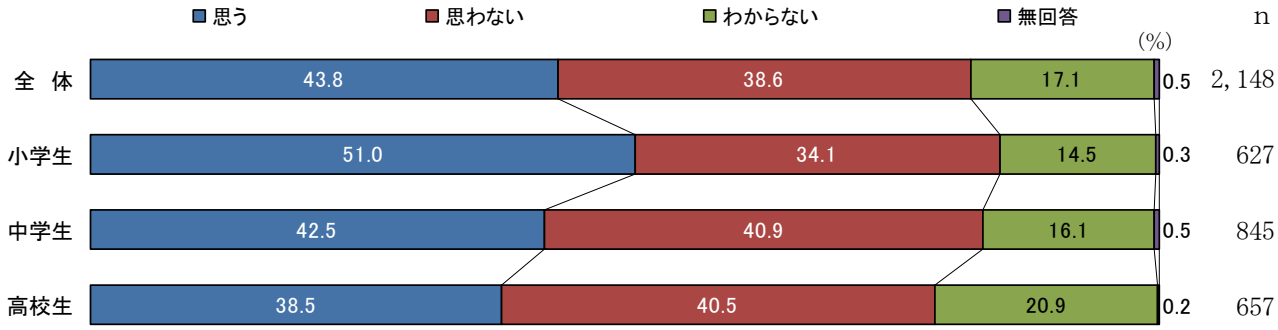


図　　早く大人になりたいと思う割合

『大人になること（子ども 問３５）と仕事と生活のバランス（就学後 問８）』

● 「ワーク・ライフ・バランスがとれている親の子」の方が大人になりたいと思う傾向が高い。

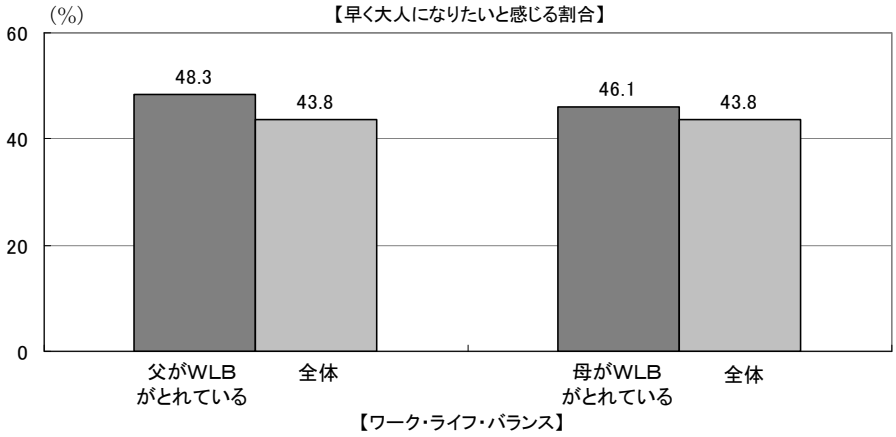
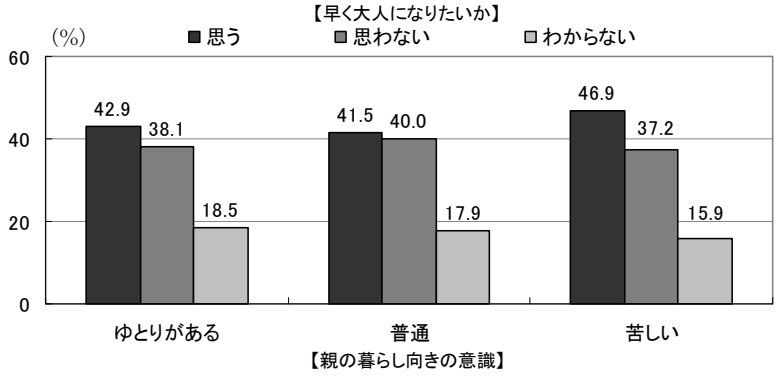


図　　ワーク・ライフ・バランスと早く大人になりたいと感じる割合

『大人になること（子ども 問３５）と親の暮らし向きの意識（就学後 問１２）』

● 親が「暮らし向きが苦しい」と回答した子の方が「早く大人になりたい」と思う子の割合が高い。



※親の暮らし向きの意識：ゆとりがある＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、やや苦しい＋苦しい

図　　親の暮らし向きの意識と早く大人になりたいと感じる割合

『大人になること（子ども 問３５）と自己肯定感（子ども 問２７）』

○ 「自己肯定感」が高い子の方が「早く大人になりたい」と思う割合が高い。

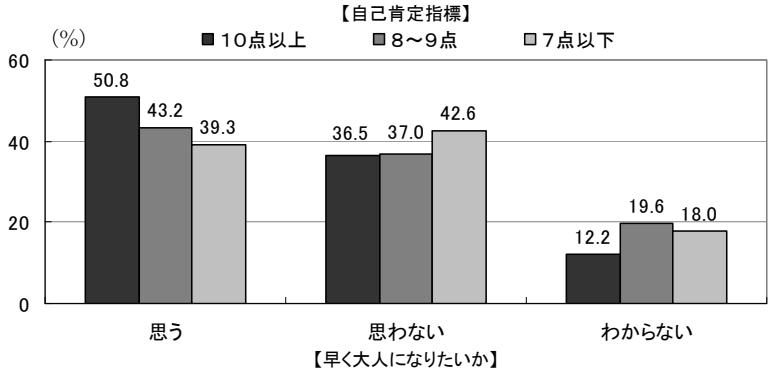


図　　自己肯定感と早く大人になりたいと感じる割合

『大人になること（子ども 問３５）と両親との関係（子ども 問１４・１５）』

○ 両親との「信頼関係」が強い子の方が「早く大人になりたい」と思うが、両親が「支援的であるかどうか」は「早く大人になりたい」と思うことと明確な相関関係はない。

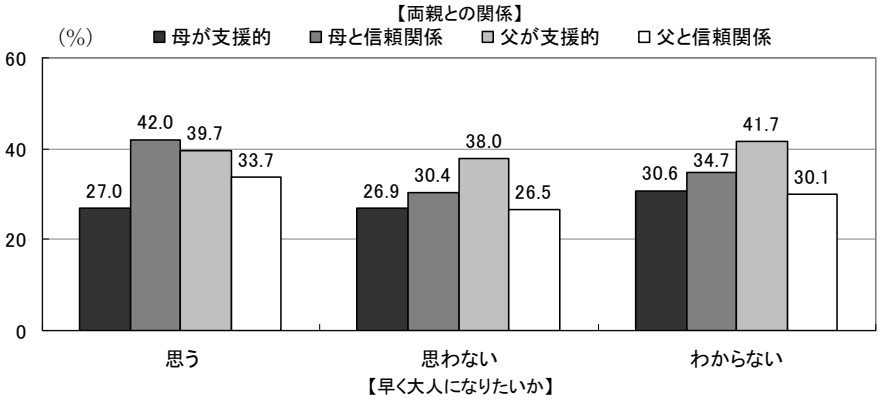


図　　両親との支援的・信頼関係と早く大人になりたいと感じる割合

（２）早く大人になりたい理由は何ですか。（複数回答）

◇ 全体では、「やりたい仕事に早くつきたいから」が 51.4%で最も多く、次いで「自分の自由に暮らせるようになるから」が 48.0%、「お父さんやお母さんに楽をさせたいから」が 44.3%、「ほしいものが自由に買えるから」が 40.6%となっている。

◇ 小学生の場合、「やりたい仕事に早くつきたいから」が 60.9%、「お父さんやお母さんに楽をさせたいから」が 57.5%と割合が高く、高校生になると、「自分の自由に暮らせるようになるから」が 54.2%、「ほしいものが自由に買えるから」が 45.1%と割合が高くなる。

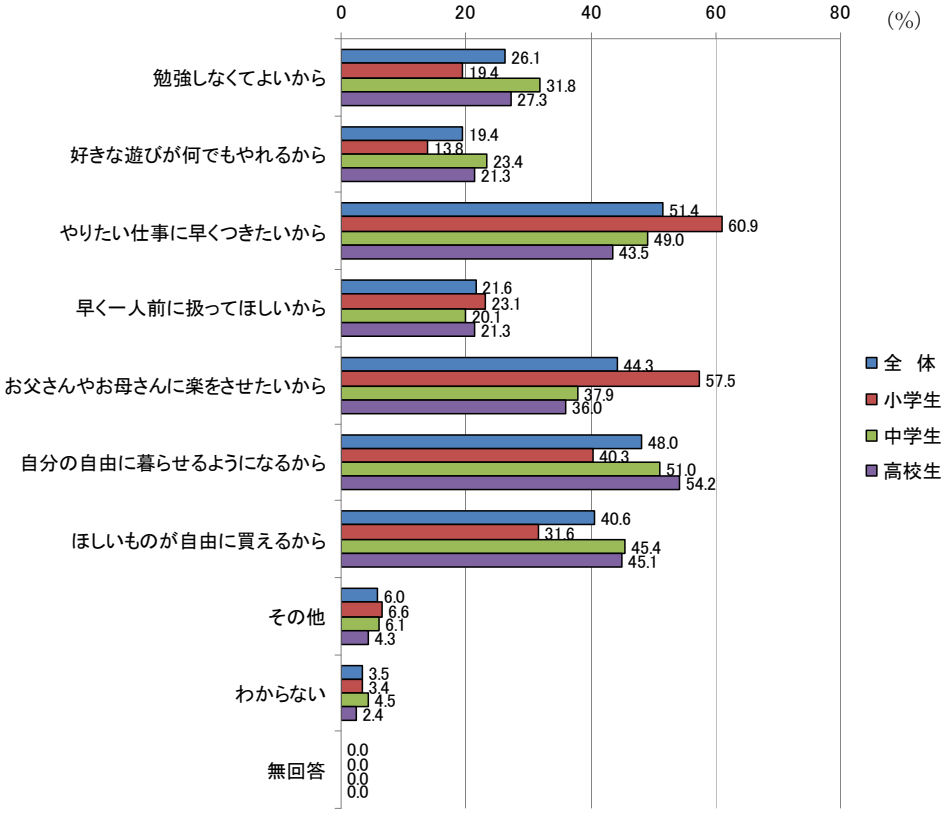


図　　早く大人になりたい理由

回答数　全体＝2,456　小学生＝821　中学生＝966　高校生＝646

【5 年前からの変化】

・全体では、両親に楽をさせたい子が約 5%増えた。
・全体では、好きな遊びができるからが約 8%、勉強しなくてよいからが約 5%、ほしいものが自由に買えるからが約 4%減った。

（3）早く大人になりたくない理由は何ですか。（複数回答）

◇ 全体では、「子どもでいる方が楽だから」が 49.2%で最も多く、次いで「大人になるのが何となく不安だから」が 46.0%、「大人になると働かなくてはいけないから」が 25.3%、「大人になって、家族の世話をきちんとやっていける自信がないから」が 18.3%となっている。

◇ どの項目も学年毎で特に大きな変化はみられないが、中学生は、「大人になってもとくにやりたいこともないし、夢もないから」の割合が 17.3%と他の学年と比較して高く、高校生は、「大人になるのが何となく不安だから」の割合が 50.0%と他の学年と比較して高い。

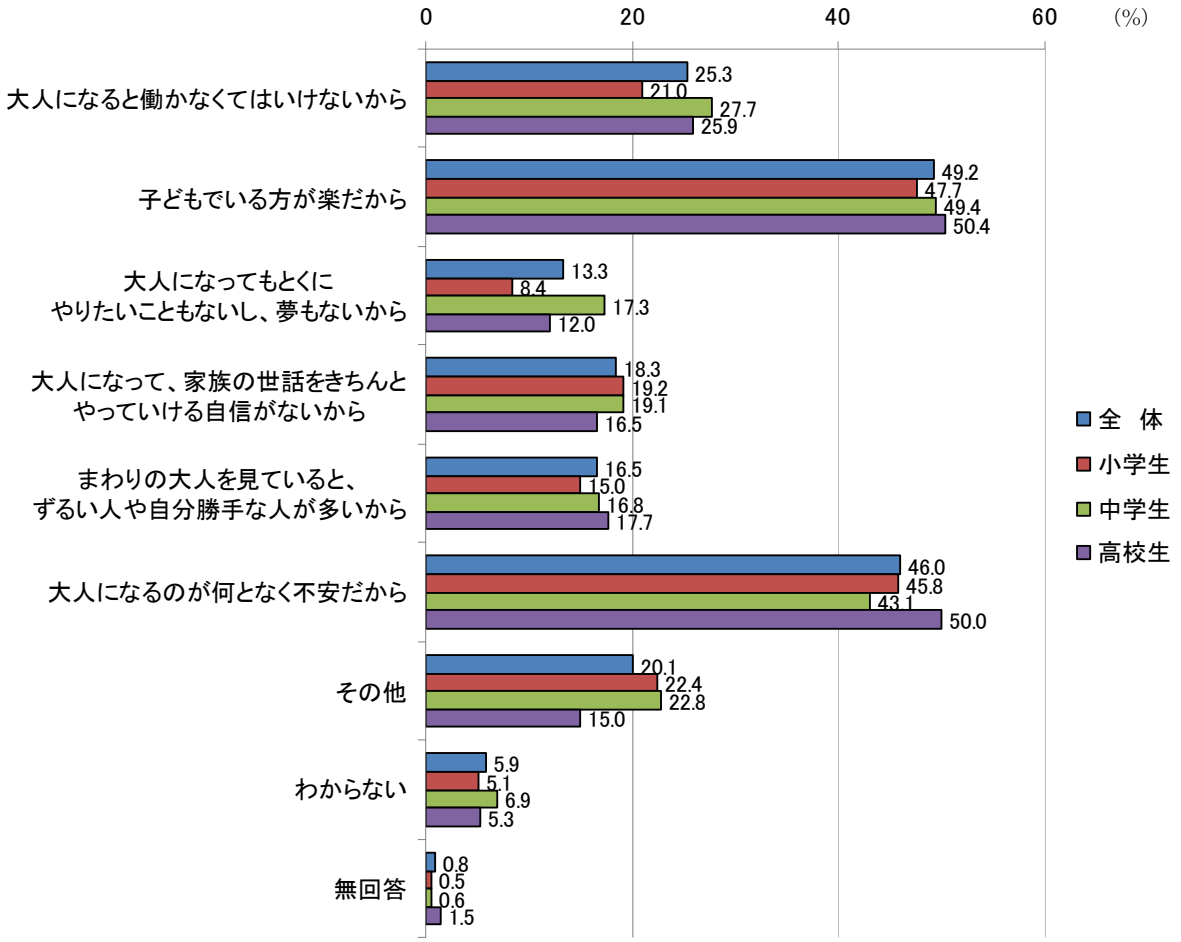


図　　早く大人になりたくない理由

回答数　全体＝1,621　小学生＝396　中学生＝705　高校生＝517

【5 年前からの変化】

・全体では、大人になるのが何となく不安だからの割合が約 7%増えた。
・全体では、大人はずるい人や勝手な人が多いからが約 7%、働かなくてはいけないからが約 5%減った。

なごや子ども条例について　　【問３６】

■なごや子ども条例についてお聞きします。

（１）なごや子ども条例について知っていますか。（１つ）

◇　「知らない」が 77.7%と全体の 70%以上を占める。

◇　小学生の「聞いたことがある」割合が 21.2%で、高校生になるにつれて低くなる。

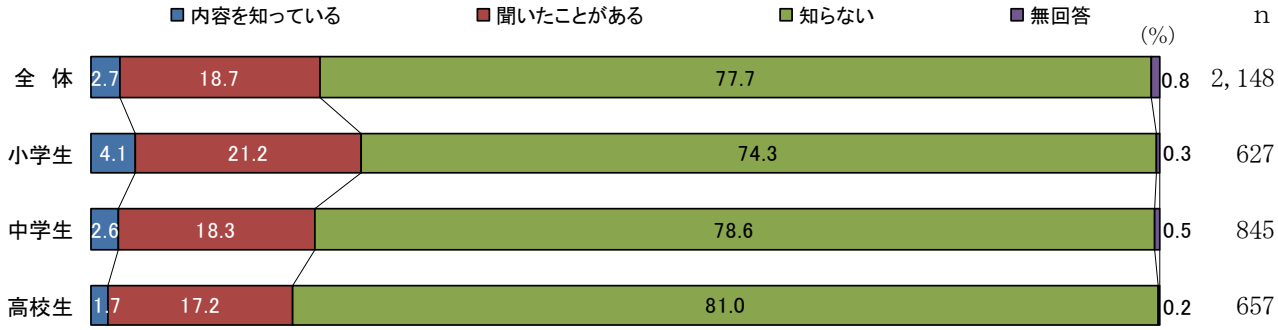


図　　なごや子ども条例の認知度

【5 年前からの変化】

・なごや子ども条例を知っている子が約 15%増えた。

（２）なごや子ども条例をどのように知りましたか。（複数回答）

◇ 全体では、「学校の先生に聞いた」が 45.8%で最も多く、次いで「なごや子ども条例のパンフレットで見た」が 44.1%、「新聞で読んだ」が 28.8%で、「お母さんに聞いた」が 25.4%、「テレビで見た」が 16.9%となっている。

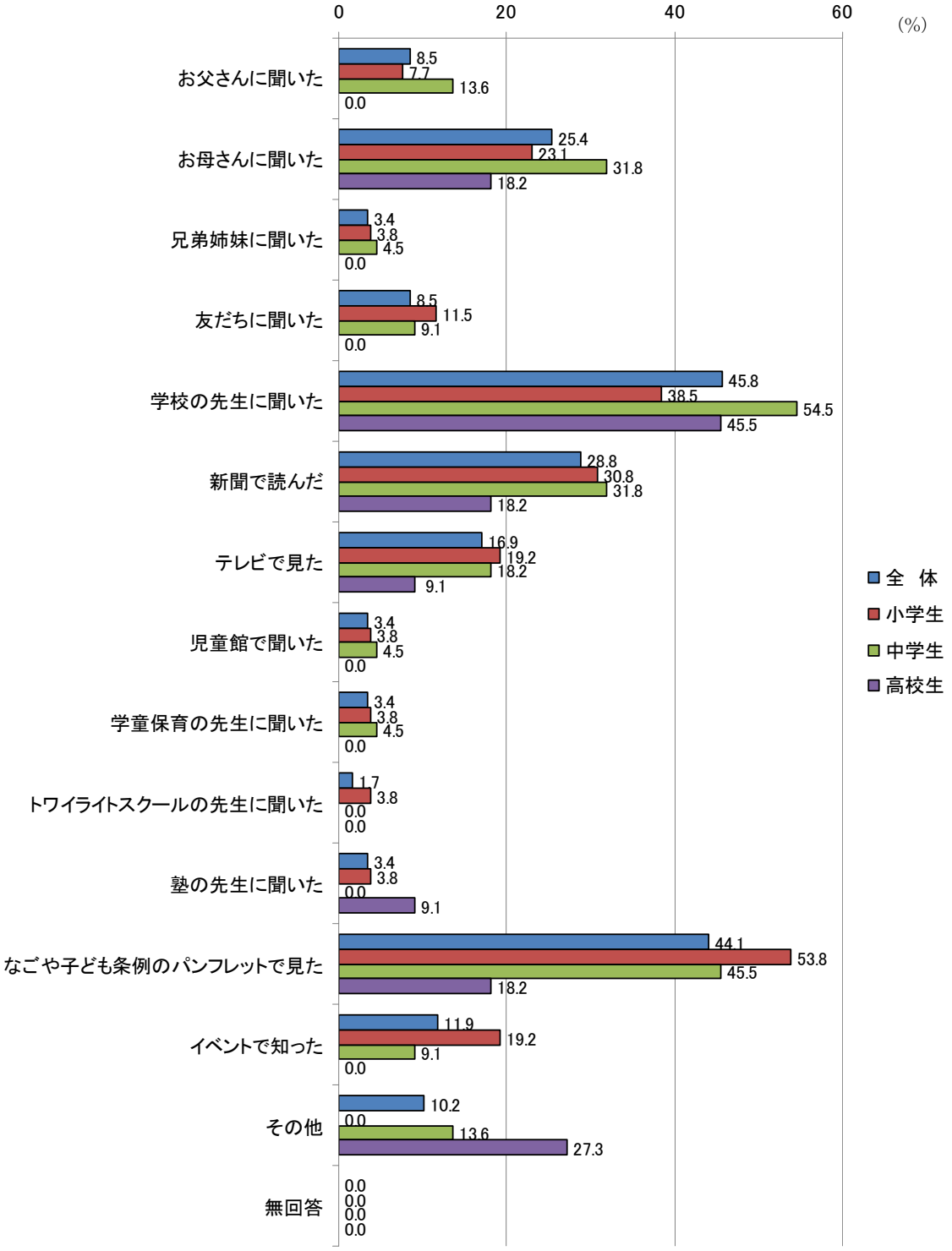


図　　なごや子ども条例をどのように知ったのか

回答数　全体＝127　小学生＝58　中学生＝53　高校生＝16

【5 年前からの変化】

・全体では、パンフレットで見たが約 24%、学校の先生に聞いたが約 18%、
お母さんに聞いたが約 17%増えた。
・全体では、テレビで見たという割合が約 12%減った。

（3）なごっちがなごや子ども条例のマスコットキャラクターであることを知っていますか。（1つ）

◇ 「知らない」が 78.5%で全体の 70%以上を占める。
◇ 「知っている」は小学生が 25.4%で、高校生では 6.8%と低くなる。

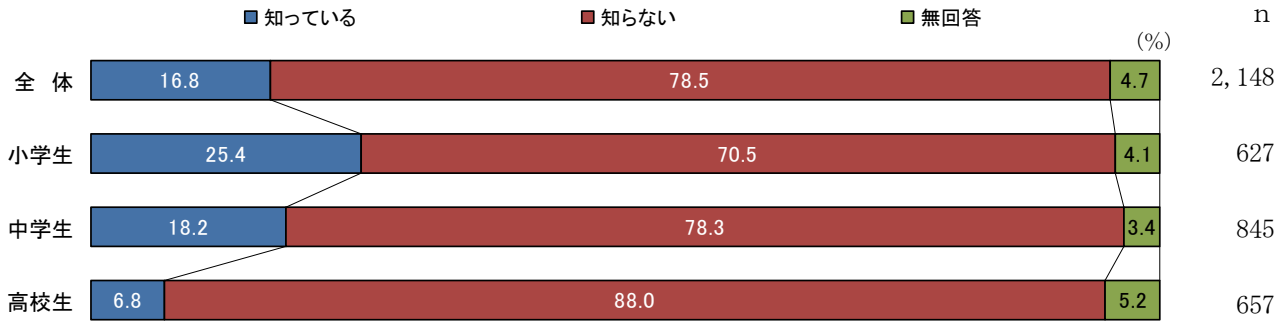


図　　なごっちの認知度

～自由意見～

「将来の職業・夢」「大人に対して」「社会への関心」に関する意見が多く、「将来の職業・夢」の中では「スポーツ選手」、「大人に対して」では「大人のモラルに対して」「大人は子どもの手本になってほしい」、そして「社会への関心」では「世の中への意見・不満」が多い。

表　　就学前・就学後保護者の意見の概要・件数

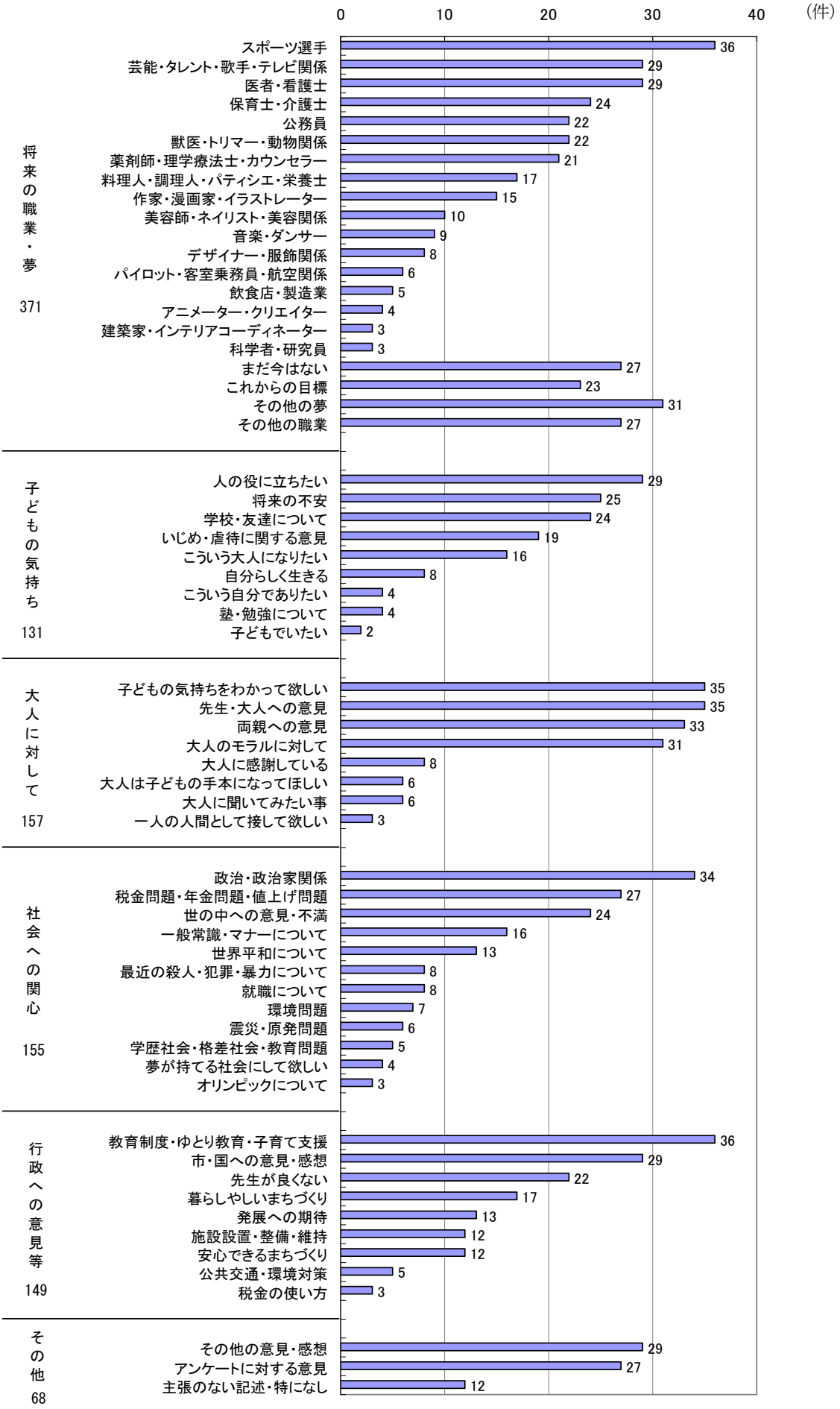
	件数（件）	構成比（‰）
将来の職業・夢	371	359.8
今の気持ち	131	127.1
大人に対して	157	152.3
社会への関心	155	150.3
行政への意見等	149	144.5
その他	68	65.9
合計	1,031	1,000

※構成比は選択肢が多いことから千分率（‰）としている。

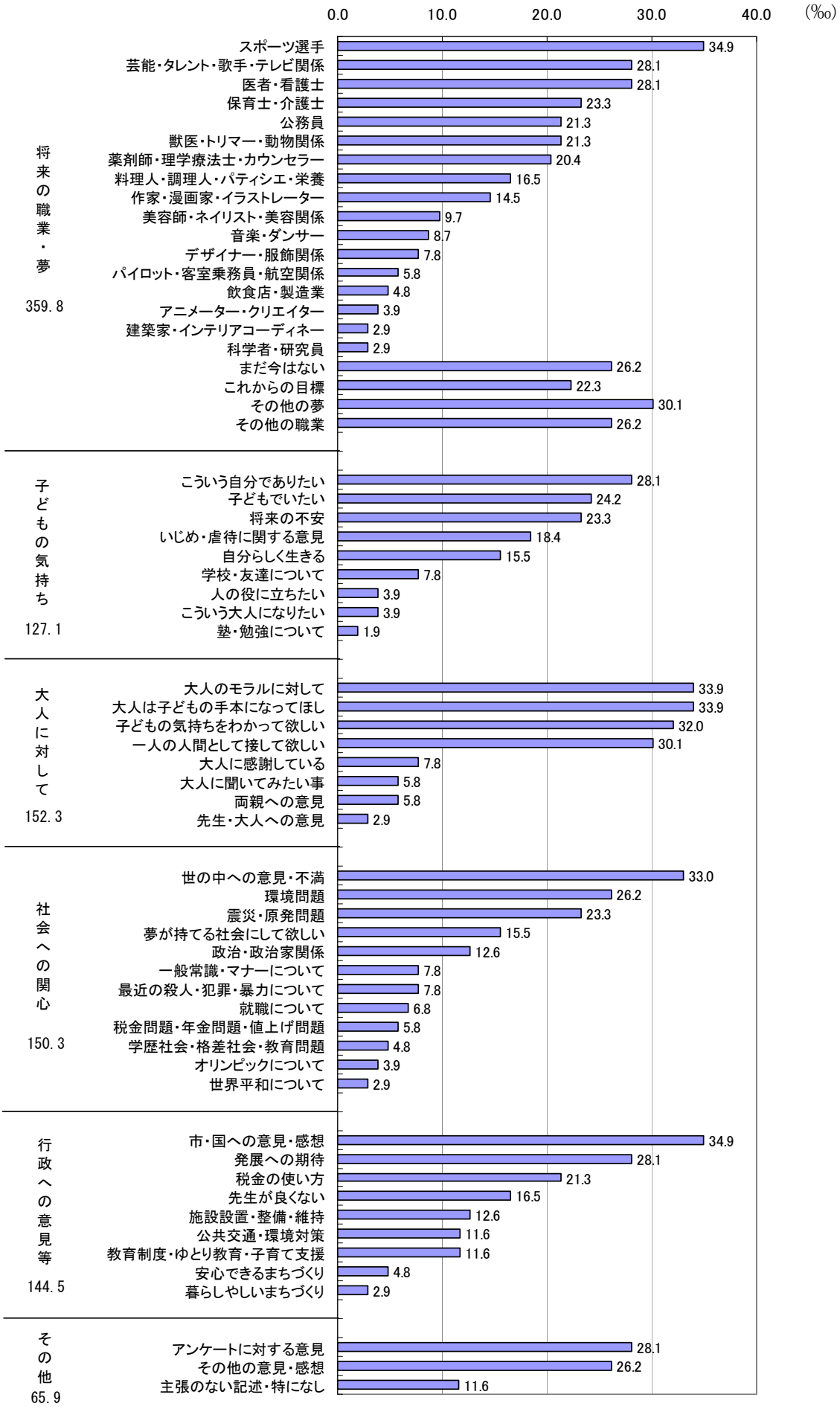
主な意見として、全体の中で20‰を超える意見を列記すると以下のとおりである。

	全体の中で20‰を超える意見
将来の職業・夢	・スポーツ選手　34.9 ・芸能・タレント・歌手・テレビ関係　28.1 ・医者・看護士　28.1 ・保育士・介護士　23.3 ・公務員21.3 ・獣医・トリマー・動物関係　21.3 ・薬剤師・理学療法士・カウンセラー　20.4
今の気持ち	・こういう自分でありたい　28.1 ・子どもでいたい　24.2 ・将来の不安　23.3
大人に対して	・大人のモラルに対して　33.9 ・大人は子どもの手本になってほしい　33.9 ・子どもの気持ちをわかって欲しい　32.0 ・一人の人間として接して欲しい　30.1
社会への関心	・世の中への意見・不満　33.0 ・環境問題　26.2 ・震災・原発問題　23.3
行政への意見等	・市・国への意見・感想　34.9 ・発展への期待　28.1 ・税金の使い方　21.3
その他	・アンケートに対する意見　28.1 ・その他の意見・感想　26.2

【意見・件数】


0
10
20
30
40
(件)
将来の職業・夢
371
スポーツ選手 36
芸能・タレント・歌手・テレビ関係 29
医者・看護士 29
保育士・介護士 24
公務員 22
獣医・トリマー・動物関係 22
薬剤師・理学療法士・カウンセラー 21
料理人・調理人・パティシエ・栄養士 17
作家・漫画家・イラストレーター 15
美容師・ネイリスト・美容関係 10
音楽・ダンサー 9
デザイナー・服飾関係 8
パイロット・客室乗務員・航空関係 6
飲食店・製造業 5
アニメーター・クリエイター 4
建築家・インテリアコーディネーター 3
科学者・研究員 3
まだ今はない 27
これからの目標 23
その他の夢 31
その他の職業 27
子どもの気持ち
131
人の役に立ちたい 29
将来の不安 25
学校・友達について 24
いじめ・虐待に関する意見 19
こういう大人になりたい 16
自分らしく生きる 8
こういう自分でありたい 4
塾・勉強について 4
子どもでいたい 2
大人に対して
157
子どもの気持ちをわかって欲しい 35
先生・大人への意見 35
両親への意見 33
大人のモラルに対して 31
大人に感謝している 8
大人は子どもの手本になってほしい 6
大人に聞いてみたい事 6
一人の人間として接して欲しい 3
社会への関心
155
政治・政治家関係 34
税金問題・年金問題・値上げ問題 27
世の中への意見・不満 24
一般常識・マナーについて 16
世界平和について 13
最近の殺人・犯罪・暴力について 8
就職について 8
環境問題 7
震災・原発問題 6
学歴社会・格差社会・教育問題 5
夢が持てる社会にして欲しい 4
オリンピックについて 3
行政への意見等
149
教育制度・ゆとり教育・子育て支援 36
市・国への意見・感想 29
先生が良くない 22
暮らしやしいまちづくり 17
発展への期待 13
施設設置・整備・維持 12
安心できるまちづくり 12
公共交通・環境対策 5
税金の使い方 3
その他
68
その他の意見・感想 29
アンケートに対する意見 27
主張のない記述・特になし 12

【意見構成比】


0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
(‰)
将来の職業・夢
359.8
スポーツ選手 34.9
芸能・タレント・歌手・テレビ関係 28.1
医者・看護士 28.1
保育士・介護士 23.3
公務員 21.3
獣医・トリマー・動物関係 21.3
薬剤師・理学療法士・カウンセラー 20.4
料理人・調理人・パティシエ・栄養 16.5
作家・漫画家・イラストレーター 14.5
美容師・ネイリスト・美容関係 9.7
音楽・ダンサー 8.7
デザイナー・服飾関係 7.8
パイロット・客室乗務員・航空関係 5.8
飲食店・製造業 4.8
アニメーター・クリエイター 3.9
建築家・インテリアコーディネー 2.9
科学者・研究員 2.9
まだ今はない 26.2
これからの目標 22.3
その他の夢 30.1
その他の職業 26.2
子どもの気持ち
127.1
こういう自分でありたい 28.1
子どもでいたい 24.2
将来の不安 23.3
いじめ・虐待に関する意見 18.4
自分らしく生きる 15.5
学校・友達について 7.8
人の役に立ちたい 3.9
こういう大人になりたい 3.9
塾・勉強について 1.9
大人に対して
152.3
大人のモラルに対して 33.9
大人は子どもの手本になってほし 33.9
子どもの気持ちをわかって欲しい 32.0
一人の人間として接して欲しい 30.1
大人に感謝している 7.8
大人に聞いてみたい事 5.8
両親への意見 5.8
先生・大人への意見 2.9
社会への関心
150.3
世の中への意見・不満 33.0
環境問題 26.2
震災・原発問題 23.3
夢が持てる社会にして欲しい 15.5
政治・政治家関係 12.6
一般常識・マナーについて 7.8
最近の殺人・犯罪・暴力について 7.8
就職について 6.8
税金問題・年金問題・値上げ問題 5.8
学歴社会・格差社会・教育問題 4.8
オリンピックについて 3.9
世界平和について 2.9
行政への意見等
144.5
市・国への意見・感想 34.9
発展への期待 28.1
税金の使い方 21.3
先生が良くない 16.5
施設設置・整備・維持 12.6
公共交通・環境対策 11.6
教育制度・ゆとり教育・子育て支援 11.6
安心できるまちづくり 4.8
暮らしやしいまちづくり 2.9
その他
65.9
アンケートに対する意見 28.1
その他の意見・感想 26.2
主張のない記述・特になし 11.6

子ども調査票

子ども用

名古屋市から

「子ども・子育て家庭　意識・生活実態調査」への

ご協力のお願い

名古屋市子ども青少年局子ども未来課

名古屋市では、みんなで子どもを支える子どもにやさしいまちを目指す計画をつくります。

このアンケートで、みなさんが普段、どのような生活をし、どのようなことを考えているのかをお聞きし、これからの名古屋のまちを考えていく参考にしたいと思います。

アンケートは、名古屋市に住んでいる小学校５年生から１８歳の方の中からくじ引きのような方法で選んで、送りました。

みなさんに書いていただいた内容は、コンピュータで処理します。名前は書かなくてよいので、答えの中身を他の人に知られることはありません。

ぜひ、アンケートに協力してください。

アンケートについて

- 「子ども用」のアンケートは封筒のあて名のご本人が答えてください。
- 「保護者用」のアンケートはおうちの方に渡して答えてもらってください。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけるものと、数字を書くものがあります。質問をよく読んで答えてください。
- 全部書き終わったら茶色の小さい方の封筒に入れ、封をして、おうちの方に渡し、「保護者用」のアンケートと一緒に１０月３１日（木）までに、送ってもらってください。
- 封筒・アンケートのどちらもお名前を書く必要はありません。

このアンケートに関するお問い合わせは

名古屋市子ども青少年局子ども未来課（担当　三宅・東）

〒460-8508　名古屋市中区三の丸三丁目１番１号

電話（０５２）９７２－３９７１　FAX（０５２）９７２－４４３７

1　日頃の生活や過ごし方についてお聞きします。

問1　あなたは平日の授業後、主にどこで過ごしますか。次の中から<u>３つまで選んで</u>○をつけてください。

1．自分の家	8．祖父母の家
2．学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）	9．友達の家
3．トワイライトスクール（トワイライトルーム）	10．図書館、児童館
4．学校で行われる部活動	11．コンビニやショッピングセンター
5．学習塾、予備校	12．ゲームセンター
6．習い事（ピアノ教室・サッカークラブなど）	13．ファストフード店やファミリーレストラン
7．公園、道路	14．その他（具体的に　　）

問2　学校が休みの時は主にどのように過ごしていますか。次の中から<u>２つまで選んで</u>○をつけてください。

1．家族と一緒に過ごす	5．習い事（ピアノ教室・サッカークラブなど）
2．友達と遊ぶ	6．一人で過ごす
3．学校で行われる部活動	7．その他
4．学習塾、予備校	（具体的に　　）

問3　あなたは平日、学校の授業のほかにどのくらい勉強をしますか（塾や家庭教師の時間も含みます）。次の中から<u>１つだけ選んで</u>○をつけてください。

1．ほとんどない（30分以内）	5．3時間～4時間以内
2．30分～1時間以内	6．4時間～5時間以内
3．1時間～2時間以内	7．5時間より多い
4．2時間～3時間以内	8．わからない

問4　平日は主にだれと食事をしていますか。
<u>朝食・夕食それぞれについて、１つ選んで</u>○をつけてください。

	皆で家族	家族の誰かと	一人で食べる	食べない
ア．朝食	1	2	3	4
イ．夕食	1	2	3	4

問5　あなたは家の手伝いをしますか。次の中から<u>１つ選んで</u>○をつけてください。

1．よくする	2．ときどきする	3．あまりしない	4．しない

問６　平日の起きる時間と寝る時間はだいたい何時ですか。次の中から 1 つずつ選んで○をつけてください。

（1）起きる時間

1．午前５時前	3．午前６時台	5．午前８時台
2．午前５時台	4．午前７時台	6．午前９時以降

（2）寝る時間

1．午後９時前	3．午後１０時台	5．深夜12時台
2．午後９時台	4．午後１１時台	6．午前１時以降

問７　あなたは次のことができますか。それぞれ１つ選んで○をつけてください。

	だいたいできる	たまにできる	ほとんどできない
ア.　朝、自分で起きる	1	2	3
イ.　自分の身の回りや部屋のかたづけをする	1	2	3
ウ.　夜、自分で決まった時間に寝る。	1	2	3
エ.　学校への提出物を、期限までに出す。	1	2	3
オ.　テレビの番組は見たいものを決め、だらだらと見ない	1	2	3
カ.　言われなくても、自分で計画を立てて勉強する	1	2	3
キ.　自分できちんと計画を立てて、おこづかいを使う	1	2	3
ク.　自分からちゃんとあいさつをする	1	2	3
ケ.　うそをつかない	1	2	3
コ.　先生の言うことをよく聞く	1	2	3
サ.　友達と仲良くする	1	2	3
シ.　弱いものいじめをしない	1	2	3

問８　１ヶ月におこづかいをいくらもらっていますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

1．1円～999円	9．8,000円～8,999円
2．1,000円～1,999円	10．9,000円～9,999円
3．2,000円～2,999円	11．10,000円～19,999円
4．3,000円～3,999円	12．20,000円～29,999円
5・4,000円～4,999円	13．30,000円以上
6．5,000円～5,999円	14．決まっていない（必要に応じてもらう）
7．6,000円～6,999円	15．もらっていない
8．7,000円～7,999円	

問９　友達について答えてください。

（１）　仲のよい友達は何人いますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

１．１人	２．２人	３．３～５人	４．６～10人	５．11人以上

６．仲のよい友達はいない

（２）（１）で１から５に○をつけた方に質問します。仲のよい友達の中に、次のような人はいますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

１．学年のちがう友達
２．通っている学校がちがう友達
３．異性の友達
４．メールやソーシャルネットワーク（Facebook、mixiなど）だけで交流している友達
５．この中にあてはまる友達はいない

問10　あなた「専用」のものを持っていますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

１．個室（アパート・下宿を含む）
２．テレビ
３．パソコン
４．携帯型音楽機器（iPod, ウォークマンなど）
５．音楽プレーヤー
６．テレビゲーム機
７．携帯用ゲーム機
８．携帯電話（スマートフォン、ＰＨＳを含む。以下同じ）
９．スポーツ用品（グローブ、ボールなど）
10．自転車
11．オートバイ・スクーター
12．ブランド品（バッグ・さいふなど）
13．化粧品
14．勉強に必要な道具
15．勉強に必要な参考書
16．以上の中にはない
17．わからない

問11　携帯電話について答えてください。

問10で「８．携帯電話」に○をつけた方に質問します。あなたは携帯電話で何をしますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

１．電話をする
２．いろいろなことを調べる
３．ウエブサイトを見る
４．電子メールのやりとりをする
５．インスタントメッセンジャー（ＬＩＮＥ、スカイプなど）をする
６．ブログを見る
７．チャットをする
８．掲示板に書き込む
９．自分のブログを書く
10．ソーシャルネットワークサービスのサイト（Facebook、mixiなど）を見たり、書き込む
11．ゲームをする
12．その他（具体的に　　）

問12　インターネットについて答えてください。

（1）あなたは学校の授業以外でパソコンや携帯電話でインターネットを１日にどれくらい使いますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

1．～29分	2．30分～59分	3．1時間～1時間59分	4．2時間～2時間59分
5．3時間～3時間59分	6．4時間～4時間59分	7．5時間以上	
8．使わない			

（2）（1）で1から7に○をつけた方に質問します。インターネットで何をしますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．いろいろなことを調べる	8．自分のブログを書く
2．ウエブサイトを見る	9．ソーシャルネットワークサービスのサイト（Facebook、mixiなど）を見たり、書き込む
3．電子メールのやりとりをする	
4．ブログを見る	
5．チャットをする	10．ゲームをする
6．掲示板に書き込む	11．勉強につかう
7．インスタントメッセンジャー（ＬＩＮＥ、スカイプなど）をする	12．その他（具体的に　　）

2　あなたの家のことについてお聞きします。

問13　あなたの家庭の「経済的な生活のレベル」についてあなたはどう思いますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

1．かなり豊かだ	3．やや苦しい
2．まあまあ豊かだ	4．かなり苦しい

問14　お母さんについて答えてください。

（１）　現在、お母さんといっしょに暮らしていますか。

1．はい	2．いいえ

（２）（１）で「１．はい」に○をつけた方にお聞きします。

①　ふだんお母さんから、次のようなことを言われますか。それぞれ１つ選んで○をつけてください。

	よく言われる	たまに言われる	ほとんど言われない
ア．ちゃんとあいさつしなさい	1	2	3
イ．もっと勉強しなさい	1	2	3
ウ．もっと部屋をきれいにしなさい	1	2	3
エ．テレビを見過ぎだからやめなさい	1	2	3
オ．うそをつかないようにしなさい	1	2	3
カ．友達と仲良くしなさい	1	2	3
キ．先生の言うことをよく聞きなさい	1	2	3
ク．弱いものいじめをしないようにしなさい	1	2	3
ケ．困ったら何でも相談しなさい	1	2	3
コ．励ます言葉をかけてくれる	1	2	3
サ．頑張った時、ほめてくれる	1	2	3

②　あなたとお母さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。それぞれ１つ選んで○をつけてください。

	そう思う	そう思うだいたい	思わないあまりそう	そう思わない
ア．お母さんは、わたしの好きなことをよくわかっている	1	2	3	4
イ．お母さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている	1	2	3	4
ウ．お母さんは、わたしを信頼してくれている	1	2	3	4
エ．わたしはお母さんを信頼している	1	2	3	4
オ．わたしはお母さんには何でも話せる	1	2	3	4

問15　お父さんについて答えてください。

（1）　現在、お父さんといっしょに暮らしていますか。

1．はい	2．いいえ

（2）（1）で「1．はい」に○をつけた方にお聞きします。

①　ふだんお父さんから、次のようなことを言われますか。それぞれ1つ選んで○をつけてください。

	よく言われる	たまに言われる	ほとんど言われない
ア．ちゃんとあいさつしなさい	1	2	3
イ．もっと勉強しなさい	1	2	3
ウ．もっと部屋をきれいにしなさい	1	2	3
エ．テレビを見過ぎだからやめなさい	1	2	3
オ．うそをつかないようにしなさい	1	2	3
カ．友達と仲良くしなさい	1	2	3
キ．先生の言うことをよく聞きなさい	1	2	3
ク．弱いものいじめをしないようにしなさい	1	2	3
ケ．困ったら何でも相談しなさい	1	2	3
コ．励ます言葉をかけてくれる	1	2	3
サ．頑張った時、ほめてくれる	1	2	3

②　あなたとお父さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。それぞれ1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
ア．お父さんは、わたしの好きなことをよくわかっている	1	2	3	4
イ．お父さんは、わたしの仲のいい友達の名前をほとんど知っている	1	2	3	4
ウ．お父さんは、わたしを信頼してくれている	1	2	3	4
エ．わたしはお父さんを信頼している	1	2	3	4
オ．わたしはお父さんには何でも話せる	1	2	3	4

3　学校や近所のことについてお聞きします。

問16　いま通っている学校での生活は楽しいですか。それぞれ１つ選んで○をつけてください。学校を長期間休んでいる場合は「カ．学校を長期間休んでいる」の右の欄に○をつけてください

	楽しい	どちらともいえない	楽しくない
ア．学校の授業	1	2	3
イ．クラブ活動	1	2	3
ウ．友達との関係	1	2	3
エ．先生との関係	1	2	3
オ．学校生活全体	1	2	3
カ．学校を長期間休んでいる→右の欄に○をつけてください			

問17　地域や学校での活動について答えてください。

（１）　次の活動の中で、あなたがしたことがあるものすべてに○をつけてください。

1．お年寄りや体の不自由な人のお手伝い	7．市全体でやるような大きなイベントへの参加
2．リサイクルなど、環境のための活動	8．イベントなどの企画運営
3．公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動	9．募金をする、または募金の呼びかけ
	10．新聞への投書など、意見の発表
4．児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動	11．自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加
5．学級委員など、学級のための活動	
6．お祭りなど、地域の行事への参加	12．この中にはない

（２）　（1）の中で、あなたがふだん一番よくするものの番号を答えてください。

（３）（２）で答えたことをするきっかけになったのは、誰かがやっているのを見たり、誰からかすすめられたりしたからですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．お父さん	8．先輩・友だち
2．お母さん	9．テレビなどマスコミ
3．兄弟姉妹	10．インターネット
4．おじいさん・おばあさん	11．自分でやりたいと思った
5．親せきの人	12．とくにきっかけはない
6．学校の先生	13．わからない
7．近所の人	

問18　近所に住んでいる人たちとの関係について答えてください。

（1）　これまで、近所の大人からほめられたり、しかられたりしたことはありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．よくあった	2．ときどきあった	3．ほとんどなかった

（2）　ふだん、近所の大人とあいさつをしますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．よくする	2．ときどきする	3．ほとんどしない

（3）　ふだん、近所の大人と話をすることがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．よくする	2．ときどきする	3．ほとんどしない

問19　あなたの考え方に影響を与えている大人はだれですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．お父さん	8．近所の人
2．お母さん	9．塾や習い事の先生
3．兄弟姉妹	10．部活の先生やコーチ
4．おじいさん・おばあさん	11．テレビなどマスコミに出ている人
5．親せきの人	12．その他
6．学校の先生	（具体的に　　）
7．学校の先輩	13．とくにいない

4　あなた自身のことについてお聞きします。

問20　あなたはいまどんなことに悩んだり困ったりしていますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．親のこと	9．自分の健康のこと
2．兄弟姉妹のこと	10．自分の容姿のこと
3．友達のこと	11．自分がからだの性と心の性が違っていると感じること
4．勉強のこと	12．異性のこと
5．先生のこと	13．いじめられたりからかわれたりすること
6．クラブ活動や習い事のこと	14．地域や社会のこと
7．将来のこと	15．その他（　　）
8．自分の性格のこと	16．悩んだり困っていることはない

問21　悩みやこまったことがあるときに相談する人はだれですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．お父さん	10．習い事や塾の先生
2．お母さん	11．近所の人
3．兄弟姉妹	12．メディアによる相談
4．おじいさん・おばあさん	（電話相談、テレビ番組の相談コーナーなど）
5．学校の先輩	13．インターネットでの相談
6．友達	14．その他
7．担任の先生	（具体的に　　）
8．担任以外の学校の先生	15．わからない
9．学校のカウンセラー	16．だれにも相談しない

問22　次の中で、あなたがだれか他の人から何回かされたことがあるものすべてに○をつけてください。

1．面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかわれる
2．自分のノートに落書きをされる
3．因縁をつけられたり、けんかをふっかけられたりする
4．わけもなくなぐられたり、暴力をふるわれたりする
5．持ち物をかくされたり、こわされたりする
6．お金や持ち物をとられる
7．おしゃべりや遊びの仲間に入れてもらえない
8．インターネットの掲示板やチャットで悪口を書きこまれる
9．はずかしくなるような写真を無断でとられ、他の人に見せびらかされる
10．この中にはない

問23　次の中で、あなたがだれか他の人にしたことがあるものすべてに○をつけてください。

1．面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかう
2．相手のノートに落書きをする
3．因縁をつけたり、けんかをふっかけたりする
4．わけもなくなぐったり、暴力をふるったりする
5．持ち物をかくしたり、こわしたりする
6．お金や持ち物をとる
7．おしゃべりや遊びの仲間に入れない
8．インターネットの掲示板やチャットで悪口を書きこむ
9．はずかしくなるような写真を無断でとり、他の人に見せびらかす
10．この中にはない

問24　あなたは、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときに先生や親、友達に相談することができますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．できる	2．できない

問25　あなたは、これまでいじめだと思うことを見たり聞いたりしたときにどうしましたか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．できるだけ関わらないようにした	6．後で先生や親や友達にいじめのことを話した
2．いじめに加わった	7．その他
3．まわりでいじめを応援した	（具体的に　　）
4．やめるように言った	8．いじめだと思うことを見たり聞いたりしたことはない
5．後でいじめられた人をなぐさめた	

問26　あなたは、これまでに、だれかからひどく叩かれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりした事がありますか。それぞれ1つ選んで○をつけてください。

	ない	1回ある	2回以上ある
ア．親からひどく叩かれた	1	2	3
イ．クラスメート・先輩などからひどく叩かれた	1	2	3
ウ．先生からひどく叩かれた	1	2	3
エ．親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3
オ．クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3
カ．先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3

問27　あなたは自分についてどう思いますか。

（1）　自分のことが好きですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．好き	2．どちらかといえば好き	3．どちらかといえば嫌い	4．嫌い

（2）　自分に自信がありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．自信がある	3．どちらかといえば自信がない
2．どちらかといえば自信がある	4．自信がない

（3） 色々なことに積極的に挑戦できますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．挑戦できる	3．どちらかといえば挑戦できない
2．どちらかといえば挑戦できる	4．挑戦できない

問28 あなたは今の生活についてどう感じていますか。

（1） 今の生活に満足していますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．満足している	3．どちらかといえば満足していない
2．どちらかといえば満足している	4．満足していない

（2） 今の生活が楽しいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．楽しいと思う	3．どちらかといえば楽しくないと思う
2．どちらかといえば楽しいと思う	4．楽しくないと思う

問29 ふだんの生活の中でほっとできるのはどんなときですか。
次の中から3つまで選んで、順番をつけてください。

1．家族といるとき	5．一人でインターネットやオンラインゲームなどをして他の人とつながっているとき
2．学校にいるとき	
3．友達といるとき	6．一人で何もしないでいるとき
4．一人で趣味などをしているとき	7．その他（ ）
	8．ほっとできるときはない

1番目 [ ] **2番目** [ ] **3番目** [ ]

問30 次の中で、あなたのものごとについての考え方にあてはまるものにすべてに○をつけてください。

1．まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する	4．まわりの子の意見に流されず、自分の意見を言うことができる
2．法律に違反しなければ、なにをしてもいい	5．大切なことは自分で判断できる
3．みんなが仲良くするためには、少しは嫌な思いをしてもルールに従わなければならない	6．名古屋市や日本のために役立ちたい
	7．大人になったら選挙には行くつもり
	8．この中にあてはまるものはない

問31　あなたは勉強についてどのような考えを持っていますか。

（1）　勉強が好きですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．好きだ	3．どちらかといえば嫌いだ
2．どちらかといえば好きだ	4．嫌いだ

（2）　勉強が大切だと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．思う	3．どちらかといえば思わない
2．どちらかといえば思う	4．まったく思わない

（3）　勉強が理解できますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．よく理解できる	3．あまり理解できない
2．だいたい理解できる	4．まったく理解できない

（4）　勉強は将来役に立つと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．思う	3．どちらかといえば思わない
2．どちらかといえば思う	4．まったく思わない

問32　あなたは自分の身体を大切にするために心がけていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1．規則正しい生活をする	5．お酒、たばこ、薬物などに手をださない
2．栄養のバランスがとれた食事をする	6．性感染症になるようなことをしない
3．睡眠を十分とる	7．その他（具体的に　　）
4．季節に合わせた服装をする	8．あてはまるものはない

問33　あなたが40歳くらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。次の中であてはまるものにすべてに○をつけてください。

1．幸せになっている	6．多くの人の役にたっている
2．親を大切にしている	7．お金持ちになっている
3．子どもを育てている	8．有名になっている
4．自由にのんびり暮らしている	9．世界で活躍している
5．一生懸命、仕事をしている	10．あてはまるものはない

問34　あなたは将来どんな仕事をしたいですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．自分に向いている仕事	8．安定した仕事
2．好きなことができる仕事	9．給料の高い仕事
3．自分の能力をいかせる仕事	10．休みの多い仕事
4．社会の役にたつ仕事	11．残業の少ない仕事
5．人に感謝される仕事	12．楽な仕事
6．楽しい仕事	13．自分が成長できる仕事
7．危険の少ない仕事	14．その他（具体的に　　）
	15．この中にあてはまるものはない

問35　早く大人になることについて答えてください。

（1）　あなたは早く大人になりたいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．思う　⇒（2）へ進んでください	2．思わない　⇒（3）へ進んでください	3．わからない

（2）　早く大人になりたいと思う、そのわけとして、あてはまると思うものすべてに○をつけてください。

1．勉強しなくてよいから
2．好きな遊びが何でもやれるから
3．やりたい仕事に早くつきたいから
4．早く一人前に扱ってほしいから
5．お父さんやお母さんに楽をさせたいから
6．自分の自由に暮らせるようになるから
7．ほしいものが自由に買えるから
8．その他（具体的に　　）
9．わからない

（3）　早く大人になりたくないと思う、そのわけとして、あてはまると思うものすべてに○をつけてください。

1．大人になると働かなくてはいけないから
2．子どもでいる方が楽だから
3．大人になってもとくにやりたいこともないし、夢もないから
4．大人になって、家族の世話をきちんとやっていける自信がないから
5．まわりの大人を見ていると、ずるい人や自分勝手な人が多いから
6．大人になるのが何となく不安だから
7．その他（具体的に　　）
8．わからない

問36　なごや子ども条例（子どもをみんなで応援していく名古屋市のきまり）についてお聞きします。

（1）なごや子ども条例について知っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1．内容を知っている	2．聞いたことがある	3．知らない

（2）（1）で「1．内容を知っている」に○をつけた方に質問します。なごや子ども条例をどのように知りましたか。

次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．お父さんに聞いた	9．学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）の先生に聞いた
2．お母さんに聞いた	10．トワイライトスクール（トワイライトルーム）の先生に聞いた
3．兄弟姉妹に聞いた	11．塾の先生に聞いた
4．友だちに聞いた	12．なごや子ども条例のパンフレットで見た
5．学校の先生に聞いた	13．イベントで知った
6．新聞で読んだ	14．その他（具体的に　　）
7．テレビで見た	
8．児童館で聞いた	

（3）なごっちがなごや子ども条例のマスコットキャラクターであることを知っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

なごっち

1．知っている	2．知らない

最後に、あなたのことについてお聞きします。

F1　あなたの性別をお答えください。

1．男性　　2．女性

F2　あなたの学年をお答えください。

1．小学5年生
2．小学6年生
3．中学1年生
4．中学2年生
5．中学3年生
6．高校1年生
7．高校2年生
8．高校3年生
9．学校へ行っていない

F3　あなたは自分の成績についてどう思いますか。

1．いい方だ
2．まあいい方だ
3．普通
4．あまりよくない方だ
5．よくない方だ

F4　あなたは小学校の１年生から３年生の頃、平日の授業後にどこで過ごしていましたか。

1．自分の家
2．学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）
3．トワイライトスクール
4．学校で行われるクラブ活動
5．学習塾、予備校
6．習い事（ピアノ教室・サッカークラブなど）
7．公園、道路
8．祖父母の家
9．友達の家
10．図書館、児童館
11．コンビニやショッピングセンター
12．ゲームセンター
13．その他
（具体的に　　）

F5　あなたの進学の最終目標はどこですか。

1．中学まで
2．高校（普通科）まで
3．高校（職業科）まで
4．専門学校まで
5．短大・高専まで
6．大学まで
7．大学院まで
8．まだ決めていない
9．わからない

F6　《高校生にお聞きします》　あなたはアルバイトをしていますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1．現在、平日にアルバイトをしている
2．現在、学校の休みの日にアルバイトをしている
3．夏休みなど学校の長期の休みの期間にアルバイトをしている
4．過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない
5．アルバイトをしたことはない

【自由意見】

自分の将来の夢や大人に対して言いたいことなど、ご自由にお書きください。

【以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。】

記入が終わったら、封筒に入れ、封をして保護者の方に渡してください。

なごや子ども条例マスコットキャラクター
なごっち

なごや子ども条例を知っていますか？

くわしくは名古屋市ウェブサイトへ

なごや子ども条例	サイト内検索

カチッと検索

この調査用紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。